科学技術振興費

地域防災対策支援研究プロジェクト

①研究成果活用データベースの構築及び公開等
～統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築～

（平成２９年度）

資料編

平成３０年３月

文部科学省　研究開発局

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

目　次

資料１　地域防災 Web 基本機能の紹介と使い方
資料２　コンテンツ継続登録マニュアル
資料３　コンテンツ一覧
資料４　試験運用アンケート調査票
資料５　ビジネスルール定義書
資料６　Web データベースシステムリストア手順書
資料７　運営管理者マニュアル
資料８　ユースケース記述書
資料９　ユースケース図一覧

資料１　地域防災 Web
基本機能の紹介と使い方

地域防災 Web
－基本機能の紹介と使い方

「地域防災 Web」の基本機能の紹介と基本的な使い方
について説明します。

2018 年 3 月
国立研究開発法人 防災科学技術研究所

目次

1 地域防災 Web の基本操作 1
1-1 地域防災 Web とは 1
1-2 地域防災 Web の仕組み 1
1-3 地域防災 Web サービス 活用ストーリー（活用手順） 2
① 「あなたの地域を知ろう」から、地域の特性を確認 2
② 防災対策手法・実践事例などのコンテンツを検索 2
③ あなたの地域の抱える課題と防災対策手法・事例を確認 2
④ 手法を実践し、不明点は研究者等に問い合わせ 2
⑤ 実践した防災対策を登録し共有 2
⑥ 防災対策チェックリストをチェックし、抽出された防災対策手法・事例を確認 2
1-4 地域防災 Web の主な内容・機能及び利用フロー 3
1-5 ユーザー登録とログイン 5
① 地域防災 Web を開く 5
URL から Web サイトを開く 5
② 地域防災 Web トップページの確認 6
③ ユーザー登録 7
ユーザー登録画面 7
「ユーザー登録」確認画面 10
「ユーザー登録」完了画面 10
ユーザー登録申請の完了メールの確認 11
本登録 12
ページの確認 12
④ ログイン 13
⑤ ログアウト 13
1-6 地域防災 Web 活用方法（操作手順） 14
① 「あなたの地域を知ろう」で、地域の特性を確認 14
地域の「概要」を確認 14
「自然・社会特性」を確認 16
「災害の危険性」を確認 20
「災害に関する地図」を確認 21
「災害の記録」を確認 22
「類似の市区町村」を確認 23
② 虫めがね検索で、防災対策手法・実践事例などのコンテンツを検索 25
項目ごとの手法を詳しく見る 25
自分の市区町村の社会特性を詳しく見る 27
③ 他の市区町村の自治体情報を確認 28
④ あなたの地域の抱える課題と防災対策手法・事例の内容を確認 30

「地域が抱えている課題」と、課題に応じた防災対策手法・実践事例を確認.....30
対策手法の内容を確認.....30
「かんたん説明シート」を確認.....31
防災対策手法や実践事例の詳細項目.....32
⑤ 手法と実践事例のリンク.....33
⑥ 検索窓で、防災対策手法・実践事例などのコンテンツを検索.....34
⑦ 手法を実践.....35
⑧ 問い合わせ機能.....35
⑨ 防災知恵袋.....36
⑩ メッセージボックス.....38
⑪ ブックマーク機能.....39
⑫ 人材/研究/実証実験地域の募集・応募.....40
⑬ 実践事例の簡易登録.....42
⑭ 実践した防災対策を登録.....44
⑮ 防災対策チェックリストをチェックし、抽出された防災対策手法・事例を確認.....46
⑯ アカウント情報の変更方法.....48

1 地域防災Webの基本操作

1-1 地域防災 Web とは

地域防災 Web は、防災対策実践手法や地域防災に取り組む研究者・実践者・支援者等の情報を収集・データベース化し、地域の防災担当者に対して、地域防災の現場で直面する課題・ニーズに合わせる形で提供し、地域防災対策の実践を支援する Web サービスです。

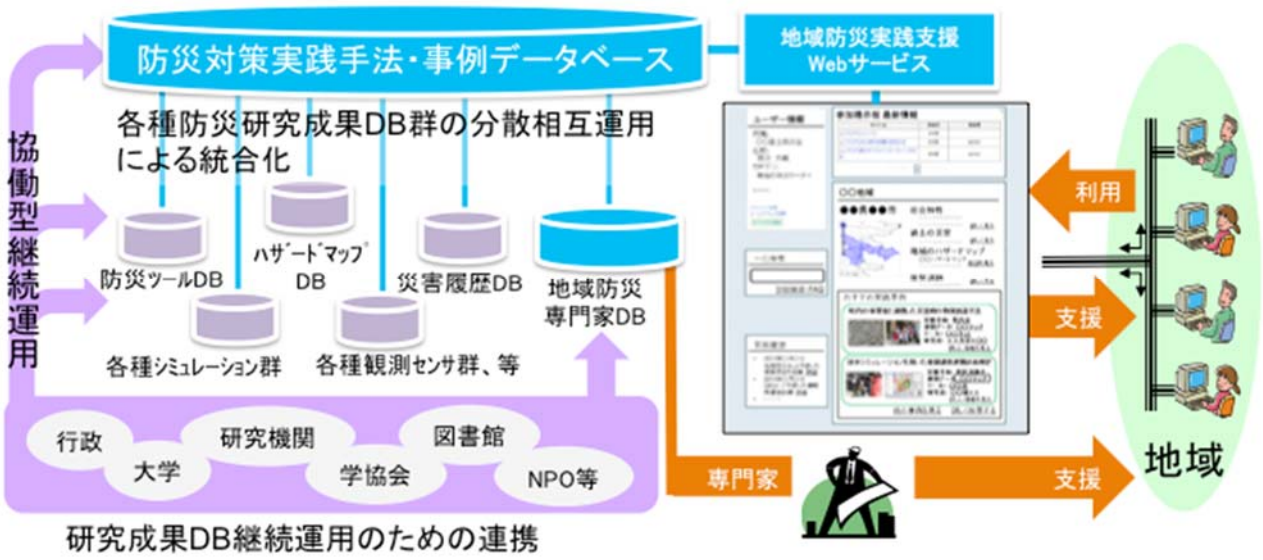


図 1 地域防災 Web サービスの全容

1-2 地域防災 Web の仕組み

活動地域を指定すると、地域の特性情報を抽出し、地域特性に応じたコンテンツを推奨します。

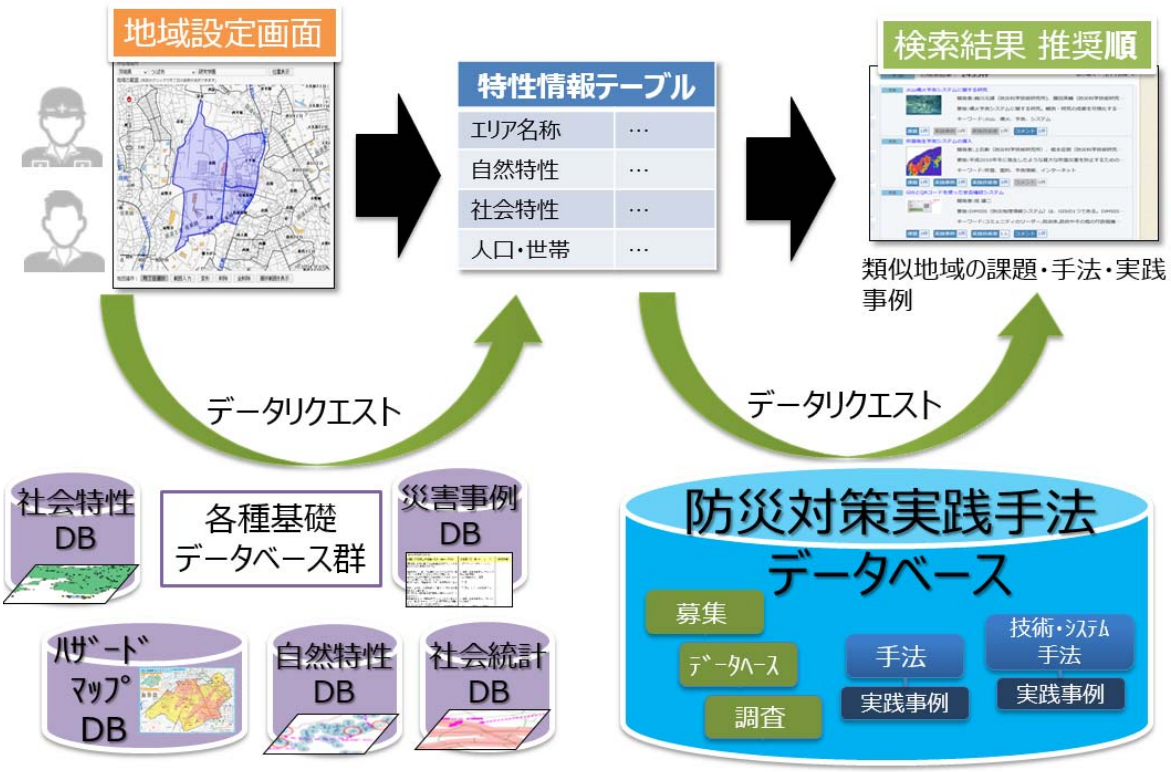


図 2 地域防災 Web の仕組み

1-3 地域防災 Web サービス　活用ストーリー（活用手順）

①「あなたの地域を知ろう」から、地域の特性を確認

「あなたの地域を知ろう」で、地域に関する情報（データ）を確認します。地域の日本全体での相対的位置を、まず「概要」の自然・社会特性、災害の危険性、災害に関する地図、災害の記録、類似の市区町村を把握します。

そのうえで、概要の項目のデータ部分をクリック、あるいはタブの項目（自然・社会特性、災害の危険性、災害に関する地図、災害の記録、類似の市区町村）を選択して詳細情報を確認します。

② 防災対策手法・実践事例などのコンテンツを検索

防災対策手法、実践事例は、検索窓を使って検索することもできます。

③ あなたの地域の抱える課題と防災対策手法・事例を確認

次に、地域の抱える課題に対応した防災対策手法・事例タイトルを確認し、それぞれのタイトルをクリックして、詳細情報を表示させ、防災対策手法・事例の詳細を確認します。

④ 手法を実践し、不明点は研究者等に問い合わせ

実際に手法を実践してみましょう。不明点が見つかったり、さらに詳しい情報が必要になった場合、研究者や実際に実践した担当者に問い合わせをしてみましょう。

⑤ 実践した防災対策を登録し共有

現在、複数の手法や実践事例が登録されていますが、それらのように、ご自身で実践した防災対策を「地域防災 Web」上に登録することで、他のユーザーに共有することができます。

⑥ 防災対策チェックリストをチェックし、抽出された防災対策手法・事例を確認

さらに、おすすめの防災対策手法の元になっている（アカウント登録の際にチェックすることができる）「防災対策チェックリスト」を確認し、地域の防災対策の取り組み状況をチェックし、防災対策の取り組み状況を確認します。

1-4 地域防災 Web の主な内容・機能及び利用フロー

(1) 地域防災 WEB の主な内容・機能

地域防災 Web の機能は、表 1-1 の通りです。

表 1-1

内容・機能	概要
① コンテンツ（手法・実践事例・データベース）の検索	防災対策手法と、その手法を使った実践事例や自然災害データベースとその活用事例を検索することができます。
② 防災対策手法の概要把握 <かんたん説明スライド>	表示されたコンテンツの一番上（トップ）で、コンテンツの概要を把握することができます。３行要旨と、それに続く５枚程度のスライドで、手法の概要を把握することができます。
③ 防災対策手法や実践事例の詳細項目	検索した防災対策手法や実践事例のコンテンツに関する詳細を見ることができます。コンテンツの内容や関連する知識・技術者・法令、導入の手続き、コンテンツの属性が詳しく示されています。
④ 手法と実践事例のリンク	１つの防災対策手法には、１つもしくは複数の実践事例が紐づいています。単なる技術的な防災対策手法にとどまらず、実践事例と合わせてみることで、具体的な導入をイメージすることができます。
⑤ ユーザーページの作成	防災対策手法や実践事例を単に検索するだけでなく、ユーザー登録を行うことで、その地域に応じた情報が抽出されるとともに、手法に基づいた実践事例を登録することができます。
⑥ アカウント情報の変更	自治体の防災担当者の異動など、アカウント情報の変更がある場合は変更することができます。
⑦ ユーザーに即した地域特性表示	地域に応じた防災対策を考える際には、地域の特性を理解することが重要です。ユーザーページでは、登録した地域に合わせて、地域の基本情報（人口・世帯・面積、自然特性、社会特性）や災害危険度、過去の災害に関する情報を見ることができます。
⑧ 防災対策チェックリスト	ユーザー（自治体防災担当者、地域の防災リーダー）にとって、その地域で防災対策上どのような課題があるかを把握することができるチェックリスト機能があります。チェックリストでは、実施した課題と実施すべき課題の項目があり、それぞれにチェックをしたり、情報を登録することができます。また、チェックした項目をもとにおすすめのコンテンツが優先的に表示されるようになります。
⑨ 問い合わせ機能	防災対策手法の開発者や実践事例の実践者に対して、その手法や実践事例に関する問い合わせをすることができます。
⑩ メッセージボックス	防災対策手法の開発者や実践事例の実践者に対する問い合わせの回答を受け取る場所です。メール転送設定を行うことで、いつも使っているメールアドレスで回答を受け取ることも可能です。
⑪ 防災知恵袋	自分たちが抱えている課題を解決する手法が見つからない、防災対策を行うなかでわからないことについて問い合わせをしたいという場合に、質問を投稿したり、あげられている質問に回答することができます。また、ユーザーの登録情報などからあなたに関連するかもしれない質問も表示されます。
⑫ ブックマーク機能 （login）	参考にしたいコンテンツを毎回検索するのは手間がかかる、気になるコンテンツがあるけれどもすぐに見る時間がないなどの場合に、ブックマークをしておくことで、後ですぐにそのコンテンツを開くことができる機能です。

⑬ 実践事例の登録、簡易投稿、登録したコンテンツの管理	防災対策手法に基づいて実践した事例を登録することができます。登録した情報は他のユーザーに閲覧されます。また、実践事例は「簡易投稿」機能で、時間をかけずに投稿することができます。さらに、登録した実践事例などのコンテンツについて、閲覧数などを確認することができます。
⑭ 虫めがね検索	虫めがねマークのアイコンをクリックすると、さらに詳細を確認することができます。
⑮RESAS（地域経済分析システム）データの表示	RESAS の人口ピラミッド、出生数・死亡数／転入数・転出数、事業所数、企業数（製造業）、経営耕地面積、海面漁獲物等販売金額などのデータが表示されます。

(2) 地域防災 WEB サービスの利用フロー

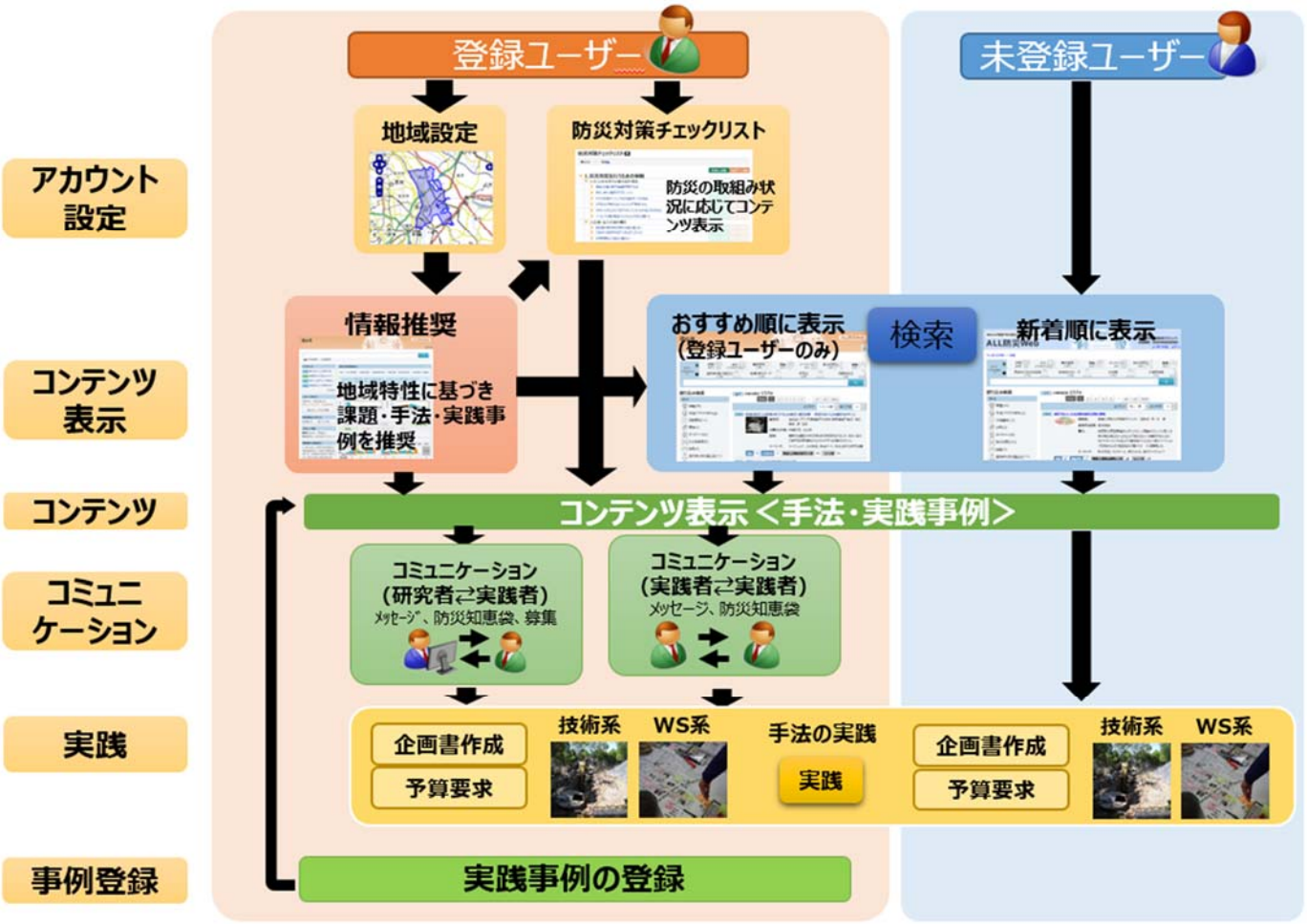


図 3 地域防災 Web サービスの利用フロー

1-5 ユーザー登録とログイン

① 地域防災 Web を開く

URL から WEB サイトを開く

下記の URL を Web ブラウザーで開きます。

URL ： https://trial.all-bosai.jp/allbosaiweb/

「地域防災対策支援研究プロジェクト」サイトのリンクバナーから開く

「地域防災支援研究プロジェクト」トの Web サイトのリンクから、「地域防災 Web」サイトを開くこともできます。「地域防災 Web マニュアル」にもアクセスできますので、ぜひご一読ください。

URL ：https://all-bosai.jp/chiiki_pj/

また、上記から「Web アンケート」にもアクセスしていただきご記入いただけますと、今後のシステムの改善にもつながりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

図 5 「地域防災支援研究プロジェクト」の Web サイト

② 地域防災 Web トップページの確認

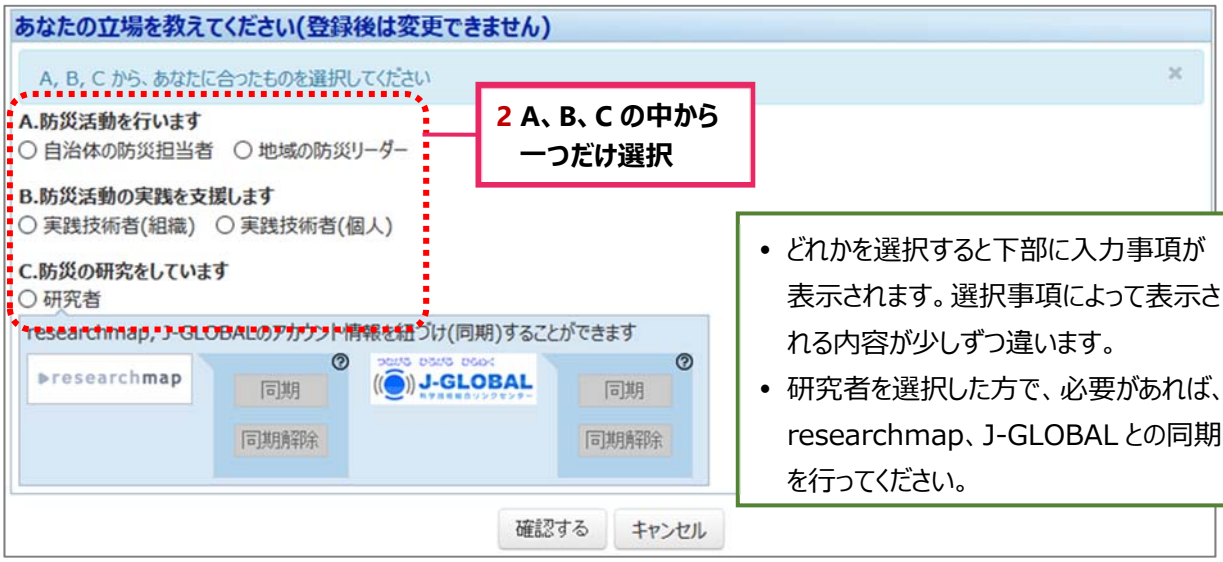
コンテンツ（手法、実践事例、データベース、課題等）を一通り見てみましょう。

図 6 地域防災 Web トップページ

③ ユーザー登録

ユーザー登録画面

ユーザー登録をしてこのサイトに参加できるようにしましょう。



ここからは A の「地域の防災リーダー」を選択した場合の入力事項になりますが、ほかの項目を選択した方も下記を参考にしてください。

＜地域の設定の仕方＞

- **「町丁目の範囲から地域を決める」を選択した場合**
  地図をドラッグで移動したり、「＋」「-」を使って拡大縮小をして自分の活動範囲が画面に表示されるようにし、地図上のその地域をクリックするだけで自動で町丁目の範囲が選択されます。

- **「市区町村の範囲から地域を決める」を選択した場合**
  上記と同様に自分の市区町村が表示されるよう移動および拡大・縮小したら、その地域をクリックすると自動で市区町村が選択されます。

- **「自由に地域を決める」を選択した場合**
  移動および拡大・縮小して自分の活動範囲を表示したら、地図上でクリックすると範囲を指定できるので、ポイントごとにクリックして範囲を指定します。地図上でダブルクリックすると作業を終了することができます。

  ※ 地図の下部にある「選択した地域を表示」をクリックすると、自分が選択した地域を適切な大きさで中央に表示することができます。選択した地域を解除するには、「選択した地域を全て削除」をクリックしてください。

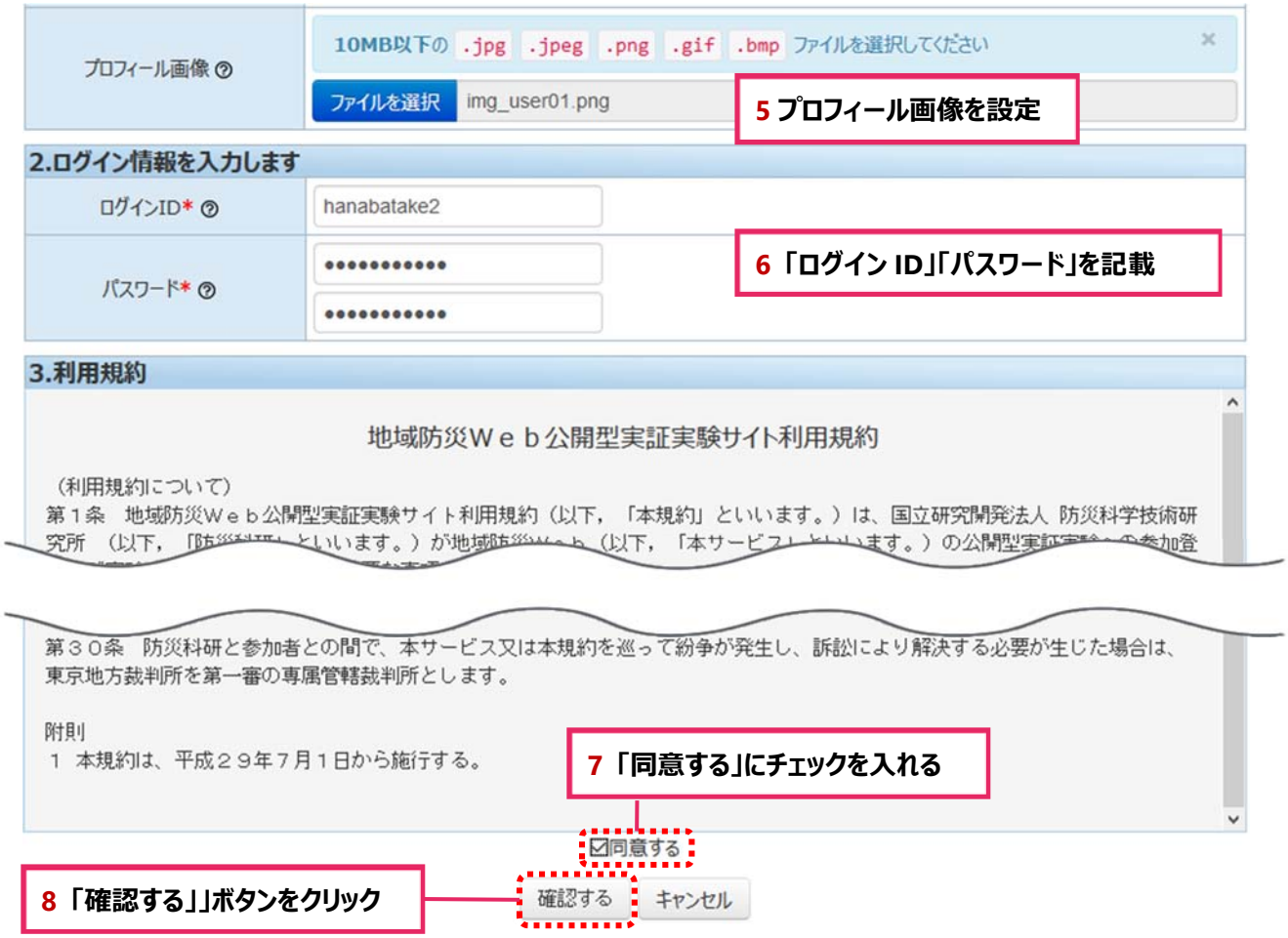

プロフィール画像
10MB以下の .jpg .jpeg .png .gif .bmp ファイルを選択してください
ファイルを選択
img_user01.png
5 プロフィール画像を設定
2.ログイン情報を入力します
ログインID*
hanabatake2
パスワード*
6 「ログイン ID」「パスワード」を記載
3.利用規約
地域防災Ｗｅｂ公開型実証実験サイト利用規約
（利用規約について）
第１条　地域防災Ｗｅｂ公開型実証実験サイト利用規約（以下，「本規約」といいます。）は、国立研究開発法人 防災科学技術研究所 （以下，「防災科研」といいます。）が地域防災Ｗｅｂ（以下，「本サービス」といいます。）の公開型実証実験への参加登
第３０条　防災科研と参加者との間で、本サービス又は本規約を巡って紛争が発生し、訴訟により解決する必要が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。
附則
１　本規約は、平成２９年７月１日から施行する。
7 「同意する」にチェックを入れる
同意する
8 「確認する」」ボタンをクリック
確認する
キャンセル

図 7 「ユーザー登録」画面

「ユーザー登録」確認画面

確認画面が表示されるので、内容を確認し、これでよければ「登録する」をクリックして内容を確定します。修正事項がある場合は「キャンセル」をクリックして内容を修正します。

図 8 「ユーザー登録」確認画面

「ユーザー登録」完了画面

これで、ユーザー登録が完了しました。

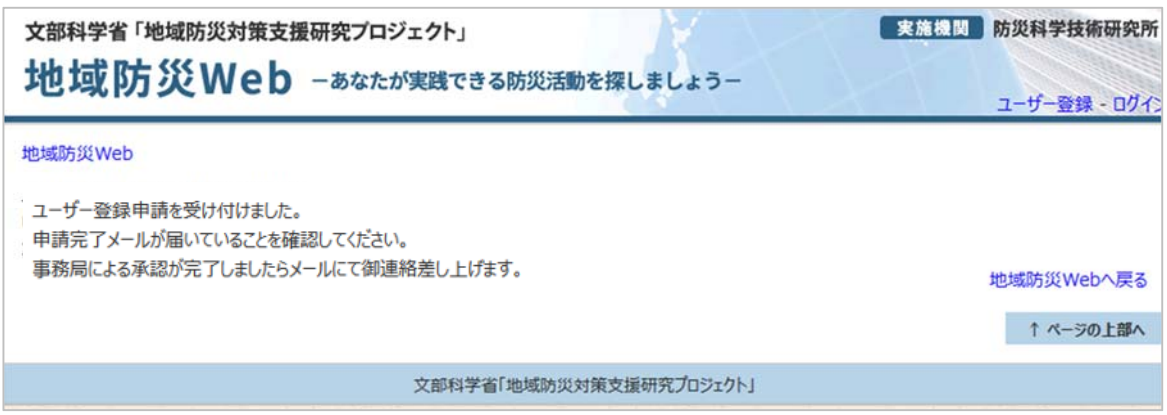


図 9 「ユーザー登録」完了画面

ユーザー登録申請の完了メールの確認

ユーザー登録申請時に記載したメールアドレス宛に完了メールが届いていることを確認します。この時点ではまだログインできません。申請許可がおりると本登録用のメールが届くので、それまでお待ちください。

地域防災Webからの自動送信メール <tougou-bosai-web@bosai.go.jp>
To 自分

(地域防災Webからの自動送信メール)

****

このメールは文部科学省地域防災対策支援研究プロジェクトに位置づけられた

「地域防災Web」（実施機関：国立研究開発法人防災科学技術研究所）

に関するお手続きをされた方に自動送信しています。

このメールに心当たりのない場合や、ご不明な点がある場合は、

下記お問合せ先へご連絡ください。（このメールへの返信はできません）

****

つくば市花畑2丁目

宮崎太郎　様

このたびは、地域防災Webに登録申請をいただき、誠にありがとうございます。

以下の内容でアカウント申請を受付ました。

<アカウント情報>
・ログインID：hanabatake2
・組織名：つくば市花畑2丁目町内会
・所属者：
　宮崎太郎 （連絡窓口）
・引き継ぎ次期：
・連絡窓口住所：
　300-3261
　茨城県つくば市花畑2丁目

なお、このメールは連絡窓口の方にのみお送りしています。
必要であれば所属者の方への転送をお願いいたします。

==========

このメールおよび本プロジェクトについての問い合わせは以下よりお願いいたします。

国立研究開発法人防災科学技術研究所

地域防災Web運営事務局(tougou-bosai-web@bosai.go.jp)

==========

図 10 ユーザー登録申請完了画面

本登録

サイト管理者が申請内容を確認し、申請を許可すると本登録用の確認メールが届くので、168 時間（7 日）以内に、指定された URL にアクセスしてアカウントの本登録手続きを完了してください。

図 11 本登録用メール画面

ページの確認

本登録用のメールから指定の URL をクリックすると自分のページができているので確認してみましょう。

図 12 ログイン後のトップページ画面

④ ログイン

上部バナー右下にある「ログイン」より、ログインします。

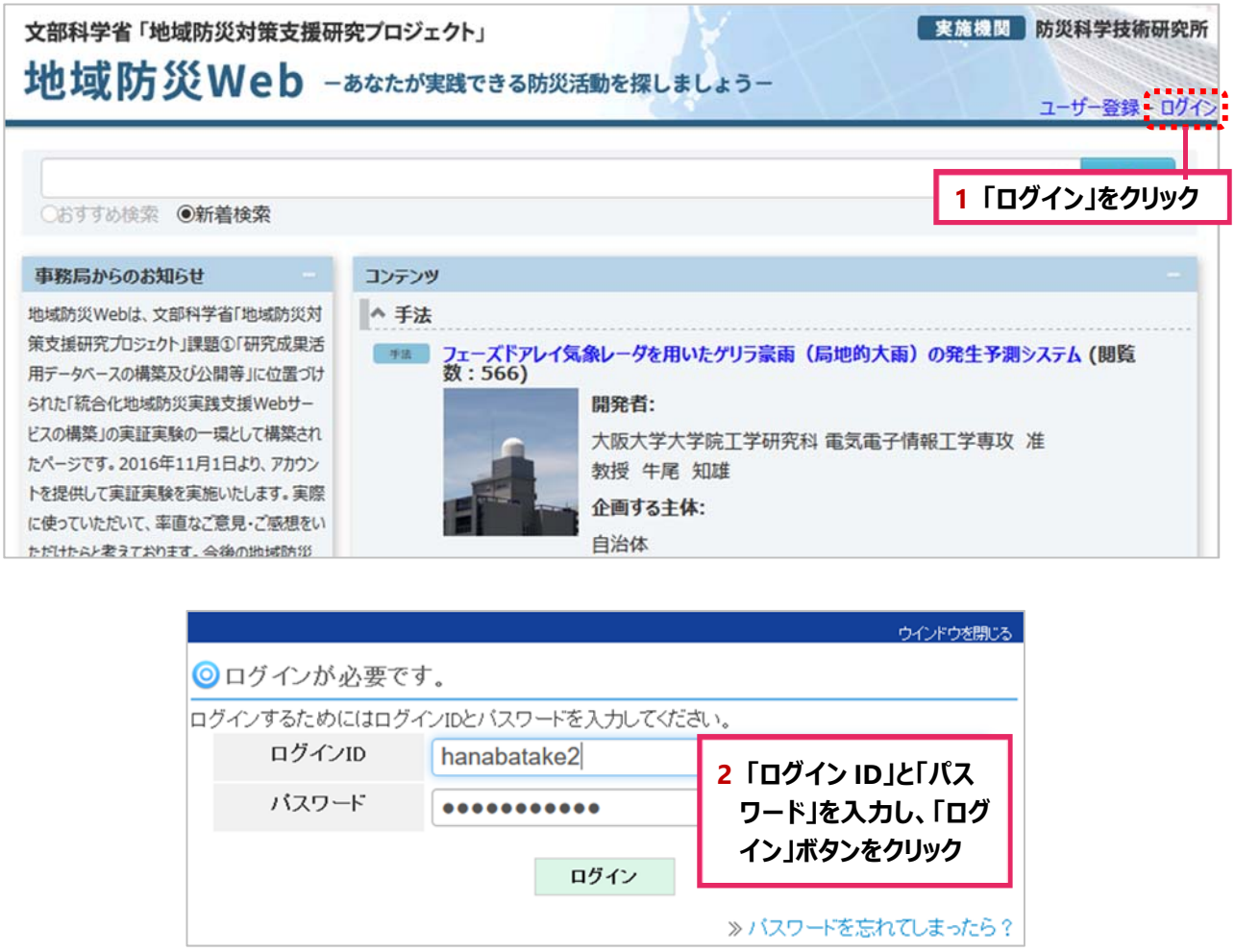


図 13 ログイン画面

⑤ ログアウト

ログアウトするときは、バナーの右下にある人型のアイコンをクリックしてログアウトします。

図 14 ログアウト画面

1-6　地域防災 Web 活用方法（操作手順）

①「あなたの地域を知ろう」で、地域の特性を確認

地域の「概要」を確認

(1)「自治体の防災担当者」でログインした場合

ユーザーページの「概要」の自然特性では、地域がもつ自然特性がハイライトされます。また、社会特性や災害の危険性について、あなたの地域が日本全国のなかで、どこに位置づけられるかが示されます。そして、これらを勘案して、類似の市区町村が抽出・表示されます。下図は「自治体の防災担当者」でログインした場合の画面です。

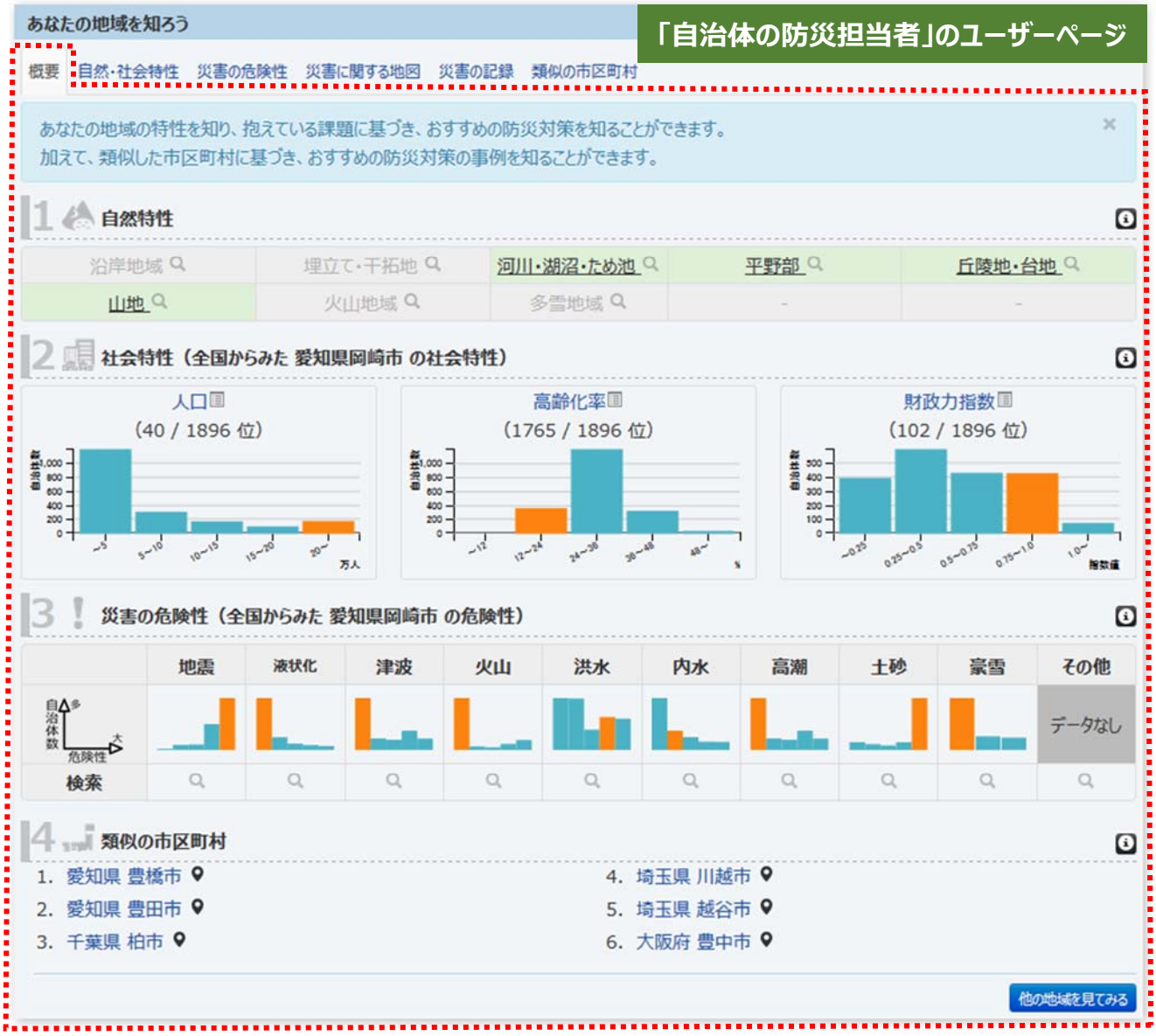


図 15　あなたの地域を知ろう「概要」（「自治体の防災担当者」でログイン）

(2) 「地域防災リーダー」でログインした場合

「地域の防災リーダー」のアカウントでログインしたときは下図になります。「自治体の防災担当者」でログインしたときに表示されていた「4 類似の市区町村」は非表示になり、「3 災害の危険性」のヒストグラムは「なし・あり」で表示されます。そのほかにもいくつか相違点があります。

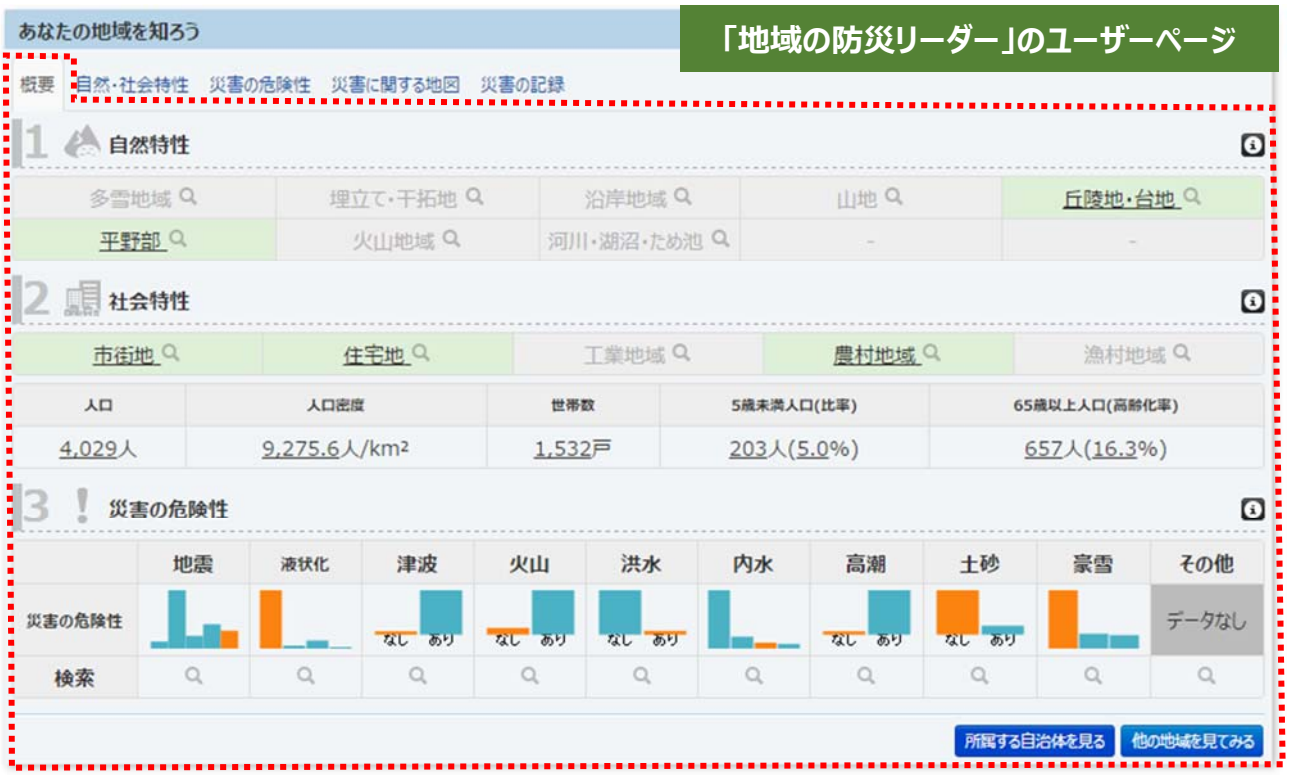


図 16 あなたの地域を知ろう「概要」（「地域の防災リーダー」でログイン）

「自然・社会特性」を確認

(1)「自治体の防災担当者」でログインした場合

ユーザーページの「自然・社会特性」で、人口や高齢化率、財政力指数などのデータ（数値）、どのような自然特性がある地域なのかを確認してみましょう。下図は「自治体の防災担当者」でログインした場合の画面です。

このページから遷移したいときに、ブラウザ（IE や Google Chrome など）の「戻る」ボタンは使用しないでください。例えば、「概要」を見たいというときには「概要」タブをクリックしてページ移動してください。

「社会特性参考値」「人口とピラミッド」「人口増減」については次ページで説明します。

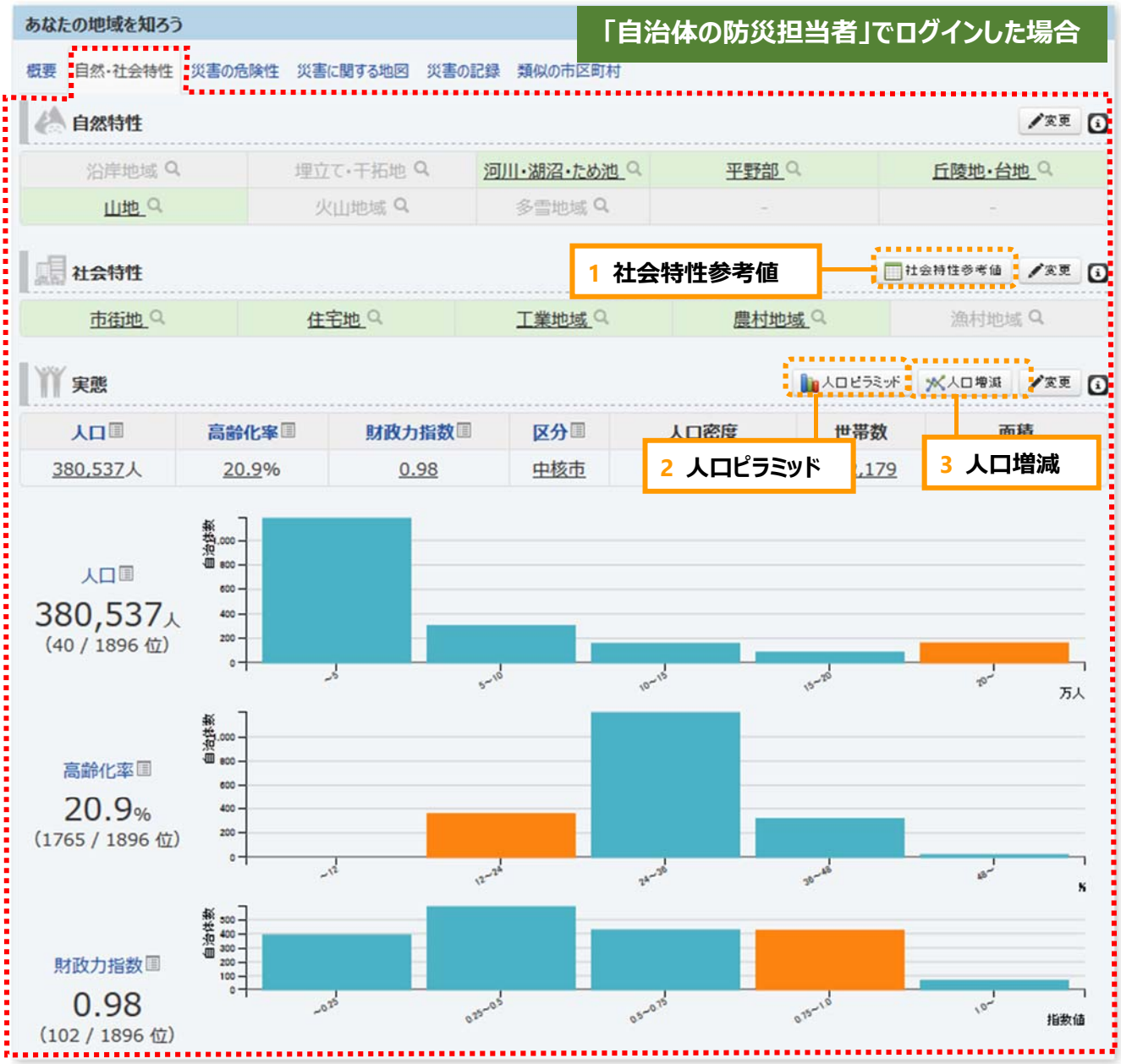


図 17　あなたの地域を知ろう「自然・社会特性」（「自治体の防災担当者」でログイン）

1. 社会特性参考値

「社会特性参考値」として、事業所数、企業数（製造業）、経営耕地面積、海面漁獲物等販売額について、内閣府まち・ひと・しごと創生本部の RESAS（地域経済分析システム）のデータを表示しています。事業所数・企業数は総務省「経済センサス－基礎調査」、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス－活動調査」、経営耕地面積・海面漁獲物等販売額は農林水産省「農林業センサス」再編加工データです。

図 18 あなたの地域を知ろう「自然・社会特性（社会特性参考値）」

2. 人口ピラミッド

「人口ピラミッド」は、2015 年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020 年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成 25 年 3 月公表）に基づく推計値について、内閣府まち・ひと・しごと創生本部の RESAS（地域経済分析システム）を表示しています。

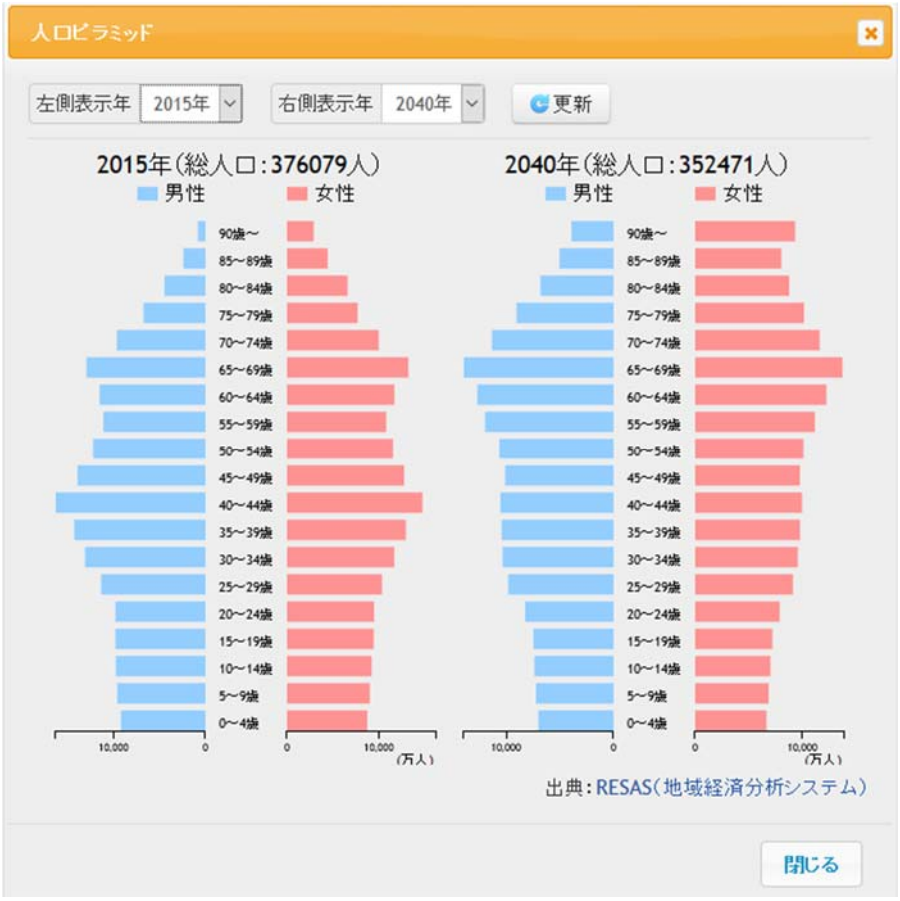


図 19 あなたの地域を知ろう「自然・社会特性（人口ピラミッド）」

3. 人口増減

「人口増減」は、自然増減（出生数・死亡数）、社会増減（転入数・転出数）について、内閣府まち・ひと・しごと創生本部の RESAS（地域経済分析システム）を表示しています。自然増減（出生数・死亡数）は厚生労働省「人口動態調査」、社会増減（転入数・転出数）は総務省「住民基本台帳人口移動報告」のデータです。

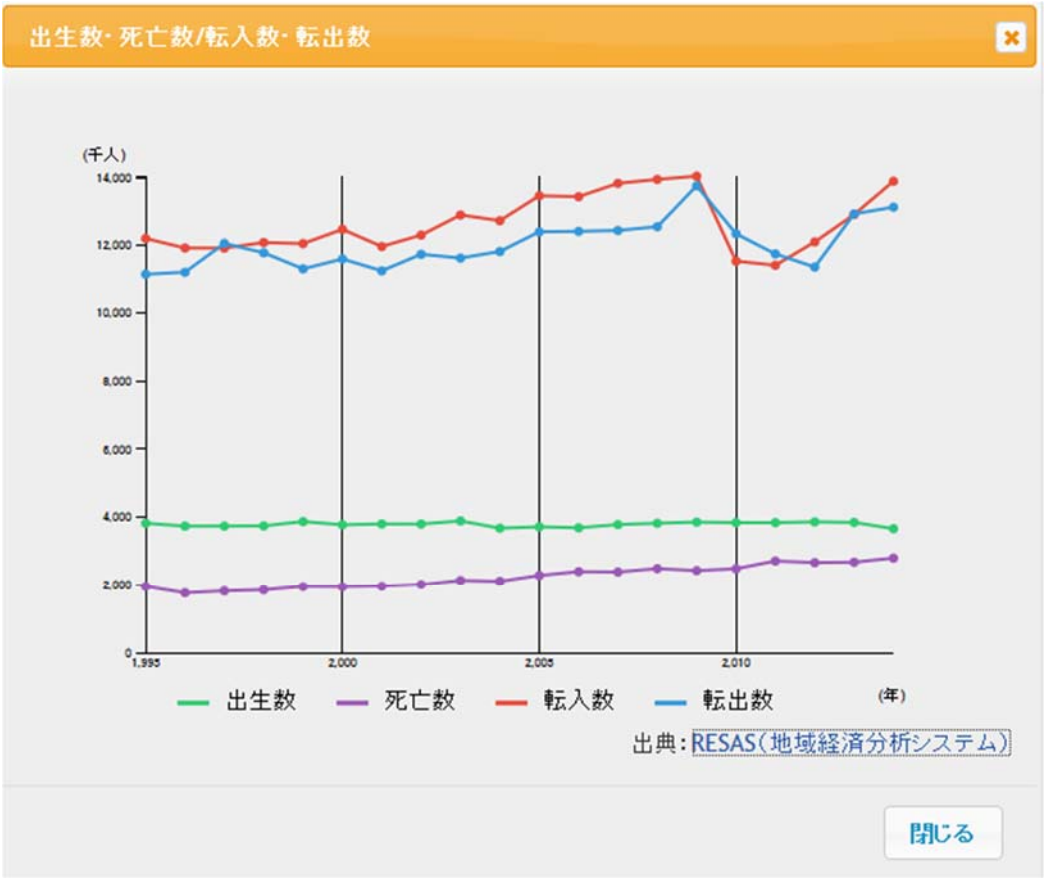


図 20 あなたの地域を知ろう「自然・社会特性（人口増減）」

(2) 「地域防災リーダー」でログインした場合

「地域の防災リーダー」のアカウントでログインしたときは下図になります。「自治体の防災担当者」でログインしたときは、「実態」はヒストグラムで表示されていましたが、「地域の防災リーダー」でログインすると、表で表示されます。

図 21　あなたの地域を知ろう「自然・社会特性」（「地域の防災リーダー」でログイン）

「災害の危険性」を確認

ユーザーページの「災害の危険性」では、あなたの地域での災害（地震、液状化、津波、火山、洪水、内水、高潮、土砂、豪雪、その他）の起こりやすさや、指定地域などについて確認します。

図 22　あなたの地域を知ろう「災害の危険性」

※津波の指標については、現在、微地形区分図の凡例区分で海岸沿いの地形に相当する「三角州・海岸低地」「砂州・砂礫州」「砂丘」「砂州・砂丘間低地」「干拓地」「埋立地」「磯・岩礁」の総メッシュ数を集計し、自治体面積に占める割合を算出し、５段階で津波の危険性を表示していますが、この区分で算出すると内陸部に「干拓地」「埋立地」がある場合も津波の危険性があると表示されます（今後改良する予定です）。

「災害に関する地図」を確認

ユーザーページの「災害に関する地図」では、あなたの地域の災害の危険性がある地域を、「洪水」や「土砂」など危険性の種類などに応じて、地図上に表示します。

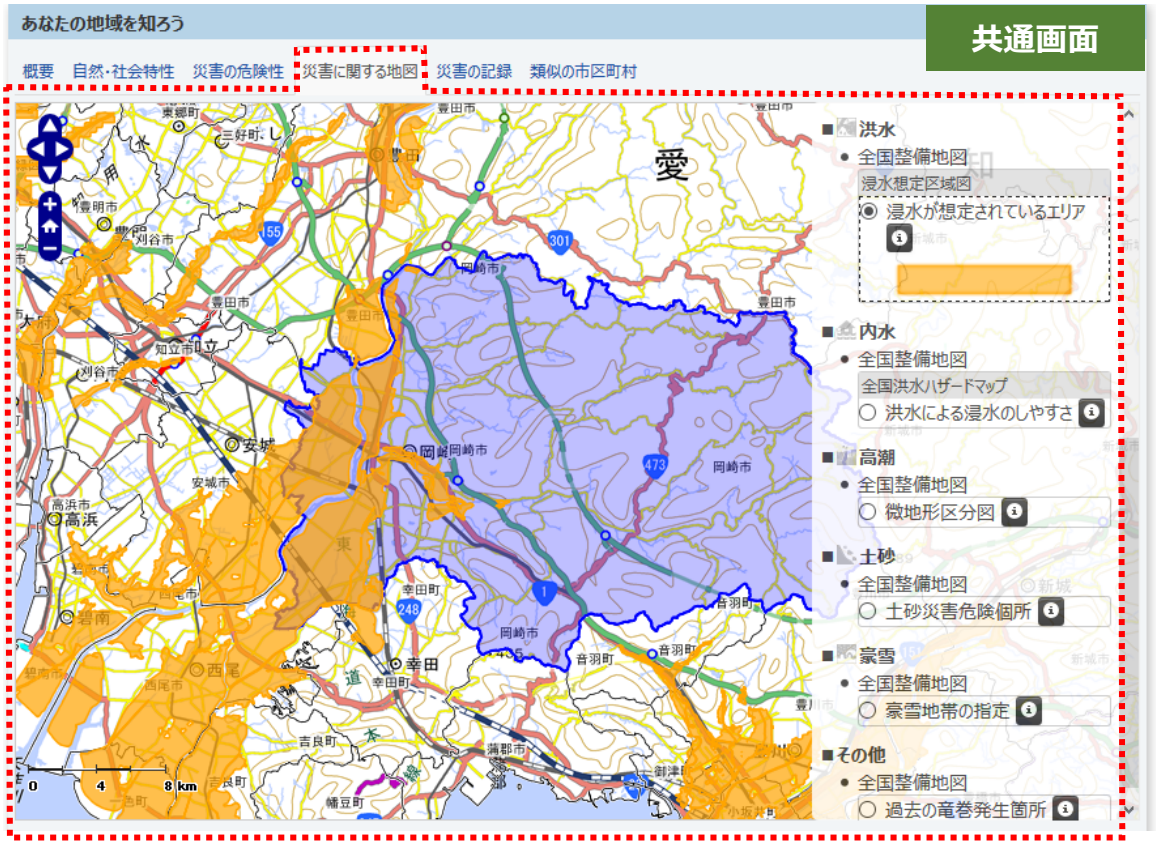


図 23　あなたの地域を知ろう「災害に関する地図（洪水）」

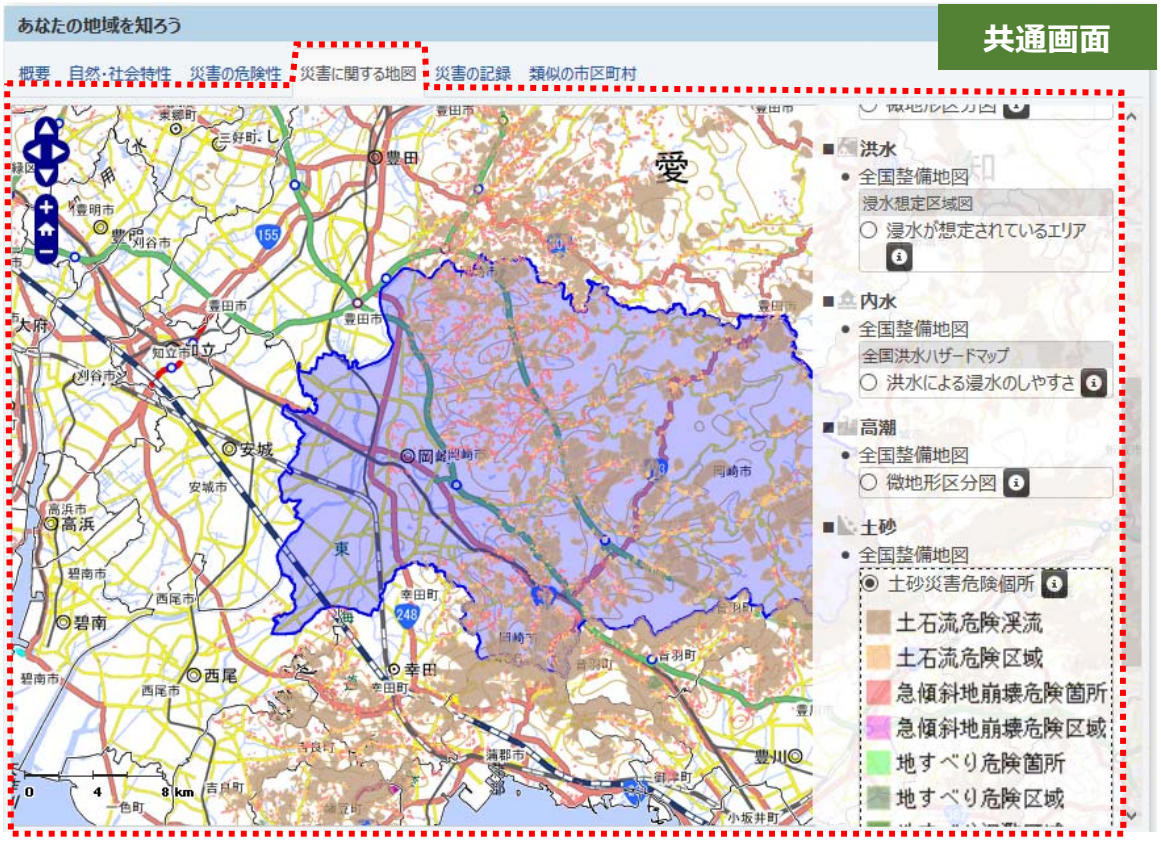


図 24　あなたの地域を知ろう「災害に関する地図（土砂）」

「災害の記録」を確認

ユーザーページの「災害の記録」では、あなたの地域で過去に発生した災害の記録を確認することができます。概要の PDF をクリックすると、その災害の詳細を確認することができます。

図 25　あなたの地域を知ろう「災害の記録」

災害事例ID			2008-08-28_W_Rxx_JP23202-24976-16			
現在の自治体名*1			愛知県 岡崎市（地方公共団体コード：JP23202）			
災害名称			出典資料：平成20年8月末豪雨			
災害の種類			風水害（洪水，大雨）			
発生時期	発生日	2008年8月28日（平成20年8月28日）				
	災害の継続期間	2008年8月28日(平成20）～2008年8月30日(平成20）（発生期間）				
被害詳細	建物被害	住家被害	全壊	6 棟	半壊	8 棟
			一部損壊	22 棟		
		浸水被害	床上浸水	1,110 棟	床下浸水	2,255 棟
	インフラ		道路	224 箇所	橋梁	3 箇所
	農地被害		719 ha			
	浸水被害		浸水面積：被害有り			
出典資料		★（xxxx）：★，p11.				

*1：2013（平成25）年1月1日

図 26　あなたの地域を知ろう「災害の記録」PDF

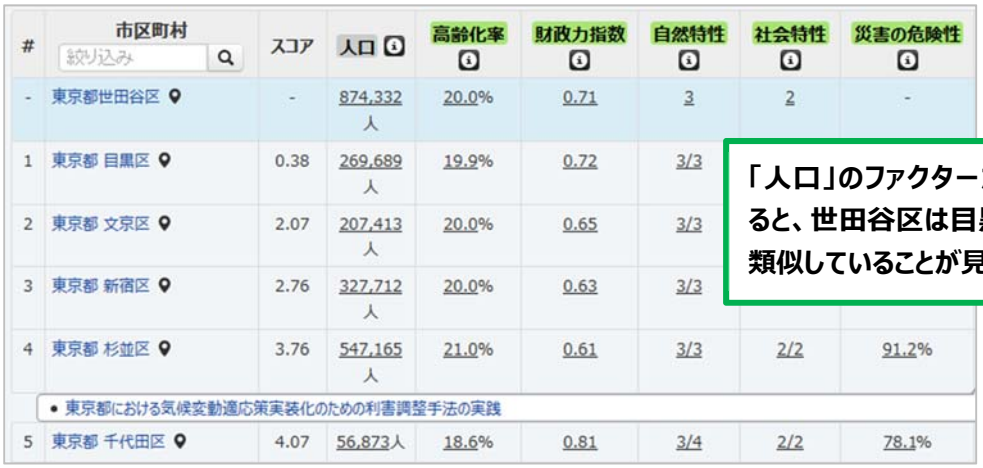
「類似の市区町村」を確認

ユーザーページの「類似の市区町村」では、あなたの地域に類似する市区町村が表示されます。なお、「類似の市区町村」は、「自然・社会特性」をふまえて抽出しています。「類似の市区町村」は、チェックボックスをクリックすることで、絞り込むことができます。「市区町村の区分が同じ」をチェックすると、特別区、行政区、中核市、市町村の区分内での類似市区町村が表示されます。「沿岸地域を含む」をチェックすると、沿岸地域を含まない地域を除外できます。

図 27 あなたの地域を知ろう「類似の市区町村」

類似の市区町村の「スコア」は、「０」に近い程、その市区町村に似ていることになります。スコアは、初期画面では、緑が塗られている人口、高齢化率、財政力指数、自然特性、社会特性、災害の危険性の項目が考慮されて算出されています。考慮される項目は、クリックすると除外されます（もう一度、クリックすると算出項目に戻すことができます）。

東京都世田谷区の例です。スコアから、上位の大田区や練馬区などとも類似性における数値が離れていることが見てとれます。



「人口」のファクターだけオフにすると、世田谷区は目黒区とかなり類似していることが見てとれます。

「災害の危険性」だけオンにし、他の要素をオフにすると、世田谷区と災害の危険性が類似した区を確認することができます。

図 28 あなたの地域を知ろう「類似の市区町村（スコアでの比較）」

② 虫めがね検索で、防災対策手法・実践事例などのコンテンツを検索

防災対策手法、実践事例は、「虫めがね」アイコンをクリックして検索することができます。また、社会特性（全国からみた「愛知県岡崎市」の社会特性）も確認することができます。

項目ごとの手法を詳しく見る

(1) トップページの概要を表示

図 29　あなたの地域を知ろう「概要」

(2) 「地震」の項目にある虫めがねアイコンをクリックした結果

対象ハザードの「地震」にチェックが入り、その下に手法の検索結果が表示されます。

図 30 「地震」の検索結果

(3) 「河川・湖沼・ため池」の項目にある虫めがねアイコンをクリックした結果

上記「地震」のときと同様に、「河川・湖沼・ため池」の手法の検索結果が表示されます。

図 31 「河川・湖沼・ため池の手法」の検索結果

自分の市区町村の社会特性を詳しく見る

自分の市区町村の社会特性を確認してみましょう。次に、愛知県岡崎市の人口と、同じくらいの人口を抱える市区町村を表示します。

(1) 自分の地域の社会特性を確認

(2) 自分の地域と同じくらいの人口を抱える市区町村の一覧を確認

図 32 あなたの地域を知ろう「人口」

③ 他の市区町村の自治体情報を確認

トップページの「あなたの地域を知ろう」パーツの「概要」タブから「類似の市区町村」を確認することができます。上位 6 つまでは市区町村名が表示され、クリックするとそのページを閲覧できます。それ以外の地域については「他の地域を見てみる」から確認します。

図 33 「類似の市区町村（愛知県豊橋市）」

図 34 「類似の市区町村（他の地域を見る）」

④ あなたの地域の抱える課題と防災対策手法・事例の内容を確認

次に、地域の抱える課題に対応した防災対策手法・事例タイトルを確認し、それぞれのタイトルをクリックして、詳細情報を表示させ、防災対策手法・事例の詳細を確認します。

「地域が抱えている課題」と、課題に応じた防災対策手法・実践事例を確認

ユーザーページの「地域が抱えている課題」では、あなたの地域、及び、あなたの地域に類似する市区町村に共通する地域課題を表示します。

図 35　地域が抱える課題と、課題に応じた手法・実践事例

対策手法の内容を確認

まず、防災対策手法を確認します。「地下水位低下による液状化抑止対策工法」の手法が表示されます。

図 36　地下水位低下による液状化抑止対策工法

「かんたん説明シート」を確認

対策手法のトップ部分は、手法の概要を短時間に把握するために設置したものです。

トップ画面は、「＞」をクリックすることで、手法の概要をスライド表示することができます。スライドされる内容は、1 枚目に「要約」、2 枚目に「企画する主体・抱えている課題」、3 枚目に「アピールポイント」、4 枚目に「要旨」、5 枚目に「期待される効果」、6 枚目に「この手法の実践事例・手法に関する資料」がリンクされます。

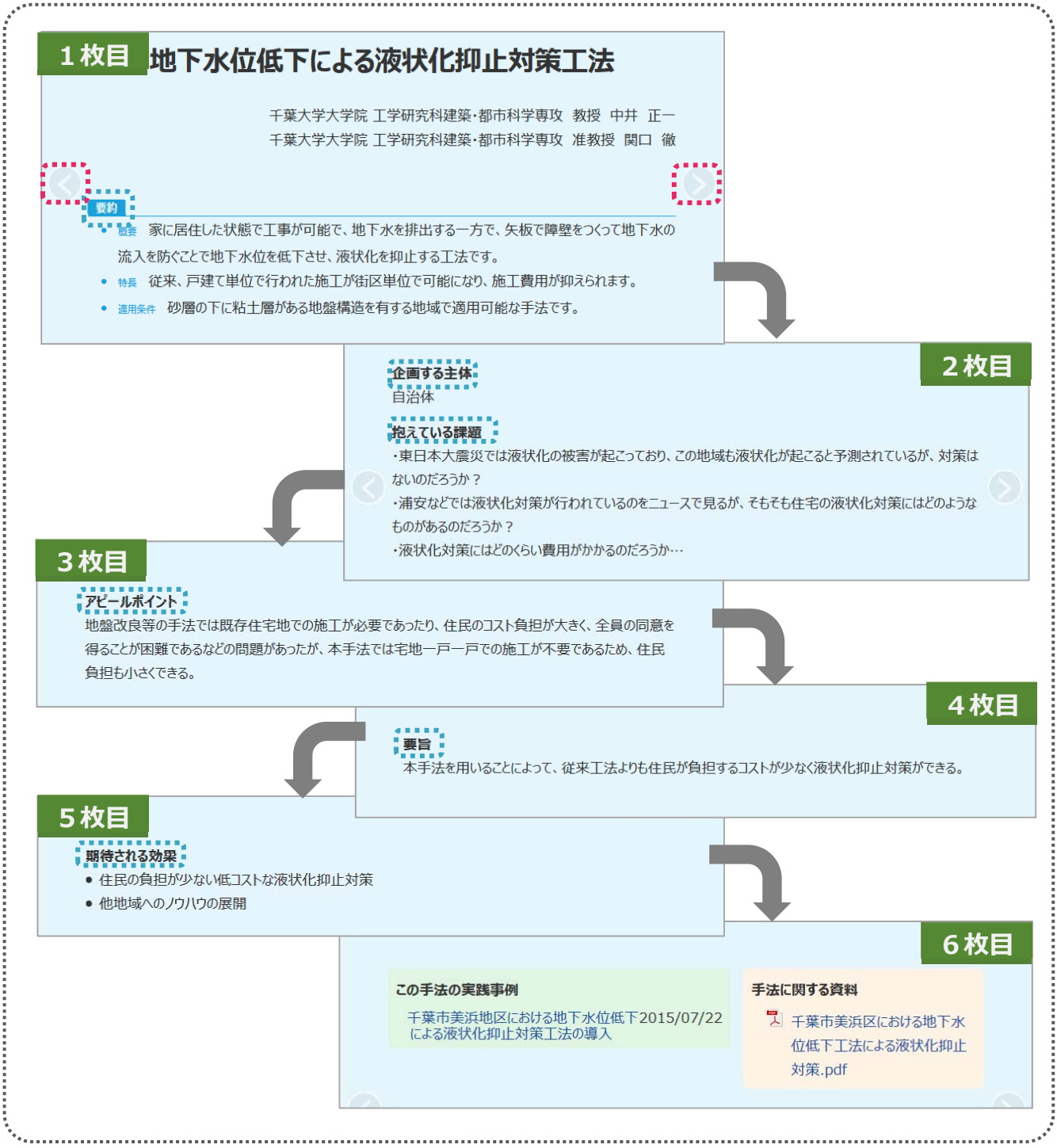
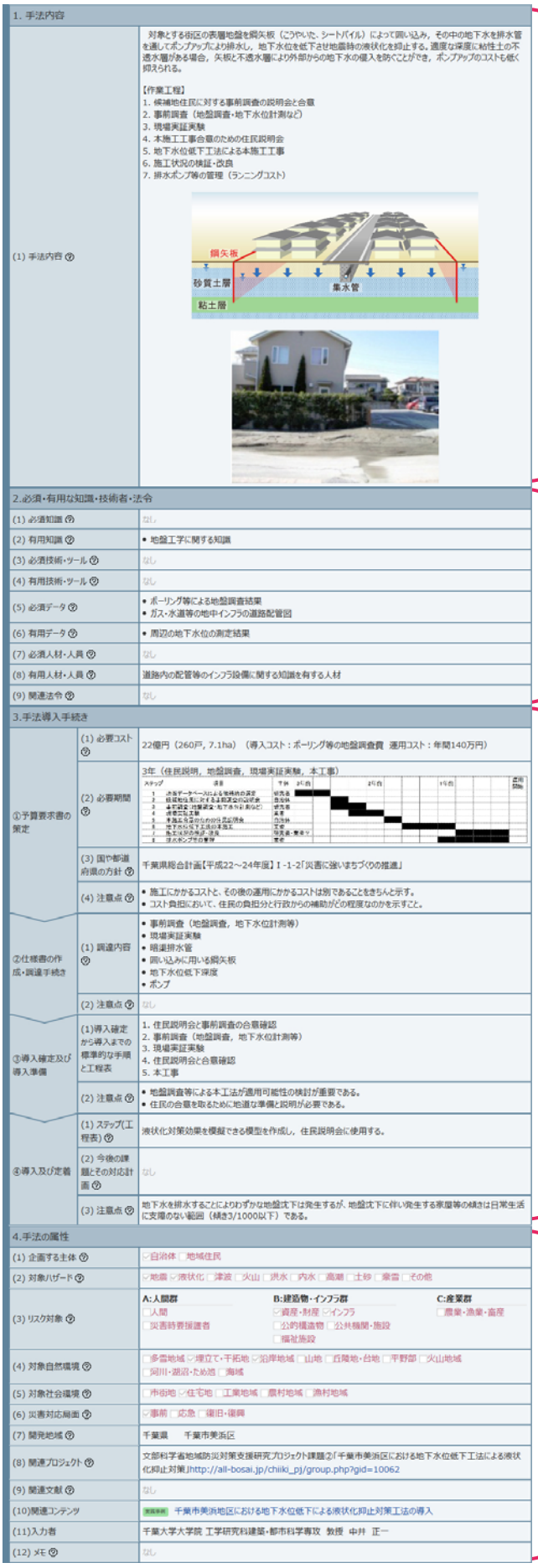


図 37 「地下水位低下による液状化抑止対策工法」手法コンテンツトップ

防災対策手法や実践事例の詳細項目



前ページの手法の詳細は、トップ画面下の「詳細項目」で把握することができます。

1. 手法内容

2. 必須・有用な知識・技術者・法令

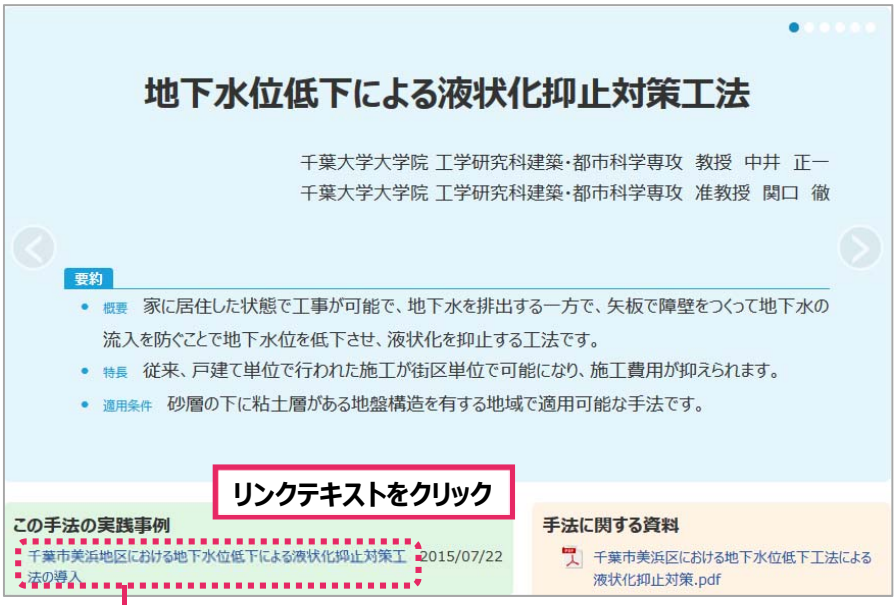
3. 手法導入手続き

4. 手法の属性

図 38 「地下水位低下による液状化抑止対策工法」手法コンテンツ（詳細画面）

⑤ 手法と実践事例のリンク

さらに、防災手法が実際に実践された事例の情報を得ることができます。



千葉市美浜地区における地下水位低下による液状化抑止対策工法の導入

登録日:2015/07/22 最終更新日:2015/09/04

対象

技術・システム

概要

(1)ID	実践事例(技術・システム)00001022
(2)実践事例タイトル	千葉市美浜地区における地下水位低下による液状化抑止対策工法の導入
(3)所属課題タイトル	• 個別災害への効果的な対策が進まない
(4)所属手法タイトル	• 地下水位低下による液状化抑止対策工法
(5) アピールポイント	地盤改良等の手法では既存住宅地での施工が必要であったり、住民のコスト負担が大きく、全員の同意を得ることが困難であるなどの問題があったが、本手法では宅地一戸一戸での施工が不要であるため、住民負担も小さくできる。
(6)実践者(担当者)	名前など / ALL防災Web / 連絡 千葉市美浜区役所
(7)要旨(何を行ったのか)	本手法を用いることによって、従来工法よりも住民が負担するコストが少なく液状化抑止対策ができる。
(8) キーワード	液状化, 地下水位低下, 埋立地
(9) 実践背景(なぜ行ったのか)	2011年東北地方太平洋沖地震の際に千葉市美浜区において液状化被害が広範囲に発生し、今後の大地震に備えた液状化抑止対策が求められている。
(10) 得られた効果	• 住民の負担が少なく、低コストで液状化抑止対策が可能である。 • 既存住宅一戸一戸に対する施工が不要であり、広範囲での施工が可能である。 • 他地域へのノウハウの展開が期待される。
(11) 工夫した点	• 戸建て住宅への液状化対策では自治体の税金を投入することができなかったが、地区単位での施工となったために税金の補助をうけることができた。
(12) 苦労した点	• 事前調査や本施工に向けた地域住民との合意形成であること。 • 既存インフラを避けての工事が必要であり、予定よりもコストが大幅にかかった。 • 既存インフラ設備との調整が必要で、下水道などを避けなければならなかったこと。
(13) 注意点・利用できる条件	• 本工法が適用可能な地盤構造に制限がある。 • 地下水位低下工法の適用可能地域を、地盤調査に基づいて調べること • 大雨などによって周辺から水が流入することにより、排水のためのランニングコストがかさむ場合が考えられる。

図 39 「千葉市美浜地区における地下水位低下による液状化抑止対策工法の導入」実践事例コンテンツ

⑥ 検索窓で、防災対策手法・実践事例などのコンテンツを検索

防災対策手法、実践事例は、検索窓を使って検索することもできます。たとえば、「ゲリラ豪雨」で検索すると、以下のように手法、データベース、実践事例、募集、自治体の防災担当者、研究者等が抽出されます。詳細を見るには、それぞれのタイトルをクリックします。

図 40 「ゲリラ豪雨」検索結果

⑦ 手法を実践

こちらの手法や実践事例を参考にしながら、実際に自分の地域等で手法を実践してみましょう。疑問点が見つかった場合は、手法を提供した研究者・専門家、あるいは同じ手法を実践している他ユーザーに問い合わせたり、防災知恵袋を利用して、疑問点を解消しましょう。

⑧ 問い合わせ機能

手法を作成した開発者、もしくは担当者に、問い合わせ機能を利用して質問をしてみましょう。手法と実践事例の概要に「開発者（担当者）」の欄があり、メールが出せるようになっています。

図 41 地域防災 Web「ゲリラ豪雨」手法トップ

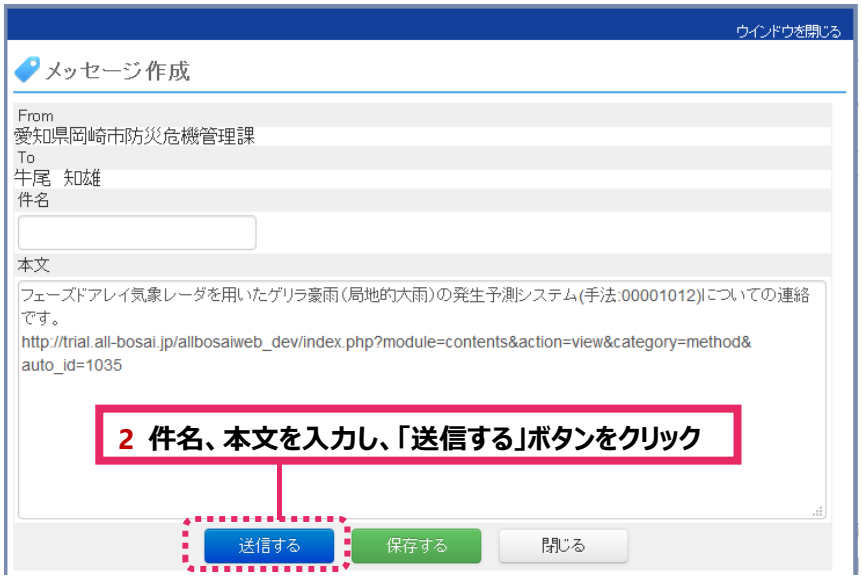


図 42 メッセージ作成画面

⑨ 防災知恵袋

防災知恵袋では、防災に関する質問を気軽に投稿することができます。回答し、他の方の力になることもできます。

まず、自分と同じ質問がなかったかどうか調べ、なければ「質問する」ボタンから質問します。

図 43「防災知恵袋」

質問したい内容を入力し、必要事項にチェックを入れてから「確認する」ボタンをクリックし、投稿します。

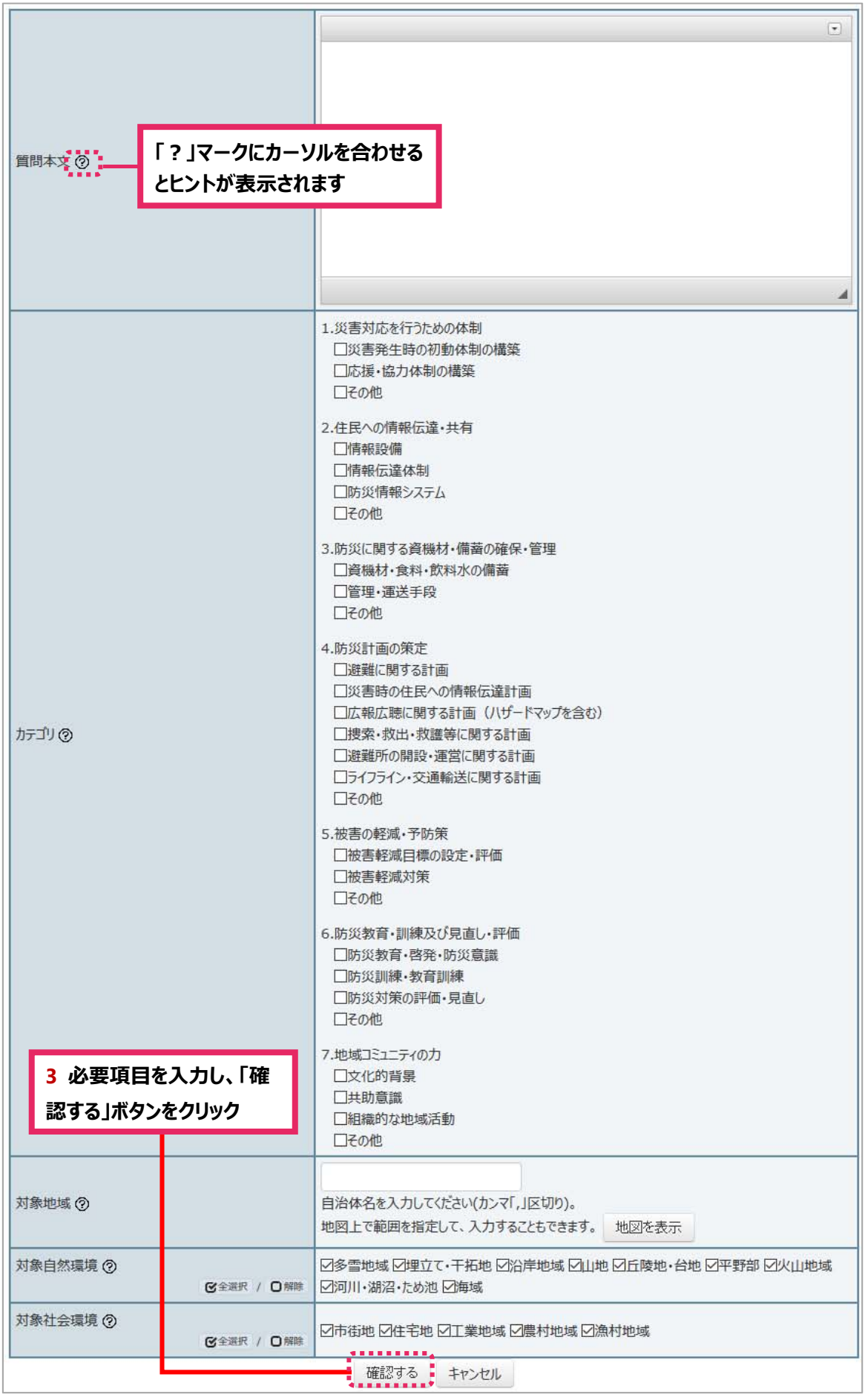


図 44 「防災知恵袋」投稿画面

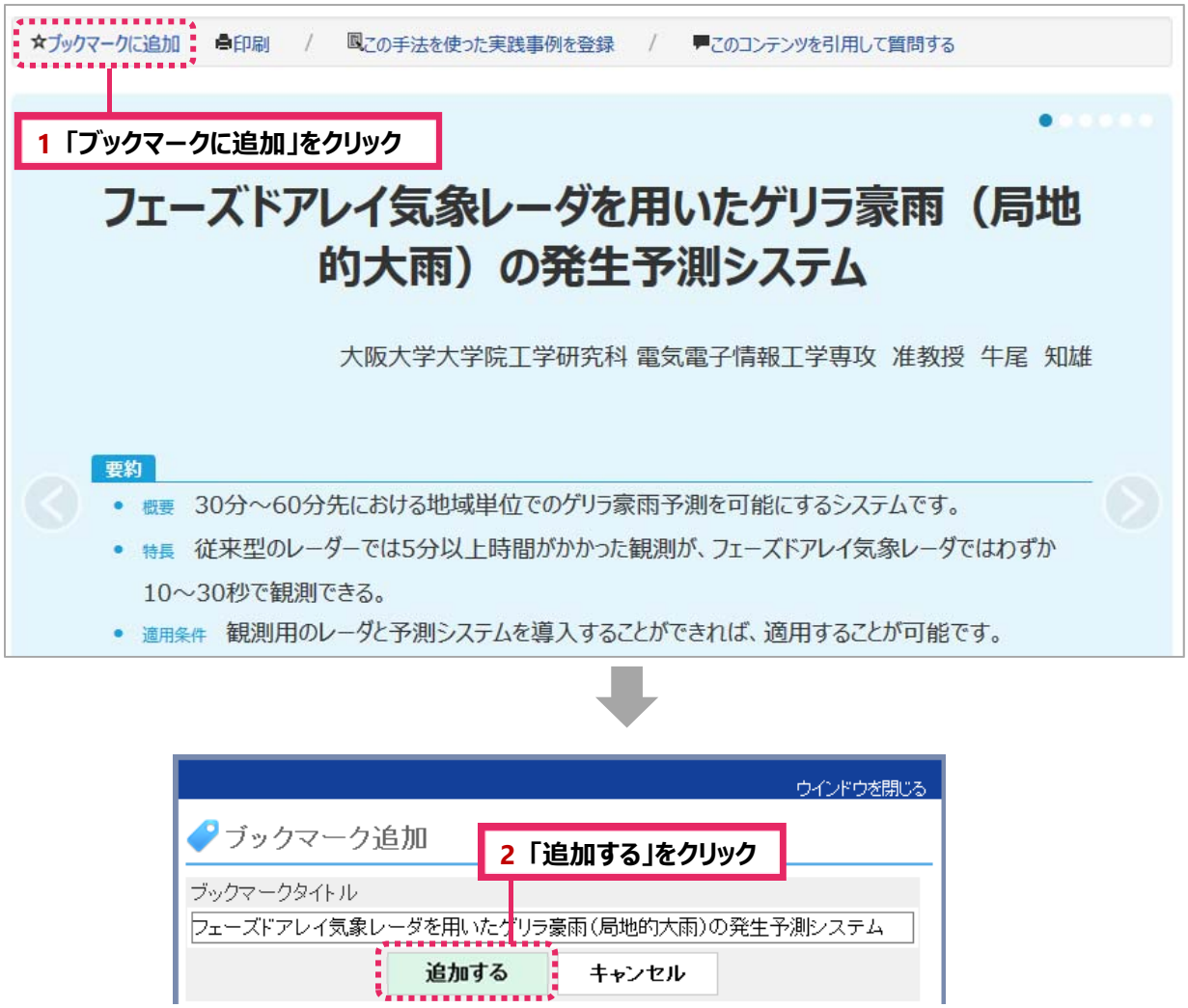
⑩ メッセージボックス

このシステムを使っている他のユーザーからメッセージを受け取ることができ、返信したり、別のメールアドレスに転送することができます。

図 45 メッセージボックス

⑪ ブックマーク機能

気に入った手法や実践事例にブックマークをつけておくことができます。ブックマークをつけておけば、後からそのページに簡単にアクセスすることができるようになります。



ブックマークに追加されました。

トップページのブックマークパーツに、追加されています。

図 46 ブックマーク機能

⑫ 人材/研究/実証実験地域の募集・応募

各コンテンツに関する 人材/研究/実証実験地域を募集することができます。応募し、依頼を受けることも可能です。

図 47 募集一覧

概要
(1)ID
(システムで自動採番)
(2)募集タイトル
(3) 所属課題タイトル
「？」マークにカーソルを合わせるとヒントが表示されます
検索
クリア
削除
(4) 所属調査タイトル
(5) 所属手法タイトル
(6) 所属実践事例タイトル
課題は予め用意された課題を選択してください。
+行を追加
(8) 対象地域
□全国
□都道府県
□詳細
(9) 関連プロジェクト
(10) 関連文献
J-GLOBAL
文献情報
タイトル
著作者
発表資料
巻
号
頁
出版年月
(11)関連コンテンツ
コンテンツタイトル
(12)入力者
愛知県岡崎市防災危機管理課
(13) メモ
3 内容を入力し、「確認する」ボタンをクリックして投稿
確認する
下書き保存
キャンセル

図 48　募集入力画面

⑬ 実践事例の簡易登録

ご自身で実践した防災対策を「地域防災 Web」上に簡易登録することができます。登録すると、事務局で入力内容を整理・編集し、さらに情報が必要な場合は電話等でヒアリングをさせていただき、コンテンツ案を提示させていただきます。

1 「実践事例を登録する」ボタンをクリック

図 49 実践事例の簡易登録画面

⑭ 実践した防災対策を登録

現在、複数の手法や実践事例が登録されていますが、それらと同様に、ご自身で実践した防災対策を「地域防災Web」上に登録することで、他のユーザーに共有することができます。

図 50　実践事例登録画面

⑮ 防災対策チェックリストをチェックし、抽出された防災対策手法・事例を確認

さらに、おすすめの防災対策手法の元になっている（アカウント登録の際にチェックすることができる）「防災対策チェックリスト」を確認し、地域の防災対策の取り組み状況をチェックし、防災対策の取り組み状況を確認します。防災対策の課題としたいという場合は、「実施すべき課題」に追加し、必要ないと判断すれば削除することができます。

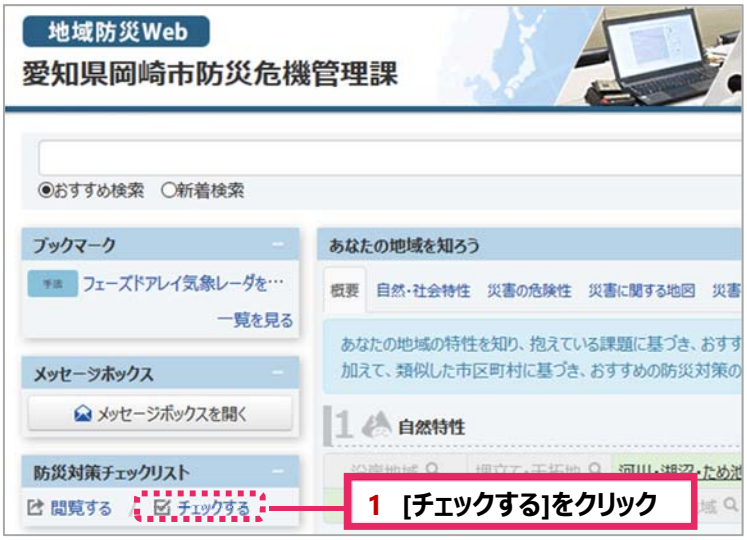


図 51　防災対策チェックリスト

⑯ アカウント情報の変更方法

アカウント情報を変更することができます。初期状態では、「所属者」の「役職」「名前」「メールアドレス」は仮の情報が入力されていますので、適切な情報に変更してください。また、「連絡窓口住所」等、必要があれば適宜変更します。「地域の防災リーダー」の場合、「活動範囲（地図）」の編集画面も表示されますので、必要があれば地域を追加します（「自治体防災担当者」の場合、表示されません）。

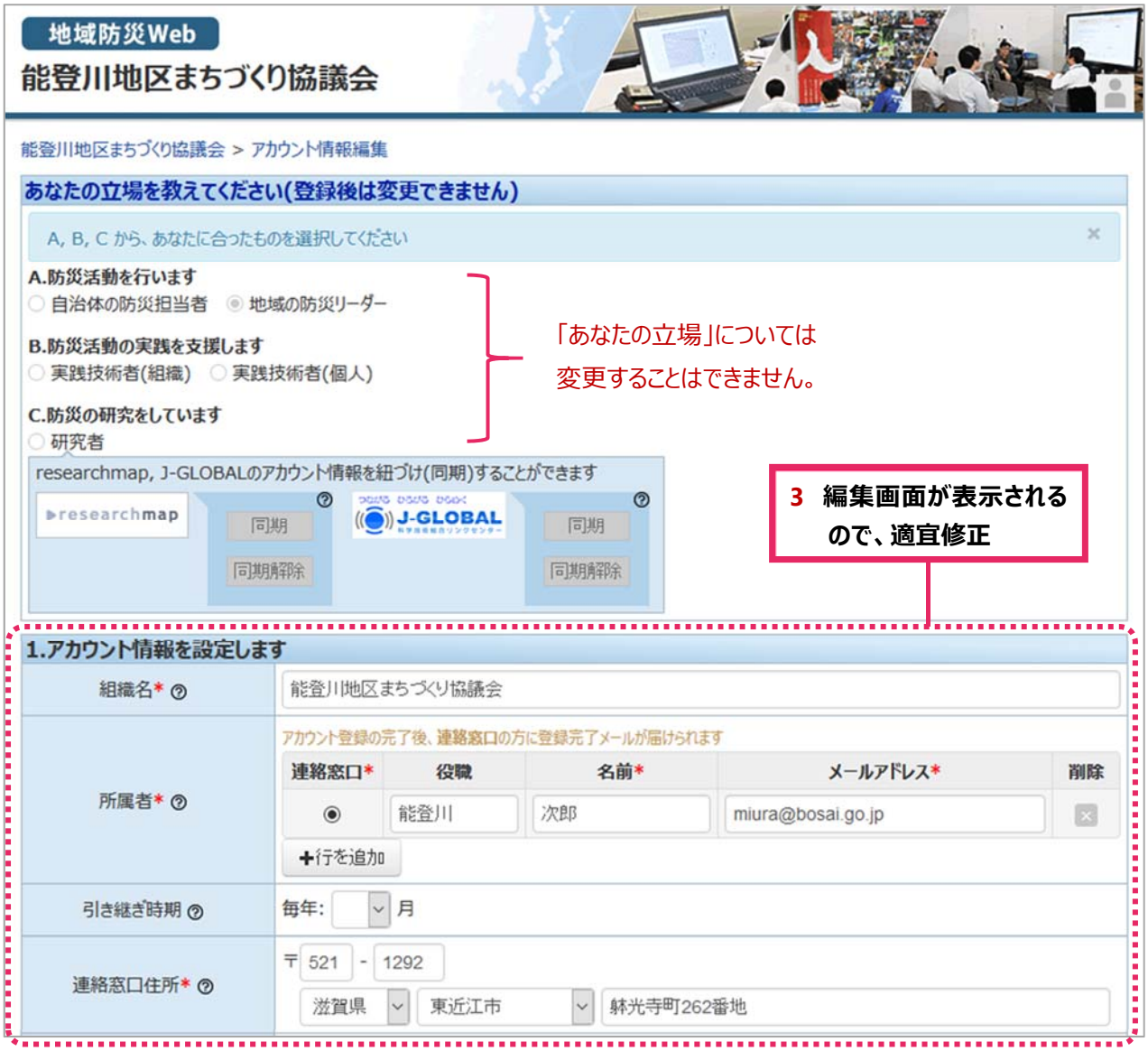


図 52 アカウント情報の変更

地域防災 Web

－基本機能の紹介と使い方－

(実証実験の手引き)

発　行　日：平成３０年３月

制作・著作：国立研究開発法人 防災科学技術研究所

http://risk.bosai.go.jp

資料２　コンテンツ継続登録マニュアル

地域防災Web
コンテンツ継続登録マニュアル

平成 30 年 3 月

変更履歴

Version	日付	変更内容
1.0	2018/3/20	初版作成

【目　次】

Ⅰ．地域防災 Web の趣旨	3
１－１．地域防災で求められるコンテンツとは（地域防災 Web の目的）	3
１－２．地域防災 Web の内容構成	3
1-2-1.　課題	4
1-2-2.　手法	5
1-2-3.　実践事例	5
１－３．コンテンツ画面の構成と解説	6
1-3-1.　「手法」コンテンツの画面構成	6
1-3-2.　「実践事例」コンテンツの画面構成	10
II．地域防災 Web への登録方法	13
２－１．コンテンツの登録方法（ユーザーによる登録方法）	13
2-1-1.　コンテンツ登録の種類と作業フロー	14
2-1-2.　簡易入力画面による登録の方法	14
2-1-3.　通常入力画面による登録の方法	15
（１）ユーザー登録	15
（２）詳細入力画面からのコンテンツ登録の手順	16
（３）「手法」コンテンツの登録要領	17
（４）「実践事例」コンテンツの登録要領	19
（５）入力済みコンテンツの「申請」	20
２－２．事務局による調査に基づく登録の方法（事務局による登録方法）	22
2-2-1.　既存の学術論文を元にしたコンテンツ作成作業の概要	22
2-2-2.　対象論文のコンテンツ化に当たっての基本方針	22
2-2-3.　学術論文の標準的な見方	22
2-2-4.　実例によるコンテンツ化作業の解説	24
2-2-5.「手法」コンテンツの作成についての解説	27
2-2-6.「実践事例」コンテンツの作成についての解説	35
2-2-7. 入力済みコンテンツの「申請」	40

【添付資料】

添付資料１：論文コンテンツ入力画面見本

添付資料２：原論文見本「仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発」

添付資料３：「地域防災 Web」画面見本　「手法」

添付資料４：「地域防災 Web」画面見本　「実践事例」

Ⅰ. 地域防災 Web の趣旨

1－1. 地域防災で求められるコンテンツとは（地域防災 Web の目的）

・ 「地域防災 Web」は、地域防災の現場で当事者として活動する地方自治体の関係及び地域の各種防災リーダーの取り組みを支援するため、研究成果としての防災対策実践手法（『手法』）、地域で実際に行われた防災対策の事例（『実践事例』）、地域防災に取り組む研究者・実践者・実践技術者の情報を収集・データベース化して、課題の解決に資することが期待される「手法」や「実践事例」として情報提供する Web サービスを構築することが目的です。

・ そのため、「手法」及び「実践事例」といった「地域防災 Web」に掲載するコンテンツは、主な対象として想定する地方自治体の防災担当職員、地域の防災リーダーなどの一般の人から見て、わかりやすく、読みやすい内容となっていることが重要です。

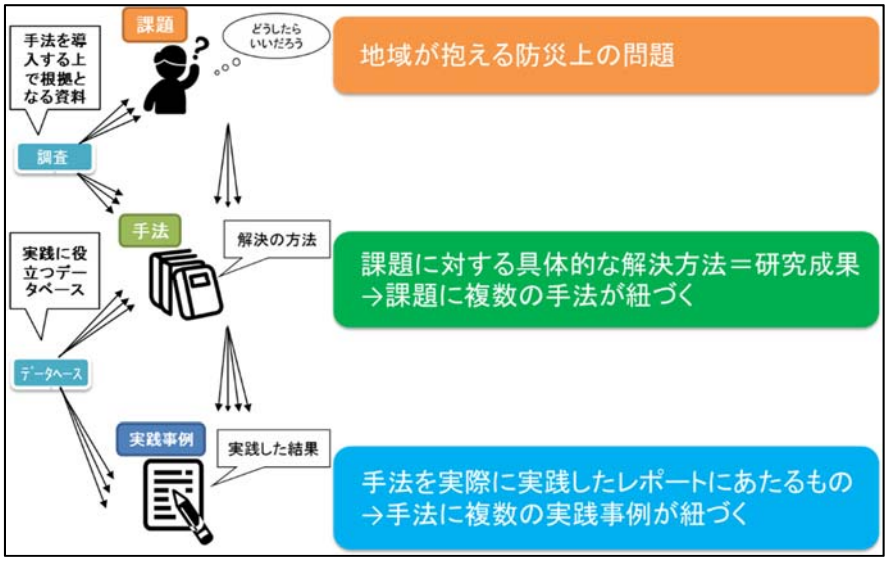
【図－1：「地域防災 Web」トップ画面】

1－2. 地域防災 Web の内容構成

・ 前出の目的意識に沿って、「地域防災 Web」のコンテンツは、「課題」、「手法」、「実践事例」、「調査」、「データベース」、「防災知恵袋」など現在、11 種類のコンテンツ項目を用意しています。

・ 以下に、図を用いてこれらの「課題」、「手法」、「実践事例」のコンテンツのそれぞれの位置づけについて説明します。

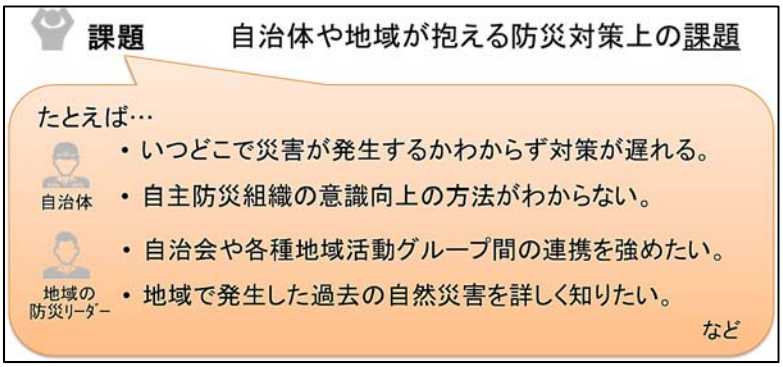
・ 「地域防災 Web」のコンテンツの全体像を簡便に図示したものが次の図－２になります。



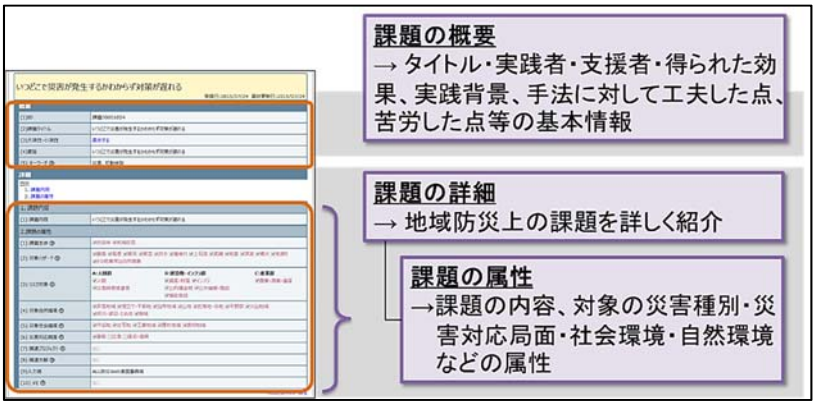
【図－2：「課題」、「手法」、「実践事例」コンテンツ間の関係】

1-2-1. 課題

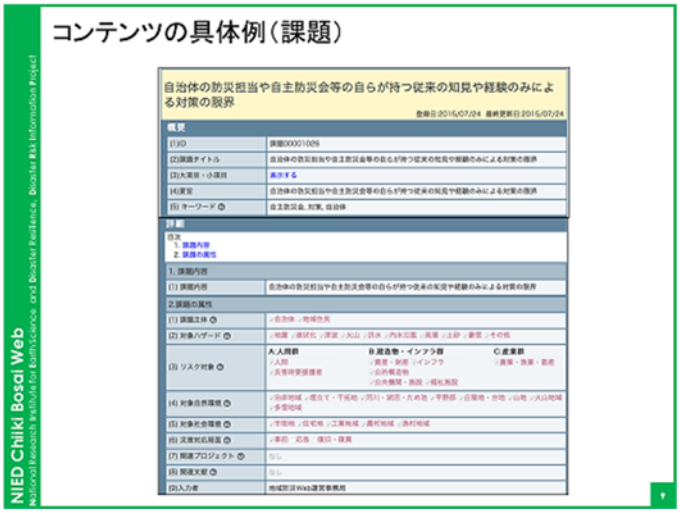
・ 「課題」は、「地域防災 Web」の想定利用者である基礎自治体の防災担当者が抱えている課題を把握するため平成 25 年度にアンケート調査を実施し、その結果に基づいて作成したコンテンツです。（図－３～図－５参照）



【図－３：防災対策実践に関するコンテンツの種類】



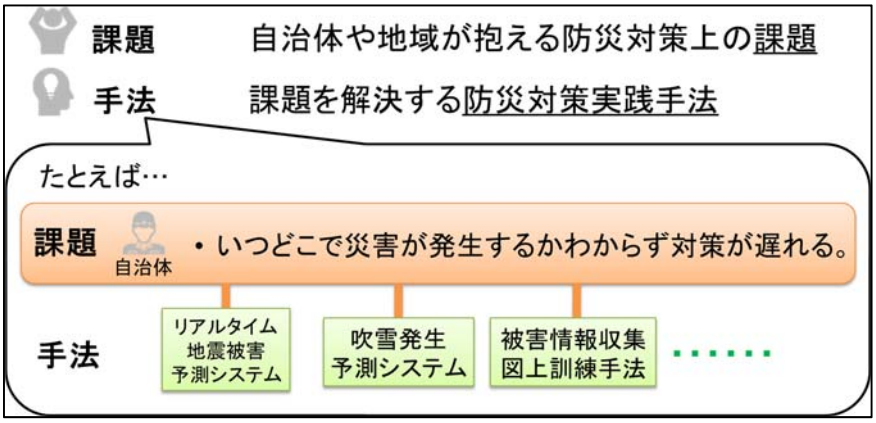
【図－４：「課題」の画面構成】



【図－5：「課題」コンテンツの具体例】

1-2-2. 手法

・ 「手法」は、（1）で示した「課題」コンテンツのそれぞれの課題解決に資する方法論の例として、防災関連の研究成果を収集し、その要旨を簡潔に要約したものです。（図－6参照）



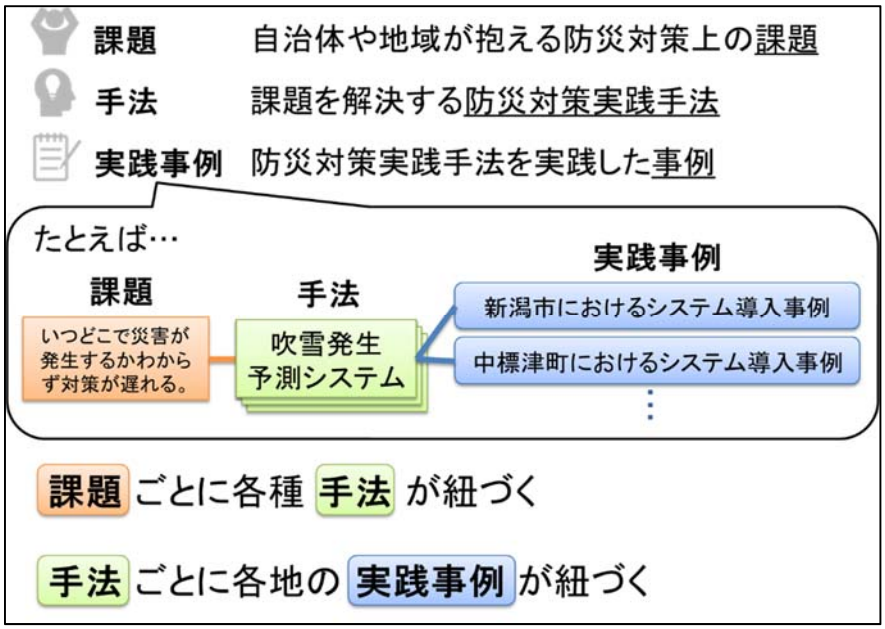
【図－6：防災対策実践に関するコンテンツの種類】

・ 従って、個々の「手法」コンテンツは、「課題」コンテンツに含まれるいずれかの「課題」と紐付けられています。

・ 「手法」コンテンツの内容詳細については、1-3-1 において詳述します。

1-2-3. 実践事例

・ 「実践事例」のコンテンツは、（2）「手法」で紹介した研究成果を実証実験等の形で実践した事例を紹介してものです。



【図－7：防災対策実践に関するコンテンツの種類

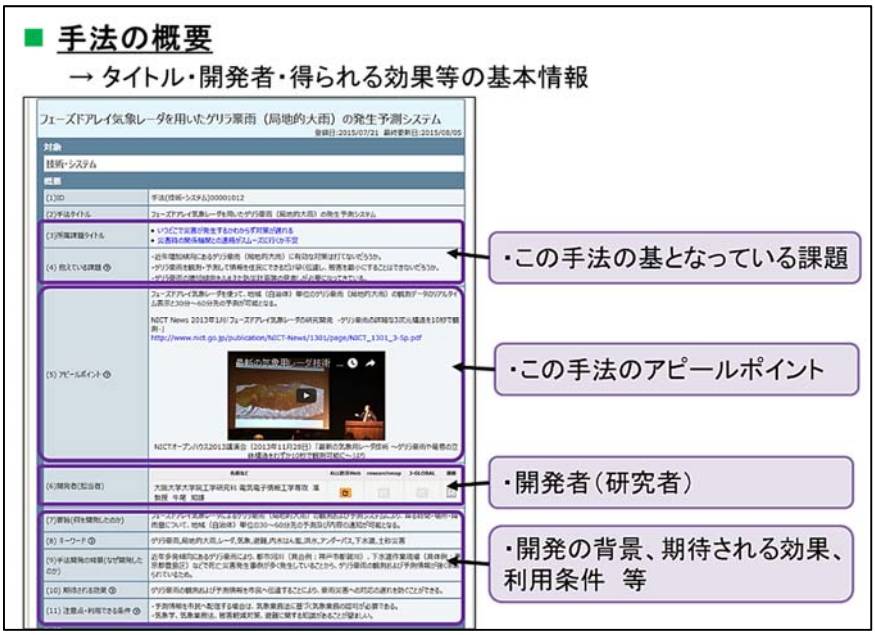
・ 従って、「実践事例」のコンテンツは、その元となる特定の「手法」のコンテンツ、及び「課題」のコンテンツと紐付けられています。
・ 但し、「実践事例」コンテンツには、「手法」に示された特定の研究成果以外に、地方自治体や地域の自主防災組織等が独自に試行錯誤して取り組んだ防災関連活動の事例や、実際の災害時の特徴ある取り組みの事例なども収集しています。
・ そのような事例でも、その「実践事例」が「課題」コンテンツに含まれるいずれかの防災対策上の課題と紐付けられています。
・ なお、「実践事例」の内容詳細については、1-3-2 において詳述します。

1－3. コンテンツ画面の構成と解説

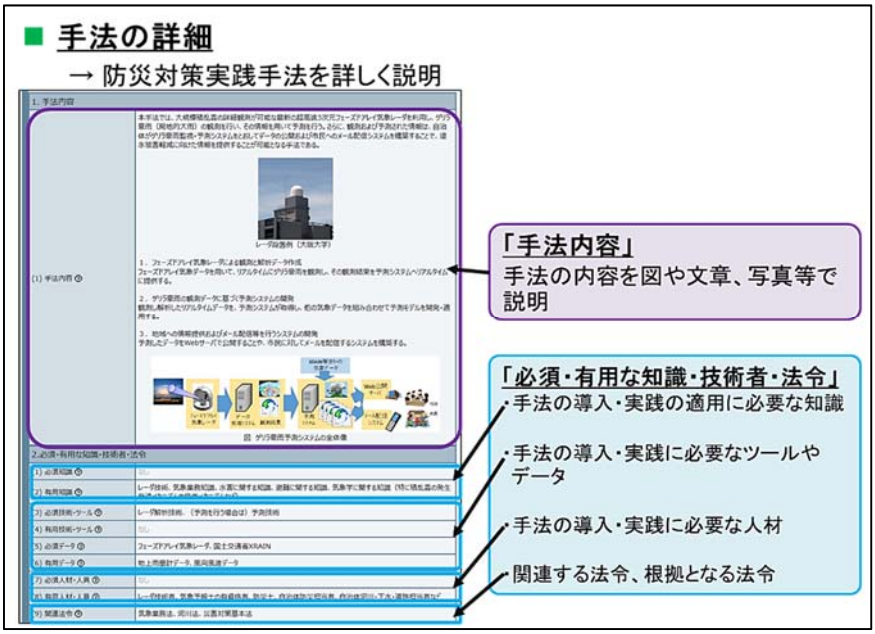
・ コンテンツの登録方法について説明する前に、「「手法」と「実践事例」の内容構成について、以下に具体的に説明します。

1-3-1.「手法」コンテンツの画面構成

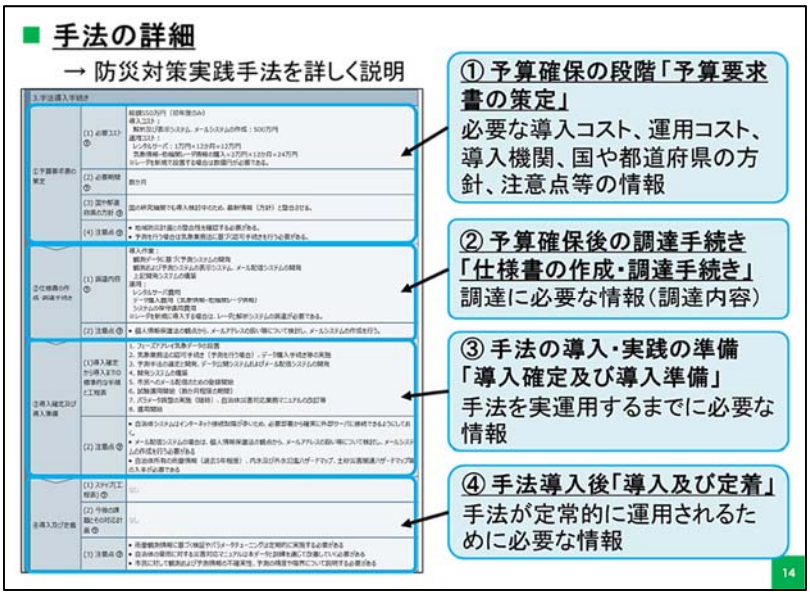
・ 「手法」のコンテンツは、図－８～図－１１に示したような主な内容項目から構成されます。



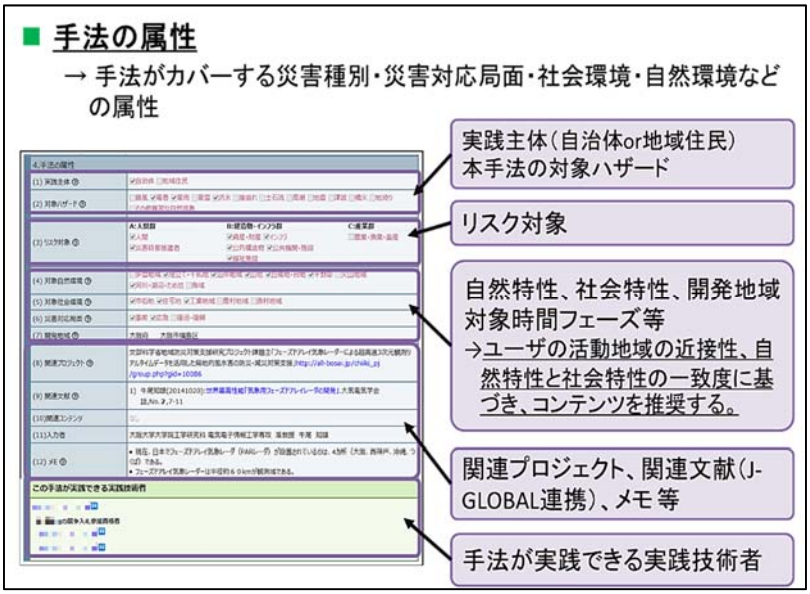
【図－8：「手法」コンテンツの画面構成1】



【図－9「手法」コンテンツの画面構成2】



【図－10:「手法」コンテンツの画面構成3】



【図－11:「手法」コンテンツの画面構成4】

・ 下表に、「手法」コンテンツを構成する各項目について書かれるべき概要を整理します。

項目名			概要
要約	手法のタイトル		当該手法コンテンツの表題。
	著者名		コンテンツの主執筆者名。
	要約	概要	どういう課題を解決するための手法であるのかがわかるよう、平易な表現で内容を簡潔に要約。（50 文字前後）
		特徴	当該手法の他にない独自性、新規性などがわかるよう、キーワードなどを含めて平易な表現で簡潔に要約。（50 文字前後）
		適用条件	当該手法を実施するに当たって、必要となる技術や資源などの制約事項や注意点があれば平易に簡潔に要約。（50 文字前後）
	対象		当該手法が、教育・研修・訓練等の人的運用の方法論、ノウハウ等の場合は「防災活動」を、特定の工学的技術や IT ツールなどの開発に関する場合は「技術・手法」を選択。

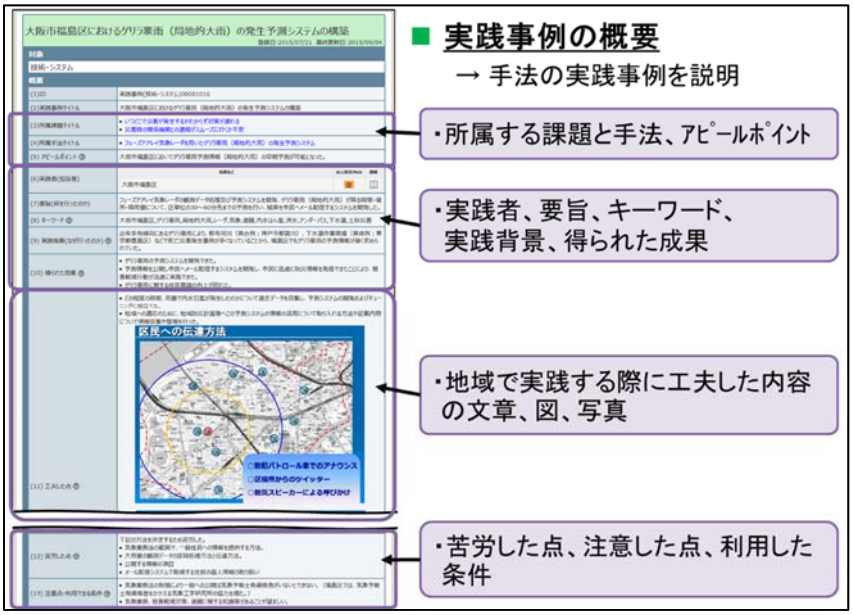
項目名		概要
概要	(1) ＩＤ	事務局側で公開時に付与されるので記入不要。
	(2)手法タイトル	「記載」の「手法のタイトル」と同じ。
	(3)所属課題タイトル	選択画面から、既に公開されている「課題」のどれに対応するかを選択。複数選択可能。
	(4)抱えている課題	当該手法が解決しようとする課題の具体的内容を箇条書きなどを用いて簡潔に記載。
	(5)アピールポイント	当該手法の、既存の類似の手法に比べた新規性、独自性を簡潔に記載。
	(6)開発者（担当者）	当該手法の開発に当たった著者以外の主要参加者名を追加。（必要があれば）
	(7)要旨（何を開発したのか）	「記載」の「特徴」で述べた当該手法の新規性、独自性について、箇条書きなどを用いて、より具体的に解説。
	(8)キーワード	当該手法を検索する際に、検索キーワードとして適切な単語を記入。（複数記述可）
	(9)手法開発の背景（なぜ開発したのか）	当該手法を開発するに至った社会的・歴史的背景や状況、当該手法を活用して欲しい対象者のニーズなどについて簡潔に記載。
	(10)期待される効果	当該手法を用いることで、どういう課題に対してどういう効果が期待できるかを簡潔に記載。
	(11)注意点･利用できる条件	当該手法を用いる際に必要な資源、ノウハウや当該手法の適用対象の範囲、当該手法の残存課題などを献血に記載。
1 手法内容	(1) 手法内容	当該手法の具体的内容、開発経緯、実施手順、手法の実施によって得られるアウトプット（データや各種指標など）などを箇条書き、図表などを適切に用いてわかりやすく簡潔に記述。
2 必須・有用な知識・技術者・法令	(1)必須知識	当該手法を実施する際に不可欠な専門的・技術的な知識があれば簡潔に提示。
	(2)有用知識	不可欠ではないが、あれば当該手法の実施に役立つ関連する専門的・技術的な知識を簡潔に提示。
	(3)必須技術・ツール	当該手法の実施に不可欠な専門技術・ツールがあれば、簡潔に提示。
	(4)有用技術・ツール	不可欠ではないが、あれば当該手法の実施に役立つ関連する専門技術・ツールを簡潔に提示。
	(5)必須データ	当該手法の実施上、不可欠な国・自治体や各種公共機関、専門機関が作成するデータ、資料などがあれば簡潔に提示。
	(6)有用データ	不可欠ではないが、当該手法の実施上、あれば当該手法の実施に役立つ関連するデータ、資料を簡潔に提示。
	(7)必須人材・人員	当該手法の実施に当たって不可欠な人材、自治体職員、専門家、地域の関係者などを提示。
	(8)有用人材・人員	当該手法の実施に当たって不可欠ではないが、いると役立つ人材、自治体職員、専門家、地域の関係者などを提示。
3 手法導入手続き		当該手法を自治体で導入・実施するに当たり、過去の実績などから必要な予算、実施に当たって必要な資機材等の調達、手法導入の標準的な手順・工程、これら実施上の注意点などがわかる場合は、それらの要領・要点やポイントを簡潔に記述。
4 手法の属性	(1)企画する主体	当該手法を実施する際の主体を「自治体」、「地域住民」の選択肢から選択（複数選択可）。
	(2)対象ハザード	当該手法が対象とするハザードの種類を選択肢から選択（複数選択可）。
	(3)リスク対象	当該手法が対象とする想定被災者、被災資産、産業を選択肢から選択（複数選択可）。
	(4)対象自然環境	当該手法が対象とする想定被災地域の種類を選択肢から選択（複数選択可）。
	(5)対象社会環境	当該手法が想定する地裁地域の種類を選択肢から選択（複数選択可）。
	(6)災害対応局面	当該手法が有効な、災害対応上のフェーズを選択肢から選択（複数選択可）。
	(7)開発地域	当該手法の開発を行った地域、またはモデルとした地域があれば記載。
	(8)関連プロジェクト	当該手法が他の各種プロジェクトの一環、または関連性を持つ場合には、そのプロジェクト名を記載。
	(9)関連文献	当該手法の理解、実施に当たって役立つ文献資料があれば、その名称等を記載。
	(10)関連コンテンツ	地域防災 Web に掲載済みの手法、実践事例のコンテンツで、当該手法に関連

		するコンテンツがあればそのタイトルを記載。
項目名		概要
	(11)入力者	原則として、著者と同じ。
	(12)メモ	当該コンテンツの利用者に対して、特記事項があれば記載。
この手法が実践できる実践技術者・研究者 (1)実践技術者・研究者		原則として、著者と同じ。

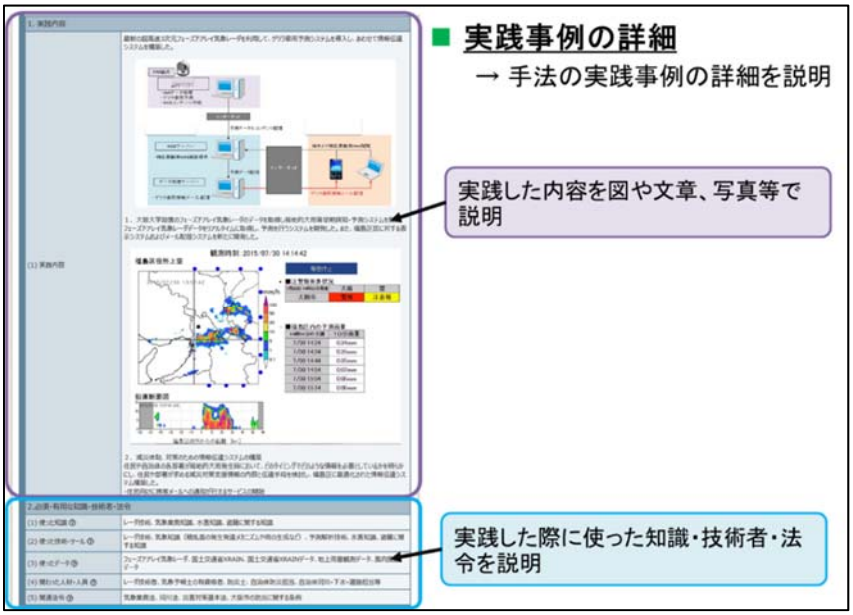
【表－1:「手法」コンテンツの項目概要】

1-3-2.「実践事例」コンテンツの画面構成

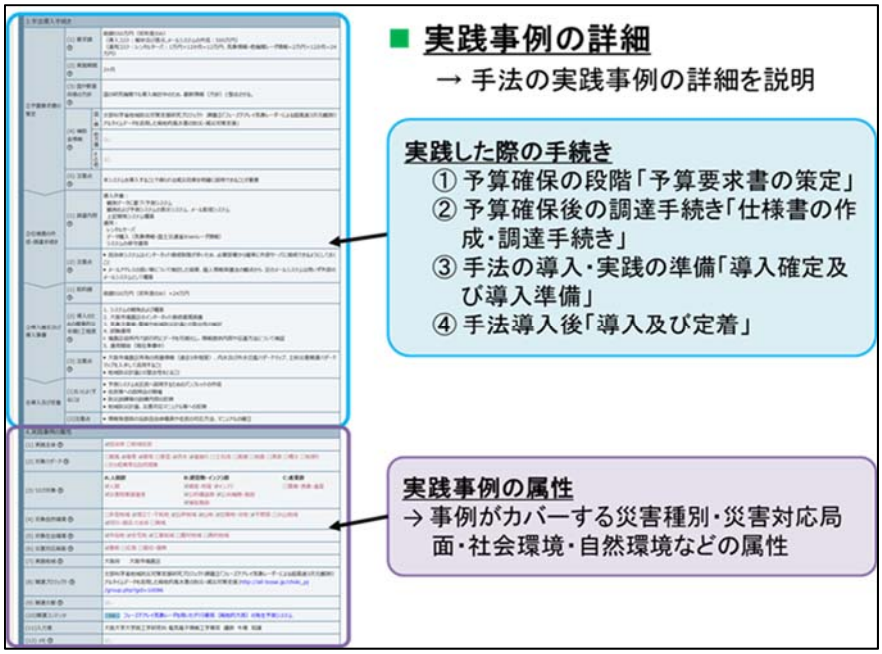
・ 「実践事例」のコンテンツは、図－１２～図－１４に示したような主な内容項目から構成されます。



【図－12:「実践事例」コンテンツの画面構成1】



【図－13:「実践事例」コンテンツの画面構成2】



【図－14:「実践事例」コンテンツの画面構成3】

・ 下表－２に、「実践事例」コンテンツを構成する各項目について書かれるべき概要を整理します。

項目名		概要
	実践事例のタイトル	当該実践事例コンテンツの表題。
	対象	当該実践事例が、教育・研修・訓練等の人的運用の方法論、ノウハウ等に関するものである場合は「防災活動」を、特定の工学的技術や IT ツールなどの開発に関する場合は「技術・手法」を選択。
概要	(1) ＩＤ	事務局側で公開時に付与されるので記入不要。
	(2) 実践事例タイトル	「要約」の「実践事例のタイトル」と同じ。
	(3) 所属手法タイトル	当該実践事例が、掲載済みの特定の「手法」コンテンツと紐付けられる場合は、その「手法」タイトルを「検索」で表示される「手法」一覧の中から選択。特定の「手法」と紐付かない場合は「手法なし」を選択。
	(4) 所属課題タイトル	上で「手法なし」を選択した場合は、当該実践事例が対象とする「課題」タイトルを「検索」で表示される「課題」一覧の中から選択（複数選択可）。
	(5) アピールポイント	当該手法の、既存の類似の手法に比べた新規性、独自性を箇条書きなどを使って簡潔に要約。
	(6) 実践者（担当者）	当該事例の実践に当たった著者以外の主要参加者名があれば追加。
	(7) 要旨（何を行ったのか）	当該実践事例で行ったことの要旨を箇条書きなどを使って簡潔に記載。
	(8) キーワード	当該実践事例を検索する際に、検索キーワードとして適切な単語を記入。（複数記述可）
	(9) 実践背景(なぜ行ったのか)	当該実践事例が行われた社会的・歴史的背景や状況、当該実践事例が参考になると思われる対象者のニーズなどについて簡潔に記載。
	(10) 得られた効果	当該実践事例で、どういう課題に対してどういう効果が得られたかを簡潔に記載。
	(11) 工夫した点	当該実践事例の実施に当たって工夫した点があれば簡潔に記載。
	(12) 苦労した点	当該実践事例の実施に当たって苦労した点があれば簡潔に記載。
	(13) 注意点･利用できる条件	当該実践事例と同じことを自治体、地域の自主防災組織等で行う場合に注意すべき点、または実践に当たって不可欠な資源やツール、ノウハウなどがあれば関係に記載。

項目名		概要
1 実践内容	(1) 実践内容	当該実践事例の具体的内容、開発経緯、実施手順、手法の実施によって得られるアウトプット（データや各種指標など）などを箇条書き、図表などを適切に用いてわかりやすく簡潔に記述。
2 必須・有用な知識・技術者・法令	(1)使った知識	当該事例を模倣する際に不可欠な専門的・技術的な知識があれば簡潔に提示。
	(2)使った技術・ツール	当該事例を模倣する際に不可欠な専門技術・ツールがあれば簡潔に提示。
	(3)使ったデータ	当該事例を模倣する際に、不可欠な国・自治体や各種公共機関、専門機関が作成するデータ、資料などがあれば簡潔に提示。
	(4)関わった人材・人員	当該実践事例の実施に当たって中心となって参加した人材、自治体職員、専門家、地域の関係者などを提示。
3 手法導入手続き		当該実践を自治体で模倣・踏襲して実施するに当たり、過去の実績などから必要な予算、実施に当たって必要な資機材等の調達、手法導入の標準的な手順・工程、これら実施上の注意点などがわかる場合は、それらの要領・要点やポイントを簡潔に記述。
4 実践事例の属性	(1)企画する主体	当該実践事例を実施する際の主体を「自治体」、「地域住民」の選択肢から選択（複数選択可）。
	(2)対象ハザード	当該実践事例が対象とするハザードの種類を選択肢から選択（複数選択可）。
	(3)リスク対象	当該実践事例が対象とする想定被災者、被災資産、産業を選択肢から選択（複数選択可）。
	(4)対象自然環境	当該実践事例が対象とする想定被災地域の種類を選択肢から選択（複数選択可）。
	(5)対象社会環境	当該実践事例が想定する地裁地域の種類を選択肢から選択（複数選択可）。
	(6)災害対応局面	当該実践事例が有効な、災害対応上のフェーズを選択肢から選択（複数選択可）。
	(7)開発地域	当該実践事例の開発を行った地域、またはモデルとした地域があれば記載。
	(8)関連プロジェクト	当該実践事例が他の各種プロジェクトの一環、または関連性を持つ場合には、そのプロジェクト名を記載。
	(9)関連文献	当該実践事例の理解、実施に当たって役立つ文献資料があれば、その名称等を記載。
	(10)関連コンテンツ	地域防災 Web に掲載済みの手法、実践事例のコンテンツで、当該手法に関連するコンテンツがあればそのタイトルを記載。
	(11)入力者	原則として、著者と同じ。
	(12)メモ	当該コンテンツの利用者に対して、特記事項があれば記載。

【表－2:「実践事例」コンテンツの項目概要】

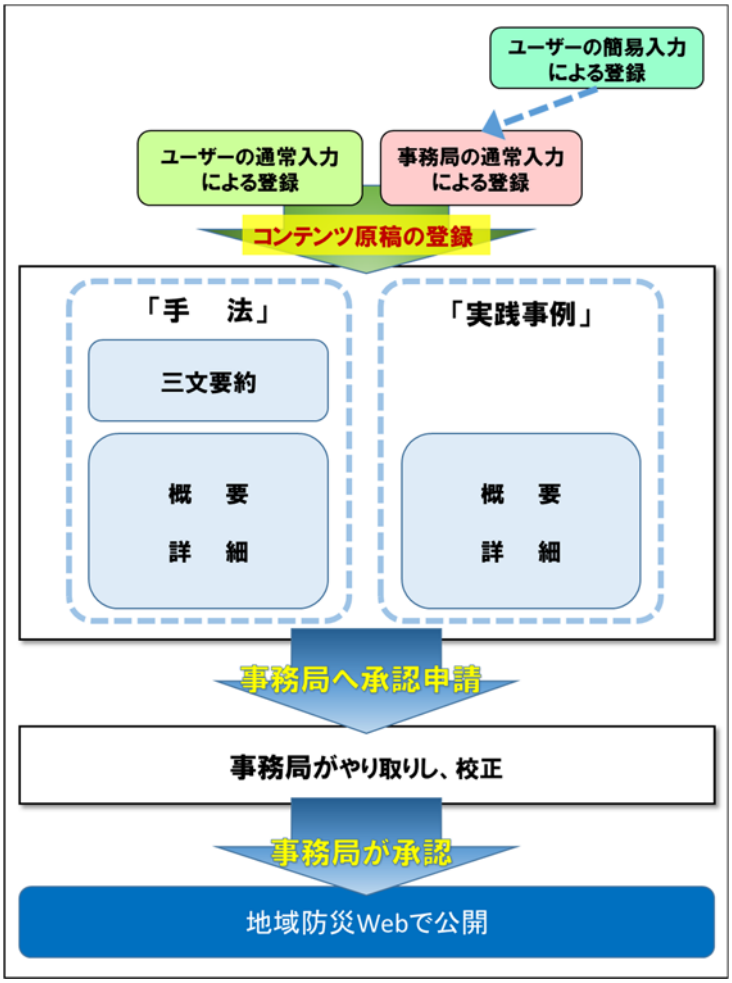
Ⅱ. 地域防災 Web への登録方法

・ 以下では、「手法」、「実践事例」のコンテンツの著作権者である研究者、自治体防災担当者、地域防災リーダーを「ユーザー」と称します。
・ コンテンツの登録方法については、ユーザーが直接、地域防災 Web に自らのコンテンツを登録する場合と、運営事務局が研究論文等の調査に基づいて登録する場合を分けて解説します。

2－1. コンテンツの登録方法（ユーザーによる登録方法）

2-1-1. コンテンツ登録の種類と作業フロー

・ コンテンツの登録方法は、図－１５に示す通り、ユーザーによる登録と事務局による登録の２種類があります。ユーザーは「簡易入力画面」でも入力できます。
・ 登録画面を用いて、上記の２種類の方法によって仮登録されたコンテンツ原稿は、一旦、事務局へ承認申請を行います。（簡易入力の原稿は事務局が校正後、通常入力画面から登録します。）
・ ユーザーが登録したコンテンツの原稿は、事務局が校正を行います。（簡易入力された原稿は、事務局が校正後、通常入力画面から登録します。）
・ 校正を経て、事務局がコンテンツ原稿を承認されると、地域防災 Web の画面上に、登録されたコンテンツとして公開されます。

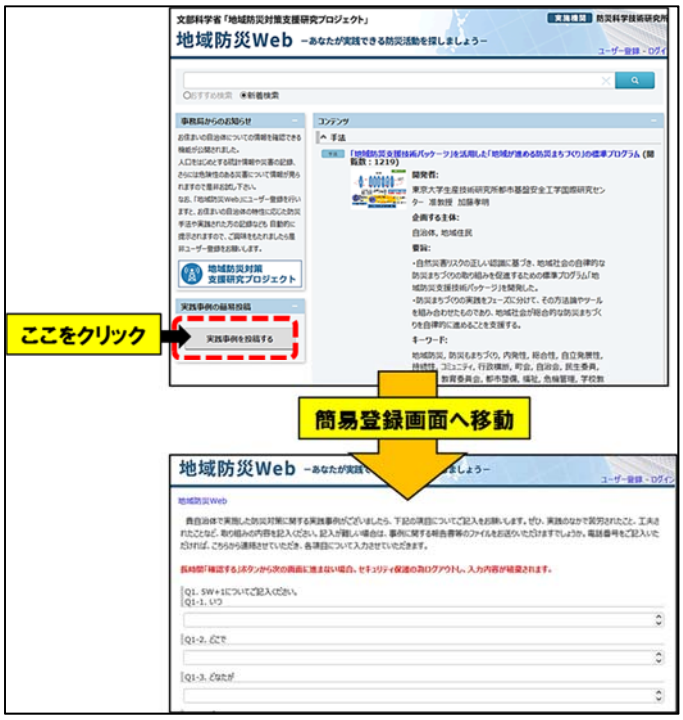


【図－１５：コンテンツ登録の種類と作業フロー】

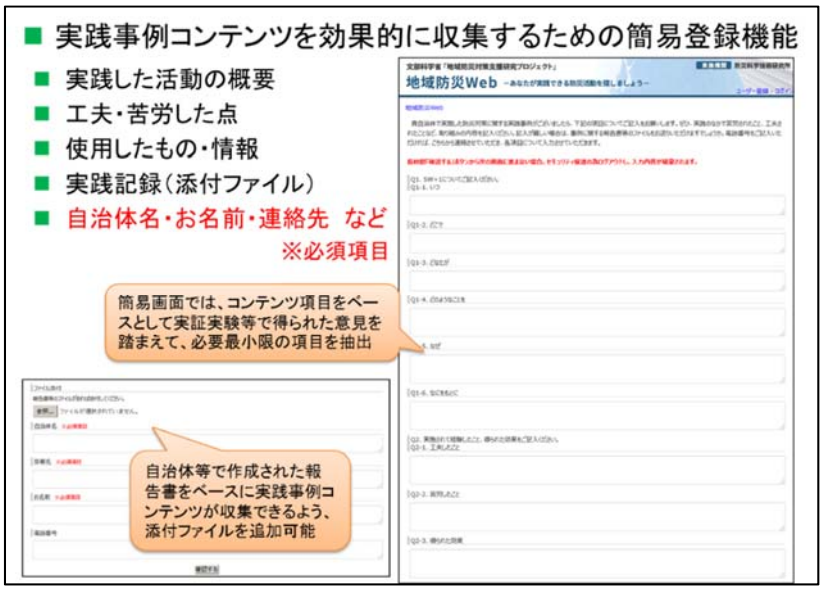
・ ユーザーによる登録には、実践事例について簡便に登録できるように用意した「簡易入力画面」による登録方法（但し、「実践事例」のみ登録が可能）と、「手法」、「実践事例」など全てのコンテンツを登録できる通常入力画面の二種類を用意しています。
・ それぞれを使ったコンテンツの登録方法を、以下に順次、解説します。

2-1-2. 簡易入力画面による登録の方法

・ 「実践事例」の登録に当たっては、下の図－１６～図－１７に図示した「実践事例簡易登録」の手順に従い、ユーザー登録なしに、実践事例のコンテンツ登録ができます。



【図－１６：「実践事例簡易登録」手順１】



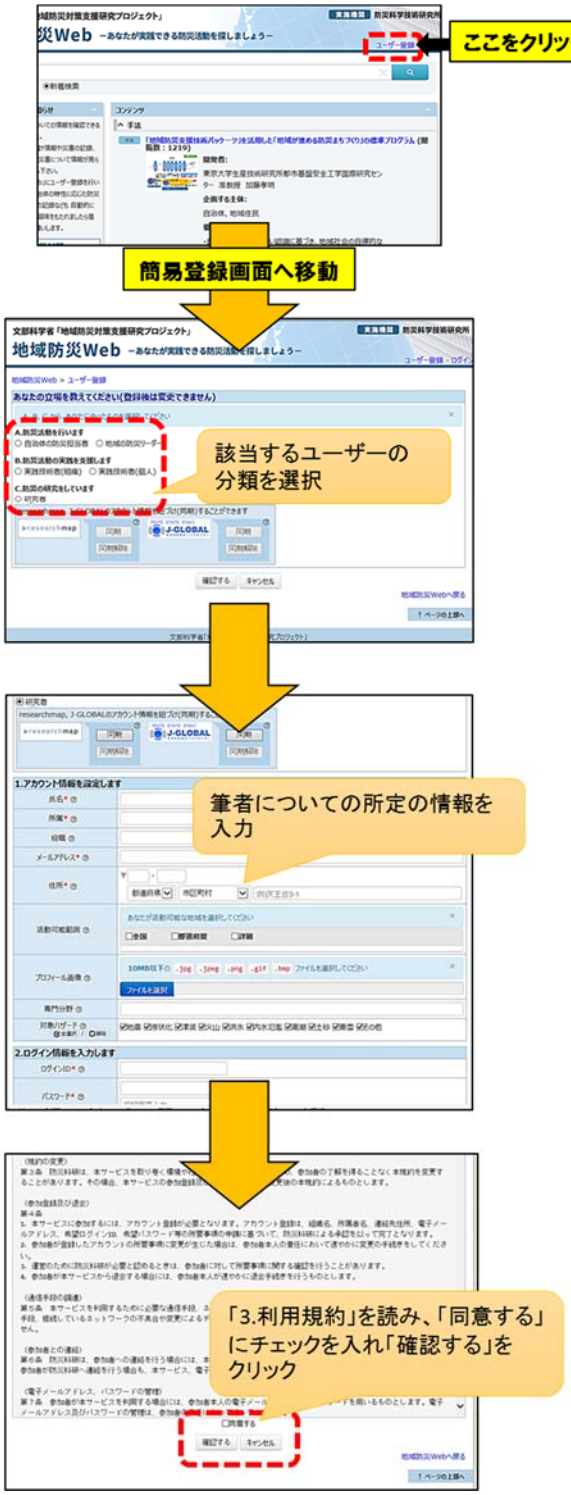
【図－１７：「実践事例簡易登録」手順２】

2-1-3. 通常入力画面による登録の方法

（1）ユーザー登録

・ 通常の詳細入力画面を使ってコンテンツを登録するには、先ず下の図－１８に示したユーザー登録手順に従い、ユーザー登録が必要です。

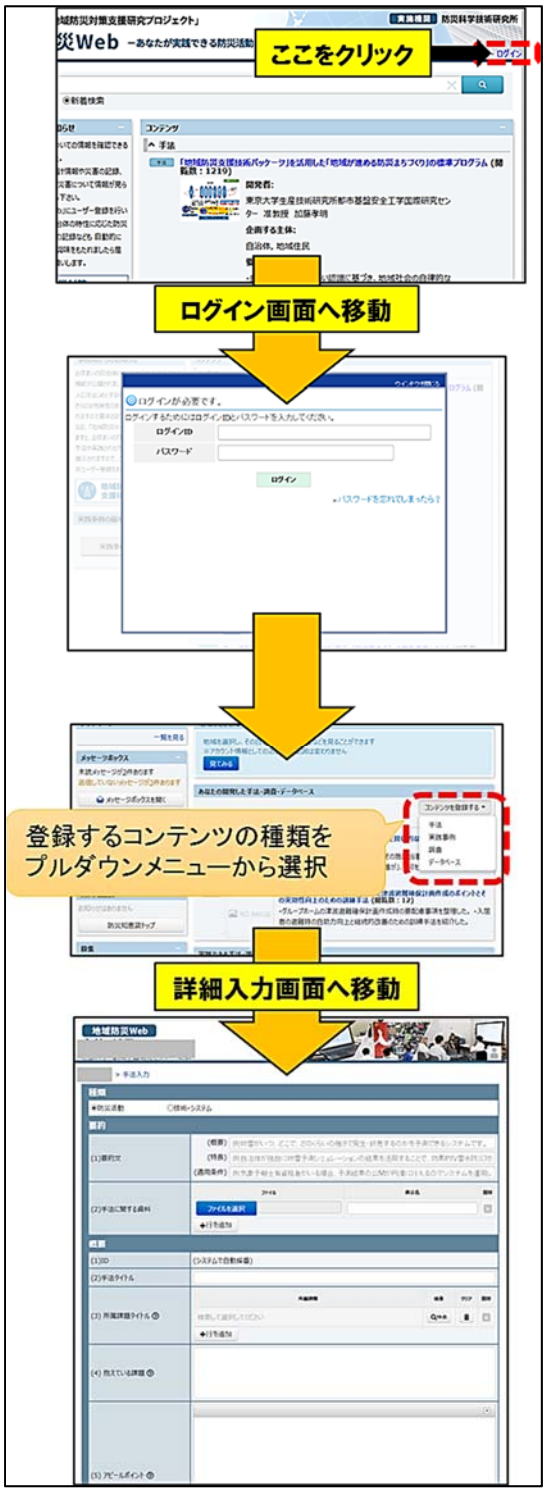
・ 登録後、１週間から１０日程度で、ログイン ID とパスワードがメールで通知されます。



【図－１８：「ユーザー登録」手順】

（２）詳細入力画面からのコンテンツ登録の手順

・ ユーザー登録が完了し、「ログイン ID」と「パスワード」が付与されたら、「地域防災 Web」のトップ画面右上の「ログイン」をクリックして、下の図－１９に図示した手順で、「手法」、「実践事例」の詳細入力画面へ進んでコンテンツ登録を行います。



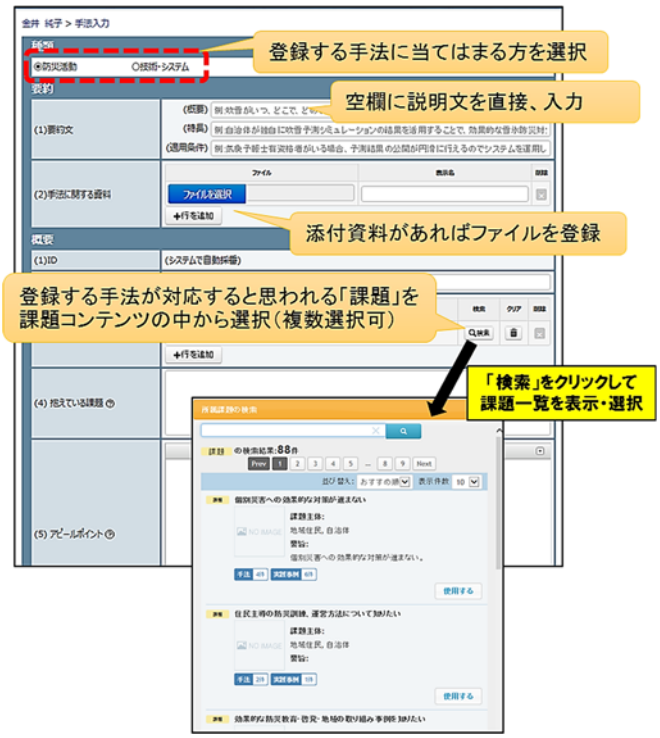
【図－１９：ユーザー・ログイン及び詳細入力手順】

（３）「手法」コンテンツの登録要領

・ 「手法」コンテンツの登録は、ユーザー・ログイン後、ユーザーのトップ画面の右側に表示される「コンテンツを登録する」をクリックして、コンテンツの種類を選ぶメニューを表示し、「手法」を選びます。

【図－２０：登録するコンテンツ種類の選択】

・ 選んだコンテンツに応じた詳細入力画面に画面が自動的に切り替わります。
・ 詳細入力の各項目については 2-1-1 で示した趣旨に沿ってそれぞれ入力します。
・ 「手法」コンテンツは、既に登録されている「課題」コンテンツのいずれかの防災対策上の「課題」への対応関係が必要（複数選択可）ですので、「(3) 所属課題タイトル」の欄で「検索」ボタンをクリックすると表示される「課題」一覧から、該当する「課題」を選びます。

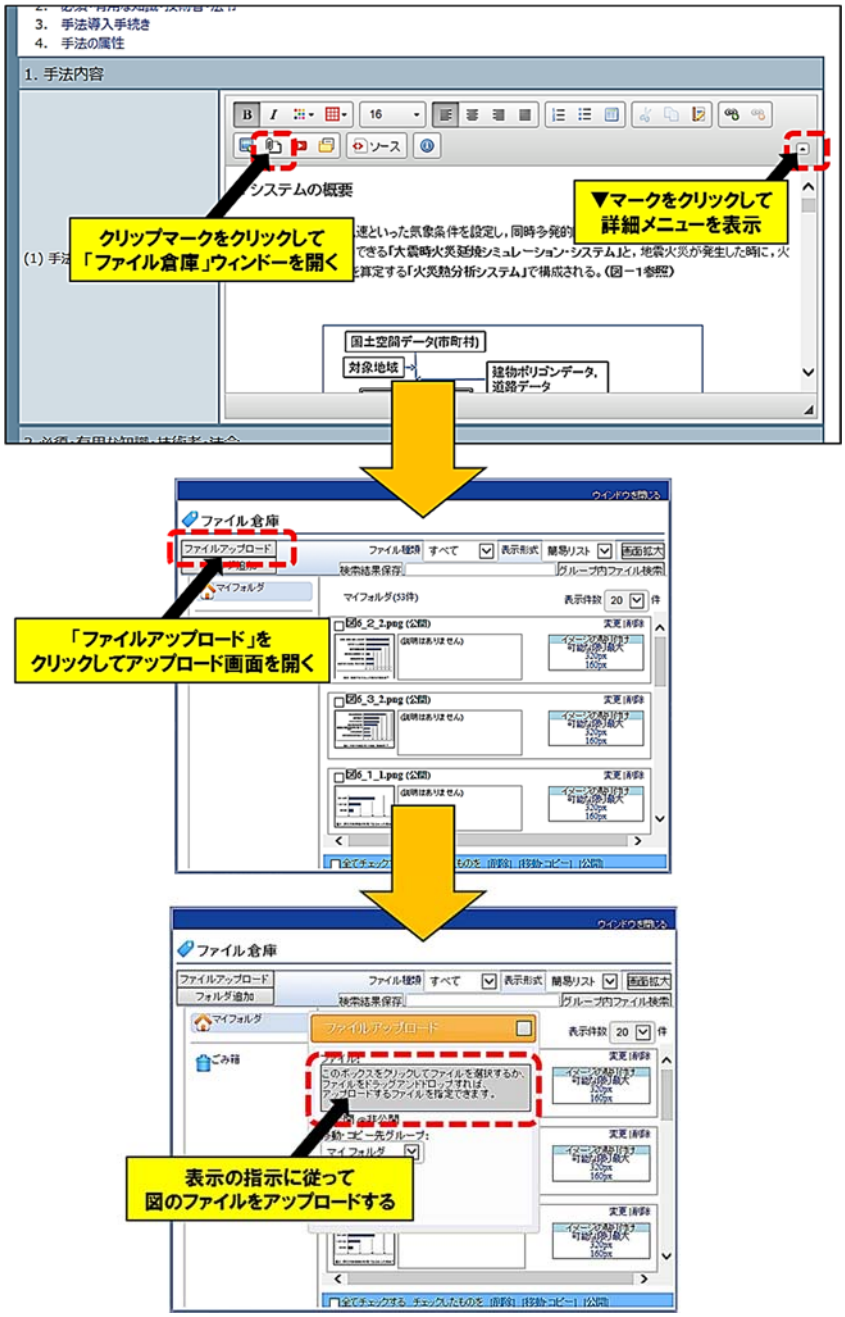


【図－２１：「手法」の詳細入力画面の基本操作】

・ 各欄の四角い空欄はテキストを直接入力することも、WORD や EXCEL、POWER POINT のファイルからコピー・ペーストとして文章を入力すできます。
・ 但し、「詳細」の「1. 手法内容／(1) 手法内容」などの欄に図を貼り込みたい場合には、図のファイルを別途、「ファイル倉庫」にアップロードし、アップロード済みのファイルの中から特定の箇

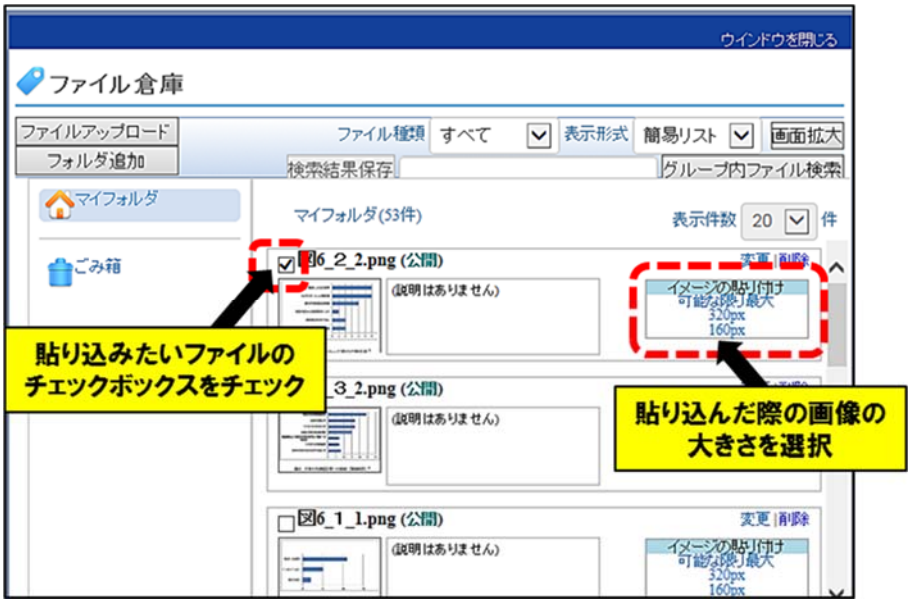
所に貼り込みたい図のファイルを選択するという手順を踏む必要があります。

・　下の図－２２に図示した例に倣って、先ず画像ファイルをアップロードします。



【図－２２：図等のファイルのアップロード手順】

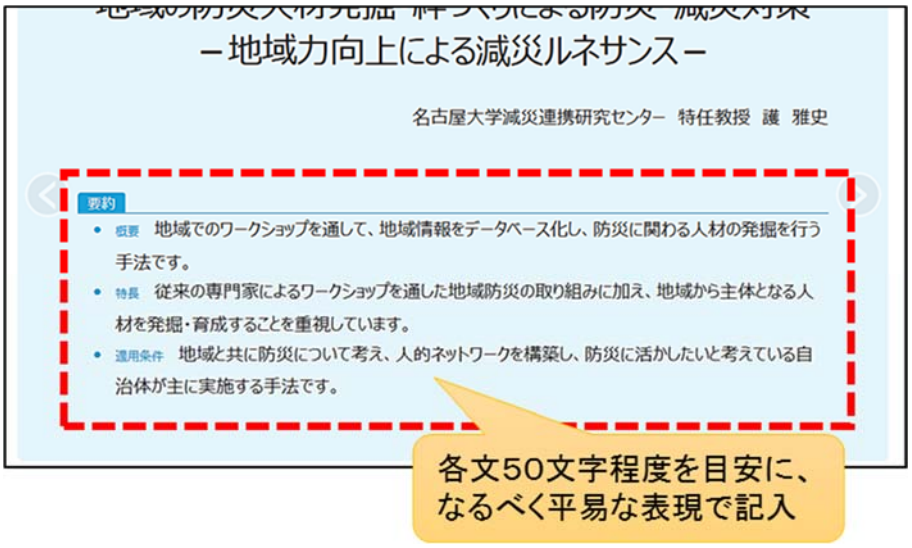
・　図のファイルがファイル倉庫にアップロードできたら、文中にその図を貼り込みたい場所で上記と同じ手順でファイル倉庫ウィンドーを呼び出すと、アップロード済みのファイル一覧が表示されますので、その中から貼り込みたい図のファイルを選び、図－２３に図示した要領でそのファイルを文中にロードすると図の貼り込みができます。



【図－２３：図等のファイルの貼り込み手順】

・ なお、「手法」の項目の中では、冒頭の「要約」の(1)「要約文」の３つの項目が、コンテンツ全体の見出しとなるため、以下の点に留意してご記入します。

- 「概要」、「特徴」、「適用条件」は、それぞれ 50 文字程度を目安として文章化する
- 極力、難しい専門用語の使用を避ける
- 文体は平易な言い回しとし、「です・ます」調の語尾を用いる



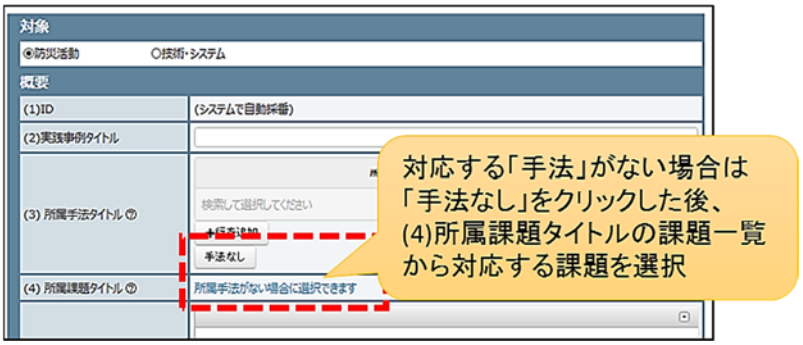
【図－２４：手法コンテンツの「要約」事例】

（４）「実践事例」コンテンツの登録要領

・ 「実践事例」のコンテンツは、特定の「手法」コンテンツと紐付くことを基本としているため、詳細入力に当たっては、「概要」の「(3)所属手法タイトル」の欄で、対応する登録済みの「手法」を選択画面から選んでください。（図－２５参照）

【図－２５：対応する「手法」コンテンツの選択手順】

・ 対応する「手法」がなく、「実践事例」単独でのコンテンツ登録の場合には、「手法なし」のボタンをクリックして選択します。
・ 対応する「手法」がない場合には、代わりに「手法」コンテンツと同様に、対応すると思われる「課題」を P.17 の図－２２に示したのと同じ要領で選択します。（図－２６参照）



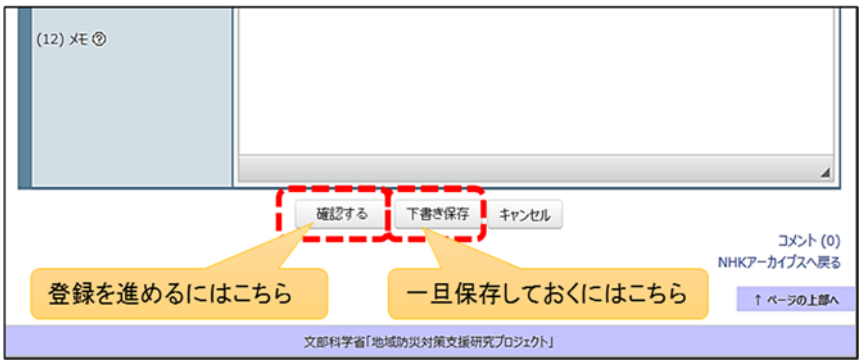
【図－２６：対応する「課題」の選択手順】

・ その他のコンテンツ登録要領は、（３）「手法」コンテンツの場合と同様です。
・ 但し、「実践事例」コンテンツの画面には、「手法」の「要約」の欄はありません。

（５）入力済みコンテンツの「申請」

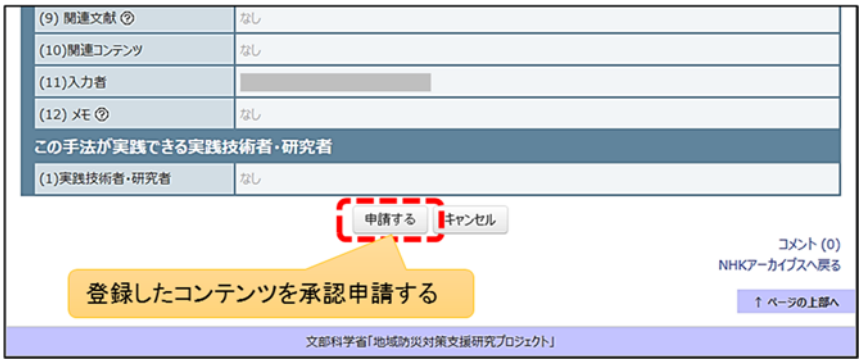
・ 登録画面の記入が終わりましたら、コンテンツの申請手続きが必要になります。登録されたコンテンツは公開される前に、事務局で内容を確認し、承認しないと地域防災 Web の公開コンテンツとしては公開できません。（「手法」、「実践事例」ともに共通。）

・ コンテンツ入力画面の入力が終わりましたら、画面最下部の「確認する」のボタンをクリックすると、入力した内容が地域防災 Web の公開用コンテンツ画面の形式で表示されますので、内容を再確認します。(「手法」、「実践事例」の種類にかかわらず同じ手続き)(図－２７参照)



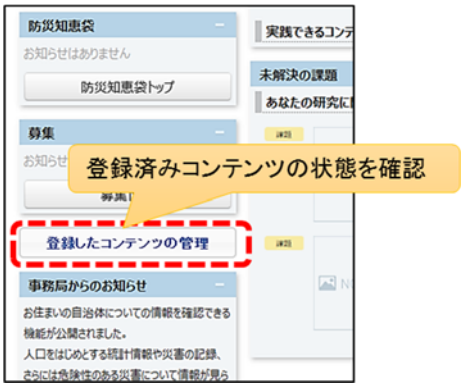
【図－２７：画面入力後の処理】

・ なお、事務局への申請手続きを進めず、入力内容を一旦保存しておきたい場合は「下書き保存」のボタンをクリックしてサーバーに入力内容を保存しておけば、後で再度、登録画面を呼び出して編集できます。
・ 入力した内容に問題なければ、図－２８に示すように画面最下部の「申請する」ボタンをクリックすると、入力内容の承認申請が事務局に出されます。



【図－２８：入力済みコンテンツの承認申請】

・ 事務局で登録したコンテンツが承認されると、地域防災 Web の公開コンテンツの画面に表示されるようになります。
・ 登録内容について、事務局側で修正が必要と判断した場合には、登録者にコンテンツが「差し戻し処理」されます。
・ 図－２９に示した承認申請後の登録したコンテンツの状態を確認するには、ユーザー・ログインした画面の左側に各種メニューが表示されますので、その一番下、「事務局からのお知らせ」の上にある「登録したコンテンツの管理」のボタンをクリックすると、登録した各種コンテンツの一覧を見ることができます。(図－２９参照)
・ 一時保存した画面もこちらに表示されますので、入力を続ける場合はこちらから保存済みのコンテンツの登録画面を開いて編集して下さい。



【図－２９：入力済みコンテンツの承認申請】

2－2. 事務局による調査に基づく登録の方法（事務局入力者のみ）

2-2-1. 既存の学術論文を元にしたコンテンツ作成作業の概要

・ コンテンツ作成作業とは、具体的にコンテンツ化の対象として選定された防災関連の学術論文について、「地域防災 Web」の主な対象者である地方自治体の防災担当職員、地域の防災リーダーにその概要･趣旨をわかりやすく説明することであります。

・ コンテンツ作成作業に当たっては、「通常入力画面」（p.15～参照）の各項目欄に、元の論文から該当する箇所の文章を抽出し、記入します。

・ ただし、論文から原文のまま書き写すだけでなく、読者である地方自治体の防災担当職員や地域の防災リーダーの人にもわかりやすいよう専門用語や言葉遣い、言い回しなどを適宜、修正・補筆などすることが必要です。（詳細については後述。）

2-2-2. 対象論文のコンテンツ化に当たっての基本方針

・ 元の学術論文をコンテンツ化する際には、以下の点を基本方針として留意する必要があります。

① **コンテンツは、主たる読者層である地方自治体の防災担当職員、地域の防災リーダーなどから見て、原論文の趣旨や要点が理解できるよう、極力、専門用語などを避けて、わかりやすい平易な言葉づかいを心がけること。特に、「手法」の「要約」（3文要約）、「概要」の欄内の項目の書き方には注意を払って作成する。**

② **「手法」の「手法内容」や「実践事例」の「実践内容」は、文字の羅列だけでは興味を持ちにくいので、原論文にある図や表を積極的に引用し、視覚的にも原論文の内容がわかりやすくなるよう配慮する。**

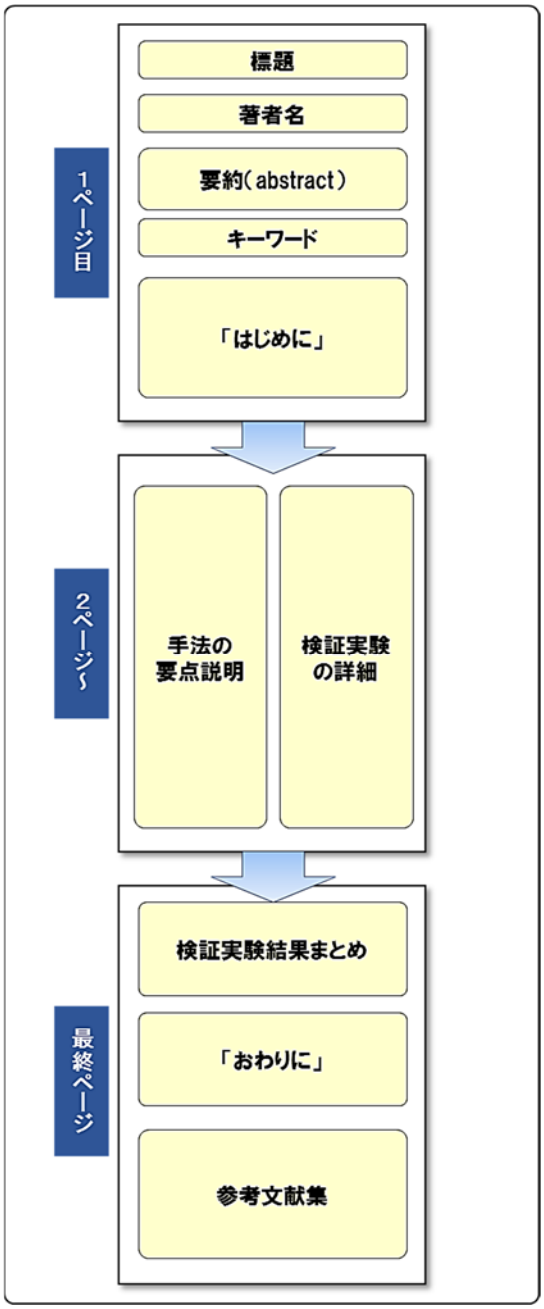
③ **図－2のコンテンツ間の関係図に示したように、「手法」はどういう「課題」をどのような方法で解決しようとしているのか、「実践事例」は「手法」の有効性･実効性が実証･検証できたのかどうか、が読者に伝わることを意識して、文章を作成する。**

2-2-3. 学術論文の標準的な見方

・ 対象論文からのコンテンツ化作業を進めるに当たっては、論文の構成形式を知っておくと、コンテンツ入力画面に入力していく際に、効率的に目的となる文章、文節を捜しやすくなります。

・ 防災関係の論文が多く掲載される土木学会論文集でよく見られる標準的な論文の内容構成（図－

３０参照）を参考に、特に重要な項目についてその要点をまとめます。（表－３参照）



【図－３０：標準的な学術論文の構成イメージ】

要約（abstract）	・ 当該論文で解説する「手法」を研究するに至った社会的背景・状況、 ・ この「手法」を用いて「何を解決・改善しよう」としているかという著者の目的意識、 ・ この「手法」の独自性、新規性（オリジナリティ）などを示す特徴やキーワード、などが手短に述べられている。

「はじめに」	・ この研究に着手するに至った社会的な背景、近年注目されている社会問題、法律の改正等政府の動向などが詳細に書かれている。 ・ 上記の社会的背景を受けて、本研究で開発した手法や方法論が、具体的に何の問題･課題の解決を目的としているかが、パラグラフの最後にまとめられている。
「手法」の説明	・ この研究で開発した「手法」が、どういう考え方や理論、先行研究などを踏まえて構想されたものか、 ・ シミュレーター等のコンピューター･プログラムなどを用いる場合はどういうモデルや既存のツール、データを活用しているか、 ・ 先行する研究（同著者のものも含む）に対して、どういう改善や修正が加えられているか、 ・ 「手法」の実施手順として、何をどういう順番で進めていくか、 等の「手法」の要件が、文節ごとにまとめられて、タイトルが付けられていることが多い。
「検証実験」の概説	・ 上の「手法」の有効性、実効性を実際に検証するために、どこかの地域で実践した事例が説明されている。 ・ どこの場所で、誰が参加して、どういうツール（コンピューター･プログラム等）やデータを用いて行ったかが、順を追って記述されている。特に、シミュレーター等のコンピューター･プログラムを使った場合にはその画面などの図版が掲載されている。 ・ 実験過程の中で参加者へのアンケート調査等を行っている場合は、その集計結果等が表やグラフで示されている。
「検証実験」のまとめ	・ 検証実験の結果がどうであったか、「手法」の開発目的がどれだけ達成、または実現できたのかについて、著者による評価や実験参加者の意見･感想などの形で記述されている。 ・ 当初の目標に対して十分に実現できなかった点や、実験の過程で新たに発見された問題点･課題、参加者による意見･要望などが終盤に箇条書きなどの形でまとめられていることが多い。
「おわりに」	・ 実験結果を踏まえて、この「手法」が当初の目的をどれだけ達成できたのか、従来の研究と比べてどのように異なる成果を挙げることができたのか、今後の改善点や残された課題は何であるのかなどが、論文の結論としてまとめられている。

【表－3：標準的な構成の論文でコンテンツ化作業に重要な箇所の特徴】

2-2-4. 実例によるコンテンツ化作業の解説

・ 以下では、対象論文のコンテンツ化作業を、「通常入力画面」の構成に即して、各項目欄の説明と、実際の記入事例を平行して解説します。

・ 事例としては、「地域での防災活動を企画実行できる防災リーダーの養成講習プログラム（手法(防災活動)00001121)」の「手法」コンテンツの作成事例を用います。

（注）論文コンテンツ入力画面の見本は「添付資料１」を参照のこと。

（注）原論文の PDF は「添付資料２」を参照。
（注）「地域防災 Web」の該当ページの見本は「添付資料３」を参照。

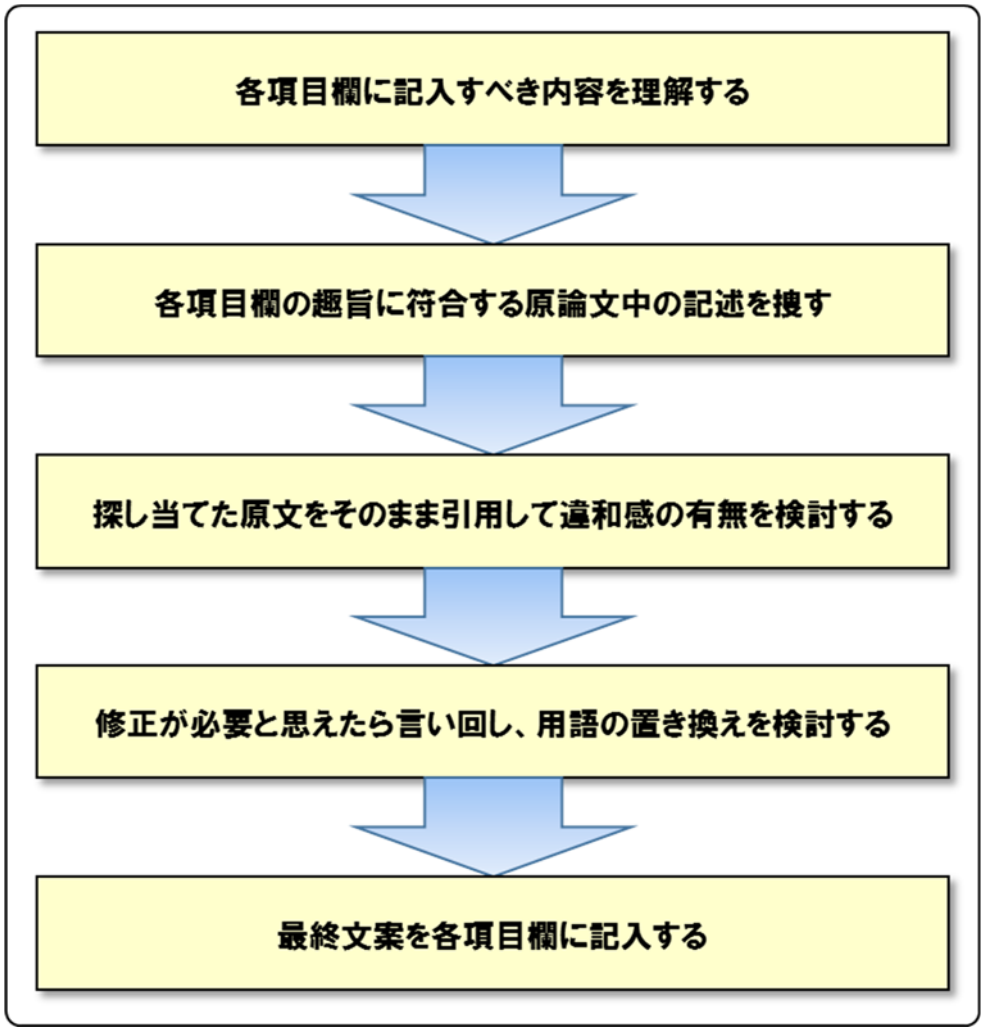
■　事例１:「地域での防災活動を企画実行できる防災リーダーの養成講習プログラム」

・　以下では、上記の対象論文を元に、「手法」のコンテンツの作成手順を、図－３１に示した「通常入力画面」の項目に即して記入した事例を示しながら、どの項目に原論文のどういう部分を踏まえて、適宜、要約文を入力していくかについて順次、具体的に示します。

【図－３１：「手法」の通常入力画面】

【注記】
・　各項目の入力は、原論文の該当する箇所の文章を踏まえて、必要に応じて適宜修正し、なるべく簡潔な文章として入力する。原文のまま引用できる場合は、引用した文章を入力する。
・　但し、後述する「手法」、「実践事例」の「属性」の（１）～（６）の項目は画面に示されている範例から該当するものを全て選んで記入する（複数選択）。

・ 論文コンテンツ入力画面の各項目欄に記入する際の作業手順・内容を図－３２に示します。
・ なお、各項目欄に記入後はその右横のセルに、原論文の引用箇所のページ番号、行番号を記載すること。これは後ほど、防災科学技術研究所の関係者が文案をチャックする際に、原文と照合してその是非や修正の要不要を判断するために必要です。

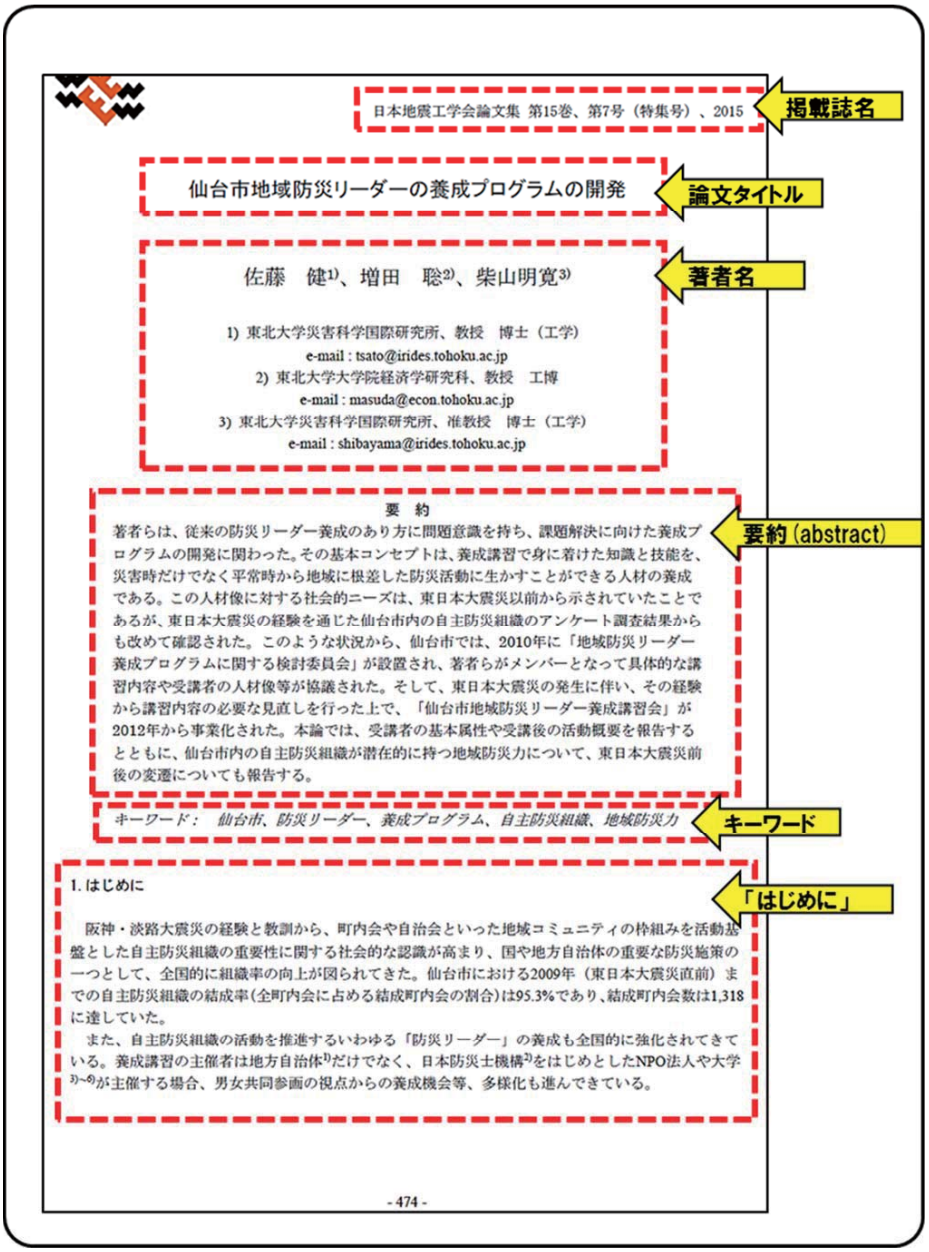


【図－３２：論文コンテンツ化入力の基本的な作業手順】

・ 次ページ以降では、「添付資料２：原論文見本「仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発」の論文を「手法」、「実践事例」のコンテンツに作成した例を取り上げて、コンテンツ作成の要領について解説します。

2-2-5.「手法」コンテンツの作成についての解説

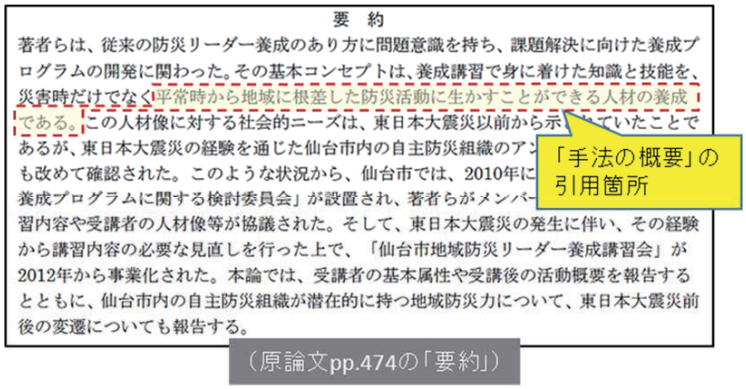
- 以下の表では、「項目名」に記された入力項目名を、「項目の説明」の列に各項目欄の意味・趣旨を、「記入事例」の列に最終的に「地域防災 Web」の画面に採用されている文章を、「引用した原文」の列に「記入事例」で採用した文例が、原論文のどの部分を踏まえて作成されたものであるのかについて、表の下に掲載した原論文の部分的写しと併せて提示します。
- なお、図－３３に示した原論文は、**『添付資料２：原論文見本「仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発」』**です。



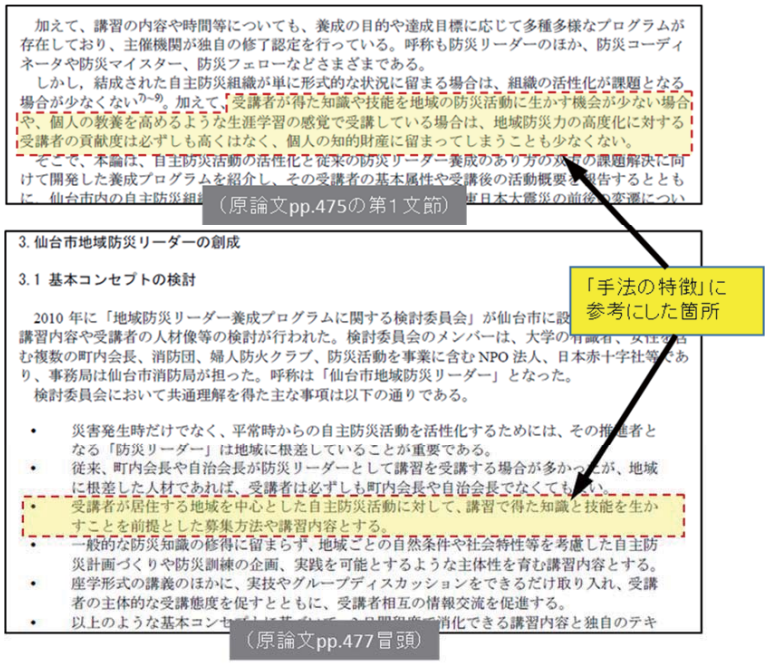
【図－33：原論文見本（1）】

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
対象者（企画する主体に相当）	右の2種類の対象者から該当するものを選択する	自治体、住民	
要約文（手法の概要；一文）	対象論文で解説されている課題解決のための手法を、原論文中の記述を踏まえ、一文で言い表せるよう工夫	平時から地域での防災活動を企画実行している人材を育成するための防災人材養成プログラムです。	注）図-34にも示した「要約」部分の記述を踏まえて作文。（図-34参照）
要約文（手法の特長；一文）	類似分野の他の手法と比べて、本論文に記載されている手法の特徴、独自性を言い表す表現を原文から探索して参照する	個人の防災知識の向上ではなく、受講者が身につけた知識や技能が地域活動で生かされるようなカリキュラム構成になっています。	注）図－35に示した原文中2箇所の記述を踏まえて作文。
要約文（手法の適用条件；一文）	本論文記載の手法を、自治体等で採用しようと考えた場合、その適否を判断する上で考慮すべき事柄があれば、該当する表記を踏まえて記述	募集の際は知識教養プログラムではなく、地域活動リーダーを育成するプログラムであることを十分に告知する必要があります。	注）図-36に示した原文の記述を踏まえて文章化。

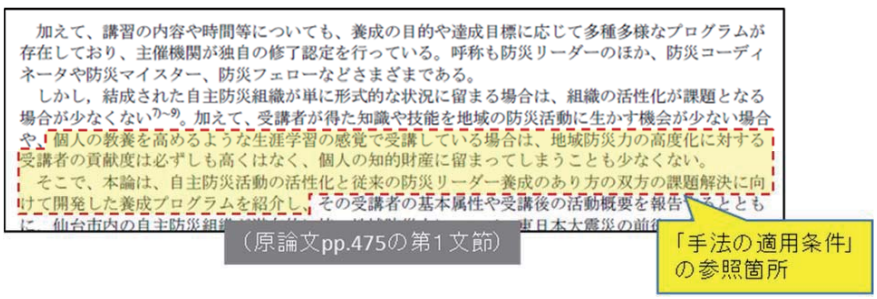
【表－4：「手法」コンテンツ作成事例2：概要】



【図－34：原論文見本（2）】（※図－の「要約」と同一箇所）



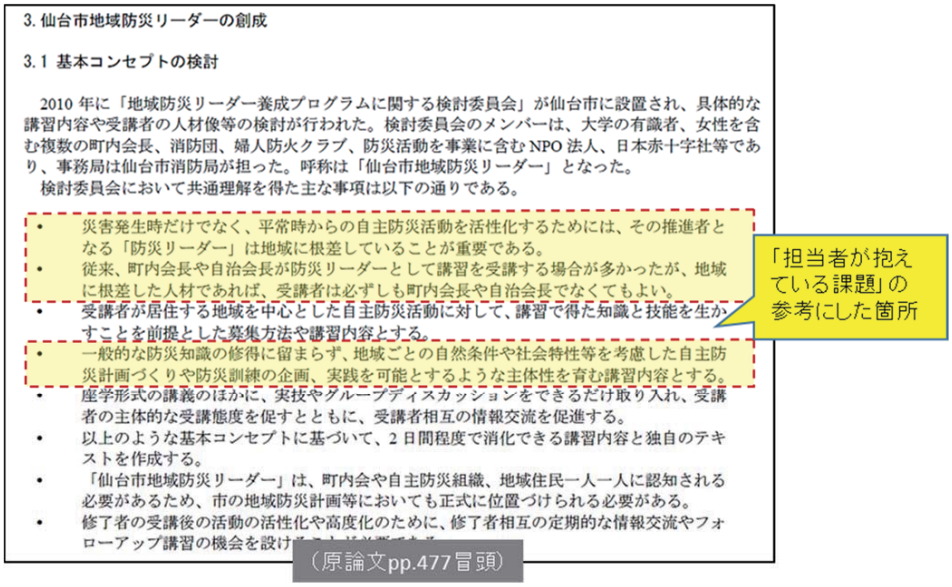
【図－35：原論文見本（3）】



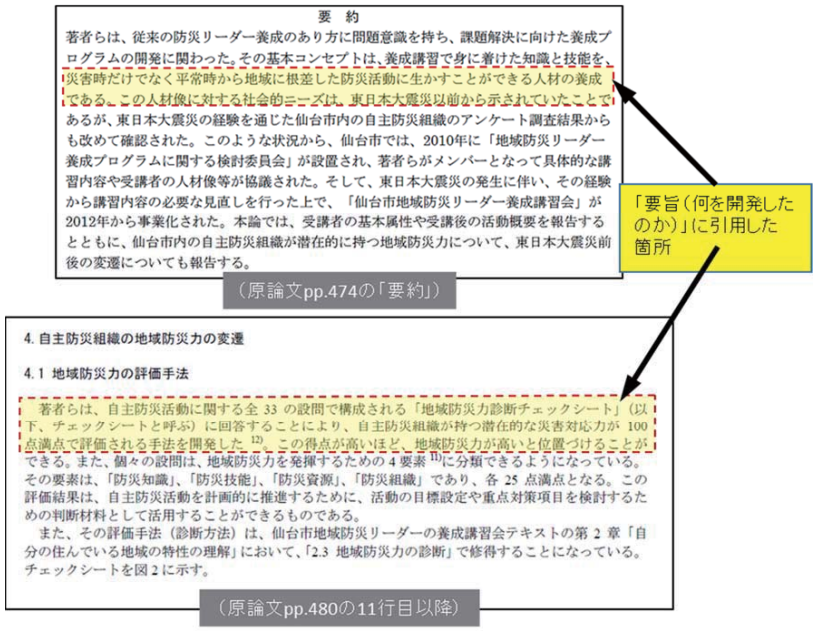
【図－３６：原論文見本（４）】（※図－３６の上段と同一箇所）

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
手法タイトル	論文から抜き出した手法に相応しいタイトルを設定し、入力	地域での防災活動を企画実行できる防災リーダーの養成講習プログラム	注）図－33：論文タイトルを踏まえて設定。
抱えている課題	この手法を使うことで解決される課題や悩みの例をいくつか記入する	・町内会や自治会の会長が自主防災会の会長を兼務していることが多い ・平常時から地域で活動する防災人材が少ない ・地域の特性を理解して、自分の地域に必要な活動をみずから企画していける人材が少ない	注）図-37で網掛けした箇所から部分的に文章を引用して編集して記入。
アピールポイント	手法として最も伝えたい点を記入する	災害時だけでなく平常時から、自分の住んでいる地域の特性を理解した上で、必要な防災活動を行っていけるような人材を養成するためのプログラムです。	注）同様に、図-37で網掛けした箇所から部分的に引用して編集して記入。
要旨（何を開発したのか）	本論文の研究は、要約すると「何をする」手法・方法論を新たに開発したのかを、簡潔に要約する	災害時だけでなく平常時から地域に根ざした防災活動を推進する実践力のある人材を必要とするニーズに応えるため、地域に根ざした活動を推進する「地域防災リーダー養成プログラム」を開発した。さらに本プログラムのなかで修得する地域防災力を評価する手法（チェックシート）を開発した。	注）図-38に網掛けした2箇所を参照して、適宜、文章を編集して記入。
キーワード	基本的には、論文の「キーワード」欄に記載されている単語を引用	防災リーダー,養成プログラム,自主防災組織,地域防災力,地域防災リーダー,地域防災力診断チェックシート	注）図-34して記入。

【表－5：「手法」コンテンツ作成事例3：概要（手法に関する資料）】



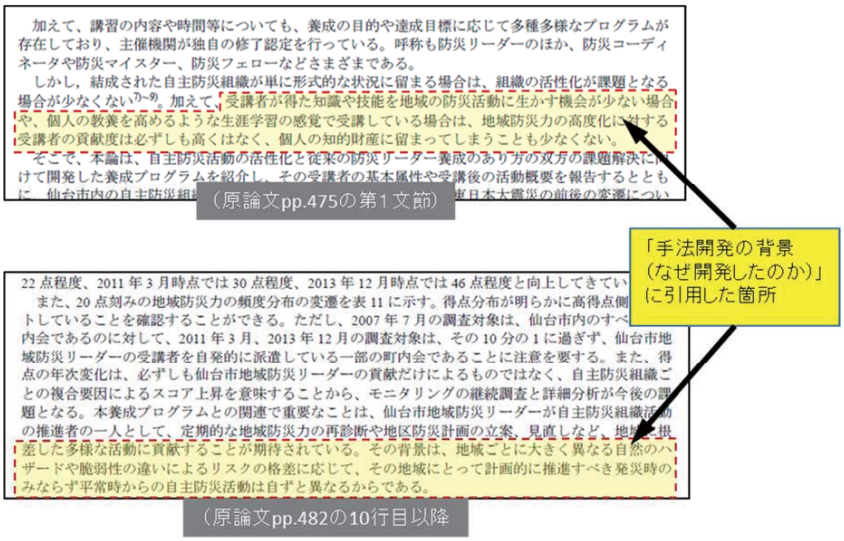
【図－３７：原論文見本（５）】



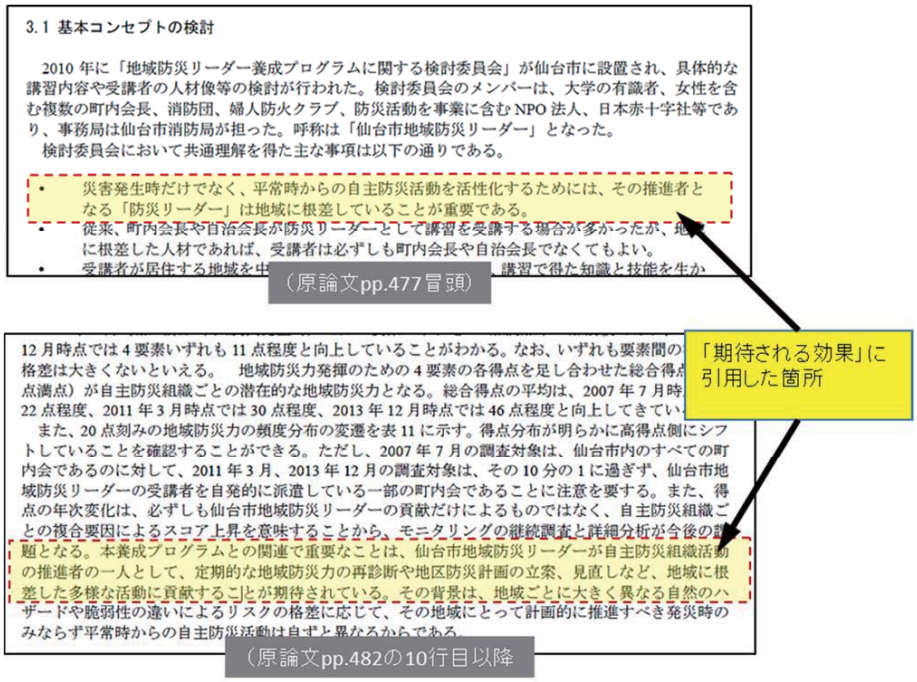
【図－３８：原論文見本（６）】

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
手法開発の背景（なぜ開発したのか）	手法は何故開発されたのか、開発された社会的背景、ニーズ等を記入	・自主防災組織の活動を推進する「防災リーダー」等の養成プログラムは数多くあるが、受講者が得た知識を地域で生かす機会がない場合や個人的な関心で受講している場合、地域防災力の高度化への貢献度は低く、個人の知的財産に留まってしまうため。 ・地域ごとに大きく異なる自然のハザードや脆弱性の違いによるリスクの格差に応じて、その地域にとって必要な自主防災活動は異なるため	注）図-39で網掛けした箇所から部分的に文章を引用して編集して記入。
期待される効果	手法導入で期待される具体的な直接的、間接的効果を具体的に記入	・災害時だけでなく平常時からおこなう地域に根ざした防災活動が行われるようになる ・「地域防災力診断チェックシート」を用いた地域防災力の診断によって、地域防災リーダーが自主防災組織活動の推進者の１人として、定期的な地域防災力の再診断や地区防災計画の立案、見直しなど、地域に根ざした多用な活動に貢献することが期待される	注）図-40で網掛けした箇所から部分的に文章を引用して編集して記入。
注意点・利用できる条件	手法導入にあたっての注意点、及び利用できる条件を記入	プログラムの目的が「実際の地域で活動していける人材を育成すること」であるため、募集の際は知識教養プログラムではなく、地域での活動を希望する意志があることを確認することが重要。	注）「防災担当者が抱えている課題」や「期待される効果」の項目との整合性から文章を編集して記入。

【表－6：「手法」コンテンツ作成事例4：概要（手法に関する資料つづき）】



【図－３９：原論文見本（６）】



【図－４０：原論文見本（７）】

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
手法内容	手法を実施するにあたって最低限必要なステップをフロー図(あるいは構成図)とともに提示 ※なお、入力画面上では、図の引用については、「どのページのどの図・表を引用するか」を、記入文案の直下に明記。併せて、原図・表の縮小したキャプチャー画像の見本などを掲載しておくことが望ましい	1.「地域防災リーダー」養成プログラム 「平常時から自主防災隊長を補佐し、地域に根差した自主防災活動を推進する実践力のある人材」を必要とするニーズに応えるため、「地域に根差した活動」をポイントとした「地域防災リーダー」養成プログラムを開発。 本プログラムは、①旧地形図やハザードマップを活用して自分の住んでいる地域の特性を理解する、②地域防災力の診断方法を理解し、自分が所属する自主防災組織に適用する、③市町村が実施している自主防災活動への支援事業を紹介する、④今後の活動に向けての決意表面など、自主防災活動を地域で実践することを意識した養成プログラムである。 【原論文 p.478 の表5を引用】 2. 地域防災力の評価手法の開発 地域防災力を評価するために、自主防災活動がもつ潜在的な災害対応力を、地域防災力を発揮するための4要素(防災知識、防災技能、防災資源、防災組織)の設問に答え 100 点満点で評価する「地域防災力診断チェックシート」を開発。 地域防災リーダーがこの評価手法を上記プログラムで修得することにより、自主防災活動の推進者の一人として、定期的な地域防災力の再診断や地区防災計画の立案、見直しなどの判断材料とすることができる。 【原論文 p.481 の「地域防災力評価チェックシート」の図を引用】	注)原論文 p.472 の 24 行目以下、「3.2 養成プログラムの開発と講習会の開催概要」の内容(図-41参照)、及び p.478 の表5の養成プログラムの内容構成から、適宜、文章を引用して作成。 注)図-42で網掛けした箇所から部分的に文章を引用して編集して記入。

【表－7:「手法」コンテンツ作成事例5:詳細(手法に関する資料つづき)】

3.2 養成プログラムの開発と講習会の開催概要

検討委員会での議論に基づいて具体的な養成プログラムとして編成したものを表 5 に示す。表中の○印は、当該単元に含まれる講習形態を示す。上記の基本コンセプトの最大のポイントは、第 3 章に代表されるような普遍的な内容の講義、演習に加えて、「地域に根差した活動」である。そのことの養成プログラムへの反映としては、例えば第 2 章の「自分の住んでいる地域の特性の理解」である。この単元では、旧地形図やハザードマップ等の活用により、自分の地域の自然環境と社会環境を把握するための方法や、地域防災力の診断方法を理解した上で、自分が所属する自主防災組織に適用する演習も組み込まれている。さらに、第 1 章では、仙台市の自主防災活動に対する各種支援事業などが紹介され、仙台市内において自主防災活動を実践や展開する上で、直接的に役立つ情報も網羅されるなど、随所に地域性を意識した養成プログラムとなっている。

このように、本養成プログラムは、平常時を含めた活動の場の重点が受講者の地元地域であることから、表 5 の第 7 章に見られるように、自分の地域の課題の整理や、自分の地域における今後の活動に向けての決意表明などが養成プログラムの中に位置付けられており、身に付けた知識やスキルの還元先が明確となっている。自主防災活動の普遍的な内容の修得を中心とし、修得したことの還元先も特に限定しない日本防災士機構の講習テキストに基づいた養成プログラムなどと本養成プログラムとの大きな違いと言える。

仙台市地域防災リーダー養成事業の初年度となった 2012 年は、定員 50 名（受講者 50 名）であり、受講者を町内会や自治会から推薦する形式を基本とした。開催場所は仙台市消防局での集中講習形式とした。ただし、受講者の勤務都合等を考慮し、平日開催と休日開催を設定した。

また、2013 年の定員は 150 名（受講者 147 名）であったが、問い合わせや要望の高さ等から定員の 2 割程度の一般公募の枠を設けた。定員を超える受講申し込みがあり、「仙台市地域防災リーダー」に対する社会的な関心と期待の高さが確認された。2013 年の開催場所は、1 日目の養成プログラムについては、仙台市内の 6 消防署での個別講習形式とし、2 日目の養成プログラムについては、仙台市消防局での集中講習形式とした。なお、講習の受講費用は無料である。

【図－４１：原論文見本（８）】

4. 自主防災組織の地域防災力の変遷

4.1 地域防災力の評価手法

著者らは、自主防災活動に関する全 33 の設問で構成される「地域防災力診断チェックシート」(以下、チェックシートと呼ぶ）に回答することにより、自主防災組織が持つ潜在的な災害対応力が 100 点満点で評価される手法を開発した [12]。この得点が高いほど、地域防災力が高いと位置づけることができる。また、個々の設問は、地域防災力を発揮するための 4 要素 [13]に分類できるようになっている。その要素は、「防災知識」、「防災技能」、「防災資源」、「防災組織」であり、各 25 点満点となる。この評価結果は、自主防災活動を計画的に推進するために、活動の目標設定や重点対策項目を検討するための判断材料として活用することができるものである。

また、その評価手法（診断方法）は、仙台市地域防災リーダーの養成講習会テキストの第 2 章「自分の住んでいる地域の特性の理解」において、「2.3 地域防災力の診断」で修得することになっている。チェックシートを図 2 に示す。

【図－４２：原論文見本（９）】

・ なお、上記の「手法の内容」の箇所について、図－４３に Web 画面の見本を示します。

4. 手法の属性

1. 手法内容

(1) 手法内容

1．「地域防災リーダー」養成プログラム
「平常時から自主防災隊長を補佐し、地域に根差した自主防災活動を推進する実践力のある人材」を必要とするニーズに応えるため、「地域に根差した活動」をポイントとした「地域防災リーダー」養成プログラムを開発。

本プログラムは、①旧地形図やハザードマップを活用して自分の住んでいる地域の特性を理解する、②地域防災力の診断方法を理解し、自分が所属する自主防災組織に適用する、③市町村が実施している自主防災活動への支援事業を紹介する、④今後の活動に向けての決意表面など、自主防災活動を地域で実践することを意識した養成プログラムである。

表５　2013 年養成プログラム

(a) 1 日目

科目	講習内容等	講義	実技	GD*	時間（分）	講師等
開会式					10	
自己紹介					15	
第１章 自助・共助・公助の役割	1-1　自助・共助と活動支援（公助）	○			10	消防局減災推進課
	1-2　地域防災リーダーの役割	○			15	
	1-3　仙台市の自主防災活動への支援策等	○			10	
	1-4　地域団体との連携の必要性	○			10	
第３章 常日頃備えておく技能	3-2　初期消火のしかた		○		45	各消防署
	3-3　救助のしかた		○		50	警防課・予防課
第２章 自分の住んでいる地域の特性の理解	2-1　自分の住んでいる地域の特性	○			30	東北大学
	2-2　防災マップの作成	○			15	
	2-3　地域防災力の診断	○	○	○	15	
第３章 常日頃備えておく技能	3-1　情報収集・伝達のしかた	○			10	各消防署
	3-4　避難誘導のしかた	○			15	予防課
	3-5　津波避難のしかた	○			15	消防局減災推進課
第４章 自主防災組織の機能を高めるための活動	4-1　自主防災計画	○			15	消防局減災推進課
	4-2　自主防災活動用アクションカードの作成	○			15	
	4-4　DIG	○		○	30	
	4-5　クロスロードゲーム	○		○	40	防災士
	4-6　その他の防災ゲームの紹介	○			20	

* GD はグループディスカッションを示す。
休憩時間の表示は除く。

(b) 2 日目

科目	講習内容等	講義	実技	GD*	時間（分）	講師等
第３章 常日頃備えておく技能	3-6　救護のしかた	○			50	東北大学病院
	3-6　救護のしかた		○		40	消防局救急課
第４章 自主防災組織の機能を高めるための活動	4-3　災害時要援護者の避難支援	○			30	健康福祉局総務課 消防局防災企画課
第５章 東日本大震災の経験から	5-1　津波ビデオを観る				20	消防局減災推進課
	5-2　避難所生活の体験談	○			20	町内会
	5-3　体験談から学ぼう				20	町内会・減災推進課
第６章 避難所運営について	6-1　避難所運営	○			60	SENAE 仙台防災学習支援
第７章 まとめ	7-1　自分の住んでいる地域の防災上の課題	○		○	20	消防署
	7-2　地域住民に参加してもらうアイディア	○		○	20	
	7-3　自分の住んでいる地域で実施したい防災活動			○	25	
	7-4　理解度チェック				20	
	7-5　今後に向けての決意表明（発表を含む）	○			40	

* GD はグループディスカッションを示す。
休憩時間の表示は除く。

2．地域防災力の評価手法の開発
地域防災力を評価するために、自主防災活動がもつ潜在的な災害対応力を、地域防災力を発揮するための４要素（防災知識、防災技能、防災資源、防災組織）の設問に答え100点満点で評価する「地域防災力診断チェックシート」を開発。
地域防災リーダーがこの評価手法を上記プログラムで修得することにより、自主防災活動の推進者の一人として、定期的な地域防災力の再診断や地区防災計画の立案、見直しなどの判断材料とすることができる。

地域防災力診断チェックシート

❶ レベル１　防災組織ができて、役割分担が決められた活動レベル（各１点）

チェック項目	知識	技術	資源	組織
1　自主防災組織や防災部など、防災のための組織がある				1
2　自主防災組織の各専門班の役割分担と責任者を決めている				1
3　自主防災組織の災害対策本部を設置する場所を決めている				1
4　町内会や自治会としての一時避難場所を決めている				1
5　一時避難場所や指定避難所への主要な避難経路を決めている				1
6　平素時において、自主防災組織としての活動を定期的に行っている				1
レベル１の合計得点				

❷ レベル２　行政主導の防災関連活動に参加する活動レベル（各２点）

チェック項目	知識	技術	資源	組織
7　市や消防署が主催する防災訓練に自主防災組織として定期的に参加している		2		
8　防災講演会や防災セミナーなどに自主防災組織の主要なメンバーを派遣している	2			
9　消防や自衛隊が主催する応急救護の研修に自主防災組織の主要なメンバーを派遣している		2		
10　防災関連の情報を自主防災組織から各世帯に対して定期的に発信している	2			
11　自主防災組織として災害発生時の対応マニュアルを作成している				2
12　防災マップづくりのために消防署の助言等を受けている	2			
13　自分の地域の特徴のあらわれやすさを仙台市の「揺れやすさマップ」等で把握している	2			
14　仙台市の防災情報倉庫に保管されている資機材を自主防災組織として把握している			2	
レベル２の合計得点				

❸ レベル３　自主的に地域の現状を調査し、問題点を明らかにする活動レベル（各３点）

チェック項目	知識	技術	資源	組織
15　自分の地域の災害に対する弱点や特徴を把握している	3			
16　自主防災組織として断水時に利用できる飲用水を確保し、井戸など雑用水を確保している			3	
17　自主防災組織としてジャッキやバールなどの救出用資機材を確保・保管している			3	
18　自主防災組織として応急手当のための救護用品を確保・保管している			3	
19　自主防災組織として決めた住民の安否確認方法に基づいた訓練を行っている。		3		
20　学校や行政と連携し、避難所運営マニュアルを作成している				3
レベル３の合計得点				

❹ レベル４　レベル３より高度な調査を行い、かつ継続的な活動を行なっているレベル（各４点）

チェック項目	知識	技術	資源	組織
21　組織は、各班と管理などの複数の体制づくりができている				4
22　地域内の災害時要援護者の避難・救護訓練を社会福祉協議会等と協力して行っている		4		
23　電気やガス等のエネルギー供給が停止した状態を想定した防災訓練を行っている		4		
24　定期的に自主防災組織が持っている防災資機材を点検し、協力者と連絡を取っている			4	
25　地域内の危険情報・安全情報を調査した防災マップを定期的に更新している	4			
レベル４の合計得点				

❺ レベル５　自主的に地域の改善計画を立案し、達成度の確認や計画の見直しができる活動レベル（各５点）

チェック項目	知識	技術	資源	組織
26　学校と連携した防災訓練を行っている。		5		
27　町内会内や近隣にある関連施設や病院と連携した防災訓練を行っている		5		
28　近隣や連携の取れる自主防災組織との情報交換を行っている	5			
29　近隣や連携の取れる自主防災組織との協力体制ができている			5	
30　自主防災活動に役に立つ組織（企業等）や人材（看護師経験者等）との協力関係ができている。			5	
31　自主防災組織としての改善計画（被害を減らすための改善計画）を作成している				5

【図－４３：「手法の内容」部分の Web 画面見本】

・　「必須・有用な知識・技術者・法令」の各項目については、必ずしも論文中に引用可能な文章があるとは限りません。
・　特に「必須＊＊」の項目については、この手法の実践上、必要不可欠と思われる「知識」、「技術・ツール」、「データ」、「人材・人員」を示すので、論文の内容を吟味して、極力、記入します。

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
必須知識	手法を実施するにあたっての「必須知識＝なくてはならない知識」を記入		
有用知識	手法を実施するにあたっての「有用知識＝もっているとよい知識」を記入		
必須技術・ツール	手法を実施するにあたっての「必須技術・ツール＝なくてはならない技術・ツール」を記入		
有用技術・ツール	手法を実施するにあたっての「有用技術・ツール＝もっているとよい技術」を記入		
必須データ	手法を実施するにあたっての「必須データ＝無くてはならないデータ」を記入	旧地形図、ハザードマップ、地域特性データ（自然環境、社会環境）	
有用データ	手法を実施するにあたっての「有用データ＝あるとよいデータ」を記入		
必須人材・人員	手法を実施するにあたっての「必須人材・人員＝いなくてはならない人材・人員」を記入	地域での具体的な活動を希望する受講者	
有用人材・人員	手法を実施するにあたっての「有用人材・人員＝いるとよい人材・人員」を記入	大学の有識者、消防団、婦人防火クラブ、防災活動を事業に含むNPO 法人、日本赤十字社	
関連法令	本手法が、何からの法令、制令、政府が策定した指針等と関連性が高い場合にはその該当する法令・制令、指針等を記入		

【表－8：「手法」コンテンツ作成事例6：必須・有用な知識・技術者・法令】

・　「手法導入手続き」の内容については、多くの場合、該当するような具体的な記述は論文中には見られないことが多くあります。
・　「必要期間」や「国や都道府県の方針」などは、該当する記述がある場合があるので、その際には当該箇所を引用して記入してください。

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
①予算要求書の策定			
必要コスト	手法を導入・実施するために必要な導入段階でのコスト、運用時のコストを記入（導入時点がいつなのかを【平成 29 年度現在】のように表記）	開催会場費、資料作成費、講師謝礼	
必要期間	手法を導入・実施するために要する期間、可能ならそれぞれの段階でどれ位の期間がかかるかを記入	講習プログラム（2 日）	注）論文中の p.478 の表 5 の内容を踏まえて記入。
国や都道府県の方針	災害債学基本法の改定（地区防災計画の策定）など、国や当道府県の関連する方針があれば記入		
注意点	本手法の予算要求書策定にあたっての注意点があれば記入		
②仕様書の作成・調達手続き（技術・システムのみ）			
調達内容	本手法を導入するにあたって必要な調達物（内容）について記入		
注意点	調達にあたって注意すべき点を記入		
④　導入確定及び導入準備（技術・システムのみ）			
導入確定から導入までの標準的な手順と工程表	導入過程に関わる事項と手順を記入		
注意点	導入確定から導入までの注意点があれば記入		
⑤　導入及び定着（技術・システムのみ）			
ステップ（工程表）	導入及び定着に必要なステップ（工程表）を記入		
今後の課題とその対応計画	手法についての今後の課題と対応計画を記述		
注意点	導入して地域Ⅱ定着するまでの注意点があれば記入		

【表－9：「手法」コンテンツ作成事例7：手法導入手続き】

・ 「手法の属性」の部分は、「地域防災 Web」の画面では、**「リスク対象」から「災害対応局面」**の項目までは、**例示された凡例のうち該当するものに印が付けられる形式**となるため、入力画面上では、**該当する凡例を選んで表記**します。その際、項目の選択は**複数選択（当てはまるものは全て選択する）**となることに注意が必要です。

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
企画する主体	本手法が被害を受ける主体と想定していると思われる対象を**「自治体 」、「地域の防災リーダー」**から当てはまるものすべてを選択	「自治体 」、「地域の防災リーダー」	
対象ハザード	右地震　液状化　津波　火山　洪水　内水　高潮　土砂　豪雪　その他の 10 種の災害種別から、該当するものを記入	地震　液状化　津波　火山　洪水　内水　高潮　土砂　豪雪　その他	
リスク対象	右のA、B、Cの3群の対象項目から、該当するものを記入	A：人間群）　人間、災害時要援護者 B：建造物・インフラ群）　資産・財産、インフラ、公的構造物、公共機関、福祉施設 C：産業群）　農業・漁業・畜産	
対象自然環境	本手法が対象としている地域の自然条件として、**「沿岸地域」、「埋立て・干拓地」、「河川・湖沼・ため池」、「平野部」、「丘陵地・台地」、「山地」、「火山地域　多雪地域」**から当てはまるものすべてを選択	「沿岸地域」、「埋立て・干拓地」、「河川・湖沼・ため池」、「平野部」、「丘陵地・台地」、「山地」、「火山地域　多雪地域」	
対象社会環境	本手法が対象としている地域の条件を**「市街地」、「住宅地」、「工業地域」、「農村地域」、「漁村地域」**から当てはまるものすべてを選択	「市街地」、「住宅地」、「工業地域」、「農村地域」、「漁村地域」	
災害対応局面	本手法の内容が、災害対応の段階として**「事前」、「応急」、「復旧・復興」**から当てはまるものすべてを選択	「事前」	
開発地域	本手法の検証実験、実証実験が行われた都道府県・市町村名をすべて表記	宮城県　仙台市青葉区 仙台市宮城野区 仙台市若林区 仙台市太白区 仙台市泉区	
関連 プロジェクト	本手法の開発と関係する、他の研究プロジェクトがあれば、その名称、実施時期などを表記	地域防災リーダー養成プログラムに関する検討委員会	
関連文献	本論文中に記載された参考文献を踏まえ、本研究・本手法の理解に役立つと思われる他の文献があれば記載 文献名の頭に 1)、2)と番号を付記	1)佐藤健・増田聡・柴山明寛(2015):仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発.日本地震工学会論文集(Web),No.7,7．474-7．484 （J-STAGE）	
関連コンテンツ	「地域防災 Web」内の他の「手法」、「実践事例」で、本手法と関連性の高いものがあればそのタイトルを表記		
メモ	読者に対して、注意事項・特記事項等があれば記入		

【表－10：「手法」コンテンツ作成事例8：手法の属性】

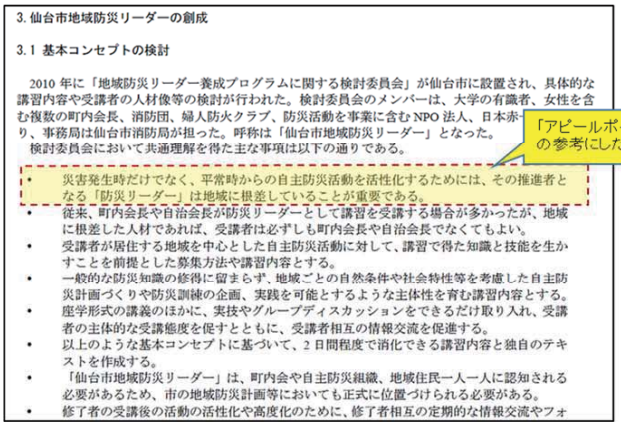
・ 以上の要領で作成されたコンテンツ化原稿に基づいて作成された Web 画面が、**『添付資料３：「地域防災 Web」画面見本　「手法」』**の**「地域での防災活動を企画実行できる防災リーダーの養成講習プログラム」**の「手法」の画面です。

2-2-6.「実践事例」コンテンツの作成についての解説

- 次に、上の「手法」のコンテンツと同じ原論文から作成した、**「実践事例」**の作成例を以下に示します。
- なお、この「実践事例」のコンテンツは、「手法」で紹介したのと同じ**『添付資料２：原論文見本「仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発」』**の論文から作成したものであり、**前出の「手法」を実践したのが、この「実践事例」の内容となっている**点に注意が必要です。
- 冒頭の基礎情報の項目では、「事例タイトル」が、**元が同じ論文であっても「手法タイトル」とは異なる**ことに注意が必要です。
- 「概要」の項目も、項目名は「手法」の入力画面と同じであるが、こちらは「どこかの」、「だれか」が実際に行った「事例」をまとめた内容であることから、「手法」の内容とは基本的には変更して記入すべきことに注意が必要です。
- 第一に、既に「実践」されている事例であることから、表記は原則として「過去形」になります。
- また、「課題」はそれを実践した特定の誰かの「課題」なので「手法」のように一般論で記述する場合とは内容が異なる場合があります。
- 「アピールポイント」や「要旨」の内容についても、同様に「手法」の該当欄の内容とは区別して考える必要があります。

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
実践事例 タイトル	**「手法」ではなく「実践事例」であることに配慮して、事例に相応しい名称を考案**	仙台市における地域防災リーダー養成プログラムの実施と地域防災力の変遷評価	**注)「手法」のタイトルを踏まえつつ、「実践事例」に相応しく変更**
実践者（担当者）			
防災担当者が抱えている課題 →防災上の課題	この実践によって解決される課題や悩みの例をいくつか記入する		
アピール ポイント	この実践について最も伝えたい点を記入する	身に着けた知識と技能を、災害時だけでなく平常時から地域に根差した防災活動に生かすことができる人材の育成を目指した「地域防災リーダー」の養成プログラムを開発・実施した	注)ここは直接引用するのに適当な文章がないため、文脈から読み取って、図－45に示した「手法」の要旨の部分を適宜、引用して文章化する。
要旨（何を開発したのか）	この実践事例では、要約すると「何をした」のかを、簡潔に要約する	自主防災活動の活性化と従来の防災リーダー養成のあり方の双方の問題解決に向けた養成プログラムを開発したうえで、仙台市内における自主防災組織の地域防災力の変遷を評価した	注)ここも文脈から読み解いて、実践したプログラムの骨子がリーダー養成プログラムと「地域防災力診断チェックシート」の開発・調査であることから、図－45及び46(p.482)の箇所を参考に文章化する。
キーワード	基本的には、論文の「キーワード」欄に記載されている単語を引用		

【表－11：「実践事例」コンテンツ作成事例3：概要（手法に関する資料）】


3. 仙台市地域防災リーダーの創成

3.1 基本コンセプトの検討

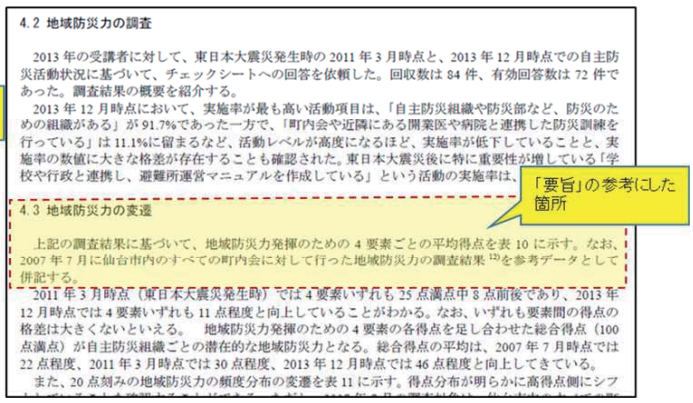
2010 年に「地域防災リーダー養成プログラムに関する検討委員会」が仙台市に設置され、具体的な講習内容や受講者の人材像等の検討が行われた。検討委員会のメンバーは、大学の有識者、女性を含む複数の町内会長、消防団、婦人防火クラブ、防災活動を事業に含む NPO 法人、日本赤十字社り、事務局は仙台市消防局が担った。呼称は「仙台市地域防災リーダー」となった。

検討委員会において共通理解を得た主な事項は以下の通りである。

- 災害発生時だけでなく、平常時からの自主防災活動を活性化するためには、その推進者となる「防災リーダー」は地域に根差していることが重要である。
- 従来、町内会長や自治会長が防災リーダーとして講習を受講する場合が多かったが、地域に根差した人材であれば、受講者は必ずしも町内会長や自治会長でなくてもよい。
- 受講者が居住する地域を中心とした自主防災活動に対して、講習で得た知識と技能を生かすことを前提とした募集方法や講習内容とする。
- 一般的な防災知識の修得に留まらず、地域ごとの自然条件や社会特性等を考慮した自主防災計画づくりや防災訓練の企画、実践を可能とするような主体性を育む講習内容とする。
- 座学形式の講義のほかに、実技やグループディスカッションをできるだけ取り入れ、受講者の主体的な受講態度を促すとともに、受講者相互の情報交流を促進する。
- 以上のような基本コンセプトに基づいて、２日間程度で消化できる講習内容と独自のテキストを作成する。
- 「仙台市地域防災リーダー」は、町内会や自主防災組織、地域住民一人一人に認知される必要があるため、市の地域防災計画等においても正式に位置づけられる必要がある。
- 修了者の受講後の活動の活性化や高度化のために、修了者相互の定期的な情報交流やフォ

「アピールポイント」の参考にした箇所

【図－４４：原論文見本（１０）】


4.2 地域防災力の調査

2013 年の受講者に対して、東日本大震災発生時の 2011 年 3 月時点と、2013 年 12 月時点での自主防災活動状況に基づいて、チェックシートへの回答を依頼した。回収数は 84 件、有効回答数は 72 件であった。調査結果の概要を紹介する。

2013 年 12 月時点において、実施率が最も高い活動項目は、「自主防災組織や防災部など、防災のための組織がある」が 91.7%であった一方で、「町内会や近隣にある開業医や病院と連携した防災訓練を行っている」は 11.1%に留まるなど、活動レベルが高度になるほど、実施率が低下していることと、実施率の数値に大きな格差が存在することも確認された。東日本大震災後に特に重要性が増している「学校や行政と連携し、避難所運営マニュアルを作成している」という活動の実施率は、

4.3 地域防災力の変遷

上記の調査結果に基づいて、地域防災力発揮のための 4 要素ごとの平均得点を表 10 に示す。なお、2007 年 7 月に仙台市内のすべての町内会に対して行った地域防災力の調査結果[12]を参考データとして併記する。

2011 年 3 月時点（東日本大震災発生時）では 4 要素いずれも 25 点満点中 8 点前後であり、2013 年 12 月時点では 4 要素いずれも 11 点程度と向上していることがわかる。なお、いずれも要素間の得点の格差は大きくないといえる。　地域防災力発揮のための 4 要素の各得点を足し合わせた総合得点（100 点満点）が自主防災組織ごとの潜在的な地域防災力となる。総合得点の平均は、2007 年 7 月時点では 22 点程度、2011 年 3 月時点では 30 点程度、2013 年 12 月時点では 46 点程度と向上してきている。

また、20 点刻みの地域防災力の頻度分布の変遷を表 11 に示す。得点分布が明らかに高得点側にシフ

「要旨」の参考にした箇所

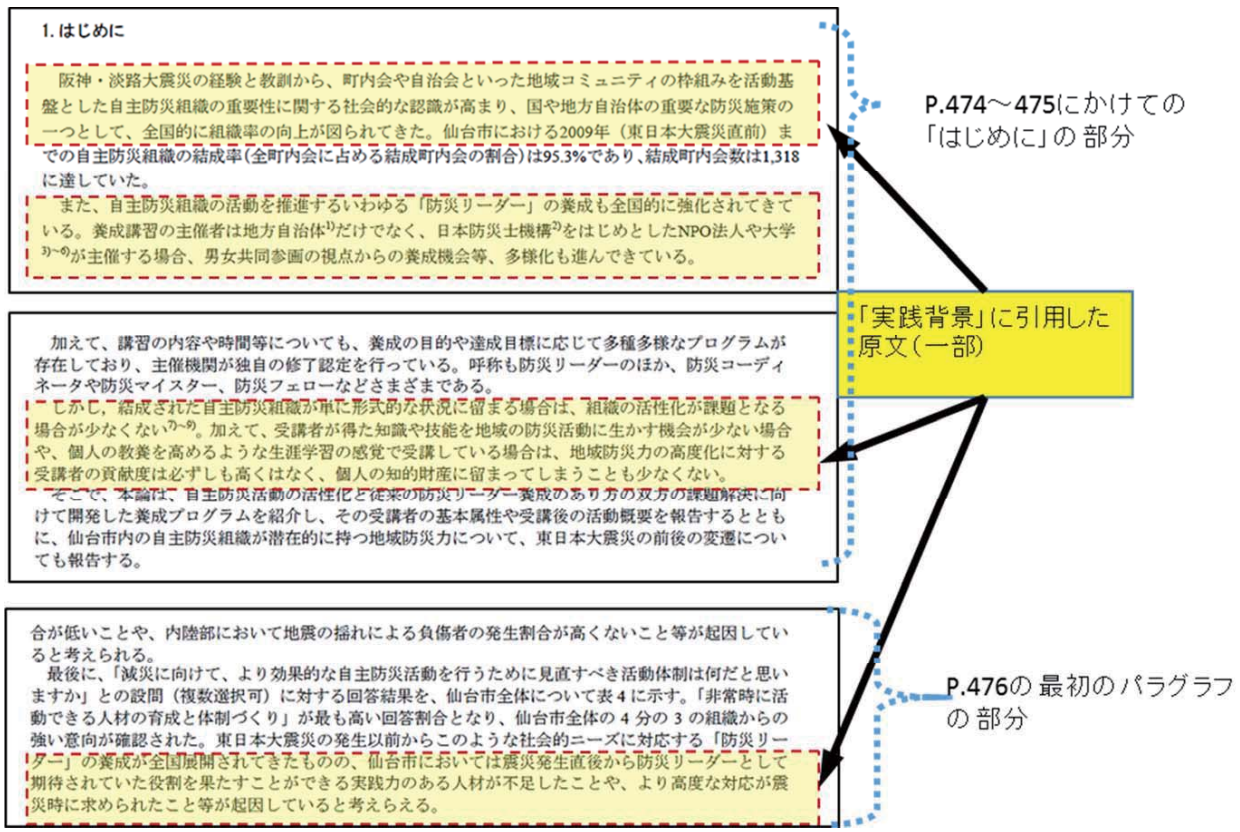
【図－４５：原論文見本（１１）】

・ 「実践の背景」に関しては、「手法」の場合の「手法開発の背景」に対して、この例のように、実践が行われた**仙台市の地域的な固有の背景や事情**が原論文で書かれている場合には、全国的な背景とは明確に違いがわかるよう記入内容を作成します。

・ 但し、全ての論文において、「手法」と「実践」の背景の違いが明確に書かれているとは限らないので、ケース・バイ・ケースで「手法」と「実践」の場合の「背景」の記入は工夫する必要がある点に注意が必要です。

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
実践背景(なぜ４６たのか)	この実践が行われた社会的背景などがわかるよう要点を記入	・阪神・淡路大震災の経験と教訓から、町内会や自治会といった地域コミュニティを基盤とした自主防災組織の重要性の認識が高まり、組織率の向上が図られてきたが、結成された自主防災組織が形式的な状況に留まる場合、組織の活性化が課題となるため ・自主防災組織の活動を推進する「防災リーダー」等の養成も強化されており、主催者、講習内容ともに多様な取り組みがおこなわれているが、受講者が得た知識を地域で生かす機会がない場合や個人的な関心で受講している場合、地域防災力の高度化への貢献度は低く、個人の知的財産に留まってしまうため ・仙台市においては東日本大震災発生直後から防災リーダーとして期待されていた役割を果たすことができる実践力のある人材が不足したことや、より高度な対応が震災時に求められたため ・日本防災士機構の講習テキストに基づいた防災リーダー養成プログラムは、自主防災活動の普遍的な内容の習得を中心とし、修得したことの還元性を特に限定しないものであるため ・仙台市教育委員会は 2012 年から「新たな学校防災教育推進協議会」を設置しており、学校防災と地域防災の連携強化が進んできている状況から、その繋ぎ手役としての仙台市地域防災リーダーに対する期待が高まっていると言えるため ・地域ごとに大きく異なる自然のハザードや脆弱性の違いによるリスクの格差に応じて、その地域にとって計画的に推進すべき発災時のみならず平常時からの自主防災活動は異なるため	注)図－46に示した、原論文の p.474～475 にかけての「はじめに」の一部、p.476 の 7～9 行目に掛けての部分、など、複数の箇所から引用。

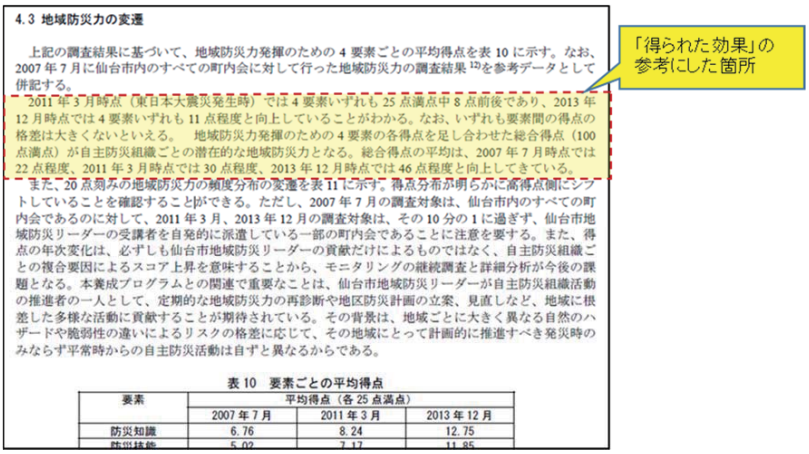
【表－12:「実践事例」コンテンツ作成事例3:概要(手法に関する資料)つづき】



【図－46:原論文見本(12)】

・　「背景」の場合と同様、この例では「実践」が行われた仙台市固有の効果が書かれている箇所を捜して、あくまでも本「実践事例」において得られた効果がわかるように記入内容は工夫が必要です。

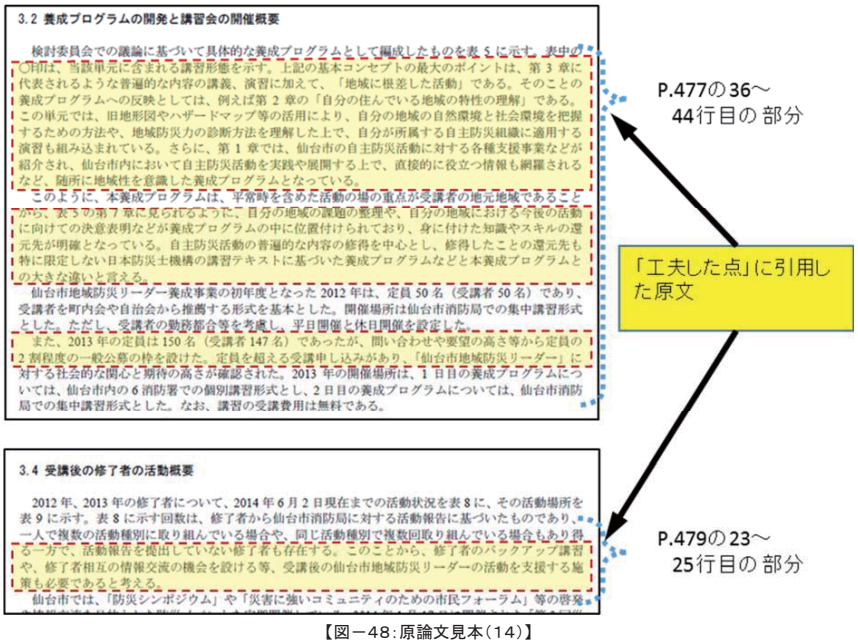
項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
得られた効果	この実践の結果、効果を端的に現している部分(定量的データ、調査結果等)を抽出・要約して記入	東日本大震災時の自主防災活動に関する調査で明らかになった、必要とされている地域に根ざした防災リーダー像に対応しうる「仙台市地域防災リーダー」の養成プログラムを開発、実施した。東日本前後で仙台市内の地域防災力の変遷を調査したところ全体としてスコアが向上していることが確認された	注)図－47に示した、原論文の p.482 の 14～17 行目に掛けての部分を踏まえて文章を作成。



【図－４７：原論文見本（１３）】

・　「工夫した点」は、対応する「手法」を実際に行った主体や地域の固有の事情、問題・課題、制約条件に合わせて効果的な結果を生むために行った特記すべき点が書かれていれば、その部分を抽出して記入してください。

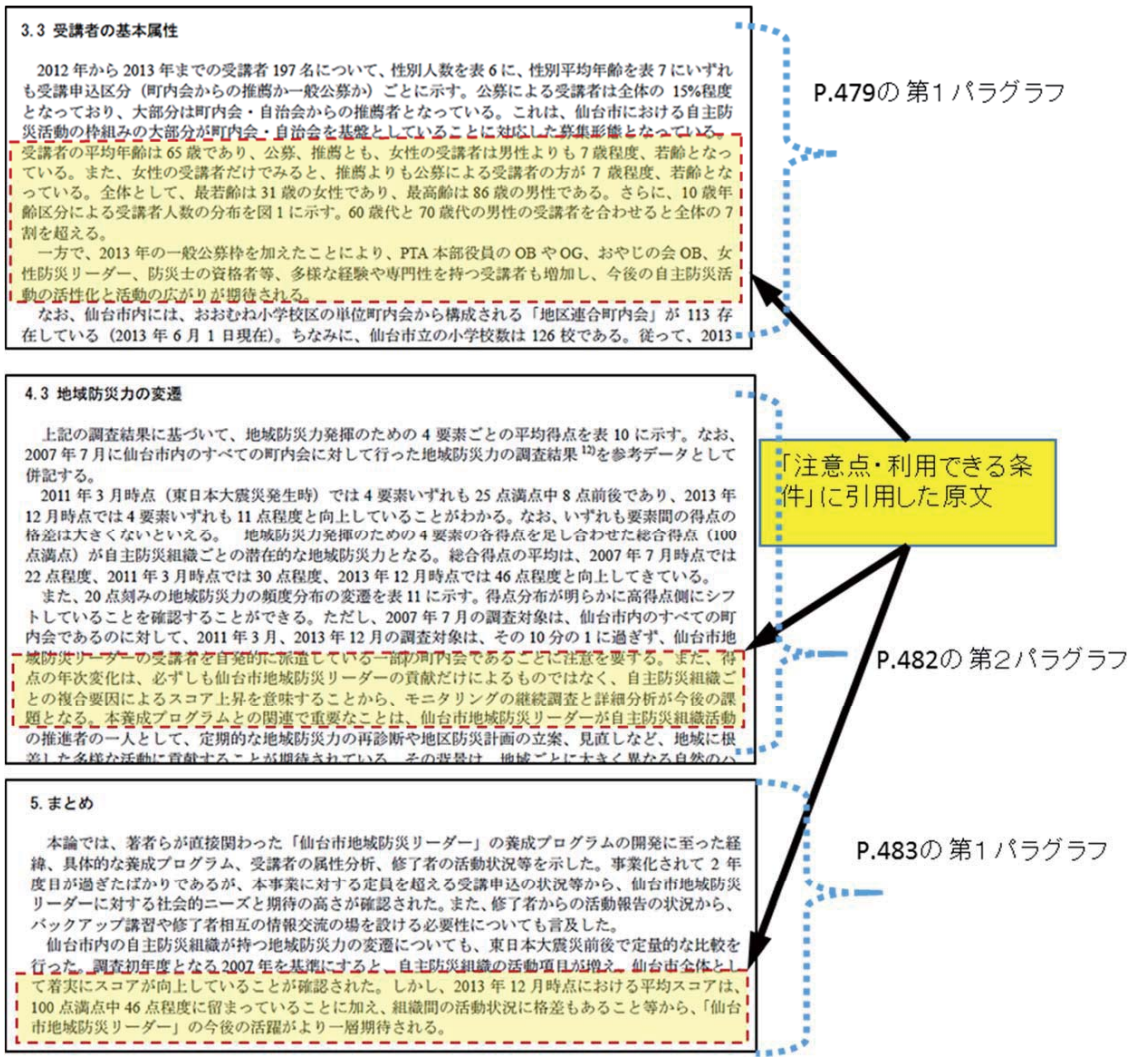
項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
工夫した点	この実践を行う上で、(類似のやり方などと比べて)目的や効果を配慮しての工夫などがあれば、該当する箇所を記入	・旧地形図やハザードマップの活用、地域防災力の診断方法、各種支援事業の紹介など、随所に地域性を意識した養成プログラムとなっていること ・自主防災活動の普遍的な内容の習得を中心とし、修得したことの還元性を特に限定しない日本防災士機構の講習テキストに基づいた養成プログラムと異なり、自らの地域の課題を整理し、今後の活動に向けた意思決定とともに還元先が明確となっていること ・当初は受講者を町内会や自治会からの推薦形式としたが、要望の高さから 2013 年から 2 割程度の公募枠を設けたこと ・プログラム受講修了者の活動報告状況を分析することで、バックアップ講習や修了者相互の情報交流の場を設ける必要があることに言及した	注)図－48に示した、原論文の p.477、p.479 の記述を踏まえて作成。
苦労した点			



【図－48：原論文見本(14)】

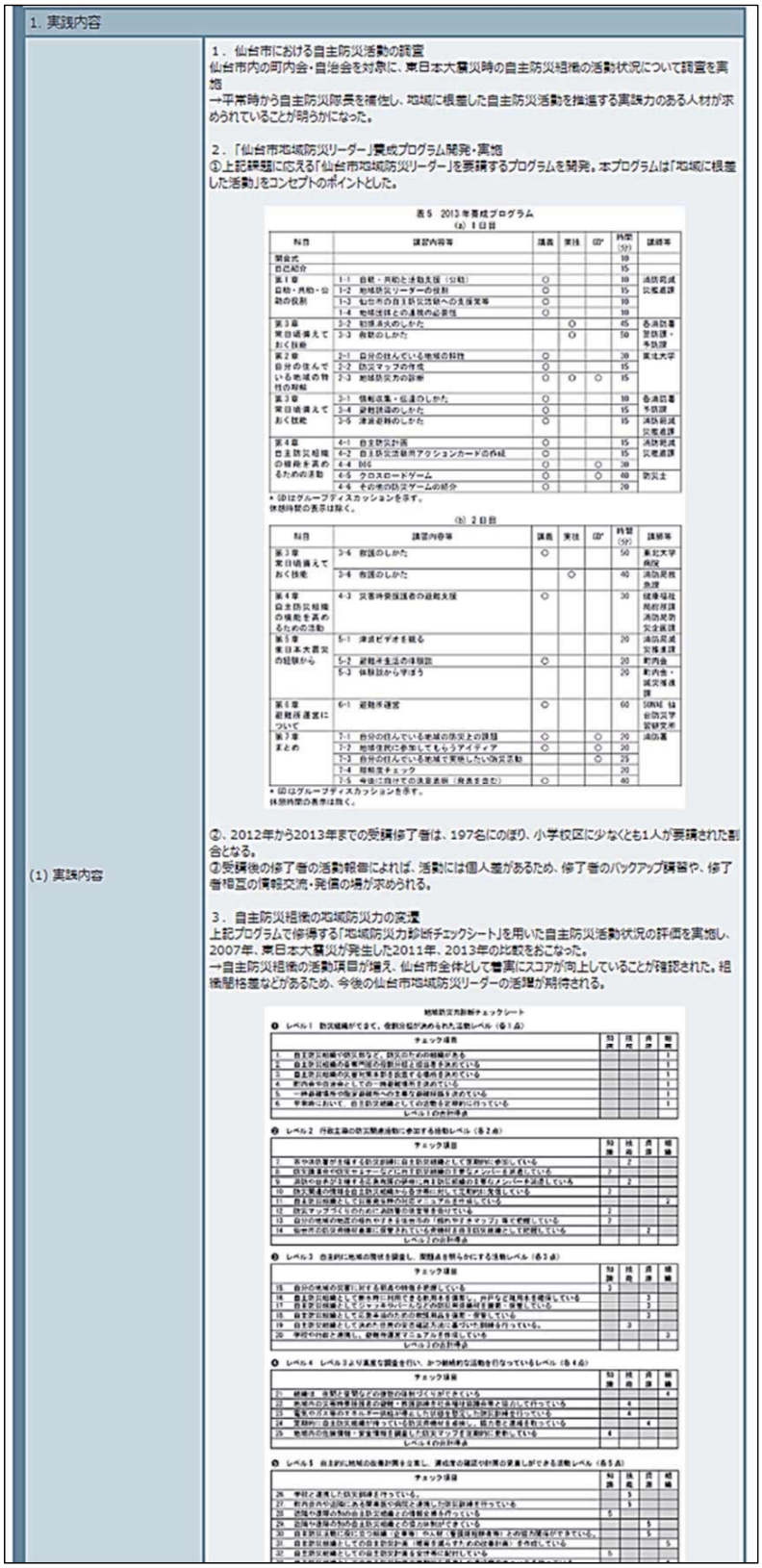
・　「注意点・利用できる条件」は、このコンテンツを読んだ他の主体（地方自治体、地域の防災リーダー等）や地域で模倣しようとする場合に、この実践事例が成立・成功した固有の実施条件、制約等が書かれていれば、その部分を抽出して記入します。

項目名	項目の説明	記入事例	引用した原文
注意点・利用できる条件	この実戦事例に倣って他の自治体等で行おうとする場合に、制約条件となるような点、注意すべき事項等があれば、該当する部分を記入	・受講者数の 10 歳年齢区分による分布によれば、60 歳代と 70 歳代の男性の受講者は合わせて全体の 7 割となること ・地域防災力の変遷評価の調査対象について、2007 年は仙台市内すべての町内会だが、2011 年、2013 年はその 10 分の 1 に過ぎず、仙台市地域防災リーダーの受講者を自発的に派遣している町内会であること ・地域防災力の変遷評価の得点の年次変化は、必ずしも仙台市地域防災リーダーの貢献だけによるものではなく、自主防災組織ごとの複合要因によるスコア上昇を意味することから、今後モニタリングの継続調査と詳細分析が必要となること ・地域防災力の診断結果によると、2013 年時点の平均スコアは 100 点満点中 46 点程度に留まっているうえに組織間の格差もあるなど、仙台市地域防災リーダーの今後の活躍がより一層期待される	注）図－49に示した、原論文の p.479、p.482・483 の記述を踏まえて作成。



【図－４９：原論文見本（１５）】

・ 「実践内容」は、この事例で実践した内容を手順に従って要約する。図－５０にコンテンツの「実践事例」の Web 画面の例を示します。
・ 本コンテンツの「実践内容」の図例は、対応する「手法」のコンテンツの「手法内容」で用いた図表を同一のものを引用している。
・ 「実践事例」は対応する「手法」の手順に則って実践されているので、手法内容と実践内容の記述が重複するのは当然であるが、「実践」の場合に、行った主体や地域の固有性，「工夫」に記された個別性が原論文に記述されている場合には、それらが明確にわかるように記述する必要があります。
・ なお、このようにして作成されたのが**『添付資料４：「地域防災 Web」画面見本　「実践事例」』**の「**仙台市における地域防災リーダー養成プログラムの実施と地域防災力の変遷評価**」の Web 画面です。



【図－５０：「実践内容」部分の Web 画面見本】

2-2-7. 入力済みコンテンツの「申請」

・　入力が終わったコンテンツは、2-1-2.（5）「入力済みコンテンツの「申請」」（P.20～）の承認申請手続きを参照して、事務局に対して承認申請を行います。

資料３　コンテンツ一覧

No.	防災対策手法	手法開発者	課題	実践事例	出典
1	地域の防災人材発掘・絆づくりによる防災・減災対策 ー地域力向上による減災ルネサンスー	護雅史	・災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない ・自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界	・「地域の防災人材発掘・絆づくりによる防災・減災対策」田原市ワークショップ ・「地域の防災人材発掘・絆づくりによる防災・減災対策」幸田町ワークショップ	—
2	減災カルテによる自発的減災活動の推進	森伸一郎	・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない ・防災対策を客観的に評価することができないため、今後何をどう進めるかわからない	愛南町における減災カルテによる自発的減災活動の推進プロジェクト	—
3	吹雪発生予測システム	佐藤威・根本征樹・上石勲・本吉弘岐・中井専人	・全ての住民に情報を伝達することが困難である ・ いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる	北海道中標津町版吹雪発生予測システム	佐藤威・根本征樹・上石勲・本吉弘岐・中井専人(2012)：吹雪による視程障害の予測とその検証－2010/2011冬期の新潟市による吹雪対策への活用事例－．防災科学技術研究所主要災害調査，No.47，103-112．
4	「地域防災支援技術パッケージ」を活用した「地域が進める防災まちづくり」の標準プログラム	加藤孝明	・自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い ・自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界	・茅ヶ崎市防災都市づくりワークショップの実施 ・葛飾区新小岩北地区「輪中会議」の設立	加藤孝明(2003)：防災まちづくり支援システムの開発．都市計画報告集，No.1，70-73．
5	フェーズドアレイ気象レーダを用いたゲリラ豪雨（局地的大雨）の発生予測システム	牛尾知雄	・いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる ・災害時の関係機関との連絡がスムーズに行くか不安	大阪市福島区におけるゲリラ豪雨（局地的大雨）の発生予測システムの構築	牛尾知雄(2014)：世界最高性能「気象用フェーズドアレイレーダの開発」．大気電気学会誌，Vol.8，No.2，7-11．
6	地下水位低下による液状化抑止対策工法	関口徹	・個別災害への効果的な対策が進まない	千葉市美浜地区における地下水位低下による液状化抑止対策工法の導入	—
7	ボーリングデータによる地域の現状に即した被害想定作成に資する詳細地盤モデルの作成	三村衛	・内閣府発表の被害想定が大きすぎ、何から手をつけてよいか分からない ・地盤の揺れやすさから地震発生時の被害規模をより正確に見積もりたい	大阪平野西部市街地域における表層地盤の地震挙動に関する防災情報の整理と検討	三村衛(2014)：地下構造と地震災害－地盤情報の重要性－．日本集団災害医学会誌，Vol.19，No.3，401．
8	防災拠点の耐震化促進	海老剛行・天野玲子・林省吾・目黒公郎・植松浩二	・庁舎の耐震化が課題 ・公共施設の耐震化率が低い ・施設・設備の耐震化等の被害軽減対策には、長い期間を要する	和歌山市における耐震予算化優先順位の検討	—
9	臨床環境学の手法を応用した 火山防災における課題解決法の開発	山岡耕春・中村秀規	・防災対策を客観的に評価することができないため、今後何をどう進めるかわからない ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい ・自治体の防災担当や自主防災会等の自らが・災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない ・各戸配布してもハザードマップを見てもらえない ・アクセス道路が少なく、孤立する恐れがある	岐阜県における臨床火山防災手法の適用	—
10	防災ラジオドラマ制作を通じた地域防災力の向上	坪川博彰・長坂俊成・田口仁・須永洋平・臼田裕一郎	・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない ・組織内の決まった役員だけが活動に参加している ・個別災害への効果的な対策が進まない ・災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない ・自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い	・帰宅困難者対策避難所連携〔愛知県岡崎市藤川編〕 ・わたしにできること（災害を乗り越えることで絆を取り戻す物語） ・みんな一緒に避難しよう～神戸真陽小学校編～ ・平成21年豪雨を忘れないために私たちにできること（剣川堰堤調査） ・私に語る資格はあるのでしょうか（震災の語り継ぎ）	坪川博彰・長坂俊成・田口仁・須永洋平・臼田裕一郎(2009)：防災ラジオドラマ作りを通じたリスクガバナンス創発の試み．日本リスク研究学会年次大会講演論文集，Vol.22，259-262．
11	e防災マップの作成を通じた地域防災活動の実践手法	須永洋平・長坂俊成・LEE Tai-young・田口仁・坪川博彰・臼田裕一郎	・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない ・災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない ・各戸配布してもハザードマップを見てもらえない ・過去の自然災害に関する経験と知識を持っている人が少ない ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	・亦楽小学校2015年度子ども防災マップ ・金楽校区命をつなぐ災害弱者避難経路防災マップ ・自動車学校が作った『思わず見たくなる防災マップ』 ・富田地域防災マップ「とんだマップ」 ・分散型水管理を通した風かおり緑かがやくあまみず社会の構築 ・桜学区防災マップ-防災安心まちづくり委員会- ・豊中国際防災マップ【Toyonaka Disaster Prevention Map】 ・地震・風水害ハザード栗真ップ ・南西四区防災マップ ・隣接学区との協力・連携マップ ・名古屋市北区金城学区の防災マップ ・「自分の命は自分で守る。自助、共助で地域を守り生きぬく。」	須永洋平・長坂俊成・LEETai-young・田口仁・坪川博彰・臼田裕一郎(2011)：e防災マップづくりによるリスクガバナンスの高度化～e防災マップコンテストを事例に～．日本リスク研究学会年次大会講演論文集，Vol.24，169-172．
12	ゲリラ豪雪による緊急車両への影響を最小化する手法	髙橋雅憲・高山純一・中山晶一朗	・運送車両や運転手など運送手段の確保が十分に出来ていない	石川県七尾市におけるゲリラ豪雪による緊急車両への影響とその対策	髙橋雅憲・高山純一・中山晶一朗(2011)：ゲリラ豪雪による緊急車両への影響とその対策に関する一考察．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.67，No.2，I_167-I_172．
13	リスクコミュニケーション手法による地域防災力向上手法	野村尚樹・宮島昌克・藤原朱里・山岸宣智	・災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない ・防災訓練の効果的な実践事例が知りたい ・住民主導の防災訓練を継続的に実施する方法がわからない ・過去の自然災害に関する経験と知識を持っている人が少ない ・組織内の決まった役員だけが活動に参加している ・自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界	輪島市におけるT-DIGを活用したリスクコミュニケーション手法を用いた地域防災力向上ワークショップ	野村尚樹・宮島昌克・藤原朱里・山岸宣智(2013)：ワークショップ手法を用いた防災リスクコミュニケーションに関する研究～輪島市輪島地区の事例を通して～．土木学会論文集A1(構造・地震工学)，Vol.69，No.4，I_528-I_538．
14	自治体と住民が協働して行う防災活動を支援する情報収集・共有システム	村上正浩・柴山明寛・久田嘉章・市居嗣之・座間信作・遠藤真・大貝彰・関澤愛・末松孝司・野田五十樹	・住民への効果的な情報伝達手段がわからない ・避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 ・災害ごとに避難所が異なることへの理解促進が課題である ・教育委員会・学校との連携が進まない ・避難所となる学校との連携が課題 ・災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない	情報共有システムを活用した自治体と住民の協働による地域点検マップづくり・防災訓練の実践事例	村上正浩・柴山明寛・久田嘉章・市居嗣之・座間信作・遠藤真・大貝彰・関澤愛・末松孝司・野田五十樹(2009)：住民・自治体協働による防災活動を支援する情報収集・共有システムの開発．日本地震工学会論文集，Vol.9，No.2，200-220．
15	火山における地形や噴火史を分かり易く理解してもらう地図の作成方法	新井田秀一・山下浩之・笠間友博	・過去の自然災害に関する経験と知識を持っている人が少ない	箱根火山における地図の活用	新井田秀一・山下浩之・笠間友博(2011)：ジオパークと地図箱根火山における地図の活用－地形や噴火史を理解するために－．地図，Vol.49，No.3，28-37．
16	住民の防災意識向上に有効な支援ツールの活用	達川剛・財賀美希・藤井俊久・松見吉晴・太田隆夫	・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい ・自主防災組織の育成 ・各戸配布してもハザードマップを見てもらえない ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない	鳥取市大正地区における住民の自律的防災行動を促進する支援ツールの活用	達川剛・財賀美希・藤井俊久・松見吉晴・太田隆夫(2012)：住民の防災意識向上に有効な支援ツールの検証．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.68，No.2，I_175-I_180．
17	市町村管理の橋梁の費用負担を抑えた長寿命化対策	太田貞次	・被災軽減のための施設計画をたてようにも、何が効果的かわからない ・施設・設備の耐震化等の被害軽減対策には、長い期間を要する ・個別災害への効果的な対策が進まない ・輸送路の防災対策が進まない	香川県における市町村管理の橋梁現況調査と長寿命化対策	太田貞次(2012)：香川県内市町が管理する橋梁の現況報告と長寿命化対策．コンクリート工学，Vol.50，No.4，325-330．
18	土砂調整を時系列で行うためのシステム整備手法	三上幸三・長山孝彦・田方 智・伊藤隆郭・水山高久	・被害軽減に関する手順がわからない	常願寺川における可動式シャッター砂防堰堤の設置と運用	三上幸三・長山孝彦・田方智・伊藤隆郭・水山高久(2014)：常願寺川における可動式シャッター砂防堰堤の設置と運用について．砂防学会誌，Vol.66，No.5，42-48．
19	高潮災害時の広域避難実現に向けた「動く高潮ハザードマップ」を用いた住民意識啓発の手法	児玉真・片田敏孝・桑沢敬行・清水晃・和田光広・小林賢也	・避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 ・各戸配布してもハザードマップを見てもらえない ・災害ごとに避難所が異なることへの理解促進が課題である ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない	木曽三川下流域における高潮災害時の広域避難実現に向けた「動く高潮ハザードマップ」を用いた住民意識啓発の事例	児玉真・片田敏孝・桑沢敬行・清水晃・和田光広・小林賢也(2013)：高潮災害時の広域避難実現に向けた住民意識啓発に関する研究．土木学会論文集B2(海岸工学)，Vol.69，No.2，I_1356-I_1360．
20	津波から漁船を避難させる沖出し行動のルール策定手法	片田敏孝・村澤直樹・金井昌信	・避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 ・具体的な計画やマニュアルの策定が難しい	根室市落石漁協における「漁船の避難ルール」の効果検証	片田敏孝・村澤直樹・金井昌信(2012)：漁船の津波沖出し行動に関するルール策定効果の検証－2011年東北地方太平洋沖地震津波襲来時の根室市落石漁協の対応を事例に－．災害情報，No.10，103-112．
21	避難誘導効果をふまえた津波避難場所の設置を支援する手法	桑沢敬行・細井教平・片田敏孝	・避難路の確保が困難 ・避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 ・具体的な計画やマニュアルの策定が難しい	尾鷲市における避難誘導効果をふまえた津波避難場所の設置を支援するシミュレーション評価	桑沢敬行・細井教平・片田敏孝(2015)：津波避難場所の誘導効果とそれを踏まえた設置場所のあり方に関する研究．土木学会論文集D3(土木計画学)，Vol.71，No.3，117-126．
22	多雪寒冷地における高齢コミュニティの雪対策に有効な戸建て住宅地計画の手法	矢島建・花本達郎・田川正毅	・個別災害への効果的な対策が進まない ・他自治体の事例を知りたい	北海道旭川市の戸建て住宅計画における高齢コミュニティの雪対策に有効な変形細街路の評価検討	矢島建・花本達郎・田川正毅(2007)：多雪寒冷地における高齢コミュニティの雪対策を考慮した戸建て住宅地計画手法．日本建築学会技術報告集，Vol.13，No.26，791-794．
23	情報伝達・避難行動・津波氾濫を考慮した津波災害シナリオ・シミュレータの開発	片田敏孝・桑沢敬行・金井昌信・細井教平	・効果的な広報計画の手法が知りたい ・各戸配布してもハザードマップを見てもらえない ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない ・他自治体の事例を知りたい ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	津波災害シナリオシミュレータを用いた尾鷲市民への防災教育の実施と有効性の検証	片田敏孝・桑沢敬行・金井昌信・細井教平(2004)：津波災害シナリオ・シミュレータを用いた尾鷲市民への防災教育の実施とその評価．社会技術研究論文集，Vol.2，199-208．
24	防災教育の地域波及効果を検討する手法	陳雅妏・糸井川栄一・梅本通孝	・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない ・教育委員会・学校との連携が進まない ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	東京都足立区小学校区住民へのアンケート調査にもとづいた防災教育の地域波及効果の検討	陳雅妏・糸井川栄一・梅本通孝(2013)：小学校児童に対する防災教育の地域への効果波及に関する研究．都市計画論文集，Vol.48，No.1，39-49．

No.	防災対策手法	手法開発者	課題	実践事例	出典
25	地域での防災活動を企画実行できる防災リーダーの養成講習プログラム	佐藤健・増田聡・柴山明寛	・組織内の決まった役員だけが活動に参加している ・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない ・住民主導の防災訓練を継続的に実施する方法がわからない ・他自治体の事例を知りたい ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない	仙台市における地域防災リーダー養成プログラムの実施と地域防災力の変遷評価	佐藤健・増田聡・柴山明寛(2015)：仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発．日本地震工学会論文集，Vol.15，No.7，474-484.
26	地震被災を想定した道路ネットワークのライブ管理手法	川本篤志・白木渡・保田敬一・伊藤則夫・常垣正博	・いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる ・アクセス道路が少なく、孤立する恐れがある ・輸送路の防災対策が進まない ・輸送路が通行止めとなった際の代替手段が必要 ・被災軽減のための施設計画をたてようにも、何が効果的かわからない	道路ネットワークのライブ管理システムを用いた鳥取市の緊急対応シナリオのシミュレーション検討	川本篤志・白木渡・保田敬一・伊藤則夫・常垣正博(2008)：地震被災を想定した道路ネットワークのライブ管理システムの構築．構造工学論文集，Vol.54A，152-161.
27	最小単位の地区「隣保」における防災活動の実態調査手法	春山成子・辻村晶子	・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	兵庫県豊岡市における自主防災活動の実態調査と地域住民の工夫	春山成子・辻村晶子(2009)：最小単位としての「地区」の防災活動-2004年豊岡水害の事例から-．E-journalGEO，Vol.4，No.1，1-20.
28	自治体における災害時の防災部門と医療部門間の情報共有を実現する手法	坂東淳・町田千尋	・災害時の医療関係機関との連携 ・輸送路が通行止めとなった際の代替手段が必要 ・災害時の関係機関との連絡がスムーズに行くか不安	自治体における災害時の情報共有に関する課題－防災部門と医療部門の連携	坂東淳・町田千尋(2015)：自治体における災害時の情報共有に関する課題-防災部門と医療部門の連携．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.71，No.2，I_205-I_212.
29	業務継続に必要な4つの「能力」の視点を用いた市町村の業務継続計画（BCP）策定の手法	畠山慎二・坂田朗夫・川本篤志・伊藤則夫・白木渡	・輸送路が通行止めとなった際の代替手段が必要 ・災害時の初動体制のマニュアルが不整備である ・BCPの策定が不十分であり初動時に不安がある	大阪府豊能郡豊能町における初動時の職員参集で実効性を担保したBCP策定事例	畠山慎二・坂田朗夫・川本篤志・伊藤則夫・白木渡(2014)：レジリエンスの考え方に基づいた行政機関BCP策定の提案．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.70，No.2，I_81-I_86.
30	近所間のつながりを考慮した要援護者避難支援のための要援護者と支援者のマッチング手法	中山貴喜・神谷大介	・要援護者対策の進め方 ・避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分 ・避難所開設時に住民と協力した運営ができるか	沖縄県渡名喜村を対象とした近所間のつながりを考慮した要援護者と支援者のマッチング検討事例	中山貴喜・神谷大介(2015)：過疎地域における近所間の認知関係を考慮した要援護者の避難支援方策の検討-沖縄県渡名喜村を対象として-．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.71，No.1，1-12.
31	職員参加型での市町村BCP策定手法	坂田朗夫・川本篤志・伊藤則夫・畠山慎二・磯打千雅子・白木渡	・災害時の初動体制のマニュアルが不整備である ・BCPの策定が不十分であり初動時に不安がある ・輸送路が通行止めとなった際の代替手段が必要	大阪府豊能郡豊能町での職員参加型での市町村BCP策定事例	坂田朗夫・川本篤志・伊藤則夫・畠山慎二・磯打千雅子・白木渡(2013)：職員参加型ワークショップによる市町村BCP策定手法の提案．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.69，No.2，I_19-I_24.
32	戦略計画の考え方に基づく、要援護者対策を含めた津波避難対策の検討手法	原田賢治・田村圭子・山崎栄一・林春男・河田惠昭	・要援護者対策の進め方 ・避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分 ・避難所開設時に住民と協力した運営ができるか ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない	要援護者の避難対策も含めた近畿圏における総合的な津波対策検討の事例	原田賢治・田村圭子・山崎栄一・林春男・河田惠昭(2007)：要援護者対策も含めた総合的な津波避難対策の戦略計画の検討．海岸工学論文集，Vol.54，1366-1370.
33	シミュレーターを用いた大都市における大規模水害に対する避難対策の検討手法	片田敏孝・桑沢敬行・信田智・小島優	・避難所が十分に確保できていない ・具体的な計画やマニュアルの策定が難しい ・災害ごとに避難所が異なることへの理解促進が課題である	シミュレーターを用いた東京都江戸川区における荒川氾濫に対した避難対策の検討事例	片田敏孝・桑沢敬行・信田智・小島優(2013)：大都市大規模水害を対象とした避難対策に関するシナリオ分析．土木学会論文集B1(水工学)，Vol.69，No.1，71-82.
34	GISを活用した火砕流の「防災計画支援システム」構築と被害予測および避難・救援計画を立案する手法	高阪宏行	具体的な計画やマニュアルの策定が難しい 避難勧告、指示の判断基準が難しい いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる	GISを活用した浅間山火砕流の被害予測と避難・救援計画の立案	高阪宏行(2000)：GISを利用した火砕流の被害予測と避難・救援計画－浅間山南斜面を事例として－．地理学評論，Vol.73，No.6，483-497_2.
35	災害時アクションカードを用いた幼稚園の避難行動の継続的改善のための防災訓練手法	湯浅恭史・中野晋・山城新吾・薩岡弘知・多田雄一・村上佳代子・鳥庭康代	教育委員会・学校との連携が進まない 効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	災害時アクションカードを用いた訓練手法による津波避難行動の高度化：松茂町立K幼稚園での取り組み	湯浅恭史・中野晋・山城新吾・薩岡弘知・多田雄一・村上佳代子・鳥庭康代(2015)：災害時アクションカードを用いた訓練手法による幼稚園での津波避難行動の高度化．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.71，No.2，I_185-I_190.
36	災害時の想定外をつくりだせる参加型避難シミュレーションを活用した防災教育の手法	有友春樹・井面仁志・白木渡	自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界 具体的なマニュアル作成の良い例を知りたい	参加型避難シミュレーションを活用して、想定外の事態に対応できるレジリエンス能力を向上させるワークショップ事例	有友春樹・井面仁志・白木渡(2015)：災害時のレジリエントな対応力向上のための参加型避難シミュレーションの活用．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.71，No.2，I_27-I_32.
37	柔軟性の高い津波避難シミュレータを活用した要援護者支援計画の策定手法	二神透・秋月恵一・松山優貴・國方祐希	輸送路が通行止めとなった際の代替手段が必要 要援護者対策の進め方 避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分	津波避難地域を対象とした要援護者支援システムの愛媛県西予市明浜町俵津地区へのシステム適用事例	二神透・秋月恵一・松山優貴・國方祐希(2013)：津波避難地域を対象とした要援護者支援システムの開発．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.69，No.2，I_1-I_6.
38	行政・住民の意見を反映した火災延焼シミュレーション手法	二神透・國方祐希	いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる 避難所が十分に確保できていない 避難路の確保が困難	ワークショップを通じて行政・住民の意見を反映した火災延焼シミュレーションの改良・回収を行った事例	二神透・國方祐希(2014)：自主防災会・行政・専門家による地域防災力支援システムの開発．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.70，No.2，I_161-I_168.
39	要配慮者利用施設向けの時間軸に沿った具体的な避難計画検討手法	金井純子・湯浅恭史・中野晋・渡辺一也	災害時の初動体制のマニュアルが不整備である 要援護者対策の進め方 避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分	2014年8月の台風11号で被災した要配慮者利用施設のタイムラインの検討事例	金井純子・湯浅恭史・中野晋・渡辺一也(2015)：要配慮者利用施設の初動対応・事業継続におけるタイムラインの必要性．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.71，No.2，I_47-I_54.
40	「e防災マップづくり」、「災害対応シナリオづくり」を活用した3つのステップによる災害リスクコミュニケーション手法	李泰榮・田口仁・臼田裕一郎・長坂俊成・坪川博彰	具体的な計画やマニュアルの策定が難しい 全ての住民に情報を伝達することが困難である 防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない 具体的なマニュアル作成の良い例を知りたい 自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界 過去の自然災害に関する経験と知識を持っている人が少ない 自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い 災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない	つくば市における「e防災マップづくり」、「災害対応シナリオづくり」を活用した地域の防災力向上のための実践事例	李泰榮・田口仁・臼田裕一郎・長坂俊成・坪川博彰(2017)：地震防災取り組みにおける災害リスクコミュニケーション手法の構造化と実践効果～茨城県つくば市筑波小学校区の事例～．日本地震工学会論文集，Vol.17，No.1，63-76.
41	孤立対策検討ワークショップの実施と参加者への調査によるリスクコミュニケーション効果の分析手法	照本清峰	組織内の決まった役員だけが活動に参加している 自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い 地域における祭りやイベントが少ない	徳島県美馬市木屋平地区における孤立対策検討ワークショップの実施とリスクコミュニケーション効果の分析	照本清峰(2011)：孤立対策検討ワークショップの実施とリスクコミュニケーション効果の分析．日本建築学会技術報告集，Vol.17，No.37，1003-1008.
42	中学校教職員の災害イマジネーションの向上ワークショップ手法	沼田 宗純・目黒 公郎	自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い 過去の自然災害に関する経験と知識を持っている人が少ない 住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい 住民主導の防災訓練を継続的に実施する方法がわからない 教育委員会・学校との連携が進まない	渋谷区立松濤中学校における「目黒巻」を使った災害イマジネーション力向上ワークショップの実践事例	沼田宗純・目黒公郎(2012)：渋谷区立松濤中学校における災害イマジネーション力の向上ワークショップ．生産研究，Vol.64，No.6，885-896.
43	ワークショップと防災ボードゲームを活用した隣接する自治会間の連携意識を高める手法	齋藤千夏・山家京子・佐々木一晋・飯澤清典	訓練の内容がマンネリ化しているため事例を知りたい 防災訓練の効果的な実践事例が知りたい 啓発活動ができる人材の育成	神奈川県鎌倉市での防災情報共有ボードゲームによる隣接自治会間の連携意識向上の実践事例	齋藤千夏・山家京子・佐々木一晋・飯澤清典(2012)：自治会間の連携を意図した防災情報共有ボードゲームの作成．日本建築学会技術報告集，Vol.18，No.38，303-308.
44	グループホームの施設特性を考慮した津波避難確保計画作成のポイントとその実効性向上のための訓練手法	金井純子・ 中野晋	自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界 災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない 要援護者対策の進め方 避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分	災害時アクションカードを用いたグループホームの津波避難訓練の実践事例	金井純子・中野晋(2014)：津波発生時のグループホームの避難確保計画のあり方．土木学会論文集B2(海岸工学)，Vol.70，No.2，I_1361-I_1365.
45	大震時火災熱リスク分析システムを活用した地区防災計画の作成手法	二神透・國方祐希	所属課題タイトル欄空欄 防災対策を客観的に評価することができないため、今後何をどう進めるかわからない 明確な目標が定められていない	大震時火災延焼シミュレーション・システムによる松山市立花地区の地区防災計画検討支援の実践事例	二神透・國方祐希(2015)：地区防災計画のための大震時火災熱リスク分析システムの開発と適用研究．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.71，No.2，I_97-I_104.
46	自動車利用をふくむ津波避難ルール(案)作成により住民参加型で津波避難対策を検討する手法	照本清峰	避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 具体的な計画やマニュアルの策定が難しい 計画やマニュアルの見直しが必要 効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	和歌山県みなべ町での自動車利用をふくむ津波避難ルール(案)作成による住民参加型の津波避難対策検討事例	照本清峰(2015)：自動車利用を含めた津波避難ルール(案)に関する地域モデルの形成：和歌山県みなべ町を事例とした実践に基づく検討．都市計画論文集，Vol.50，No.3，423-430.
47	火山噴火時における災危機管理の手法	関克己・小林潔司・湧川勝己	他自治体の事例を知りたい 住民への効果的な情報伝達手段がわからない	2000年有珠山噴火における災害応急の意思決定とリスク評価の実践事例	関克己・小林潔司・湧川勝己(2016)：有珠山噴火における災害応急対策の意思決定構造に関する研究．土木学会論文集F5(土木技術者実践)，Vol.72，No.1，1-19.
48	都心業務地域における地域連携体制の訓練と国際規格（ISO22320）による検証手法	新藤淳・村上正浩・久田嘉章	効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい 災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない	新宿駅周辺地域の関係団体による協力・連携体制の訓練と国際規格（ISO22320）によるその検証実践事例	新藤淳・村上正浩・久田嘉章(2016)：新宿駅周辺地域を対象とした都心業務地域における地域連携による危機対応とその標準化に関する研究．日本地震工学会論文集，Vol.16，No.5，159-176.
49	自動車避難者の避難行動シミュレーションによるハード・ソフト両面の施策評価手法	長尾一輝・大畑長・柿元祐史・花房比佐友・ 二上洋介・江藤和昭・桑原雅夫	計画やマニュアルの見直しが必要 効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい 避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 具体的な計画やマニュアルの策定が難しい	2012年三陸沖地震に基づく自動車避難者の避難行動シミュレーションによるハード・ソフト両面の施策評価の実践事例	長尾一輝・大畑長・柿元祐史・花房比佐友・二上洋介・江藤和昭・桑原雅夫(2015)：大規模地震時における自動車避難行動を考慮した避難施策の評価．土木学会論文集D3(土木計画学)，Vol.71，No.5，I_53-I_68.
50	「拡張現実（AR）」アプリを用いた体験型震災学習プログラムの手法	中川政治・尾形和昭・佐藤翔輔・佐藤茂久・藤間千尋	訓練の内容がマンネリ化しているため事例を知りたい 防災訓練の効果的な実践事例が知りたい	宮城県石巻市での「拡張現実（AR）」アプリを用いた体験型震災学習プログラムの実践事例	中川政治・尾形和昭・佐藤翔輔・佐藤茂久・藤間千尋(2015)：ICTを活用した仮想体験型震災学習プログラムの開発－東日本大震災で被災した石巻市における「防災まちあるき」実践事例－．地域安全学会論文集，No.26，37-44.
51	事業者等が一時滞在施設運営を検討するための「帰宅困難者支援施設運営ゲーム」	廣井悠・黒目剛・新藤淳	訓練の内容がマンネリ化しているため事例を知りたい 防災避難訓練への参加率向上 住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい 避難所開設時に住民と協力した運営ができるか	「帰宅困難者支援施設運営ゲーム」の実践による一時滞在施設運営の課題検討に関する実践事例	廣井悠・黒目剛・新藤淳(2015)：帰宅困難者支援施設運営ゲームの開発に関する研究．地域安全学会東日本大震災特別論文集4.

No.	防災対策手法	手法開発者	課題	実践事例	出典
52	中高層分譲集合住宅の管理組合のための「自宅生活継続に備える」ワークショップ手法	市古太郎・讃岐亮・中林一樹・吉川仁	自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い ここまでやれば大丈夫ということがないものなので、どこまでやればいいのかわからない 災害対応に役に立つ地域関係者が（地域資源）把握されていない 住民主導の防災訓練を継続的に実施する方法がわからない	多摩ニュータウンの中高層分譲集合住宅管理組合を対象とした「自宅生活継続ワークショップ」の実践事例	市古太郎・讃岐亮・中林一樹・吉川仁(2013)：中高層分譲集合住宅での「自宅生活継続に備える」ワークショップ手法の開発．地域安全学会論文集，No.21，71-79．
53	目黒巻	目黒公郎	・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない ・住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい ・新任の防災担当者に対する研修や養成講座、ツールについての情報が欲しい ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	—	—
54	地震計データから液状化箇所を短時間で簡易予測する方法	鈴木崇伸・清水善久・小金丸健一・中山渉	・個別災害への効果的な対策が進まない ・いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる	—	鈴木崇伸・清水善久・小金丸健一・中山渉(2001)：ゼロクロス周期を用いた液状化判定法の検知精度．地震工学研究発表会講演論文集，No.26，1413-1416．
55	災害対応カードゲーム教材「クロスロード」の活用	矢守克也	・住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい ・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない ・自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界 ・職員向けの訓練方法、運営方法について知りたい ・訓練の内容がマンネリ化しているため事例を知りたい ・啓発活動ができる人材の育成 ・災害の経験がなく問題を認識していないことが課題	—	—
56	噴火後の災害対応を支援するリアルタイム火山ハザードマップ	中筋章人	・いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる ・災害の経験がなく問題を認識していないことが課題	—	中筋章人(2008)：リアルタイム火山ハザードマップの必要性と有効性-北海道有珠火山を例として-．応用地質，Vol.49，No.5，293-303．
57	短時間で急激に変化する降雨に対応した土砂災害危険度の評価手法	土田孝	被害軽減に関する手順がわからない 個別災害への効果的な対策が進まない いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる	—	—
58	防災ラジオドラマの作成を通じた地域防災活動の実践手法	災害リスク研究ユニット	・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない	—	—
59	田んぼダムによる内水氾濫被害軽減効果評価手法	宮津進・吉川夏樹・阿部聡・三沢眞一・安田浩保	・個別災害への効果的な対策が進まない	—	宮津進・吉川夏樹・阿部聡・三沢眞一・安田浩保(2012)：田んぼダムによる内水氾濫被害軽減効果の評価モデルの開発と適用．農業農村工学会論文集，Vol.80，No.6，479-488．
60	豪雨による土砂災害を対象としたリアルタイムハザードシステムの構築手法	沖村孝・鳥居宣之・尾崎幸忠・南部光広・原口勝則	・いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる	—	沖村孝・鳥居宣之・尾崎幸忠・南部光広・原口勝則(2011)：数値シミュレーションとその活用 豪雨による土砂災害を対象としたリアルタイムハザードシステムの構築．砂防学会誌，Vol.63，No.6，4-12．
61	集中豪雨時における自治体と住民の適切な状況判断・対応行動のための避難施設評価システム	三宅英知・林春男・鈴木進吾・西野隆博	・避難勧告、指示の判断基準が難しい	—	三宅英知・林春男・鈴木進吾・西野隆博(2016)：集中豪雨対策としての施設点検及び状況判断に着目した避難施設評価手法の開発．自然災害科学，Vol.35，No.2，105-120．
62	自助・共助レベルでの行動変容と活動効果の波及を考慮した土砂災害を事例とした防災教育の実践手法	金井昌信・片田敏孝・望月準	・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	—	金井昌信・片田敏孝・望月準(2006)：土砂災害教育のあり方とその効果・波及に関する研究．土木計画学研究・論文集，No.23，335-344．
63	洪水により発生した倒流木と巨石を活用した河川の生態環境と防災機能の両方を守る手法	高山裕將・柳井清治・白川北斗	・いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる ・効果的な整備方法を知りたい ・被害軽減に関する手順がわからない	—	高山裕將・柳井清治・白川北斗(2011)：洪水により発生した倒流木と巨石を用いた河川再生工法の評価．応用生態工学，Vol.14，No.2，139-154．
64	標高データを用いた内水氾濫の危険箇所の抽出方法	野々村敦子・鎌田昇悟・長谷川修一・林宏年	・いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる ・被害軽減に関する手順がわからない	—	野々村敦子・鎌田昇悟・長谷川修一・林宏年(2011)：DEMを用いた内水氾濫危険箇所抽出方法の検討．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.67，No.2，I_131-I_136．
65	災害時対応を風化させないための5種類の定期的な教育訓練の手法	保田敬一・白木渡・井面仁志	他自治体の事例を知りたい 過去の自然災害に関する経験と知識を持っている人が少ない 高齢化していて担い手が少ない	—	保田敬一・白木渡・井面仁志(2014)：BCPにおける災害時対応属性を通常点検の仕組みに組み入れる方法の提案．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.70，No.2，I_59-I_66．
66	シミュレーションにより高齢者施設等での避難行動開始に影響する要因を分析する手法	土肥裕史・奥村与志弘・小山真紀・湯浅亮・清野純史	避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分 自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界 避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 要援護者対策の進め方	—	土肥裕史・奥村与志弘・小山真紀・湯浅亮・清野純史(2014)：コミュニティにおける津波避難初期過程のシミュレーションモデルの開発．土木学会論文集B2(海岸工学)，Vol.70，No.2，I_1356-I_1360．
67	フラジリティー関数を利用したマングローブ林の津波減衰効果の評価手法	柳澤英明・越村俊一・宮城豊彦・今村文彦	具体的な計画やマニュアルの策定が難しい 被害軽減に関する手順がわからない 明確な目標が定められていない	—	柳澤英明・越村俊一・宮城豊彦・今村文彦(2008)：2004年インド洋大津波におけるマングローブ林のフラジリティー関数と津波減衰効果．海岸工学論文集，Vol.55，286-290．
68	土砂災害における住民の避難行動思考と自治体の避難情報の特定手法	石塚久幸・和田滉平・宮島昌克	防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない 過去の自然災害に関する経験と知識を持っている人が少ない	—	石塚久幸・和田滉平・宮島昌克(2014)：土砂災害における住民の避難行動思考と自治体の避難情報提供の実態に関する考察．自然災害科学，Vol.33，特別号，127-140．
69	地震災害を対象とした住民・行政協働による地域防災力向上手法	大山勲・秦康範・鈴木猛康・佐々木邦明・三井あゆみ	防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない 啓発活動ができる人材の育成 自主防災組織の高齢化に伴い機能的な運営が困難となっている 過去の自然災害に関する経験と知識を持っている人が少ない	—	大山勲・秦康範・鈴木猛康・佐々木邦明・三井あゆみ(2011)：地震災害を対象とした住民・行政協働による地域防災力向上に関する取り組み．土木学会論文集F5(土木技術者実践)，Vol.67，No.2，I_116-I_129．
70	津波避難勧告地域における防災行政無線の現状と今後の整備手法	二神透・大本翔平	防災行政無線が聞こえない地域がある 担当職員が業務が非常に多く手が回らない 情報伝達手段が十分に多重化できていない	—	二神透・大本翔平(2012)：津波避難勧告地域における防災行政無線の整備と課題－愛媛県宇和海沿岸5市町を対象として－．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.68，No.2，I_74-I_81．
71	「遠隔建物被害認定システム」を用いた効率的な建物被害認定調査の手法	藤生慎・大原美保・目黒公郎	災害の経験がなく問題を認識していないことが課題 具体的な計画やマニュアルの策定が難しい	—	藤生慎・大原美保・目黒公郎(2013)：遠隔建物被害認定システムの適用可能性に関する分析－大規模地震災害での活用に向けて－．地域安全学会論文集，No.21，17-26．
72	EXCELを使った「地下水位低下工法」簡易支援ツール	国土交通省国土技術政策総合研究所 都市研究部	被災軽減のための施設計画をたてようにも、何が効果的かわからない 施設・設備の耐震化等の被害軽減対策には、長い期間を要する 個別災害への効果的な対策が進まない	—	国土交通省国土技術政策総合研究所 都市研究部(2012)：国総研技術速報 No. 2: 地域で取り組む地盤の液状化対策のための「地下水位低下の効果・影響簡易計算シート」(試行版)公開．(http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/sokuhou/file/120801.pdf)
73	東日本大震災での支援を行った自治体、NPO／NGOへの調査による「受援力」向上のための課題、「受援計画」の内容項目についての提案	本荘雄一・立木茂雄	受援計画が十分に策定できていない 締結した協定を平時から維持するための手法が良くわからない 具体的な計画やマニュアルの策定が難しい	—	本荘雄一・立木茂雄(2014)：被災市町村と応援行政組織やボランタリー組織との連携・協働を促す受援計画の考察－東日本大震災を事例として－．地域安全学会論文集，No.23，21-31．
74	地域継続計画（DCP）策定における地域インパクト分析（DIA）を支援するウェブ・システムの開発とその活用手法	高橋亨輔・白木渡・岩原廣彦・井面仁志・磯打千雅子	防災訓練の効果的な実践事例が知りたい 自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界 個別災害への効果的な対策が進まない	—	高橋亨輔・白木渡・岩原廣彦・井面仁志・磯打千雅子(2013)：地域インパクト分析支援システムを用いた地域継続力の評価に関する研究．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.69，No.2，I_135-I_140．
75	防災ワークショップを活用した大規模氾濫時における緊急避難体制の確立手法	片田敏孝・金井昌信・児玉真・及川康	・避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分	—	片田敏孝・金井昌信・児玉真・及川康(2011)：防災ワークショップを通じた大規模氾濫時における緊急避難体制の確立．土木学会論文集(土木技術者実践)，Vol.67，No.1，14-20．
76	洪水ハザードマップの効果的な作成・公表方法	片田敏孝	・各戸配布してもハザードマップを見てもらえない ・災害ごとに避難所が異なることへの理解促進が課題である	—	片田敏孝(2001)：洪水ハザードマップの作成状況と作成自治体による事後評価．水工学論文集，Vol.45，31-36．
77	盛土下に空気を注入することで液状化による道路の沈下を防ぐ方法	冨田雄一・紙田直充・内田純二・岡本辰也・岡村未対	・ライフラインの早期復旧に不安がある ・被害軽減に関する手順がわからない ・被災軽減のための施設計画をたてようにも、何が効果的かわからない ・個別災害への効果的な対策が進まない	—	冨田雄一・紙田直充・内田純二・岡本辰也・岡村未対(2014)：液状化対策としての地盤不飽和工法の道路盛土への適用性に関する研究．地盤工学ジャーナル，Vol.9，No.3，375-386．
78	揺れや地盤データから液状化による外構補修費用を推定する方法	太田宏・安達俊夫・宮村正光・新山龍・佐藤洋子	・被害軽減に関する手順がわからない ・被災軽減のための施設計画をたてようにも、何が効果的かわからない	—	太田宏・安達俊夫・宮村正光・新山龍・佐藤洋子(2014)：液状化被害の損失評価法に関する研究－浦安市における公共施設の外構被害の補修費用に関する検討－．日本建築学会構造系論文集，Vol.79，No.695，75-82．
79	格子状地中壁工法の効果を簡易評価シートで調べる方法	内田明彦・津國正一・明石達生・明石達生・大橋征幹・新井洋	・被災軽減のための施設計画をたてようにも、何が効果的かわからない ・個別災害への効果的な対策が進まない	—	内田明彦・津國正一・明石達生・大橋征幹・新井洋(2014)：格子状地中壁工法の液状化対策効果に関する簡易評価シート．日本建築学会技術報告集，Vol.20，No.46，921-924．
80	ドリルマップを使用した火山ハザードマップの正確な理解を促す手法	村越真・小山真人	・個別災害への効果的な対策が進まない ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい ・災害の経験がなく問題を認識していないことが課題 ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない ・各戸配布してもハザードマップを見てもらえない	—	村越真・小山真人(2007)：火山ハザードマップの読み取りに対するドリルマップ提示の効果．地図，Vol.45，No.4，1-11．
81	浸水時対策への応用に向けた都市域の内水氾濫モデルの構築手法	武田誠・高橋俊彦・長尾佳幸・平山康典・松尾直規	・個別災害への効果的な対策が進まない ・いつどこで災害が発生するかわからず対策が遅れる ・ここまでやれば大丈夫ということがないものなので、どこまでやればいいのかわからない ・防災対策を客観的に評価することができないため、今後何をどう進めるかわからない	—	武田誠・高橋俊彦・長尾佳幸・平山康典・松尾直規(2012)：都市域の内水氾濫モデルの検討と浸水時対策への応用について．土木学会論文集B1(水工学)，Vol.68，No.4，I_1015-I_1020．

No.	防災対策手法	手法開発者	課題	実践事例	出典
82	中小河川の氾濫原における水害リスクを考慮した地区別避難判断基準の設定	原田翔太・村岡治道・田中耕司・七里豊伸・手塚聡・瀧健太郎	・避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分	—	原田翔太・村岡治道・田中耕司・七里豊伸・手塚聡・瀧健太郎(2012)：中小河川の氾濫原における水害リスクを考慮した地区別避難判断基準の設定．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.68，No.2，I_18-I_23．
83	三次元動的解析と緊急地震速報を連携させた地震発生時の構造物の即時的な損傷評価手法	有賀義明・藤縄幸雄・堀宗朗	ライフラインの早期復旧に不安がある 施設・設備の耐震化等の被害軽減対策には、長い期間を要する 公共施設の耐震化率が低い	—	有賀義明・藤縄幸雄・堀宗朗(2008)：三次元動的解析と緊急地震速報を連携させた既設構造物の即時的な地震時損傷評価法．構造工学論文集，Vol.54A，283-292．
84	—	山本 晴彦	・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	山口県宇部市における高潮災害に関する防災授業	—
85	—	神奈川県防災研究DB活用を起爆剤とした地域防災活動活性化研究運営委員会	・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	神奈川県の学校防災教育研究集会	—
86	—	滝川　清	被災軽減のための施設計画をたてようにも、何が効果的かわからない 被害軽減に関する手順がわからない	熊本県における想定最大高潮に基づく高潮減災対策の策定	—
87	—	千葉隆弘・苫米地司・高橋徹・堤拓哉	被災軽減のための施設計画をたてようにも、何が効果的かわからない 個別災害への効果的な対策が進まない	北海道で発生した雪による人身事故と雪害対策	千葉隆弘・苫米地司・高橋徹・堤拓哉(2015)：北海道で発生した雪による人身事故と雪害対策に関する研究 大雪時における除雪状況の実態と人的被害関数に基づく雪害対応能力の分析．日本建築学会構造系論文集，Vol.80，No.708，197-206．
88	—	馬場健司・松浦正浩・篠田さやか・肱岡靖明・白井信雄・田中充	自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界	東京都における気候変動適応策実装化のための利害調整手法の実践	馬場健司・松浦正浩・篠田さやか・肱岡靖明・白井信雄・田中充(2012)：ステークホルダー分析に基づく防災・インフラ分野における気候変動適応策実装化への提案－東京都における都市型水害のケーススタディー．環境システム研究論文集，Vol.68，No.6，Ⅱ_443-Ⅱ_454．
89	—	チーム・アイ・ジャパン	訓練の内容がマンネリ化しているため事例を知りたい 自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い 防災訓練の効果的な実践事例が知りたい	腹話術人形（愛ちゃん）で防災のお話とシェイクアウト訓練	—
90	—	中越市民防災安全士会	自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い 防災訓練の効果的な実践事例が知りたい 住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい	自主防災会　活動事例発表会	—
91	—	星崎学区連絡協議会	・防災行政無線が聞こえない地域がある	定点観測	—
92	—	坂田朗夫・川本篤志・伊藤則夫・畠山愼二・白木渡(2014)	BCPの策定が不十分であり初動時に不安がある 新任の防災担当者に対する研修や養成講座、ツールについての情報が欲しい 受援計画が十分に策定できていない 自治体との協定締結が十分に進んでいない	大阪府豊能郡豊野町における防災訓練を踏まえた市町村BCP改善事例	坂田朗夫・川本篤志・伊藤則夫・畠山愼二・白木渡(2014)：防災訓練を踏まえた市町村BOP改善の提案．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.70，No.2，I_67-I_72．
93	—	田中耕司・花房大輔・中西宣敬・北村祐二	避難行動要支援者を支援できる体制の確立が不十分	災害図上訓練による要援護者支援施設の避難のあり方に関する課題抽出・解決策についての検討事例	田中耕司・花房大輔・中西宣敬・北村祐二(2011)：洪水氾濫における社会福祉団体の避難方法の選択と課題．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.67，No.2，I_35-I_40．
94	—	田中耕司・大久保省良・村岡治道・北村祐二・前田善一・小根田康人	住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい	滋賀県米原市での、行政と住民による継続的ワークショップによる洪水対策推進の実践事例	田中耕司・大久保省良・村岡治道・北村祐二・前田善一・小根田康人(2012)：洪水によって人的被害が想定される地区の減災対策．土木学会論文集F6(安全問題))，Vol.68，No.2，I_153-I_160．
95	—	沼田宗純・目黒公郎	受援計画が十分に策定できていない 災害時の関係機関との連絡がスムーズに行くか不安	東日本大震災時の福島県矢吹町と東京都三鷹市による受援・支援事例における課題・教訓	沼田宗純・目黒公郎(2013)：広域的災害時の効果的な応援体制の構築に向けた支援側と受援側の課題と教訓-東日本大震災における福島県矢吹町と東京都三鷹市の関係から考察-．生産研究，Vol.65，No.4，425-431．
96	—	寅屋敷哲也・丸谷浩明・妹尾雄介・積潤一	災害時の医療関係機関との連携 民間事業者との協定が進まない 締結した協定を平時から維持するための手法が良くわからない	東北地方での東日本大震災の教訓を活かした官民災害協定の現状分析と今後の拡充についての考察	寅屋敷哲也・丸谷浩明・妹尾雄介・積潤一(2016)：東北地方の各県における東日本大震災の教訓を活かした官民災害協定の拡充に関する分析．地域安全学会論文集，No.28，81-89．
97	—	菅野拓	災害時の関係機関との連絡がスムーズに行くか不安	東日本大震災以後の事例から抽出した，行政・NPO/NGO間の災害時連携実現の課題についての提言	菅野拓(2016)：行政·NPO/NGO間の災害時連携のために平時から備えるべき条件．地域安全学会論文集，No.29，115-124．
98	—	NHK東日本大震災証言プロジェクト	効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい 教育委員会・学校との連携が進まない	NHKアーカイブスを活用した学校教育授業の実践事例（沖縄県立真和志高等学校の例）	NHK東日本大震災証言プロジェクト：NHK東日本大震災アーカイブスを活用した授業の案－沖縄の学校編．
99	—	阪本真由美・矢守克也	受援計画が十分に策定できていない	東日本大震災時の事例に基づく広域災害の自治体間の応援調整の要件についての考察	阪本真由美・矢守克也(2012)：広域災害における自治体間の応援調整に関する研究－東日本大震災の経験より－．地域安全学会論文集，No.18，391-400．
100	—	佐藤翔輔・今村文彦・林春男	受援計画が十分に策定できていない	東日本大震災での石巻市の応急・復旧期と復興対応期における人的資源確保の取り組みと課題についての事例研究	佐藤翔輔・今村文彦・林春男(2013)：東日本大震災における被災自治体の人的資源運用に関する分析－宮城県石巻市を対象にして－．地域安全学会論文集，No.21，169-177．
101	—	佐藤翔輔・今村文彦	効果的な広報計画の手法が知りたい 住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい 効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい	東日本大震災の「教訓」を発信するためのウェブサイト作成の事例とその評価	佐藤翔輔・今村文彦(2015)：東日本大震災の経験を踏まえた「教訓」のオンライン発信－その1：研究者の見解に基づく教訓抽出・共有の試み．地域安全学会東日本大震災特別論文集4．
102	—	佐藤翔輔・中川政治・浅利満理子・今村文彦	住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい 各戸配布してもハザードマップを見てもらえない 教育委員会・学校との連携が進まない	石巻市での震災学習協働体制づくりの実践事例	佐藤翔輔・中川政治・浅利満理子・今村文彦(2016)：災害伝承活動に関する先進事例からの学びと石巻地方における課題－「震災学習共同事業体制づくり」コンファレンスの取り組み．地域安全学会東日本大震災特別論文集5．
103	—	糸魚川栄一・韓海燕・梅本通孝・太田尚孝	効果的な広報計画の手法が知りたい 教育委員会・学校との連携が進まない	津波警報発令時の小学生の安全確保に対する地域の協力条件・内容に関する意識調査結果の考察	糸魚川栄一・韓海燕・梅本通孝・太田尚孝(2014)：津波避難時における小学校と地域の連携可能性－茨城県神栖市を対象として．地域安全学会東日本大震災特別論文集3．
104	—	松山雅洋・林春男・木村玲欧・友安航太	他自治体の事例を知りたい 要援護者対策の進め方	神戸市のアンケート調査に基づく災害時要援護者支援の促進要因の解明と要援護者の避難支援の推進モデルの事例	松山雅洋・林春男・木村玲欧・友安航太(2014)：災害時要援護者支援に係る避難支援推進モデルの提案－神戸市の防災福祉コミュニティを事例として－．地域安全学会論文集，No.24，283-291．
105	—	末澤 弘太・山城 新吾・木村 泰之・浜 大吾郎・正部 洋典・中野 晋・佐藤 章仁	防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない 各戸配布してもハザードマップを見てもらえない 具体的な計画やマニュアルの策定が難しい	徳島県での「避難シミュレーションゲーム」による防災啓発の実践事例	末澤弘太・山城新吾・木村泰之・浜大吾郎・正部洋典・中野晋・佐藤章仁(2012)：避難シミュレーションゲームを用いた防災啓発．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.68，No.2，I_193-I_200．
106	—	芦野光憲・秋津理恵子・松下潤	組織内の決まった役員だけが活動に参加している 自主防災組織の高齢化に伴い機能的な運営が困難となっている 効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい 防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない	静岡県焼津市の「津波減災まちづくり」の取り組みとその成果検証の事例	芦野光憲・秋津理恵子・松下潤(2012)：津波減災まちづくりの都市基盤施設計画の評価について－静岡県焼津市の減災まちづくりの取組－．都市住宅学，No.79，62-67．
107	—	岩原廣彦・白木渡・井面仁志・高橋亨輔・磯打千雅子	防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない 組織内の決まった役員だけが活動に参加している 自主防災組織の高齢化に伴い機能的な運営が困難となっている	丸亀町商店街再開発の事例を踏まえた「災害に強いまちづくり」の実践事例	岩原廣彦・白木渡・井面仁志・高橋亨輔・磯打千雅子(2015)：地方都市再生の成功モデル街の防災力評価－地方創生と国土強靭化地域計画理念が融合した地方都市再生事例－．土木学会論文集F6(安全問題)，Vol.71，No.2，I_117-I_124．
108	—	大佛俊泰・鈴木久美子	他自治体の事例を知りたい 要援護者対策の進め方 災害時の医療関係機関との連携	市街地での地震火災を想定した高齢者福祉施設の広域避難の必要性に関する検証事例	大佛俊泰・鈴木久美子(2013)：大地震時の市街地大火を想定した高齢者福祉施設における広域避難について．日本建築学会計画系論文集，Vol.78，No.685，557-563．
109	—	岩原廣彦・白木渡・井面仁志・高橋亨輔・磯打千雅子・ 松尾裕治	民間事業者との協定が進まない 防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない 自主防災組織の高齢化に伴い機能的な運営が困難となっている	香川県における地域継続計画（DCP）策定に向けた取り組みの事例	岩原廣彦・白木渡・井面仁志・高橋亨輔・磯打千雅子・松尾裕治(2016)：南海トラフ地震災害復旧拠点における地域継続力向上の課題と施策．地域安全学会論文集，No.28，109-116．
110	—	乾亨・深川光耀・今野裕昭・西堀喜久夫・ 宮西悠司・清水光久・吉川健一郎	組織内の決まった役員だけが活動に参加している こまでやれば大丈夫ということがないものなので、どこまでやればいいのかわからない 防災対策を客観的に評価することができないため、今後何をどう進めるかわからない 協定後の具体的な内容の調整が進まない	神戸市真野地区の住民参加型まちづくり活動の課題と今後の方向性検討についてのアクションリサーチ事例	乾亨・深川光耀・今野裕昭・西堀喜久夫・宮西悠司・清水光久・吉川健一郎(2015)：地域組織の活性化と新しい地域リーダー創出のための実践的研究－「真野まちづくり」の継承と新展開を目指す取り組みを通して－．住総研研究論文集，No.41，109-120．
111	—	一ノ瀬文明・林春男・竹口佳孝・山本知巳・ 圖書学・前田裕二	具体性のある計画・マニュアルの作成が難しい 計画やマニュアルの見直しが必要	奈良県橿原市での情報共有ツールを活用した災害対応マニュアル改善作業の実践事例	一ノ瀬文明・林春男・竹口佳孝・山本知巳・圖書学・前田裕二(2014)：ICT活用による内閣府ガイドラインをベースとした災害対応マニュアルの改善手法の提案．地域安全学会論文集，No.24，201-210．
112	—	片桐由希子・清水哲夫・河東宗平	啓発活動ができる人材の育成 専門職員の不足 民間事業者との協定が進まない	東京都区部の国際的な観光地の防災体制構築に向けた検討事例	片桐由希子・清水哲夫・河東宗平(2015)：東京都区部における訪日外国人旅行客の観光行動と広域避難場所の対応に関する一考察．社会技術研究論文集，Vol.12，61-70．
113	—	本荘雄一・立木茂雄	自治体との協定締結が十分に進んでいない 他自治体の事例を知りたい 災害時の関係機関との連絡がスムーズに行くか不安	東日本大震災時の神戸市派遣職員の意見に基づく大規模広域災害時の自治体間協力に関する考察	本荘雄一・立木茂雄(2012)：大規模広域災害時における自治体間協力に関する考察－東日本大震災時における神戸市職員派遣の事例から．地域安全学会論文集，No.16-18，411-419．

No.	防災対策手法	手法開発者	課題	実践事例	出典
114	—	竹島小一郎・加藤孝明・小田切利栄・松尾一郎・作間敦	防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない 自主防災組織の高齢化に伴い機能的な運営が困難となっている	高知県南国市での津波避難計画策定のための住民ワークショップの実践事例	竹島小一郎・加藤孝明・小田切利栄・松尾一郎・作間敦(2014):コミュニティベースの津波避難計画策定のための支援技術とその効果－高知県南国市における実証－, 生産研究, Vol.66, No.4, 383-387.
115	—	三浦伸也・坪川博彰	自治体の防災担当や自主防災会等の自らが持つ従来の知見や経験のみによる対策の限界 災害対応に役に立つ地域関係者が(地域資源)把握されていない 地域における祭りやイベントが少ない 訓練の内容がマンネリ化しているため事例を知りたい 防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない	マンションマニュアル作成手法の実践 世田谷区若林コンドでの実践	三浦伸也・坪川博彰
116	—	乗松敬子	・民間事業者との協定が進まない ・自主防災組織の育成 ・災害時の関係機関との連絡がスムーズに行くか不安 ・住民への効果的な情報伝達手段がわからない ・具体的なマニュアル作成の良い例を知りたい ・具体的な計画やマニュアルの策定が難しい ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない ・教育委員会・学校との連携が進まない ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい ・自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い ・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない	世田谷区松沢地区の地区防災計画作成	乗松敬子
117	—	濱口恭彦	・災害時の初動体制のマニュアルが不整備である ・避難所となる学校との連携が課題 ・避難所開設時に住民と協力した運営ができるか ・具体的な計画やマニュアルの策定が難しい ・避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 ・具体的なマニュアル作成の良い例を知りたい ・教育委員会・学校との連携が進まない	沼津市西浦・内浦地区の避難所運営マニュアルの共通化	濱口恭彦
118	—	鶴巻浩二	・防災に携わる職員が不足している ・自主防災組織の育成 ・専門職員の不足 ・住民への効果的な情報伝達手段がわからない ・担当職員が業務が非常に多く手が回らない ・避難所や避難経路に関する住民との協議の進め方 ・具体的な計画やマニュアルの策定が難しい ・具体的なマニュアル作成の良い例を知りたい ・避難所開設時に住民と協力した運営ができるか ・避難所となる学校との連携が課題 ・教育委員会・学校との連携が進まない ・自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い	流山市内16校の避難所運営マニュアルの作成	鶴巻浩二
119	—	後藤武志	・避難所が十分に確保できていない ・災害ごとに避難所が異なることへの理解促進が課題である ・防災訓練の効果的な実践事例が知りたい ・訓練の内容がマンネリ化しているため事例を知りたい ・防災避難訓練への参加率向上 ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい ・自治会や地域活動組織同士のつながりが薄い	飯田市松尾地区の「天竜川の洪水から命を守る大避難訓練」	後藤武志
120	—	鬼塚宏一	・民間事業者との協定が進まない ・自主防災組織の育成 ・避難所が十分に確保できていない ・公共施設の耐震化率が低い	つくば市山麓地区の地区防災計画作成	鬼塚宏一
121	—	猪瀬浩二	・自主防災組織の育成 ・住民への効果的な情報伝達手段がわからない ・各家庭での備蓄品が十分か不安がある ・全ての住民に情報を伝達することが困難である ・効果的な広報計画の手法が知りたい ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい ・自発的な減災活動が進まず、個人・家庭・地域の減災力が育まれない	ふじみ野市滝自治会の防災手帳の作成	猪瀬浩二
122	—	今井陸之助	・要援護者対策の進め方 ・情報伝達手段が十分に多重化できていない ・防災に興味のない住民の意識啓発をどう進めていったら良いかわからない ・防災訓練の効果的な実践事例が知りたい ・訓練の内容がマンネリ化しているため事例を知りたい ・防災避難訓練への参加率向上 ・住民主導の防災訓練を継続的に実施する方法がわからない ・効果的な防災教育・啓発・地域の取り組み事例を知りたい ・住民主導の防災訓練、運営方法について知りたい	東近江市能登川地区のタオル方式安否確認訓練	今井陸之助

資料４　試験運用アンケート調査票

地域防災 Web アンケート 1
インターネットでの防災情報の閲覧方法
「あなたの地域を知ろう」編

はじめに

国立研究開発法人防災科学技術研究所は、文部科学省「地域防災対策支援研究プロジェクト（平成 25 年度～平成 29 年度）」の一環で進めている「統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築」として、地域の防災担当者（自治体職員・地域防災リーダー）に役立つ防災対策手法や事例を提供する Web サービス「地域防災 Web」の試験サイトを構築し、７月より公開型実証実験を実施しています。

このアンケートは、各自治体のインターネットでの防災情報の閲覧方法と、地域防災 Web の「あなたの地域を知ろう」（https://all-bosai.jp/chiiki_pj/）について伺うものです。今年度より始まった自治体 IT 強靭化の影響について伺ったうえで、Web サイトの閲覧が可能な場合には、地域の「災害の危険性」や「災害の記録」を知ることができる「あなたの地域を知ろう」をご覧いただき、率直なご意見・ご感想をいただき、地域防災 Web の改善に役立てるために実施するものです。

ご回答頂いた内容は個人が特定できる形で公表されることはありません。

回答にかかる時間はおおよそ 10 分です。回答は任意ですが、今後の地域防災活動を促進し、支援する Web サービスとして地域防災 web を発展させてまいりたいと考えておりますので、趣旨をご理解の上、是非ご協力ください。

ご多忙のところ、お手数おかけいたしますが、2/16（金）までに、下記あてメール（または FAX）でお送りいただきますよう、お願いいたします。

＜連絡先＞

国立研究開発法人　防災科学技術研究所　社会防災システム研究部門

三浦伸也、半田信之、佐野浩彬

TEL：029-863-7543

FAX ： 029-863-7541

Mail ： cbp-office アット bosai.go.jp（「アット」を@に代えてください）

アンケート

※ は必須項目です。

インターネットでの防災情報の閲覧方法について伺います。

（1）インターネットで防災情報を閲覧されていますか。※

①閲覧している　②閲覧していない

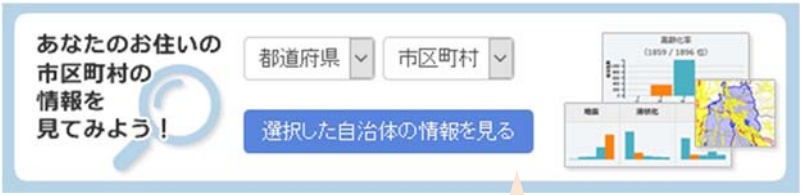
（2）今年の４月以降、自治体の IT 強靭化で Web サイトの閲覧が制限されていますが、現在でもインターネットで防災情報を閲覧されていますか。１つだけ丸で囲ってください。※

① ４月以前と同じように閲覧している
② 閲覧できる防災情報が限定された
③ システム担当に相談して、閲覧できるようにしてもらった
④ 個人的に（スマホや自宅で）閲覧している
⑤ 閲覧しなくなった

以下の設問は、インターネットで防災情報が閲覧できる方に伺います。

「地域防災対策支援研究プロジェクトホームページ」にアクセスしてみてください。

URL ： https://all-bosai.jp/chiiki_pj/



あなたのお住いの市区町村の情報をご覧ください

(1) **「あなたの地域を知ろう」の全体（概要、自然特性・社会特性、災害の危険性、災害に関する地図、災害の記録、類似の市区町村）を見て、どれくらい地域特性を把握できましたか。**※

1 つだけ丸で囲んでください。

まったく把握できなかった	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	完全に把握できた

(2) **「あなたの地域を知ろう」でよいと感じた項目はありましたか。**※

当てはまるものをすべて選択してください。

□概要　□自然・社会特性　□災害の危険性　□災害に関する地図
□災害の記録　□類似市区町村　□この中にはない
□その他: _____

(3) **「あなたの地域を知ろう」をみて、何が把握できましたか。**※

[　　]

(4) **「あなたの地域を知ろう」の地域特性は、思っていたとおりのものでしたか、それとも意外なものでしたか。**※

1 つだけ丸で囲んでください。

極めて意外だった	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	思ったとおりだった

(5) **「あなたの地域を知ろう」にさらに加えてほしい情報はありますか。**

[　　]

(6) **「あなたの地域を知ろう」をみて、地域防災 Web のアカウントを作ろうと思いましたか。**※

1 つだけ丸で囲んでください。

1 作ろうと思った　　2 作ろうと思わなかった

「2 作ろうと思わなかった」方に伺います。「作ろうと思わなかった」理由をご記入ください。

[　　]

(7) **「あなたの地域を知ろう」について、ご意見・ご要望等ありましたら、ご記入ください。**

[　　]

以下、あなたについて教えてください。

(8) **あなたの自治体（地域団体）を教えてください。**

_____

(9) **あなたの部署を教えてください。**

_____

(10) **あなたの役職を教えてください。**

_____

(11) **あなたの氏名を教えてください。**

_____

(12) **あなたの電話番号を教えてください。**

_____

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

地域防災 Web アンケート 2
「防災対策手法・事例の内容」編

はじめに

国立研究開発法人防災科学技術研究所は、文部科学省「地域防災対策支援研究プロジェクト（平成 25 年度～平成 29 年度）」の一環で進めている「統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築」として、地域の防災担当者（自治体職員・地域防災リーダー）に役立つ防災対策手法や事例を提供する Web サービス「地域防災 Web」の試験サイトを構築し、7 月より公開型実証実験を実施しています。

このアンケートは、地域防災 Web の「防災対策手法・実践事例」（https://trial.all-bosai.jp/allbosaiweb/）について伺うものです。「防災対策手法・実践事例」をご覧いただき、率直なご意見・ご感想をいただき、地域防災 Web の改善に役立てるために実施するものです。

ご回答頂いた内容は個人が特定できる形で公表されることはありません。

回答にかかる時間はおおよそ 10 分です。

回答は任意ですが、今後の地域防災活動を促進し、支援する Web サービスとして地域防災 web を発展させてまいりたいと考えておりますので、趣旨をご理解の上、是非ご協力ください。

ご多忙のところ、お手数おかけいたしますが、2/16（金）までに、下記あてメール（または FAX）でお送りいただきますよう、お願いいたします。

＜連絡先＞

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門

三浦伸也、半田信之、佐野浩彬

TEL：029-863-7543

FAX：029-863-7541

Mail：cbp-office アット bosai.go.jp（「アット」を@に代えてください）

アンケート

※ は必須項目です。

(1) 防災対策手法・事例を読みましたか。※

1 つだけ丸をつけてください。

読んだ　・・・(4) に進んでください。　　読んでいない

(2) 読まなかったのはなぜですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

□ゆっくり読む時間がなかった　□役立ちそうな手法・事例がなかった

□項目数が多く、読むのが大変そうだったので

□その他: _____

(3) 読んでもらえるようにするためのアイディアがあれば教えてください。

[　　]

→ (9) に進んでください。

(4) (1)で「読んだ」と回答した方にお聞きします。どの防災対策手法・事例を読まれましたか。

[　　]

(5) 読まれた手法・事例の内容は理解できましたか。

1 つだけ丸で囲んでください。

まったく理解できなかった	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	完全に理解できた

(6) 理解できなかった理由や、もっと理解しやすくなるアイディアがあれば教えてください。

[　　]

(7) 貴自治体、あるいは貴地域団体において、防災対策施策を計画、あるいは実施するために企画提案書や計画書を作成する際、地域防災 Web の情報は役立ちそうですか。

1 つだけ丸で囲んでください。

まったく役に立たない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても役立つ

(8) 地域防災 Web を日々の業務に役立たせるためのアイディアがあれば教えてください。

[ ]

以下、あなたについて教えてください。

(9) あなたの自治体（地域団体）を教えてください。

_____

(10) あなたの部署を教えてください。

_____

(11) あなたの役職を教えてください。

_____

(12) あなたの氏名を教えてください。

_____

(13) あなたの電話番号を教えてください。

_____

以上でアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。

地域防災 Web アンケート【最終回】

「地域特性に応じた防災対策手法・事例の推奨等」

～アカウントを作られた方へのアンケート～

はじめに

この調査は、実際に地域防災 Web をご利用いただいた方から率直なご意見・ご感想をいただき、地域防災 Web の改善に役立てるために実施するものです。この調査票は、地域防災 Web のアカウントを作成いただいた方用の内容になっています。

ご回答頂いた内容は個人が特定できる形で公表されることはありません。

回答にかかる時間はおおよそ 20 分です。

今後の地域防災活動を促進し、支援する Web サービスとして地域防災 Web を発展させてまいりたいと考えておりますので、趣旨をご理解の上、ぜひご協力ください。

ご多忙のところ、お手数おかけいたしますが、2/16（金）までに、下記あてメール、または FAX でお送りいただきますよう、お願いいたします。

＜連絡先＞

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門

三浦伸也、半田信之、佐野浩彬

TEL: 029-863-7543

FAX : 029-863-7541

Mail : cbp-office アット bosai.go.jp（「アット」を@に代えてください）

アンケート

※ は必須項目です。

1.「自然特性、社会特性、災害の危険性に応じた防災対策手法・実践事例」（下の図）についてお伺いします。

(1) 自然特性、社会特性、災害の危険性に応じた防災対策手法・実践事例を表示するようにしていますが、このコンセプトでよいと考えますか。※

1 つだけ丸で囲んでください。

非常に よくない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	非常に よい

(2) 自然特性、社会特性、災害の危険性に応じて表示された防災対策手法・実践事例は、量（手法・事例の数）的に十分表示されましたか。※

1 つだけ丸で囲んでください。

まったく表示 されなかった	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	十分 表示された

(3) 自然特性、社会特性、災害の危険性に応じて表示された防災対策手法・実践事例は、内容として十分でしたか。※

1 つだけ丸で囲んでください。

十分では なかった	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	十分 だった

(4) 推奨された手法・事例で、実践してみたいと思うものがありましたか。※

1 つだけ選択してください。

☐ ①実践したいものがあった　　・・・(5) に進んでください。

☐ ②実践したいものがなかった　　・・・(6) に進んでください。

(5) (4)で、「実践したいものがあった」を選択した方にお聞きします。
実践したい手法・事例をいくつでもご記入ください。

[　　]

(6) 現場目線で防災手法・事例をみた時、どのようなコンテンツ（手法・事例）が欲しいですか。あればいくつでもご記入ください。

2．研究者や実践者への「問い合わせ」についてお尋ねします。

(1) 何を使って、問い合わせしましたか。※

□ ①電話
□ ②問い合わせフォーム
□ ③問い合わせていない …(4)に進んでください。

(2) 問い合わせして、疑問や不明点はどの程度解決しましたか。

1 つだけ丸で囲んでください。

まったく解決していない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	完全に解決した

(3) 問い合わせしたものの、解決できなかったことがあれば教えてください。

(4) 「問い合わせ」機能にあなたが期待することは何ですか。※

当てはまるものをすべて選択してください。

□ ①スピーディーな対応
□ ②疑問点や不明点についての詳細な説明（回答）
□ ③丁寧な対応
□ ④人的対応（ex.電話・スカイプ・対面）
□ ⑤その他: _____

3.「防災知恵袋」についてお尋ねします。

(1)「防災知恵袋」を使いましたか。※

□ ①閲覧した　　□ ③回答した

□ ②質問を書き込んだ　　□ ④使っていない ・・・ (6)に進んでください。

(2)「防災知恵袋」は、どれくらい役立ちましたか。

1 つだけ丸で囲んでください。

まったく役に立たなかった	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても役に立った

(3)「防災知恵袋」の入力フォームは、入力しやすかったですか。

1 つだけ選択してください。

□ ①入力しやすかった　・・・ (5)に進んでください。

□ ②入力しにくかった

□ ③その他・・・ _____

・・・ (5)に進んでください。

(4)「入力しにくかった」方に伺います。入力しにくかった理由を教えてください。

[　　]

(5)「防災知恵袋」を使って感じられたこと（例えば「ここが使いづらい」、「こうすればよい」など等）はありますか。

[　　]

(6)(1)で「防災知恵袋を使っていない」と回答した方にお聞きします。

使わなかった理由を教えてください。

当てはまるものをすべて選択してください。

□ ①他の利用者が気になる

□ ②回答がすぐに得られないと感じたため

□ ③地域に特化しすぎた質問であるため

□ ④その他: _____

→次のページに続きます。

4.「実践事例の簡易投稿」について伺います。

(1)「実践事例の簡易投稿」を使って投稿されましたか。※

1つだけ選択してください。

□ ①投稿した
□ ②投稿していない ・・・(4) に進んでください。

(2)事例は、入力しやすかったですか。

1つだけ丸で囲んでください。

非常に入力しにくかった	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても入力しやすかった

(3)入力しやすくするためのアイディアがあれば教えてください。

[ ]

(4)(1)で「投稿していない」と回答した方にお聞きします。投稿しなかった理由を教えてください。

当てはまるものをすべて選択してください。

□ ①投稿する時間がなかった
□ ②投稿できるような事例がなかった
□ ③入力項目が多く、投稿に負担を感じた
□ ④その他:

(5)投稿しやすくするためのアイディアがあれば教えてください。

[ ]

５．地域防災 Web を使ってみて、全体の満足度はどれくらいですか。

1 つだけ丸で囲んでください。

まったく満足していない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	非常に満足

6．あなたについて教えてください。

(1) あなたの自治体（地域団体）を教えてください。

_____

(2) あなたの部署を教えてください。

_____

(3) あなたの役職を教えてください。

_____

(4) あなたの氏名を教えてください。

_____

(5) あなたの電話番号を教えてください。

_____

以上でアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。

資料５　ビジネスルール定義書

地域防災対策支援研究プロジェクト

課題①「統合化地域防災実践支援Webサービスの構築」

ビジネスルール定義書

平成30年3月

国立研究開発法人　防災科学技術研究所

■ビジネスルール一覧

ID	タイトル	概要	備考
BR1	アカウント登録情報	太字が必須 【共通】 **アカウントカテゴリ** **アカウント名** **アカウントID** **パスワード** **代表者住所** プロフィール画像 自己紹介文 【研究者】 **所属** **役職** **メールアドレス** 論文 アドバイザー 専門分野 対象ハザード 【防災担当者】 引き継ぎ時期 **主体** **自治体/地域の防災リーダー** **所属者** 【実践技術者】 **主体** **所属者** 【所属者】 **名前** メールアドレス **役職**	所属者には必ず1人、代表者がいる。 代表者のメールアドレスは必須。
BR2	ログイン必須情報	ログインに必要となる情報は、以下の通りである。 アカウントID パスワード	
BR3	質問情報	質問タイトル 質問本文 紐づく小項目 質問日時 対象地域 自然特性（任意） 社会特性（任意）	
BR4	コメントの入力、表示	コメントするコンテンツ上で、画面遷移しないでコメントできるようにする。 またいつだれがコメントしたのかがわかりやすいように、入力したコメントは、自動的にコメントした日時、およびアカウント情報を表示する。（プロフィール画像がある場合はそれ	
BR5	ベストアンサーは1質問に1回答のみ	ベストアンサーとできる回答は、1質問に対し1回答のみである。	
BR6	質問の引用は、リンクを質問に追加する	ある質問を引用する場合には、新規の質問にそこへのリンクとタイトルを追加する。 また、本文にもアンカー引用の形で引用元の内容を入力しておく。アンカー引用部は任意の編集を可能とする。	
BR8	ベストアンサーの扱い	ベストアンサーのついた質問は、解決済みとなる。	
BR10	質問の削除権限	運営事務局は、すべての質問を削除できる。 ログインユーザは、自分の質問で、「回答受付中」のもの、「不許可」になったもののみ削除出来る。	
BR11	質問の有効期限	質問の有効期限は、（ひとまず）1週間とする。	Yahoo!知恵袋準拠
BR15	ブックマーク可能コンテンツ	ブックマークが可能なコンテンツは、以下のものとする。 ・課題 ・手法 ・実践事例 ・調査 ・データベース ・募集 ・質問 ・ユーザ	（このシステムが持っているコンテンツ、ユーザ含めてすべて）
BR17	履歴収集の対象	・行動主 ・発生日時 ・その時の変数 は必須。	

BR18	閲覧数を記録するコンテンツ	閲覧数が必要となるコンテンツは、以下のものとする。 ・課題 ・手法 ・実践事例 ・防災知恵袋の質問 ・募集 ・調査 ・データベース	
BR20	通知内容	リマインド機能を利用して発行する通知の 対応UC、内容、場所、対象は、別表【BR20】参考資料　を参照すること。	
BR21	パーツの基本情報とロジック	マイページに表示する情報は、アカウント毎に異なっている。 その一覧と情報を引っ張る方法は、別表【BR21】参考資料	
BR22	課題の入力項目	別紙（コンテンツ定義）参照	画像の入力にも対応
BR23	手法の入力項目	別紙（コンテンツ定義）参照	画像の入力にも対応
BR24	実践事例の入力項目	別紙（コンテンツ定義）参照	画像の入力にも対応
BR25	手法の条件	手法としては、基本的に論文を中心とする。（論文に限定とはしない） 原典のない手法も、事務局の判断によって受け入れが決まる。	現状のコンテンツ元 ・論文 ・報告書 ・Webサイトの情報
BR26	課題の編集項目	課題において、編集可能な項目は以下の通り。 手入力できるすべて	
BR27	手法の編集項目	手法において、編集可能な項目は以下の通り。 手入力できるすべて	
BR28	実践事例の編集項目	手法において、編集可能な項目は以下の通り。 手入力できるすべて	
BR29	課題削除に伴う情報の削除	課題を削除する際、 ・実践事例 ・手法 ・調査 ・データベース ・募集 のうちいずれでも紐づいているものがあれば、そこの紐付けを変えるまで削除できない	課題を削除する必要が発生するパターン 1.間違って登録してしまった（重複含む） 2.この課題自体が解決した→**残す**
BR30	手法削除に伴う情報も削除	手法を削除する際、それに紐づく以下の情報も削除する。 実践事例	
BR31	手法の操作権限	運営事務局以外で、ある手法に対する編集・削除が可能なのは、その手法を登録した研究者アカウントのみ。	
BR32	実践事例の操作権限	運営事務局以外で、ある実践事例に対する編集・削除・公開非公開の設定が可能なのは、その実践事例を登録した防災担当者アカウント・実践技術者アカウントのみ。	
BR33	非公開コンテンツの閲覧	非公開を閲覧できるのは、 運営事務局 対象コンテンツの登録者 のみ。	
BR34	検索対象	検索の対象は以下の通り。 ・課題 ・手法 ・実践事例 ・防災知恵袋 ・募集 ・自治体の防災担当者 ・地域の防災リーダー ・研究者 ・実践技術者 ・J-GLOBAL（APIを利用） ・調査 ・データベース	
BR35	検索結果をユーザに適した順で並び替える方法	別シート参照	

BR36	検索結果を新着順で表示する方法	登録日時が取得できるものはそれに基づいて表示する。 取得できないものは得られた順で表示する。古い順も同様。 「すべて」もコンテンツ種別では分けず全体の新着順。 外部DBが日時を返さない場合にはどこかしらに入れ込む	
BR37	検索結果に一覧表示する内容	検索結果としてリスト表示する内容は以下の通り。 ・コンテンツ分類（課題、手法　など） ・名称 ・コンテンツ毎の情報＋コンテンツ内の判別情報→具体的には別紙参照。	
BR38	検索対象毎の絞り込み情報	~~コンテンツ毎に、絞り込み内容が違う~~ ~~絞り込み内容は、各項目を精査して決める。別紙参照~~ →検討の結果、共通の絞り込み項目とすることに決定	
BR40	課題の表示内容	・別シート「コンテンツ定義」を参照のこと。	
BR41	手法の表示内容	・別シート「コンテンツ定義」を参照のこと。 ・以下の項目でかんたん説明シートを表示する。 ①タイトル ②開発者 ③3文要約 ④この手法の実践事例 ⑤手法に関する資料 ⑥企画する主体 ⑦抱えている課題 ⑧アピールポイント ⑨要旨 ⑩期待される効果 ・コメント（未ログインユーザ以外） ・この手法に精通した実践技術者	
BR42	実践事例の表示内容	・別シート「コンテンツ定義」を参照のこと。 ・コメント（未ログインユーザ以外）	
BR43	コメントの要素	コメントとして表示される要素は以下。 ・コメント番号 ・ユーザ名 ・アカウント画像 ・日時 ・コメント内容	・ちょっとした、（ややオープンな）交流の場 ・情報展開に使われたい
BR44	メッセージを入力する	公開ページのユーザに対するメッセージを入力するためのダイアログを表示する。	
BR45	返信時メッセージの初期記述	返信時には、予め以下の情報を記述しておく。 件名：「Re:元の件名」 本文：「＞本文～」	一般の形式に従う
BR46	メッセージの返信忘れの判定	システムにより、「返信を忘れている」と判断されるメッセージは、 一般ユーザの受け取った、 他一般ユーザからの、 受信してから7日以上経過している または、 運営事務局の受け取った、 一般ユーザからの、 受信してから7日以上経過している メッセージとする。	「無視する」「返事する」を選ばせる
BR47	募集の入力内容	別紙コンテンツ定義参照 なお必ず、課題・調査・手法・実践事例・データベースに紐づき、それに基づいた募集でなければいけない。	
BR49	募集の編集内容	募集の編集にあたり、編集が可能な内容は以下の通り。 【BR47 募集の入力内容】と同様 運営事務局による編集の場合には、理由も記述する。	

BR50	防災対策チェックリストの表示形式	防災対策チェックリストは、 大項目＞小項目＞課題＞手法 の階層で表示される。 調査、データベースは出さない。 チェック可能なユーザに対しては、自身のチェック状況も表示する。	
BR51	チェックを入れる際のルール	課題単位でチェック可能。 チェック可能なユーザと、その項目は以下。 防災担当者:「実施した課題」「実施すべき課題」 研究者:「研究した課題」「研究すべき課題」 ~~実践技術者:「実践した課題」「実践すべき課題」~~	
BR52	チェック状況を保存する際のルール	~~チェック状況の保存は、課題の単位でなされる。FAQ項目単位で保存をすると、後々追加された課題にも勝手にチェックが入ってしまうからである。~~ 課題と小項目の単位でなされる。 ある小項目の課題がすべてチェックされていたら、その小項目はチェックされる。逆はない。 ある大項目の小項目がすべてチェックされていたら、その大項目はチェックされる。逆は上記【BR51】参照。	
BR55	変更できるアカウント情報	アカウントの設定で設定できる項目は以下の通りである。 アカウント登録時に入力した情報 メールの配信設定(システムからの配信の受信可否)	
BR56	アカウント削除に伴う削除	アカウントが削除される場合、 そのアカウントが投稿したものは全て残る。そのアカウントへのリンクは消える。 例えば開発者となっている場合は、アカウントへのリンクは消えるが、開発者に任意入力の名称として残る。	
BR59	手法に紐づかない実践事例の対処	・適切な手法を見つけて紐づけてあげる ・手法がなければ何かしら課題に紐づける ・課題がなければ作って紐づける 何かしらに紐づければOK	~~実践事例の編集で課題に紐づけることが出来るのは運営事務局のみ~~
BR60	「この手法に精通した実践技術者」	防災FAQで、「実践できる」「実践したことはないが、できる」をチェックした実践技術者を出す。 その手法での実践事例を登録した実践技術者も出す。こちらの方が優先順位が高い。	
BR63	制御されたアカウントの制限	制御されたアカウントは、 ログイン ができなくなる。	eコミでは、ログイン自体ができなくなっている。「あなたは現在、諸事情によりアカウント停止中です。」
BR64	researchmapのアカウント情報の取得	researchmapより登録する情報は、以下のうち公開となっているものとする。 ・研究者氏名 ・所属 ・部署 ・職位 ・身分 ・eメール ・携帯メール ・論文(登録してあるものすべて) ・更新日時 permalinkがresearchmapでのID	現在「アカウント情報」として定義されているものに対して取得することを想定。 01-RmapAPISpecs.pdfを参照した。 住所は不可
BR66	researchmapと紐づいたアカウントの取り扱い	researchmapに紐づいたアカウント情報は、地域防災Web上では編集できなくなる。 ログインごとに更新する。 更新の確認は、APIレスポンスに更新日時が定義されているためそれで行う。	
BR67	大・小項目に紐づく関連情報	管理、利活用の面で、大・小項目に紐づくコンテンツおよびコンテンツに対する各種関連情報がわかるようにする。 例 ・大・小項目に属する課題 ・各課題に対する手法、実践事例、調査、データベース、募	

BR68	大・小項目の入力項目	大項目 ・名称 ・大、小項目の体系上の自身の位置 小項目 ・名称 ・大、小項目の体系上の自身の位置	
BR69	大項目の削除条件	自分の下に、小項目以下が存在していない。(子供がいな	
BR70	小項目の削除条件	自分の下に、課題以下が存在していない。(子供がいな	
BR72	ブックマークされたコンテンツの取り扱い	ブックマークされたコンテンツに何かしらの変更が発生した場合、その旨がブックマーク者に通知されるようになる。 別紙参照。	
BR73	未読メッセージを表示した場合の処理	送信したユーザにも、未読か既読かが表示される。	
BR74	メッセージの検索範囲	全部を検索する。	
BR76	メッセージ拒否の制限	事務局が送るメッセージは拒否できない。	連絡手段として残しておかねばならな
BR77	振り分け設定内容	文言が含まれているのか 送信主は誰なのか どこのフォルダに格納するのか	
BR78	ソート条件	・日付順 ・件名順 ・送信者順 ・フラグ立っているかどうか順(＋日付順)	全て昇順/降順あり
BR79	調査の入力項目	別紙定義参照	
BR80	調査の条件	基本的に論文を中心とする。(論文に限定しない) 原典無しのもの？→事務局の判断によって受け入れ	現状のコンテンツ元 ・論文 ・報告書 ・Webサイトの情報
BR81	調査の操作権限	運営事務局以外で、ある調査に対する編集・削除が可能なのは、その調査を登録した研究者アカウントのみ。	
BR82	調査の編集項目	調査において、編集可能な項目は以下の通り。 手入力できるすべて	
BR83	データベースの入力項目	別紙定義参照	
BR84	データベースの操作権限	運営事務局以外で、あるデータベースに対する編集・削除が可能なのは、そのデータベースを登録した研究者アカウントのみ。	
BR85	データベースの編集項目	データベースにおいて、編集可能な項目は以下の通り。 手入力できるすべて	
BR86	削除の内容	本システムにおける削除は、全て「フラグによる論理削除」を示す。 削除された場合、データ自体は残っているが、DBを直接覗く以外参照方法がないものとなる。	
BR88	メッセージ転送の設定内容	以下の3種。 ・アカウントに紐づいたメールアドレスに転送 ・任意のメールアドレスに転送 ・転送しない	
BR90	防災対策チェックリストのチェック分類	防災対策チェックリストのチェックは、以下で行われる。 ・実施した課題 ・実施すべき課題	
BR91	チェック分類毎のメモのフォーム	・実施した課題 →内容・担当者・実施期間 ・実施すべき課題 →内容・記入者・実践目標	
BR92	メモの入力内容条件	・全て1024文字以内 ・内容は必須	
BR94	防災知恵袋トップ画面の内容	防災知恵袋のポータルサイトとして、以下の情報を取得し、整理して表示する。 1. ポータルサイトの概要説明 2. 防災知恵袋への質問画面 3. 防災知恵袋へ投稿した質問の一覧 4. 防災知恵袋への質問を、解決済み/未解決に分けて、新しく投稿された順で上位何件かを表示(続きは検索画面に遷移することで、全件表示させる) 5. 防災知恵袋への質問を、解決済み/未解決に分けて、閲覧数が多い順で上位何件かを表示(続きは検索画面に遷移することで、全件表示させる) 5. 防災知恵袋への質問を、大/小項目毎に分けて、件数のみを表示(リンクで検索画面に遷移させることで、該当の質問を全件表示させる) 6. ユーザページに戻る	

BR95	防災知恵袋の新着情報	以下の条件に合致する場合、ユーザページ上で、通知を行う。 1. 防災知恵袋へ投稿した質問に回答がついた。 2. 防災知恵袋へ投稿した回答にコメントがついた。 3. 防災知恵袋へ投稿した回答がベストアンサーになった。 通知させる内容は以下の通り。 1. 条件が発生した日 2. 条件にあたる質問および回答の名称とリンク 3. 条件の内容 通知内容は、閲覧することで、新着情報ではなくなる。	
BR96	募集トップ画面の内容	募集のポータルサイトとして、以下の情報を取得し、整理して表示する。 1. ポータルサイトの概要説明 2. 募集画面 3. 募集の一覧 4. 募集を、募集のカテゴリに分けて、新しく募集があった順で上位何件かを表示（続きは検索画面に遷移することで、全件表示させる） 5. 募集を、募集のカテゴリに分けて、閲覧数が多い順で上位何件かを表示（続きは検索画面に遷移することで、全件表示させる） 6. ユーザページに戻る	
BR97	募集の新着情報を得る	以下の条件に合致する場合、ユーザページ上で、通知を行う。 1. 募集に応募があった。 2. 募集の期限が迫っている。 通知させる内容は以下の通り。 1. 条件が発生した日 2. 条件にあたる募集の名称とリンク 3. 条件の内容 通知内容は閲覧することで、新着情報ではなくなる。	
BR108	地域の情報表示	【BR108】シートの内容で表示する	

【BR17】履歴収集の対象

※AIDはユースケース図,概念モデル(ロバストネス図)を参照ください。

RID	AID	行動分類	トリガーとなる行動	対応UC	記録する内容
R1	A1	ブックマーク	ブックマークを登録した	UC18	ブックマーク内容
R2	A4	アカウント管理	ログインした	UC2	特になし
R3	A4	アカウント管理	ログアウトした	UC3	特になし
R4	A6	手法の管理	手法を登録した	UC32	登録したもの
R5	A6	手法の管理	手法を編集した	UC35	古手法と新手法
R8	A6	手法の管理	手法を削除した	UC38	削除したもの
R9	A6	手法の管理	手法にコメントをした	UC56	対象の手法 コメントのID
R10	A6	実践事例の管理	実践事例を登録した	UC33	登録したもの
R11	A6	実践事例の管理	実践事例を編集した	UC36	古事例と新事例
R12	A6	実践事例の管理	実践事例を削除した	UC39	削除したもの
R13	A6	実践事例の管理	実践事例を公開した	UC44	公開したもの
R14	A6	実践事例の管理	実践事例を非公開にした	UC45	非公開にしたもの
R15	A6	実践事例の管理	実践事例にコメントをした	UC57	対象の実践事例 コメントのID
R16	A7	検索	検索をした	UC49	検索キーワード
R17	A8	メッセージ	メッセージを送信した	UC60	送信先 件名 本文
R18	A9	防災知恵袋	質問を投稿した	UC4	質問の情報
R19	A9	防災知恵袋	質問に回答した	UC5	回答の情報
R20	A9	防災知恵袋	回答にコメントをつけた	UC7	コメントの情報
R21	A9	防災知恵袋	質問を編集した	UC9	古質問と新質問
R23	A9	防災知恵袋	他の質問を引用して質問した	UC11	引用元と質問の情報
R24	A9	防災知恵袋	質問を削除した	UC14	削除された質問の情報
R25	A10	募集	募集をした	UC68	募集情報
R26	A10	募集	募集を取り消した	UC69	取り消した募集の情報
R27	A10	募集	応募に対してコメントした	UC70	コメントの情報
R28	A10	募集	募集を完了した	UC71	完了した募集の情報
R29	A10	募集	募集内容を編集した	UC72	古募集と新募集 編集理由(運営事務局)
R30	A10	募集	応募した	UC73	応募の情報
R31	A6	コンテンツ関連	課題を閲覧した	UC53	閲覧した課題
R32	A6	コンテンツ関連	手法を閲覧した	UC54	閲覧した手法
R33	A6	コンテンツ関連	実践事例を閲覧した	UC55	閲覧した実践事例
R36	A6.1	課題の管理	課題を登録した	UC31	登録したもの
R37	A6.1	課題の管理	課題を編集した	UC34	古手法と新手法
R40	A6.1	課題の管理	課題を削除した	UC37	削除したもの
R41	A6.1	課題の管理	課題を下書き保存した	UC103	下書き保存した課題
R42	A6.2	手法の管理	手法を下書き保存した	UC107	下書き保存した手法
R43	A6.3	実践事例の管理	実践事例を下書き保存した	UC115	下書き保存した実践事例
R44	A6.2	手法の管理	手法のコメントを変更し	UC111	変更前コメント
R45	A6.2	手法の管理	手法のコメントを削除し	UC112	削除前コメント
R46	A6.3	実践事例の管理	実践事例のコメントを変更した	UC119	変更前コメント
R47	A6.3	実践事例の管理	実践事例のコメントを削除した	UC120	削除前コメント
R48	A11	防災対策チェックリスト	チェックし、保存した	UC75	チェックした項目
R49	A8	メッセージ	受信メッセージを見た	UC133	見たメッセージ
R50	A8	メッセージ	送信メッセージを見た	UC134	見たメッセージ
R51	A8	メッセージ	未送信メッセージを見た	UC135	見たメッセージ
R52	A8	メッセージ	受信設定を変更した	UC138	設定内容
R53	A10	募集	募集に追記した	UC149	追記内容
R54	A6.4	調査の管理	調査を登録した	UC151	登録したもの
R55	A6.4	調査の管理	調査を編集した	UC152	古調査と新調査
R56	A6.4	調査の管理	調査を削除した	UC153	削除したもの
R57	A6.4	調査の管理	調査を下書き保存した	UC155	下書き保存した調査
R58	A6.4	調査の管理	調査にコメントをした	UC161	コメントの情報
R59	A6.4	調査の管理	調査のコメントを変更し	UC162	変更前コメント
R60	A6.4	調査の管理	調査のコメントを削除し	UC163	削除前コメント

R61	A6	コンテンツ関連	調査を閲覧した	UC166	閲覧した調査
R62	A6	コンテンツ関連	データベースを閲覧した	UC167	閲覧したデータベース
R63	A6.5	データベースの管理	データベースを登録した	UC168	登録したもの
R64	A6.5	データベースの管理	データベースを編集した	UC169	古データベースと新データベース
R65	A6.5	データベースの管理	データベースを削除した	UC170	削除したもの
R66	A6.5	データベースの管理	データベースを下書き保存した	UC172	下書き保存したデータベース
R67	A6.5	データベースの管理	データベースにコメントをした	UC178	対象の手法 コメントのID
R68	A6.5	データベースの管理	データベースのコメントを変更した	UC179	変更前コメント
R69	A6.5	データベースの管理	データベースのコメントを削除した	UC180	削除前コメント
R70	A6	コンテンツ関連	データベースを閲覧した	UC166	閲覧したデータベース
R71	A6	コンテンツ関連	データベースを閲覧した	UC167	閲覧したデータベース
R72	A4	アカウント管理	アカウントを登録した	UC1	登録内容
R73	A6.3	実践事例の管理	下書き保存している実践事例を削除した	UC118	削除された実践事例
R74	A6.5	データベースの管理	下書き保存しているデータベースを削除した	UC175	削除されたデータベース
R75	A6.5	データベースの管理	新規登録したデータベースをチェックした	UC182	対象データベース 判定結果
R76	A6.5	データベースの管理	編集されたデータベースをチェックした	UC181	対象データベース 判定結果
R79	A1	ブックマーク	ブックマークを削除した	UC19	削除されたブックマーク
R93	A9	防災知恵袋	コンテンツを引用して質問した	UC143	質問の情報
R94	A9	防災知恵袋	質問を閲覧した	UC6	質問の情報
R97	A10	募集	募集を閲覧した	UC144	募集情報
R98	A10	募集	募集のチェックをした	UC145	チェックされた募集 チェック結果
R99	A10	募集	追記をチェックした	UC146	チェックされた募集 チェック結果
R100	A10	募集	誰にお願いするかを選んで募集を終了した	UC147	募集情報 選ばれた人
R101	A10	募集	募集期間の延長を申請した	UC148	
R102	A10	募集	質問を引用して募集した	UC150	募集情報
R105	A5	ユーザページ	ユーザページを開いた	UC27	特になし
R106	A5	ユーザページ	活動地域を設定した	UC89	設定内容
R107	A6.1	課題の管理	下書き保存している課題を削除した	UC106	削除した課題
R108	A6.2	手法の管理	下書き保存している手法を削除した	UC110	削除した手法
R109	A6.2	手法の管理	新規登録した手法をチェックした	UC46	チェックされた手法 チェック結果
R110	A6.2	手法の管理	編集された手法をチェックした	UC48	チェックされた手法 チェック結果
R111	A6.4	調査の管理	下書き保存している調査を削除した	UC158	削除された調査
R112	A6.4	調査の管理	新規登録した調査をチェックした	UC165	チェックされた調査 チェック結果
R113	A6.4	調査の管理	編集された調査をチェックした	UC164	チェックされた調査 チェック結果
R118	A8	メッセージ	転送設定を変更した	UC184	設定内容
R119	A4	アカウント管理	退会した	UC80	退会したアカウントの識別情報
R120	A4	アカウント管理	アカウントを制御した	UC84	制御アカウント
R121	A4	アカウント管理	アカウントの制御を解除した	UC85	制御アカウント
R122	A6	コンテンツ関連	ブックマークされた	UC18	ブックマークされたコンテンツ
R123	A1	ブックマーク	ブックマークのカテゴリを移動した	UC20	ブックマークのカテゴリの移動前の位置
R124	A13	管理系機能	大・小項目を追加した	UC199	追加した大・小項目
R125	A13	管理系機能	大・小項目を編集した	UC200	編集した大・小項目
R126	A13	管理系機能	大・小項目を削除した	UC201	削除した大・小項目

R127	A4	アカウント管理	アドバイザの設定/解除をした	UC203	アドバイザを設定したアカウント
R128	A13	管理系機能	履歴を閲覧した	UC25	閲覧した履歴
R129	A13	管理系機能	履歴をCSV出力した	UC202	CSV出力した履歴
R130	A9	防災知恵袋	防災知恵袋のトップ画面を表示した	UC195	トップ画面を表示したアカウント

【BR20】通知内容
コンテンツに関連したメッセージのタイトルにはコンテンツをIDで表示する。(例)課題=>課題00000003)

※AIDはユースケース図,概念モデル(ロバストネス図)を参照ください。

ID	AID	機能分類	対応UC	通知理由	対象	内容の概要	場所	備考
T1				防災FAQに自分の手法が登録された	研究者			勝手に紐づくので不要
T2	A9	防災知恵袋	UC5	知恵袋で自分の質問に回答がついた	質問者	あなたの質問に回答がつきました。 (質問へのリンク)	通知領域 メッセージ メール	
T3	A9	防災知恵袋	UC15	知恵袋で一定期間回答のつかない質問がある	運営事務局	この質問には回答がつきませんでした。何か対処してください。 (質問へのリンク)	通知領域 メッセージ メール	
T4	A1	ブックマーク	UC18	自分の実践事例がブックマークに登録された	防災担当者 実践技術者	あなたの実践事例がブックマークに登録されました。 (ユーザへのリンク)	通知領域 メッセージ メール	廃止
T5	A1	ブックマーク	UC18	自分の手法がブックマークに登録された	研究者	あなたの手法がブックマークに登録されました。 (ユーザへのリンク)	通知領域 メッセージ メール	廃止
T6	A6.3	実践事例の管理	UC33	自分の手法に対して実践事例が登録された	研究者	手法に対して実践事例が登録されました。 (実践事例へのリンク)	通知領域 メッセージ メール	
T7	A6.3	実践事例の管理	UC33	「手法なし」で実践事例が登録された	運営事務局	この実践事例には手法が紐づいていません。対処してください。 (実践事例へのリンク)	通知領域 メッセージ メール	
T8	A6.3	実践事例の管理	UC87	「手法なし」で登録した自分の実践事例が、事務局によって確認(紐付けなど)された	防災担当者 実践技術者	あなたが「手法なし」で登録した実践事例は、運営事務局によって～～となりました。	通知領域 メッセージ メール	
T9	A6.2	手法の管理	UC32	手法が登録された	運営事務局	手法が登録されました。審査してください。 (手法へのリンク)	通知領域 メッセージ メール	
T10	A6.2	手法の管理	UC46.48	登録した手法が事務局によって審査・判定された	研究者	だめでした破棄しました/OKでした公開しました +理由	通知領域 メッセージ メール	
T11	A4.1	アカウント管理	UC2	自治会など、自分の所属する団体の引継ぎ時期が来た	防災担当者	引き継ぎ時期が来ています。後任の方がいらっしゃる場合には、IDとPASSを共有しておきましょう。	メール	
T12	A8	メッセージ	UC62	メッセージを受信した	各ユーザ	メッセージが来ました(メッセージへのリンク)	通知領域 メール	
T14	A8	メッセージ	UC67	返信し忘れているメッセージがある	各ユーザ	返信し忘れているメッセージがあります。 (メッセージへのリンク)	メッセージボックス	
T17	A6.2	手法の管理	UC35	自分の登録した手法が事務局によって編集された	登録したユーザ	運営事務局によって編集されました。+理由も (手法へのリンク)	通知領域 メッセージ メール	編集部分を示す

T18	A6.3	実践事例の管理	UC36	自分の登録した実践事例が事務局によって編集された	登録したユーザ	運営事務局によって編集されました。＋理由も （実践事例へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	編集部分を示す
T19	A6.2	手法の管理	UC35	手法が登録者によって編集された	運営事務局	チェックしてください （手法へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	編集部分を示す
T21	A6.3	実践事例の管理	UC44.45	自分の実践事例が公開/非公開にされた	登録したユーザ	運営事務局によってされました。 （実践事例名）	通知領域 メッセージ メール	
T22	A6.2	手法の管理	UC38	自分の登録した手法が事務局によって削除された	登録したユーザ	運営事務局によって消されました。 （手法名）	通知領域 メッセージ メール	
T23	A6.3	実践事例の管理	UC39	自分の登録した実践事例が事務局によって削除された	登録したユーザ	運営事務局によって消されました。 （実践事例名）	通知領域 メッセージ メール	
T24	A6.2	手法の管理	UC56	自分の登録した手法にコメントがついた	登録したユーザ	コメントが付きました。 （手法へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T25	A6.3	実践事例の管理	UC57	自分の登録した実践事例にコメントがついた	登録したユーザ	コメントが付きました。 （実践事例へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T26	A9	防災知恵袋	UC4	新規で質問が投稿された	運営事務局	質問が投稿されました。内容がOKか見てみてください。 （質問へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T27	A9	防災知恵袋	UC8	自分の回答がベストアンサーに選ばれた	回答したユーザ	回答がベストアンサーになりました。 （質問へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T30	A4	アカウント管理	UC85	自分のアカウントの制御が解除された	制御解除されたユーザ	解除されました。ご不便をおかけして申し訳ありません。	通知領域 メッセージ メール	
T32	A6.3	実践事例の管理	UC33	実践事例が登録された	運営事務局	登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T34	A6.2	手法の管理	UC111	手法へのコメントを、運営事務局が編集した。	コメント主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T35	A6.2	手法の管理	UC112	手法へのコメントを、運営事務局が削除した。	コメント主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T36	A6.3	実践事例の管理	UC119	実践事例へのコメントを、運営事務局が編集した。	コメント主	理由も	通知領域 メッセージ メール	

T37	A6.3	実践事例の管理	UC120	実践事例へのコメントを、運営事務局が削除した。	コメント主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T38	A9	防災知恵袋	UC14	自分の質問が削除された	質問主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T39	A10	募集	UC69	自分の募集が取り消された	募集主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T40	A10	募集	UC71	自分の募集が完了された	募集主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T41	A9	防災知恵袋	UC7	自分の回答に、コメントがついた	回答主	あなたの回答にコメントが付きました。	通知領域 メッセージ メール	
T42	A9	防災知恵袋	UC9	自分の質問を、運営事務局が編集した。	質問主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T47	A10	募集	UC71	自分が応募した募集が完了した	応募主	あなたの応募した募集終了しました。理由は以下です。 ～～	通知領域 メッセージ メール	
T48	A10	募集	UC72	自分の募集が、運営事務局に編集された	募集主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T49	A10	募集	UC68	新たに募集が登録された	運営事務局	募集追加されたのでチェックしてください	通知領域 メッセージ メール	
T50	A10	募集	UC73	募集に応募が付いた	募集主	あなたの募集に～さんが応募しました	通知領域 メッセージ メール	
T51	A10	募集	UC131	募集の期日が過ぎたことを知らせる	募集主	あなたの募集の期間が切れました。編集で延長できます。延長が1週間ない場合、終了させていただきます。	通知領域 メッセージ メール	
T52	A10	募集	UC145	自分の新規募集が、運営事務局に不許可にされた。	募集主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T53	A10	募集	UC145	自分の新規募集が、運営事務局に許可・公開された。	募集主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T54	A10	募集	UC146	自分の募集に対する追記が、運営事務局に不許可にされた。	募集主	理由も	通知領域 メッセージ メール	

T55	A10	募集	UC146	自分の募集に対する追記が、運営事務局に許可・公開された。	募集主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T56	A10	募集	UC147	自分が応募が募集主に選ばれた。	応募主（選ばれた人）	募集～～に関して、あなたの応募が選ばれ、募集が終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T57	A10	募集	UC147	他の応募が募集主に選ばれた。	応募主（選ばれなかった人）	募集～～に関して、他のユーザの応募が選ばれ、募集が終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T58	A10	募集	UC131	延長しなかったので、終了された。	募集主	1週間延長（募集期間の編集）が無かったので終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T59	A10	募集	UC149	募集に追記があった	運営事務局	チェックしてください	通知領域 メッセージ メール	
T60	A6.4	調査の管理	UC151	調査が登録された	運営事務局	調査が登録されました。審査してください。 （調査へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T61	A6.4	調査の管理	UC152	自分の登録した調査が事務局によって編集された	登録したユーザ	運営事務局によって編集されました。+理由 （調査へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	編集部分を示す
T62	A6.4	調査の管理	UC153	調査が削除された	運営事務局	あなたの調査が運営事務局に削除されました。（理由も）	通知領域 メッセージ メール	
T63	A6.4	調査の管理	UC153	自分の登録した調査が事務局によって削除された	登録したユーザ	運営事務局によって消されました。+理由 （調査名）	通知領域 メッセージ メール	
T64	A6.4	調査の管理	UC161	自分の登録した調査にコメントがついた	登録したユーザ	コメントが付きました。 （調査へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T65	A6.4	調査の管理	UC162	調査へのコメントを、運営事務局が編集した。	コメント主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T66	A6.4	調査の管理	UC163	調査へのコメントを、運営事務局が削除した。	コメント主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T67	A6.4	調査の管理	164 165	登録した調査が事務局によって審査・判定された	研究者	だめでした破棄しました/OKでした公開しました	通知領域 メッセージ メール	
T68	A6.4	調査の管理	UC165	チェックした課題に対する調査が追加された	チェックしたユーザ	チェックした課題に、参考になるかもしれない調査が登録されました。 （調査へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	

T69	A6.5	データベースの管理	UC168	データベースが登録された	運営事務局	データベースが登録されました。審査してください。 （データベースへのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T70	A6.5	データベースの管理	UC169	自分の登録したデータベースが事務局によって編集された	登録したユーザ	運営事務局によって編集されました。 （データベースへのリンク）	通知領域 メッセージ メール	編集部分を示す
T71	A6.5	データベースの管理	UC169	データベースが編集された	運営事務局	データベースが編集されました。審査してください。 （データベースへのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T72	A6.5	データベースの管理	UC170	自分の登録したデータベースが事務局によって削除された	登録したユーザ	運営事務局によって消されました。 （データベース名）	通知領域 メッセージ メール	
T73	A6.5	データベースの管理	UC178	自分の登録したデータベースにコメントがついた	登録したユーザ	コメントが付きました。 （データベースへのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T74	A6.5	データベースの管理	UC179	データベースへのコメントを、運営事務局が編集した。	コメント主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T75	A6.5	データベースの管理	UC180	データベースへのコメントを、運営事務局が削除した。	コメント主	理由も	通知領域 メッセージ メール	
T76	A6.5	データベースの管理	181 182	登録したデータベースが事務局によって審査・判定された	研究者	だめでした破棄しました/OKでした公開しました	通知領域 メッセージ メール	
T78	A4	アカウント管理	UC80	ユーザが退会した	運営委員会	～が退会しました。	通知領域 メッセージ メール	
T79	A4	アカウント管理	UC84	自分のアカウントが制御された	制御されたユーザ	あなたのアカウントが制御状態に入りました。今後本サービスへのログインは行えません。	メール	
T81	A6.1	課題の管理	UC34	ブックマークした課題の内容が編集された	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした課題の内容に変更がありました。	通知領域 メッセージ メール	
T82	A6.1	課題の管理	UC37	ブックマークした課題が削除された	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした課題が削除されました。	通知領域 メッセージ メール	
T83	A6.2	手法の管理	UC46	ブックマークした課題に手法が紐づいた	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした課題に手法が登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T84	A6.4	調査の管理	UC151	ブックマークした課題に調査が紐づいた	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした課題に調査が登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T85	A6.5	データベースの管理	UC182	ブックマークした課題にデータベースが紐づいた	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした課題にデータベースが登録されました。	通知領域 メッセージ メール	

T86	A6.3	実践事例の管理	UC33	ブックマークした課題に実践事例が紐づいた	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践事例が登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T87	A10	募集	UC145	ブックマークした課題に募集が紐づいた	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした課題に募集が登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T88	A9	防災知恵袋	UC143	ブックマークした課題が引用されて質問された	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした課題が引用されて質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T89	A6.2	手法の管理	UC48	ブックマークした手法の内容が編集される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした手法の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T90	A6.2	手法の管理	UC46	ブックマークした手法を使っている他の手法が登録される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした手法を使っている他の手法が登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T91	A6.2	手法の管理	UC56	ブックマークした手法にコメントが投稿される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした手法にコメントが投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T92	A10	募集	UC145	ブックマークした手法に募集が紐づく	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした手法に募集が紐づました。	通知領域 メッセージ メール	
T93	A9	防災知恵袋	UC143	ブックマークした手法が引用して質問される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした手法が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T94	A6.3	実践事例の管理	UC36	ブックマークした実践事例の内容が編集される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践事例の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T95	A6.3	実践事例の管理	UC57	ブックマークした実践事例にコメントが投稿される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践事例にコメントが投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T96	A10	募集	UC145	ブックマークした実践事例に募集が紐づく	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践事例に募集が紐づました。	通知領域 メッセージ メール	
T97	A9	防災知恵袋	UC143	ブックマークした実践事例が引用して質問される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践事例が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T98	A6.4	調査の管理	UC164	ブックマークした調査の内容が編集される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした調査の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T99	A6.4	調査の管理	UC161	ブックマークした調査にコメントが投稿される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした調査にコメントが投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	

T100	A10	募集	UC145	ブックマークした調査に募集が紐づく	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした調査に募集が紐づました。	通知領域 メッセージ メール	
T101	A9	防災知恵袋	UC143	ブックマークした調査が引用して質問される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした調査が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T102	A6.5	データベースの管理	UC181	ブックマークしたデータベースの内容が編集される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークしたデータベースの内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T103	A6.5	データベースの管理	UC178	ブックマークしたデータベースにコメントが投稿される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークしたデータベースにコメントが投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T104	A10	募集	UC145	ブックマークしたデータベースに募集が紐づく	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークしたデータベースに募集が紐づました。	通知領域 メッセージ メール	
T105	A9	防災知恵袋	UC143	ブックマークしたデータベースが引用して質問される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークしたデータベースが引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T106	A10	募集	UC145	ブックマークした募集の内容が編集される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした募集の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T107	A10	募集	71.147.131	ブックマークした募集が終了する	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした募集が終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T108	A10	募集	UC73	ブックマークした募集に応募が投稿される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした募集に応募が投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T109	A10	募集	UC146	ブックマークした募集に追記が投稿される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした募集に追記が投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T110	A9	防災知恵袋	UC9	ブックマークした質問の内容が編集される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした質問の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T111	A9	防災知恵袋	UC5	ブックマークした質問に回答が投稿される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした質問に回答が投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T112	A9	防災知恵袋	UC132	ブックマークした質問に追記が投稿される	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした質問に追記が投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T113	A9	防災知恵袋	UC15	ブックマークした質問が未解決で終了する	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした質問が未解決で終了しました。	通知領域 メッセージ メール	

T114	A9	防災知恵袋	UC8	ブックマークした質問が解決で終了する	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした質問が解決で終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T116	A9	防災知恵袋	UC4	ブックマークした防災担当者が質問を投稿する	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が質問を投稿しました。	通知領域 メッセージ メール	
T117	A9	防災知恵袋	UC5	ブックマークした防災担当者が質問に回答した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が質問に回答しました。	通知領域 メッセージ メール	
T118	A9	防災知恵袋	UC7	ブックマークした防災担当者が質問の回答にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が質問の回答にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T119	A6.3	実践事例の管理	UC33	ブックマークした防災担当者が実践事例を登録した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が実践事例を登録しました。	通知領域 メッセージ メール	
T120	A6.2	手法の管理	UC56	ブックマークした防災担当者が手法にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が手法にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T121	A6.4	調査の管理	UC161	ブックマークした防災担当者が調査にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が調査にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T122	A6.5	データベースの管理	UC178	ブックマークした防災担当者がデータベースにコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者がデータベースにコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T123	A6.3	実践事例の管理	UC57	ブックマークした防災担当者が実践事例にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が実践事例にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T124	A10	募集	UC145	ブックマークした防災担当者が募集した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が募集しました。	通知領域 メッセージ メール	
T125	A10	募集	UC73	ブックマークした防災担当者が募集に応募した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が募集に応募しました。	通知領域 メッセージ メール	
T126	A10	募集	UC70	ブックマークした防災担当者が募集への応募にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした防災担当者が募集への応募にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T127	A9	防災知恵袋	UC4	ブックマークした研究者が質問を投稿する	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が質問を投稿すました。	通知領域 メッセージ メール	
T128	A9	防災知恵袋	UC5	ブックマークした研究者が質問に回答した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が質問に回答しました。	通知領域 メッセージ メール	

T129	A9	防災知恵袋	UC7	ブックマークした研究者が質問の回答にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が質問の回答にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T130	A6.2	手法の管理	UC46	ブックマークした研究者が手法を登録した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が手法を登録しました。	通知領域 メッセージ メール	
T131	A6.4	調査の管理	UC165	ブックマークした研究者が調査を登録した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が調査を登録しました。	通知領域 メッセージ メール	
T132	A6.5	データベースの管理	UC182	ブックマークした研究者がデータベースを登録した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者がデータベースを登録しました。	通知領域 メッセージ メール	
T133	A6.3	手法の管理	UC56	ブックマークした研究者が手法にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が手法にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T134	A6.4	調査の管理	UC161	ブックマークした研究者が調査にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が調査にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T135	A6.5	データベースの管理	UC178	ブックマークした研究者がデータベースにコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者がデータベースにコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T136	A6.3	実践事例の管理	UC57	ブックマークした研究者が実践事例にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が実践事例にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T137	A10	募集	UC145	ブックマークした研究者が募集した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が募集しました。	通知領域 メッセージ メール	
T138	A10	募集	UC145	ブックマークした研究者が募集に応募した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が募集に応募しました。	通知領域 メッセージ メール	
T139	A10	募集	UC73	ブックマークした研究者が募集への応募にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした研究者が募集への応募にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T140	A9	防災知恵袋	UC4	ブックマークした実践技術者が質問を投稿する	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が質問を投稿しました。	通知領域 メッセージ メール	
T141	A9	防災知恵袋	UC5	ブックマークした実践技術者が質問に回答した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が質問に回答しました。	通知領域 メッセージ メール	
T142	A9	防災知恵袋	UC7	ブックマークした実践技術者が質問の回答にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が質問の回答にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	

T143	A6.3	実践事例の管理	UC33	ブックマークした実践技術者が実践事例を登録した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が実践事例を登録しました。	通知領域 メッセージ メール	
T144	A6.2	手法の管理	UC56	ブックマークした実践技術者が手法にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が手法にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T145	A6.4	調査の管理	UC161	ブックマークした実践技術者が調査にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が調査にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T146	A6.5	データベースの管理	UC178	ブックマークした実践技術者がデータベースにコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者がデータベースにコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T147	A6.3	実践事例の管理	UC57	ブックマークした実践技術者が実践事例にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が実践事例にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T148	A10	募集	UC145	ブックマークした実践技術者が募集した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が募集しました。	通知領域 メッセージ メール	
T149	A10	募集	UC73	ブックマークした実践技術者が募集に応募した	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が募集に応募しました。	通知領域 メッセージ メール	
T150	A10	募集	UC70	ブックマークした実践技術者が募集への応募にコメントした	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした実践技術者が募集への応募にコメントしました。	通知領域 メッセージ メール	
T151	A6.1	課題の管理	UC31	チェックした小項目に課題が登録された	チェックしたユーザ	あなたがチェックした小項目に課題が登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T152	A9	防災知恵袋	UC12	チェックした小項目に質問が投稿された(チェックされ、公開された)	チェックしたユーザ	あなたがチェックした小項目に質問が投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T153	A6.1	課題の管理	UC37	登録した課題が削除された	登録したユーザ	あなたが登録した課題が削除されました。	通知領域 メッセージ メール	
T154	A6.2	手法の管理	UC46	登録した課題に手法が紐づいた	登録したユーザ	あなたが登録した課題に手法が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	不要
T155	A6.4	調査の管理	UC151	登録した課題に調査が紐づいた	登録したユーザ	あなたが登録した課題に調査が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	不要
T156	A6.5	データベースの管理	UC182	登録した課題にデータベースが紐づいた	登録したユーザ	あなたが登録した課題にデータベースが紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	不要

T158	A10	募集	UC145	登録した課題に募集が紐づいた	登録したユーザ	あなたが登録した課題に募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T159	A9	防災知恵袋	UC143	登録した課題が引用して質問された	登録したユーザ	あなたが登録した課題が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T160	A6.1	課題の管理	UC34	チェックした課題の内容が編集された	チェックしたユーザ	あなたがチェックした課題の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T161	A6.1	課題の管理	UC37	チェックした課題が削除された	チェックしたユーザ	あなたがチェックした課題が削除されました。	通知領域 メッセージ メール	
T162	A6.2	手法の管理	UC46	チェックした課題に手法が紐づいた	チェックしたユーザ	あなたがチェックした課題に手法が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T163	A6.4	調査の管理	UC151	チェックした課題に調査が紐づいた	チェックしたユーザ	あなたがチェックした課題に調査が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T164	A6.5	データベースの管理	UC182	チェックした課題にデータベースが紐づいた	チェックしたユーザ	あなたがチェックした課題にデータベースが紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T165	A6.3	実践事例の管理	UC33	チェックした課題に実践事例が紐づいた	チェックしたユーザ	あなたがチェックした課題に実践事例が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T166	A10	募集	UC145	チェックした課題に募集が紐づいた	チェックしたユーザ	あなたがチェックした課題に募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T167	A9	防災知恵袋	UC143	チェックした課題が引用して質問された	チェックしたユーザ	あなたがチェックした課題が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T168	A6.2	手法の管理	UC48	登録した手法の内容が編集された	登録したユーザ	あなたが登録した手法の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T169	A6.2	手法の管理	UC46	登録した手法を使っている別の手法が登録された	登録したユーザ	あなたが登録した手法を使っている別の手法が登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T171	A10	募集	UC145	登録した手法に募集が紐づいた	登録したユーザ	あなたが登録した手法に募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T172	A9	防災知恵袋	UC143	登録した手法が引用して質問された	登録したユーザ	あなたが登録した手法が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	

T173	A6.2	手法の管理	UC48	コメントした手法の内容が編集された	コメント主	あなたがコメントした手法の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T174	A6.2	手法の管理	UC46	コメントした手法を使っている別の手法が登録された	コメント主	あなたがコメントした手法を使っている別の手法が登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T175	A6.2	手法の管理	UC56	コメントした手法にコメントが登録された	コメント主	あなたがコメントした手法にコメントが登録されました。	通知領域 メッセージ メール	
T176	A10	募集	UC145	コメントした手法募集が紐づいた	コメント主	あなたがコメントした手法に募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T177	A9	防災知恵袋	UC143	コメントした手法が引用して質問された	コメント主	あなたがコメントした手法が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T178	A6.4	調査の管理	UC164	登録した調査の内容が編集された	登録したユーザ	あなたが登録した調査の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T180	A10	募集	UC145	登録した調査に募集が紐づいた	登録したユーザ	あなたが登録した調査に募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T181	A9	防災知恵袋	UC143	登録した調査が引用して質問された	登録したユーザ	あなたが登録した調査が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T182	A6.4	調査の管理	UC164	コメントした調査の内容が編集された	コメント主	あなたがコメントした調査の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T183	A6.4	調査の管理	UC161	コメントした調査にコメントが投稿された	コメント主	あなたがコメントした調査にコメントが投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T184	A10	募集	UC145	コメントした調査に募集が紐づいた	コメント主	あなたがコメントした調査に募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T185	A9	防災知恵袋	UC143	コメントした調査が引用して質問された	コメント主	あなたがコメントした調査が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T188	A10	募集	UC145	登録したデータベースに募集が紐づいた	登録したユーザ	あなたが登録したデータベースに募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T189	A9	防災知恵袋	UC143	登録したデータベースが引用して質問された	登録したユーザ	あなたが登録したデータベースが引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	

T190	A6.5	データベースの管理	UC181	コメントしたデータベースの内容が編集された	コメント主	あなたがコメントしたデータベースの内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T191	A6.5	データベースの管理	UC178	コメントしたデータベースにコメントが投稿された	コメント主	あなたがコメントしたデータベースにコメントが投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T192	A10	募集	UC145	コメントしたデータベースに募集が紐づいた	コメント主	あなたがコメントしたデータベースに募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T193	A9	防災知恵袋	UC143	コメントしたデータベースが引用して質問された	コメント主	あなたがコメントしたデータベースが引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T196	A10	募集	UC145	登録した実践事例に募集が紐づいた	登録したユーザ	あなたが登録した実践事例に募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T197	A9	防災知恵袋	UC143	登録した実践事例が引用して質問された	登録したユーザ	あなたが登録した実践事例が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T198	A6.3	実践事例の管理	UC36	コメントした実践事例の内容が編集された	コメント主	あなたがコメントした実践事例の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T199	A6.3	実践事例の管理	UC57	コメントした実践事例にコメントが投稿された	コメント主	あなたがコメントした実践事例にコメントが投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T200	A10	募集	UC145	コメントした実践事例に募集が紐づいた	コメント主	あなたがコメントした実践事例に募集が紐づきました。	通知領域 メッセージ メール	
T201	A9	防災知恵袋	UC143	コメントした実践事例が引用して質問された	コメント主	あなたがコメントした実践事例が引用して質問されました。	通知領域 メッセージ メール	
T202	A9	防災知恵袋	UC9	投稿した質問の内容が編集された	質問者	あなたが投稿した質問の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T205	A9	防災知恵袋	UC15	投稿した質問が未解決で終了した	質問者	あなたが投稿した質問が未解決で終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T206	A9	防災知恵袋	UC8	投稿した質問が解決で終了した	質問者	あなたが投稿した質問が解決で終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T208	A9	防災知恵袋	UC9	回答した質問の内容が編集された	回答者	あなたが回答した質問の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	

T209	A9	防災知恵袋	UC5	回答した質問に回答が投稿された	回答者	あなたが回答した質問に回答が投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T211	A9	防災知恵袋	UC15	回答した質問が未解決で終了した	回答者	あなたが回答した質問が未解決で終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T212	A9	防災知恵袋	UC8	回答した質問が解決で終了した	回答者	あなたが回答した質問が解決で終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T215	A10	募集	UC145	投稿した募集の内容が編集された	募集主	あなたが投稿した募集の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T216	A10	募集	UC147.131	投稿した募集が終了した	募集主	あなたが投稿した募集が終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T219	A10	募集	UC145	応募した募集の内容が編集された	応募者	あなたが応募した募集の内容が編集されました。	通知領域 メッセージ メール	
T220	A10	募集	UC131	応募した募集が終了した	応募者	あなたが応募した募集が終了しました。	通知領域 メッセージ メール	
T221	A10	募集	UC73	応募した募集に応募が投稿された	応募者	あなたが応募した募集に応募が投稿されました。	通知領域 メッセージ メール	
T222	A10	募集	UC146	応募した募集に追記が投稿された	応募者	あなたが応募した募集に追記が投稿されtました。	通知領域 メッセージ メール	
T223	A6.4	調査の管理	UC152	調査が編集された	運営事務局	調査が編集されました。審査してください。 （調査へのリンク）	通知領域 メッセージ メール	
T224	A6.2	手法の管理	UC38	審査中の手法が削除された	運営事務局	審査中の手法が削除されました	通知領域 メッセージ メール	
T225	A6.4	調査の管理	UC153	審査中の調査が削除された	運営事務局	審査中の調査が削除されました	通知領域 メッセージ メール	
T226	A6.5	データベースの管理	UC170	審査中のデータベースが削除された	運営事務局	審査中のデータベースが削除されました	通知領域 メッセージ メール	
T227	A10	募集	UC69	審査中の募集が削除された	運営事務局	審査中の募集が削除されました	通知領域 メッセージ メール	

T228	A4	アカウント管理	UC1	アカウントを登録した	アカウントに登録されているメールアドレス	アカウントの登録が完了した。	メール	
T229	A4	アカウント管理	UC79	アカウントを更新した	アカウントに登録されているメールアドレス	アカウントの更新が完了した。	メール	
T230	A4	アカウント管理		アカウントのパスワードをリセットした	アカウントに登録されているメールアドレス	アカウントのパスワードリセットが行われた。	メール	
T231	A4	アカウント管理	UC203	アドバイザの設定/解除をした	アカウントに登録されているメールアドレス	アドバイザの設定/解除が完了した。	通知領域 メッセージ メール	
T232	A9	知恵袋	UC11	投稿した質問を引用した質問が投稿された	引用元の質問者	あなたが投稿した質問を引用した質問が投稿されました。	メッセージ メール	
T233	A9	知恵袋	UC143	登録した募集が引用して質問された	登録したユーザ	あなたが登録した募集が引用して質問されました。	メッセージ メール	
T234	A9	知恵袋	UC143	ブックマークした募集が引用して質問された	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした募集が引用して質問されました。	メッセージ メール	
T235	A9	知恵袋	UC143	コメントした募集が引用して質問された	コメント主	あなたがコメントした募集が引用して質問されました。	メッセージ メール	
T236	A9	知恵袋	UC11	ブックマークした質問が引用して質問された	ブックマークしているユーザ	あなたがブックマークした質問が引用して質問されました。	メッセージ メール	
T237	A10	募集		募集の期限が迫っている	募集主	あなたが投稿した募集の期限が迫っています。	メッセージ メール	
T238	A4	アカウント管	UC247	アカウント登録を申請した	申請者	アカウントの登録申請が完了した。	メール	
T239	A4	アカウント管理	UC247	アカウント登録を申請された	運営事務局	アカウントの登録が申請されました。審査を行ってください。	メッセージ メール	
T240	A4	アカウント管理	UC249	アカウント申請を承認した	申請者	アカウントの登録申請が承認されました。アクティベーションを行ってください。	メール	
T241	A4	アカウント管	UC248	アカウント申請を拒否した	申請者	アカウントの登録申請が拒否されました。	メール	

【BR21】パーツの基本情報とロジック

ID	未ログイン	防災担当者	研究者	実践技術者	運営事務局	表示先パーツ名	出力情報	紐付け方法	設計	備考
J15	○	○	○	○	○	検索	検索窓	特になし	ログイン状況により並び順のデフォルトを以下とする 未ログイン：新着順 ログイン済：おすすめ順	
J16	－	○	○	○	－	アカウント情報	「自分の」 ・前回のログイン日時 ・アカウント名	特になし	前回のログイン 自治体・組織名（防災担当者）、アカウント名（研究者、実践技術者）	あまり大々的に表示される必要もない
	○	－	－	－	－	コンテンツ（閲覧数順）			次年度トップページの見直し改善の中で対応させて頂きます。	
J12	－	○	○	○	－	ブックマーク	自分のお気に入りを登録	特になし	任意のコンテンツ、アカウントを登録可能	
J13	－	○	○	○	○	メッセージボックス	・受信件数 ・送信件数 ・未送信件数	特になし	eコミGWのメッセージパーツの設計を参考に実装	ユーザ毎に各件数持たせる
J14	－	○	○	○	－	防災FAQ→防災対策チェックリスト	課題のチェック状況	特になし	以下リンクを表示 閲覧する チェックする	
J10	○	○	○	○	－	防災知恵袋	新着情報	特になし	投稿した質問に対する新着情報を表示 知恵袋トップページへのリンクを表示	
J11	○	○	○	○	－	募集	新着情報	特になし	登録した募集に対する新着情報を表示 募集トップページへのリンクを表示	
J7	－	○	○	○	－	地域に関連した情報 （あなたの地域を知ろう／地域のことを知ろう）	「ユーザの活動地域の」 1・統計データ 2・自然特性 3・社会特性 4. 災害の危険性 ---------- （参考情報的に出すもの） 5.過去の災害 6.ハザードマップ 7.類似の市区町村	ユーザの活動地域から、登録されている情報を取得する。	1．人口・面積・世帯 ・人口（更新可能。デフォルトはWPS取得データ） ・人口密度（更新可能。デフォルトは人口／面積） ・世帯数（更新可能。デフォルトはWPS取得データ） ・面積（更新可能。デフォルトはWPS取得データ） 2．自然環境 対象自然環境マスタのデータから、対象データを更新可能。 3．社会環境 対象社会環境マスタのデータから、対象データを更新可能。 4．この地域で過去に起こった災害 ユーザーの活動地域で発生した過去の災害を災害アーカイブから取得 5．地域に関連するハザードマップ ユーザーの活動地域に対する災害の危険性をWPS取得データを基に提示 6．類似の市区町村 ユーザーの活動地域に類似した市区町村を表示	
J3	－	－	○	－	－	あなたの開発した手法・調査・データベース	簡易コンテンツ表示	特になし	アカウントが開発者となっている手法、調査、データベースを新着順でそれぞれ2件表示。 2件を超える場合は、各々のコンテンツに「もっと見る」を表示する。 （もっと見るでは「自分が登録」で絞り込み）	
J2	－	－	○	－	－	未解決の課題	ユーザの研究分野に関連する、未解決の課題	【BR35】＋手法が紐づいていないもの。	研究者への推奨課題を表示	
J5		－	－	○	－	実践できる手法・調査・データベース	未開発	チェックしてある手法を表示する	実践できるチェックリストでチェックが付けられたコンテンツを表示する。、	
J6		－	－	○	－	あなたが行った実践事例	自分の登録した実践事例と	特になし	アカウントが実践者となっている実践事例を新着順で2件表示。 2件を超える場合は、各々のコンテンツに「もっと見る」を表示する。 （もっと見るでは「自分が登録」で絞り込み）	
	－	－	－	－	○	課題の登録	コンテンツ登録画面	特になし		
	－	－	○	－	○	手法の登録	コンテンツ登録画面	特になし	親となる課題は検索ダイアログから選択	
	－	○	－	○	○	実践事例の登録	コンテンツ登録画面	特になし	親となる課題は検索ダイアログから選択（手法に紐付かない場合）	
	－	－	○	－	○	調査の登録	コンテンツ登録画面	特になし	親となる課題は検索ダイアログから選択	
	－	－	○	－	○	データベースの登録	コンテンツ登録画面	特になし	親となるコンテンツは検索ダイアログから選択	

【BR35】検索結果をユーザに適した順で並び替える方法

※ここでのおすすめのロジックを利用して、【BR21】ではマイページにおすすめが表示される。

検索ユーザ	検索コンテンツ	判定法	第1ソート	第2ソート	第3ソート	第4ソート	第5ソート	第6ソート	第7ソート
地域の防災リーダー	課題	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づいているもの。 その中でも、チェックした課題があればそれは優先度がより高い（チェックした奴がそのまま出てくる。） ・地域の防災リーダーは活動地域の範囲が小さいことで自然特性・社会特性が限定されるため、アカウントに登録されている、自然特性・社会特性が一致しているもの。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）	最終更新日時が新しい順			
	手法	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づく課題にぶら下がる手法。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がる手法は優先度がより高い。 ・アカウントに登録されている、自然特性・社会特性が一致しているもの。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる手法	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる手法	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	最終更新日時が新しい順			
	実践事例	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づく課題にぶら下がる手法に紐づく実践事例。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がる手法配下の実践事例は優先度がより高い。 ・実践事例の実践地域と、ユーザの活動地域が近いもの。 ・アカウントに登録されている、自然特性・社会特性が一致しているもの。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる（※）実践事例 （※手法経由、直接の区別なし）	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントの活動地域と、実践事例の実践地域が近いもの （近いは、今回はマルチポリゴン間の距離で並び替える。そのためほぼこのソートで並び順が決まる）	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる（※）実践事例 （※手法経由、直接の区別なし）	最終更新日時が新しい順		
	調査	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づく調査。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がる調査は優先度がより高い。 ・調査地域が、活動地域と近いもの ・調査の対象自然環境・社会環境がユーザの自然特性・社会特性と一致しているもの	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる調査	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントの活動地域と、調査の調査地域が近いもの （近いは、マルチポリゴン間の距離で並び替える。そのためほぼこのソートで並び順が決まる）	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる調査	最終更新日時が新しい順		
	データベース	・対象地域が、ユーザの活動地域と近いもの。 ・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」 の小項目に紐づくデータベース。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がるデータベースは優先度がより高い。 防災FAQでチェックした課題にぶら下がる手法配下のデータベースも同じくらいの優先度を持つ。 ・ユーザの自然特性・社会特性が一致しているもの	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がるデータベース （※手法経由、直接の区別なし）	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントの活動地域と、データベースの活用地域が近いもの （近いは、マルチポリゴン間の距離で並び替える。そのためほぼこのソートで並び順が決まる）	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がるデータベース（※手法経由、直接の区別なし）	最終更新日時が新しい順		
	防災知恵袋	・防災FAQでチェックした「やらなければいけない」の小項目に紐づいているもの。 ・対象地域が登録されている場合には、アカウントの活動地域に近いもの。 ・アカウントに登録されている、自然特性・社会特性が一致しているもの。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の親小項目にぶら下がる知恵袋	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントの活動地域と、知恵袋の対象地域が近いもの。 対象地域が登録されていないものは、設定されているものより優先度低とする。 （近いは、マルチポリゴン間の距離で並び替える。そのためほぼこのソートで並び順が決まる）	最終更新日時が新しい順			
	募集	手法と同じソート順を用いる	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる募集	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる募集	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	最終更新日時が新しい順			
	自治体の防災担当者	ユーザの活動地域を、自分の活動地域に含んでいる自治体の防災担当者。	アカウントの活動地域と重なりのある活動地域を持つ、自治体の防災担当者 マルチポリゴン重なり	アカウントの活動地域と重なりのある活動地域を持つ、自治体の防災担当者 マルチポリゴン距離	最終更新日時が新しい順				
	地域の防災リーダー	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目が被っている地域の防災リーダー。 その中でも、チェックしている課題が被っているものの方が優先度がより高い。 ・活動地域が近い地域の防災リーダー。	アカウントの活動地域と活動地域が近い地域の防災リーダー	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題に対し、実施すべきにチェックを入れている地域の防災リーダー	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）に対し、実施すべきにチェックを入れている地域の防災リーダー	最終更新日時が新しい順			
	研究者	・県が同じなどで活動地域が近い研究者 ・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づく手法、調査、データベースを登録している研究者。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がる手法、調査、データベースを登録している研究者は優先度がより高い。 ・研究者が持っている手法、調査、データベースの自然特性・社会特性がユーザのものと一致しているもの。	アカウントの活動地域と活動地域が登録住所 （都道府県が一致）	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる手法、調査、データベースの開発者として登録されている研究者	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる手法、調査、データベースの開発者として登録されている研究者	アカウントの自然環境・社会環境と、手法、調査、データベースの自然環境・社会環境を一致数を研究者単位で合計したもの （研究者とそれに紐付く手法、調査、データベースの件数が多い場合、レスポンス悪化が懸念されるので、実装後要確認）	アカウントの活動地域と活動地域が近い順		
	実践技術者	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目をチェックしている実践技術者。同じ課題をチェックしている実践技術者の方が優先度が高い。 またそのチェックの中でも、「実践したことがある」を登録している実践技術者の方が優先度が高い。 （→実践技術者はチェックリストを使用しないため、今年度はロジック検討見送り） 「実践したことがある」よりも、小項目または課題に紐づく手法配下の実践事例を登録している実践技術者の方が優先度が高い。 ・県が同じなどで活動地域が近い実践技術者。 ・実践技術者が持っている実践事例の自然特性・社会特性がユーザのもの一致している人。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる実践事例の実践者として登録されている実践技術者	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる実践事例の実践者として登録されている実践技術者	アカウントの自然環境・社会環境と、実践事例の自然環境・社会環境を一致数を実践技術者単位で合計したもの（実践技術者とそれに紐付く実践事例の件数が多い場合、レスポンス悪化が懸念されるので、実装後要確認）	アカウントの活動範囲と実践地域が近い実践技術者	最終更新日時が新しい順		

【BR35】検索結果をユーザに適した順で並び替える方法

※ここでのおすすめのロジックを利用して、【BR21】ではマイページにおすすめが表示される。

検索ユーザ	検索コンテンツ	判定法	第1ソート	第2ソート	第3ソート	第4ソート	第5ソート	第6ソート	第7ソート
自治体の防災担当者	課題	防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づいているもの。 その中でも、チェックした課題があればそれは優先度がより高い （チェックした奴がそのまま出てくる。）	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）	最終更新日時が新しい順			
	手法	防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づく課題にぶら下がる手法。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がる手法は優先度がより高い。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる手法	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる手法	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントの自治体と、手法の実践事例の開発地域の自治体において、同規模の自治体が存在する。	最終更新日時が新しい順		
	実践事例	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づく課題にぶら下がる手法に紐づく実践事例。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がる手法配下の実践事例は優先度がより高い。 ・実践事例の実践地域と、ユーザの活動地域が近いものは優先度がより高い	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる（※）実践事例 （※手法経由、直接の区別なし）	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる（※）実践事例 （※手法経由、直接の区別なし）	アカウントの自治体と、実践事例の開発地域の自治体において、同規模の自治体が存在する。	アカウントの活動地域と、実践事例の開発地域が近いもの	最終更新日時が新しい順	
	調査	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づく調査。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がる調査は優先度がより高い。 ・調査地域が、活動地域と近いもの	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる調査	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる調査	アカウントの自治体と、調査の調査地域の自治体において、同規模の自治体が存在する。	アカウントの活動地域と、調査の調査地域が近いもの	最終更新日時が新しい順	
	データベース	・対象地域が、ユーザの活動地域と近いもの。 ・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」 の小項目に紐づくデータベース。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がるデータベースは優先度がより高い。 防災FAQでチェックした課題にぶら下がる手法配下のデータベースも同じくらいの優先度を持つ。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がるデータベース （※手法経由、直接の区別なし）	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がるデータベース（※手法経由、直接の区別なし）	アカウントの自治体と、データベースの対象地域の自治体において、同規模の自治体が存在する。	アカウントの活動地域と、データベースの対象地域が近いもの。	最終更新日時が新しい順	
	防災知恵袋	・防災FAQでチェックした「やらなければいけない」の小項目に紐づいているもの。 ・対象地域が登録されている場合には、アカウントの活動地域に近いもの。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の親小項目にぶら下がる知恵袋	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントの活動地域と、知恵袋の対象地域が近いもの。 対象地域が登録されていないものは、設定されているものより優先度低とする。 （近いは、マルチポリゴン間の距離で並び替える。そのためほぼこのソートで並び順が決まる）	最終更新日時が新しい順			
	募集	手法と同じソート順を用いる	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる募集	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる募集	自然特性、社会特性、災害の危険性による推奨度	アカウントの自治体と、募集の対象地域の自治体において、同規模の自治体が存在する。	最終更新日時が新しい順		
	自治体の防災担当者	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目が被っている自治体の防災担当者。 その中でも、チェックしている課題が被っているものの方が優先度がより高い。 ・自治体同士の規模が近く、位置も近くの自治体の防災担当者。	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題に対し、実施すべきにチェックを入れている自治体の防災担当者	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）に対し、実施すべきにチェックを入れている自治体の防災担当者	アカウントの対象ハザードと、自治体の対象ハザードの一致がある	アカウントの自然環境・社会環境と、検索対象の自治体の自然環境、社会環境の一致がある（どちらにもチェックがあるのほうが、どちらかにチェックがあるより推奨）	アカウントの自治体と、手法の実践事例の開発地域の自治体において、同規模の自治体が存在する。	アカウントの活動地域と活動地域が近い自治体の防災担当者(今年度は位置の近くで実装させて頂きます	最終更新日時が新しい順
	地域の防災リーダー	自分の自治体（活動地域）内部や、県内どの活動している地域の防災リーダー。 ・ユーザの自治体から近くで活動している地域の防災リーダー。その中でも、ユーザの自治体内で活動している地域の防災リーダーは優先度がより高い。	アカウントの活動地域内に、活動範囲が含まれる地域の防災リーダー	アカウントの活動地域内と、活動範囲が近い地域の防災リーダー	最終更新日時が新しい順				
	研究者	・県が同じなどで活動地域が近い研究者 ・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目に紐づく手法を登録している研究者。 その中でも、防災FAQでチェックした課題にぶら下がる手法を登録している研究者は優先度がより高い。	アカウントの活動地域と活動地域が同じ県	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる手法、調査、データベースの開発者として登録されている研究者	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる手法、調査、データベースの開発者として登録されている研究者	アカウントの活動地域と活動地域が近い研究者 （近いは、マルチポリゴン間の距離で並び替える。そのためほぼこのソートで並び順が決まる）	最終更新日時が新しい順		
	実践技術者	・防災FAQでチェックしている「やらなければいけない」の小項目をチェックしている実践技術者。同じ課題をチェックしている実践技術者の方が優先度が高い。 またそのチェックの中でも、「実践したことがある」を登録している実践技術者の方が優先度が高い。 （→実践技術者はチェックリストを使用しないため、今年度はロジック検討見送り） 「実践したことがある」よりも、小項目または課題に紐づく手法配下の実践事例を登録している実践技術者の方が優先度が高い。 ・県が同じなどで活動地域が近い実践技術者	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題にぶら下がる実践事例の実践者として登録されている実践技術者	アカウントが防災対策チェックリストの実施すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）にぶら下がる実践事例の実践者として登録されている実践技術者	アカウントの活動範囲と実践地域が近い実践技術者	最終更新日時が新しい順			

【BR35】検索結果をユーザに適した順で並び替える方法

※ここでのおすすめのロジックを利用して、【BR21】ではマイページにおすすめが表示される。

検索ユーザ	検索コンテンツ	判定法	第1ソート	第2ソート	第3ソート	第4ソート	第5ソート	第6ソート	第7ソート
研究者	課題	・ユーザが登録した手法・調査・データベースの小項目に紐づいた課題。その中でも、手法・調査・データベースに直接紐づく課題は優先度がより高い。	アカウントが防災対策チェックリストの研究すべきにチェック済の課題	アカウントが登録した手法・調査・データベースに直接紐付く課題	アカウントが防災対策チェックリストの研究すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）	アカウントが登録した手法・調査・データベースに直接紐付く課題の兄弟（親：小項目が同じ）	最終更新日時が新しい順		
	手法	・登録した手法、調査、データベースの小項目に紐づいた課題配下の手法。 その中でも、親である課題を共有する手法は優先度がより高い。 自分が登録した手法は全ての条件の中で優先度が最も高い。 ・手法の開発地域が自分の活動地域に近いもの。	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題に紐づく手法	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題に直接紐付く手法	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）に紐づく手法	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題の兄弟（親：小項目が同じ）に直接紐付く手法	アカウントの活動可能範囲と実践地域が近い	最終更新日時が新しい順	
	実践事例	登録した手法、調査、データベースの小項目に紐づいた課題配下の手法を親に持つ実践事例。 その中でも、登録した手法に直接紐づく実践事例は優先度がより高い。	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題に紐づく実践事例	アカウントが開発者として登録した手法に直接紐付く実践事例	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題配下の実践事例	アカウントが登録した手法、調査、データベースの小項目配下の実践事例	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）に紐づく実践	最終更新日時が新しい順	
	調査	・自分が登録した手法、調査、データベースが紐づく小項目に紐づいた調査。 その中でも、親である課題を共有する調査は優先度がより高い。 自分が登録した調査は全ての条件の中で優先度が最も高い。 ・調査地域が自分の活動地域に近いもの	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題に紐づく調査	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題に直接紐付く手法	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）に紐づく調査	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題の兄弟（親：小項目が同じ）に直接紐付く手法	アカウントの活動可能範囲と調査地域が近い	最終更新日時が新しい順	
	データベース	・自分が登録した手法、調査、データベースが紐づく小項目に紐づいたデータベース。 その中でも、親である課題を共有する（または手法自身を基とする）データベースは優先度がより高い。 自分が登録したデータベースは全ての条件の中で優先度が最も高い。 ・地域が自分の活動地域に近いもの	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題に紐づくデータベース	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題に直接紐付く手法	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）に紐づくデータベース	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題の兄弟（親：小項目が同じ）に直接紐付く手法	アカウントの活動可能範囲と実践地域が近い	最終更新日時が新しい順	
	防災知恵袋	・ユーザが登録した手法・調査・データベースの小項目に紐づいた質問。 ・登録した手法・調査・データベースの小項目に紐づいたコンテンツのいずれかが引用された質問。中でも、ユーザが登録した手法・調査・データベースが引用された質問は全ての条件の中で優先度が最も高い。	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題の所属する小項目に紐づく質問	アカウントが登録した手法、調査、データベースが引用された質問（引用：次期開発）	アカウントが登録した手法、調査、データベースの小項目が引用された質問（引用：次期開発）	アカウントが登録した手法、調査、データベースの小項目配下の防災知恵袋	最終更新日時が新しい順		
	募集	調査、データベースと同じソート順を用いる	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題に紐づく募集	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題に直接紐付く募集	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）に紐づく募集	アカウントが登録した手法、調査、データベースの課題の兄弟（親：小項目が同じ）に直接紐付く募集	アカウントの活動可能範囲と募集地域が近い	最終更新日時が新しい順	
	自治体の防災担当者	・ユーザが登録した手法・調査・データベースの小項目に紐づく課題を、防災FAQで「やらなければいけない」とチェックしている防災担当者。その中でも。ユーザが登録した手法・調査・データベースに直接紐づく課題をチェックしている防災担当者は優先度がより高い。 ・活動地域が近い防災担当者。 ・ユーザの手法に実践事例を登録した防災担当者。	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている自治体の防災担当者。	アカウントが登録した手法、調査、データベースに直接紐付く課題を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている自治体の防災担当者。	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている自治体の防災担当者。	アカウントが登録した手法、調査、データベースに直接紐付く課題の兄弟（親：小項目が同じ）を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている自治体の防災担当者。	アカウントが開発者として登録した手法に直接紐付く実践事例を登録している自治体の防災担当者。	アカウントの活動可能範囲と活動地域が近い自治体の防災担当者。	最終更新日時が新しい順
	地域の防災リーダー	・ユーザが登録した手法・調査・データベースの小項目に紐づく課題を、防災FAQで「やらなければいけない」とチェックしている防災担当者。その中でも。ユーザが登録した手法・調査・データベースに直接紐づく課題をチェックしている防災担当者は優先度がより高い。 ・活動地域が近い防災担当者。 ・ユーザの手法に実践事例を登録した防災担当者。	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている地域の防災リーダー。	アカウントが登録した手法、調査、データベースに直接紐付く課題を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている地域の防災リーダー。	アカウントが防災対策チェックリストの研究したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている地域の防災リーダー。	アカウントが登録した手法、調査、データベースに直接紐付く課題の兄弟（親：小項目が同じ）を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている地域の防災リーダー。	アカウントが開発者として登録した手法に直接紐付く実践事例を登録している地域の防災リーダー。	アカウントの活動範囲と活動地域が近い地域の防災リーダー。	最終更新日時が新しい順
	研究者	・自分が登録した手法、調査、データベースが紐づく小項目に対応した手法、調査、データベースを登録した研究者。 その中でも、親である課題を共有する手法・調査・データベース（データベースの親は手法である場合もある）を登録した研究者は優先度がより高い。 ・活動地域が近い研究者。	アカウントが防災対策チェックリストの研究すべきにチェック済の課題を、防災対策チェックリストで研究したでチェックしている研究者。	アカウントが防災対策チェックリストの研究すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）を、防災対策チェックリストで研究したでチェックしている研究者。	アカウントが登録した手法、調査、データベースに直接紐付く課題に対し、手法、調査、データベースを登録している研究者	アカウントが登録した手法、調査、データベースに直接紐付く課題の兄弟（親：小項目が同じ）に対し、手法、調査、データベースを登録している研究者	アカウントの活動範囲と活動地域が近い研究者。	最終更新日時が新しい順	
	実践技術者	・自分が登録した手法、調査、データベースが紐づく小項目に対応したチェックをした、または実践事例を登録した実践技術者。 その中でも、親である課題に対してチェックをした、またはその配下の手法に実践事例を登録した実践技術者は優先度がより高い。 自分が登録した手法に実践事例を登録した実践技術者は全条件の中で最も優先度が高い。 ・活動地域が近い実践技術者。	アカウントが防災対策チェックリストの研究すべきにチェック済の課題に対して、防災対策チェックリストで実践したでチェックしている実践技術者。	アカウントが防災対策チェックリストの研究すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）に対して、防災対策チェックリストで実践したでチェックしている実践技術者。	アカウントが開発者として登録した手法に直接紐付く実践事例を登録している実践技術者。	アカウントが登録した手法、調査、データベースに直接紐付く課題に対し、実践事例を登録している実践技術者。	アカウントが登録した手法、調査、データベースに直接紐付く課題の兄弟（親：小項目が同じ）に対し、実践事例を登録している実践技術者。	アカウントの活動範囲と実践地域が近い実践技術者。	最終更新日時が新しい順

【BR35】検索結果をユーザに適した順で並び替える方法

※ここでのおすすめのロジックを利用して、【BR21】ではマイページにおすすめが表示される。

検索ユーザ	検索コンテンツ	判定法	第1ソート	第2ソート	第3ソート	第4ソート	第5ソート	第6ソート	第7ソート
実践技術者	課題	防災FAQでチェックした項目（小項目 or 課題）に紐づく課題と、登録した実践事例の親として紐づく課題。 チェックは、「実践したことがある」の方が優先度が高い。 【優先度】 チェックした小項目に紐づく課題＜チェックした課題＜登録した実践事例の親となる課題	アカウントが防災対策チェックリストの実践すべきにチェック済の課題	アカウントが実践者として登録した実践事例の課題	アカウントが防災対策チェックリストの実践すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目）	アカウントが実践者として登録した実践事例の課題の兄弟（親：小項目が同じ）	最終更新日時が新しい順		
	手法	・防災FAQでチェックした項目（小項目 or 課題）に紐づく課題配下の手法と、登録した実践事例の親として紐づく手法。 チェックは、「実践したことがある」の方が優先度が高い。 【優先度】 チェックした小項目に紐づく課題配下の手法＜チェックした課題配下の手法＜登録した実践事例の親となる手法 ・手法の開発地域がユーザの活動地域に近いもの。	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題に紐づく手法	アカウントが実践者として登録した実践事例の手法	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）に紐づく手法	アカウントが実践者として登録した実践事例の手法の兄弟（親：課題が同じ）	アカウントが実践者として登録した実践事例の手法の従兄弟（祖父：小項目が同じ）	最終更新日時が新しい順	
	実践事例	・防災FAQでチェックした項目（小項目 or 課題）に紐づく課題配下の手法に紐づく実践事例と、登録した実践事例の親として紐づく手法配下の実践事例。 チェックは、「実践したことがある」の方が優先度が高い。 【優先度】 チェックした小項目に紐づく課題配下の手法に紐づく実践事例＜チェックした課題配下の手法に紐づく実践事例＜登録した実践事例の親となる手法配下の実践事例	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題に紐づく実践事例	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）に紐づく実践事例	アカウントが実践者として登録した実践事例の兄弟（親：手法が同じ）	アカウントが実践者として登録した実践事例の従兄弟、叔父、甥（祖父or父：課題が同じ）	アカウントが実践者として登録した実践事例と小項目が同じ実践事例	最終更新日時が新しい順	
	調査	・防災FAQでチェックした項目（小項目 or 課題）に紐づく課題配下の調査と、登録した実践事例の先祖として紐づく課題配下の調査。 チェックは、「実践したことがある」の方が優先度が高い。 【優先度】 チェックした小項目に紐づく課題配下の調査＜チェックした課題配下の調査＜登録した実践事例の先祖として紐づく課題配下の調査 ・ユーザの活動地域を調査地域に含んでいる調査	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題に紐づく調査	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）に紐づく調査	アカウントが実践者として登録した実践事例と課題が同じ調査	アカウントが実践者として登録した実践事例と小項目が同じ調査	アカウントの活動地域と、調査の調査地域に重なりがある	最終更新日時が新しい順	
	データベース	・防災FAQでチェックした項目（小項目 or 課題）に紐づく課題配下のデータベースと、登録した実践事例の先祖として紐づく課題配下のデータベース。 チェックは、「実践したことがある」の方が優先度が高い。 【優先度】 チェックした小項目に紐づく課題配下のデータベース＜チェックした課題配下の調査＜登録した実践事例の先祖として紐づく課題配下のデータベース ・ユーザの活動地域を対象地域に含んでいるデータベース	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題に紐づくデータベース	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）に紐づくデータベース	アカウントが実践者として登録した実践事例と課題が同じデータベース	アカウントが実践者として登録した実践事例と小項目が同じデータベース	アカウントの活動地域と、データベースの活用地域が近い	最終更新日時が新しい順	
	防災知恵袋	・防災FAQでチェックした(実践事例を登録することで付くチェックも含む）小項目に紐づいているもの。 ・対象地域が登録されている場合には、アカウントの活動地域に近いもの。	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題の所属する小項目に紐づく質問	アカウントが実践者として登録した実践事例と小項目が同じ防災知恵袋	アカウントの活動地域と、知恵袋の対象地域が近いもの。 対象地域が登録されていないものは、設定されているものより優先度低とする。	最終更新日時が新しい順			
	募集	手法と同じソート順を用いる	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題に紐づく募集	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）に紐づく募集	アカウントが実践者として登録した実践事例と課題が同じ募集	アカウントが実践者として登録した実践事例と小項目が同じ募集	アカウントの活動地域と、募集の対象地域が近い	最終更新日時が新しい順	
	自治体の防災担当者	・実践技術者が防災FAQでチェックした小項目に対して、「やらなければいけない」とチェックをした防災担当者。その中でも、課題のチェックが合致したものは優先度がより高い。実践技術者に関しては、実践事例を登録している方が防災FAQのチェックよりも優先度が高い。 ・活動地域が近い防災担当者。	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている自治体の防災担当者。	アカウントが登録した実践事例の課題を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックした自治体の防災担当者	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている自治体の防災担当者。	アカウントが登録した実践事例の課題の兄弟を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックした自治体の防災担当者	アカウントの活動地域と活動地域が近い自治体の防災担当者	最終更新日時が新しい順	
	地域の防災リーダー	・実践技術者が防災FAQでチェックした小項目に対して、「やらなければいけない」とチェックをした防災担当者。その中でも、課題のチェックが合致したものは優先度がより高い。実践技術者に関しては、実践事例を登録している方が防災FAQのチェックよりも優先度が高い。 ・活動地域が近い防災担当者。	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている地域の防災リーダー。	アカウントが登録した実践事例の課題を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックした地域の防災リーダー。	アカウントが防災対策チェックリストの実践したにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックしている地域の防災リー	アカウントが登録した実践事例の課題の兄弟を、防災対策チェックリストで実施すべきにチェックした地域の防災リーダー。	アカウントの活動地域と活動地域が近い地域の防災リーダー。	最終更新日時が新しい順	
	研究者	・防災FAQでチェックした項目（小項目 or 課題）に紐づく課題配下の手法、調査、データベースと、登録した実践事例の先祖として紐づく課題配下の手法、調査、データベースを登録した研究者。 チェックは、「実践したことがある」の方が優先度が高い。 【優先度】 チェックした小項目に紐づく課題配下の手法、調査、データベースを登録した研究者＜チェックした課題配下の手法、調査、データベースを登録した研究者＜登録した実践事例の先祖として紐づく課題配下の手法、調査、データベースを登録した研究者 ・活動地域が近い研究者。	アカウントが防災対策チェックリストの実践すべきにチェック済の課題を、防災対策チェックリストで研究したでチェックしている研究者。	アカウントが防災対策チェックリストの実践すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）を、防災対策チェックリストで研究したでチェックしている研究者。	アカウントが登録した実践事例の課題の手法、調査、データベースを登録した研究者	アカウントが登録した実践事例の課題の兄弟の手法、調査、データベースを登録した研究者	アカウントの活動地域と活動地域が近い研究者	最終更新日時が新しい順	
	実践技術者	・防災FAQでチェックした項目（小項目 or 課題）が被っている実践技術者。 ・防災FAQでチェックした項目（小項目 or 課題）の子孫となる実践事例、また登録した実践事例の親となる手法に紐づく実践事例を登録した実践技術者。 チェックは、「実践したことがある」の方が優先度が高い。 【優先度】 チェックした小項目が被っている実践技術者＜チェックした課題が被っている実践技術者＜チェックした小項目の子孫となる実践事例を登録した実践技術者＜チェックした課題の子孫となる実践事例を登録した実践技術者＜登録した実践事例の親となる手法に紐づく実践事例を登録した実践技術者 ・活動地域が近い実践技術者。	アカウントが防災対策チェックリストの実践すべきにチェック済の課題に対して、防災対策チェックリストで実践したでチェックしている実践技術者。	アカウントが防災対策チェックリストの実践すべきにチェック済の課題の兄弟（親：小項目が同じ）に対して、防災対策チェックリストで実践したでチェックしている実践技術者。	アカウントが登録した実践事例の手法の実践事例を登録した実践技術者	アカウントが登録した実践事例の課題の実践事例を登録した実践技術者	アカウントが登録した実践事例の小項目の実践事例を登録した実践技術者	アカウントの活動地域と実践地域が近い実践技術者	最終更新日時が新しい順	

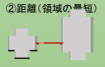
【BR35】「近い」の判定
このシートの役割：BR35にて、判定基準に「近い」を含むセルを抜き出し、その概念的な定義を当てはめる。

検索ユーザ		検索コンテンツ	判定法	「近い」の概念	備考	id
地域の防災リーダー	活動地域の範囲は狭いイメージ	課題	-			O1
		手法	-			O2
		実践事例	・実践事例の実践地域と、ユーザの活動地域が近いもの。	①	①は町内会（活動地域）vs 県（実践地域）の場合は遠くなる。町内会（活動地域）vs 町内会（実践地域）であればより身近なものといえる？	O3
		防災知恵袋	・対象地域が登録されている場合には、アカウントの活動地域に近いもの。	①		O4
		募集	・対象地域が、ユーザの活動地域に近いもの。	②.③.④		O5
			・対象地域が、ユーザの活動地域に近いもの。	②.③.④		O6
			-			O7
		自治体の防災担当者	ユーザの活動地域を、自分の活動地域に含んでいる自治体の防災担当者。	③.④		O8
		地域の防災リーダー	・活動地域が近い地域の防災リーダー。	①		O9
		研究者	・県が同じなどで活動地域が近い研究者	②.③.④		O10
		実践技術者	・県が同じなどで活動地域が近い実践技術者。	②.③.④		O11
		調査	・調査地域が、活動地域と近いもの	②.③.④		O12
		データベース	・対象地域が、ユーザの活動地域と近いもの。	②.③.④		O13
		J-GLOBAL	-	-		O14
		災害事例DB	地域が近い災害事例。	-	APIによる	O15
自治体の防災担当者	活動地域の範囲は県、市などのイメージ	課題	-			O16
		手法	-			O17
		実践事例	・実践事例の実践地域と、ユーザの活動地域が近いものは優先度がより高い	②.③.④		O18
		防災知恵袋	・対象地域が登録されている場合には、アカウントの活動地域に近いもの。	③>②.④	③.自分の自治体の中の質問	O19
		募集	・対象地域が、ユーザの活動地域に近いもの。	③>②.④		O20
			・対象地域が、ユーザの活動地域に近いもの。	③>②.④		O21
			-			O22
		自治体の防災担当者	・自治体同士の規模が近く、位置も近くの自治体の防災担当者。	②.③.④	規模は別定義	O23
		地域の防災リーダー	・ユーザの自治体から近くで活動している地域の防災リーダー。その中でも、ユーザの自治体内で活動している地域の防災リーダーは優先度がより高い。	③>②.④	自分の自治体内を優先、その後距離	O24
		研究者	・県が同じなどで活動地域が近い研究者	③>②.④		O25
		実践技術者	・県が同じなどで活動地域が近い実践技術者	③>②.④		O26
		調査	・調査地域が、活動地域と近いもの	②.③.④		O27
		データベース	・対象地域が、ユーザの活動地域と近いもの。	②.③.④		O28
		J-GLOBAL	-			O29
		災害事例DB	地域が近い災害事例。	-	APIによる	O30
研究者	活動地域の範囲は広い 複数個所に広がっているイメージ	課題	-			O31
		手法	・手法の開発地域が自分の活動地域に近いもの。	②.③.④		O32
		実践事例	-			O33
		防災知恵袋	-			O34
			-			O35
		募集	-			O36
			-			O37
		自治体の防災担当者	・活動地域が近い防災担当者。	③.④		O38
		地域の防災リーダー	・活動地域が近い防災担当者。	③.④		O39
		研究者	・活動地域が近い研究者。	③.④	活動地域が近い研究者=フィールドが近い研究者　と言える。一般に、研究者のフィールドは行政区分に区切られている。なので、自治体が違うものは「近い」とは言えない。	O40
		実践技術者	・活動地域が近い実践技術者。	③.④		O41
		調査	・調査地域が自分の活動地域に近いもの	②.③.④		O42
		データベース	・地域が自分の活動地域に近いもの	②.③.④		O43
		J-GLOBAL	-			O44
		災害事例DB	地域が近い災害事例。	-	APIによる	O45
実践技術者	活動地域の範囲は広い 複数個所に広がっているイメージ	課題	-			O46
		手法	・手法の開発地域がユーザの活動地域に近いもの。	②.③.④		O47
		実践事例	-			O48
		防災知恵袋	・対象地域が登録されている場合には、アカウントの活動地域に近いもの。	②.③.④		O49
		募集	・対象地域が、ユーザの活動地域に近いもの。	②.③.④		O50
			-			O51
			-			O52
		自治体の防災担当者	・活動地域が近い防災担当者。	②.③.④		O53
		地域の防災リーダー	・活動地域が近い防災担当者。	②.③.④		O54
		研究者	・活動地域が近い研究者。	②.③.④		O55
		実践技術者	・活動地域が近い実践技術者。	②.③.④		O56
		調査	・ユーザの活動地域を対象地域に含んでいる調査	②.③.④	距離がマイナス	O57
		データベース	・ユーザの活動地域を対象地域に含んでいるデータベース	②.③.④	距離がマイナス	O58
		J-GLOBAL	-			O59
		災害事例DB	地域が近い災害事例。	-	APIによる	O60

「近い」の概念 種類

①距離（図形の重心）

②距離（領域の最短）



③同一自治体内（都道府県が同じ）
④同一地方ブロック内
⑤隣接(②においての距離=0)

【BR37,38】検索結果に一覧表示する内容，検索対象毎の絞り込み情報
→検討の結果、コンテンツ種別に関係なく絞込み項目は全て統一とすることに決定
ただし、コンテンツ固有の絞り込み項目（防災知恵袋の「解決済み/未解決」等）は残す

コンテンツ	検索結果表示項目	検索結果表示項目（関連情報）	絞り込み項目	備考
すべて	各コンテンツに従う	各コンテンツに従う	課題 手法 実践事例 調査 データベース 防災知恵袋 募集 自治体の防災担当者 地域の防災リーダー 研究者 実践技術者	
課題	画像 コンテンツ分類（課題） タイトル 要旨	紐づく手法の件数 紐づく実践事例の件数	大項目/小項目 課題主体 対象ハザード リスク対象 対象自然環境 対象社会環境 災害対応局面	
手法	画像 コンテンツ分類（手法） タイトル 研究者（開発者） 要旨	紐づく課題の件数 紐づく実践事例の件数 精通した実践技術者の人数 コメント数	大項目/小項目/課題 企画する主体 対象ハザード リスク対象 対象自然環境 対象社会環境 災害対応局面 あなたが登録 実践できる	
実践事例	画像 コンテンツ分類（実践事例） タイトル 実践者 要旨 手法（所属手法タイトル）	紐づく課題の件数 紐づく手法の件数	大項目/小項目/課題 企画する主体 対象ハザード リスク対象 対象自然環境 対象社会環境 災害対応局面 あなたが登録	
調査	画像 コンテンツ分類（調査） タイトル 研究者（開発者） 要旨	紐づく課題の件数 コメント数	大項目/小項目/課題 調査主体 対象ハザード リスク対象 対象自然環境 対象社会環境 災害対応局面 あなたが登録 実践できる	
データベース	画像 コンテンツ分類（データベース） タイトル 研究者（開発者） 要旨	紐づく課題の件数 コメント数	大項目/小項目/課題 活用主体 対象ハザード リスク対象 対象自然環境 対象社会環境 災害対応局面 あなたが登録 実践できる	
防災知恵袋	コンテンツ分類（知恵袋） 質問本文の一部	回答の有無 質問の状態	大項目/小項目/課題 質問主体 対象ハザード リスク対象 対象自然環境 対象社会環境 災害対応局面 あなたが登録 回答受付中/終了 解決済み/未解決	

募集	コンテンツ分類（募集） タイトル	応募の有無 募集の状態	大項目/小項目/課題 募集主体 対象ハザード リスク対象 対象自然環境 対象社会環境 災害対応局面 あなたが登録 募集対象カテゴリ 募集中/終了	
自治体の防災担当者	画像 コンテンツ分類（自治体の防災担当者） 自治体・組織名 代表者住所	登録した実践事例の件数	（住所の）都道府県 （自治体の）対象ハザード （自治体の）リスク対象 （自治体の）対象自然環境 （自治体の）対象社会環境 災害対応局面	
地域の防災リーダー	画像 コンテンツ分類（地域の防災リーダー） 自治体・組織名 代表者住所	登録した実践事例の件数	（住所の）都道府県 （地域の）対象ハザード （地域の）リスク対象 （地域の）対象自然環境 （地域の）対象社会環境 災害対応局面	
研究者	画像 コンテンツ分類（研究者） アカウント名 アドバイザー（アドバイザーであれば） 専門分野 対象ハザード	登録した手法の件数 論文の件数	（住所の）都道府県 対象ハザード リスク対象 対象自然環境 対象社会環境 災害対応局面 研究者種別	
実践技術者	画像 コンテンツ分類（実践技術者） アカウント名	登録した実践事例の件数	（住所の）都道府県 （実践地域の）対象ハザード （実践地域の）リスク対象 （実践地域の）対象自然環境 （実践地域の）対象社会環境 災害対応局面	

【BR72】ブックマークされたコンテンツの取り扱い

ブックマーク可能コンテンツ	コンテンツに起こり得る変更	UC	通知の有無	通知ID【BR20】
課題	課題の内容が編集される	34		81
	課題が削除される	37		82
	閲覧数が増える	166	none	
	手法が紐づく	32		83
	調査が紐づく	151		84
	データベースが紐づく	168		85
	実践事例が紐づく	33		86
	募集が紐づく	68		87
	引用して質問される	143		88
手法	手法の内容が編集される	35…48		89
	閲覧数が増える	54	none	
	この手法を使っている他の手法が登録される	32..46		90
	コメントが投稿される	56		91
	募集が紐づく	68		92
	引用して質問される	143		93
実践事例	実践事例の内容が編集される	36		94
	閲覧数が増える	55	none	
	コメントが投稿される	57		95
	募集が紐づく	68		96
	引用して質問される	143		97
調査	調査の内容が編集される	152…164		98
	閲覧数が増える	166	none	
	コメントが投稿される	161		99
	募集が紐づく	68		100
	引用して質問される	143		101
データベース	データベースの内容が編集される	169…181		102
	閲覧数が増える	167	none	
	コメントが投稿される	178		103
	募集が紐づく	68		104
	引用して質問される	143		105
募集	募集の内容が編集される	72…145		106
	閲覧数が増える	144	none	
	募集が終了する	71, 147, 131?		107
	応募が投稿される	73		108
	追記が投稿される	149…146		109
質問	質問の内容が編集される	9…12		110
	回答が投稿される	5		111
	追記が投稿される	10…132		112
	未解決で終了する	15		113
	解決で終了する	8		114
	課題化される	17		115
	アカウント情報が変更される	79	none	
	制御される/解除される	84, 85	none	

防災担当者	質問を投稿する	4		116
	質問に変更を加える	9…12	none	
	質問に回答する	5		117
	質問の回答にコメントする	7		118
	ブックマークする	18	none	
	ブックマークを削除する	23	none	
	ブックマークのカテゴリを作成する	21	none	
	ブックマークのカテゴリに変更を加える	20,22,23	none	
	実践事例を登録する	33		119
	実践事例に変更を加える	36	none	
	手法・調査・データベース・実践事例にコメントする	56, 161, 178, 57		120.121.122.123
	募集する	68…145		124
	募集に変更を加える	72…145	none	
	募集に応募する	73		125
	募集への応募にコメントする	70		126
	メッセージを送受信する	62, 60	none	
	防災FAQをチェックする	75	none	
	検索する	49	none	
研究者	アカウント情報が変更される		none	
	制御される/解除される		none	
	質問を投稿する	4		127
	質問に変更を加える		none	
	質問に回答する	5		128
	質問の回答にコメントする	7		129
	ブックマークする		none	
	ブックマークを削除する		none	
	ブックマークのカテゴリを作成する		none	
	ブックマークのカテゴリに変更を加える		none	
	履歴が追加される		none	
	手法を登録する	32…46		130
	手法に変更を加える		none	
	調査を登録する	151…165		131
	調査に変更を加える		none	
	データベースを登録する	168…182		132
	データベースに変更を加える		none	
	手法・調査・データベース・実践事例にコメントする	56, 161, 178, 57		133,134,135,136
	募集する	145		137
	募集に変更を加える	68…145	none	
	募集に応募する	72…145		138
	募集への応募にコメントする	73		139
	メッセージを送受信する	70	none	
	検索する		none	
	アカウント情報が変更される	79	none	
	制御される/解除される	84, 85	none	
	質問を投稿する	4		127
	質問に変更を加える	9…12	none	
	質問に回答する	5		128

実践技術者	質問の回答にコメントする	7		129
	ブックマークする	18	none	
	ブックマークを削除する	23	none	
	ブックマークのカテゴリを作成する	21	none	
	ブックマークのカテゴリに変更を加える	20,22,23	none	
	実践事例を登録する	33		130
	実践事例に変更を加える	36	none	
	手法・調査・データベース・実践事例にコメントする	56, 161, 178, 57		131,132,133,134
	募集する	68…145		135
	募集に変更を加える	72…145	none	
	募集に応募する	73		136
	募集への応募にコメントする	70		137
	メッセージを送受信する		none	
	検索する		none	

【BR108】地域の情報表示

#	大分類(タブ)	中分類	小分類	細分類	画面表示 自治体 活動地域	画面表示 自治体 他地域	画面表示 地域 活動地域	画面表示 地域 他地域	データ更新 自治体	データ更新 地域	説明 自治体	説明 地域	コンテンツを探す	取得方法概要 活動地域 テーブル概要	取得方法概要 活動地域 取得ロジック	取得方法概要 他地域 テーブル概要	取得方法概要 他地域 取得ロジック	備考
1	概要	社会特性 【クリックによる動作】 ■リーダー 大分類「社会特性」を表示する ■自治体 大分類「社会特性」「自然特性」を表示する	自治体間での相対表示	人口	○	○							○	[地域防災Web].[アカウントの地域情報] ②[地域防災Web].[市区町村]	①[地域防災Web].[アカウントの地域情報] ②市区町村毎のデータにおける①の階級を計算して、ヒストグラム形式で表示する。	[地域防災Web].[市区町村]	①選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、基点となる市区町村の情報を取得する。 ②市区町村毎のデータにおける①の階級を計算して、ヒストグラム形式で表示する。	
2				高齢化率	○	○								〃	〃	〃	〃	
3				財政力指数	(○)	(○)								〃	〃	〃	〃	
4			実態	人口			○	○						①[地域防災Web].[アカウントの地域情報]	①ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽	
5				世帯数			○	○						〃	〃	〃	〃	
8				人口密度			○	○					○	①[地域防災Web].[アカウントの地域情報] ②[地域防災Web].[市区町村]	①ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。 ②アカウントの住所の市区町村のデータ（自治体の平均）を取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。 ②[地域防災Web].[市区町村]	①選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽出する。 ②アカウントの住所の市区町村のデータ（自	自治体の平均と比べて、相対表示した結果について、色づけを行う。
9				世帯人員			○	○						〃	〃	〃	〃	〃
				5歳未満人口			○	○						〃	〃	〃	〃	〃
				5歳未満人口(比率)			○	○						〃	〃	〃	〃	〃
10				65歳以上人口			○	○						〃	〃	〃	〃	〃
11				65歳以上人口(高齢化率)			○	○						〃	〃	〃	〃	〃
14			社会特性	市街地			○	○						[地域防災Web].[アカウントの社会特性]	①ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽	
15				住宅地			○	○						〃	〃	〃	〃	
16				工業地域			○	○						〃	〃	〃	〃	
17				農村地域			○	○						〃	〃	〃	〃	
18				漁村地域			○	○						〃	〃	〃	〃	
19		自然特性 【クリックによる動作】 ■リーダー 大分類「自然特性」「災害の危険性」を表示する ■自治体 大分類「社会特性」「自然特性」を表示する	自然特性	多雪地域	○	○	○	○			○		○	[地域防災Web].[アカウントの自然特性]	〃	【自治体の場合】 [地域防災Web].[市区町村] 【地域の防災リーダーの場合】 外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	【自治体の場合】 選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、基点となる市区町村の情報を取得する。 【地域の防災リーダーの場合】 選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽	
20				埋め立て・干拓地	○	○	○	○						〃	〃	〃	〃	
21				沿岸地域	○	○	○	○						〃	〃	〃	〃	
22				山地	○	○	○	○						〃	〃	〃	〃	
23				丘陵地・台地	○	○	○	○						〃	〃	〃	〃	
24				平野部	○	○	○	○						〃	〃	〃	〃	
25				火山地域	○	○	○	○						〃	〃	〃	〃	
26				河川・湖沼・ため池	○	○	○	○						〃	〃	〃	〃	
27				海域	○	○	○	○						〃	〃	〃	〃	
28		災害の危険性 【クリックによる動作】 ■リーダー 大分類「自然特性」「災害の危険性」を表示する ■自治体 大分類「災害の危険性」を表示する	相対値	地震	○	○							○	①[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性] ②[地域防災Web].[市区町村]	①ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。 ②市区町村毎のデータにおける①の階級を計算して、ヒストグラム形式で表示する。	①[地域防災Web].[災害の危険性マスタ] ②外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。 ②市区町村毎のデータにおける①の階級を計算して、ヒストグラム形式で表示する。	現在の検討モデルではただの画像を貼り付けている。 現在のライブラリ(qplot)では小さい表示が行えない為他のライブラリ(d3js)などへの移行が必要。
29				液状化	○	○								〃	〃	〃	〃	
30				津波	○	○								〃	〃	〃	〃	
31				火山	○	○								〃	〃	〃	〃	
32				洪水	○	○								〃	〃	〃	〃	
33				内水	○	○								〃	〃	〃	〃	
34				高潮	○	○								〃	〃	〃	〃	
35				土砂	○	○								〃	〃	〃	〃	
36				豪雪	○	○								〃	〃	〃	〃	
37				その他	○	○								〃	〃	〃	〃	
38			絶対値	地震			○	○					○	①[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	①ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
39				液状化			○	○						〃	〃	〃	〃	
40				津波			○	○						〃	〃	〃	〃	
41				火山			○	○						〃	〃	〃	〃	
42				洪水			○	○						〃	〃	〃	〃	
43				内水			○	○						〃	〃	〃	〃	
44				高潮			○	○						〃	〃	〃	〃	
45				土砂			○	○						〃	〃	〃	〃	
46				豪雪			○	○						〃	〃	〃	〃	
47				その他			○	○						〃	〃	〃	〃	
48			災害の記録有無	地震	○	○								①[地域防災Web].[アカウントの災害の記録]	〃	①[地域防災Web].[アカウント] ②[地域防災Web].[アカウントの災害の記録]		災害の記録が自治体単位で整備されないため、他とは少し取得ポリシーが異なる。
49				液状化	○	○								〃	〃			
50				津波	○	○								〃	〃			
51				火山	○	○								〃	〃			
52				洪水	○	○								〃	〃			
53				内水	○	○								〃	〃			
54				高潮	○	○								〃	〃			
55				土砂	○	○								〃	〃			
56				豪雪	○	○								〃	〃			
57				その他	○	○								〃	〃			
58		類似の市区町村 【クリックによる動作】 ■自治体 大分類「類似の市区町村」を表示する 「市区町村の区分が同じ」のみを選択状態とする	上位6市区町村	市区町村名	○	○							○	①[地域防災Web].[アカウントの地域情報] ②[地域防災Web].[市区町村]	①ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。 ②「人口」、「高齢化率」、「財政力指数」の偏差値と、自然特性の一致率（一致数/類似元の自治体の自然特性数））を求め、4次元の標準ユークリッド距離での近い/遠いでの類似を算出	①[地域防災Web].[市区町村]	①選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、基点となる市区町村の情報を取得する。 ②「人口」、「高齢化率」、「財政力指数」の偏差値と、自然特性の一致率（一致数/類似元の自治体の自然特性数））を求め、4次元の標準ユークリッド距離での近い/遠いでの類似を	
59				日本における位置	○	○								–	市区町村名 を使用し、Google の API を用いて取得（表示）	–	市区町村名 を使用し、Google の API を用いて取得（表示）	
63		周辺地域の実践事例 【クリックによる動作】 ■リーダー 大分類「周辺地域の実践事例」を表示する	実践事例	タイトル			○	○						[地域防災Web].[実践事例]	・ログインしているアカウントの活動範囲と、実践事例の実践地域の距離（各範囲の重心間の距離）			
64				画像			○	○						〃				
65				要約			○	○						〃				
66	自然・社会特性	自治体間での相対表示	人口		○	○					○			①[地域防災Web].[アカウントの地域情報] ②[地域防災Web].[市区町村]	①ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。 ②市区町村毎のデータにおける①の階級を計算して、ヒストグラム形式で表示する。	①[地域防災Web].[市区町村]	①選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、基点となる市区町村の情報を取得する。 ②市区町村毎のデータにおける①の階級を計算して、ヒストグラム形式で表示する。	
67			高齢化率		○	○					○			〃	〃	〃	〃	
68			財政力指数		(○)	(○)					(○)			〃	〃	〃	〃	
69		人口・世帯・面積	人口		○	○			○					[地域防災Web].[アカウントの地域情報]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①[地域防災Web].[市区町村]	①選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、市区町村の該当データを取得する。	
70			高齢化率		○	○			○(65歳以上人口)		○			〃	〃	〃	〃	
71			区分		○	○								〃	〃	〃	〃	
72			人口密度		○	○								〃	〃	〃	〃	
73			世帯数		○	○			○					〃	〃	〃	〃	
74			面積		○	○			○					〃	〃	〃	〃	
			人口ピラミッド		○	○									RESAS APIから取得		RESAS APIから取得	
			人口増減		○	○									〃		〃	
75		実態	人口	地区の人口 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には統計GIS情報のレイヤを表示すること。			○	○		○				〃	〃	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽出する。	
76				人口密度			○	○						〃	〃	〃	〃	自治体の平均と比べて、相対表示した結果について、色づけを行う。
77				所属自治体平均			○	○						①[地域防災Web].[市区町村]	①ログインしているアカウントの住所をキーにして、取得する。	①[地域防災Web].[市区町村]	①選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、市区町村の該当データを取得する。	
78			世帯数	地区世帯数 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には統計GIS情報のレイヤを表示すること。			○	○		○				[地域防災Web].[アカウントの地域情報]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽出する。	
79				世帯人数			○	○						〃	〃	〃	〃	自治体の平均と比べて、相対表示した結果について、色づけを行う。
80				所属自治体平均			○	○						①[地域防災Web].[市区町村]	①ログインしているアカウントの住所をキーにして、取得する。	①[地域防災Web].[市区町村]	①選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、市区町村の該当データを取得する。	
81			5歳未満人口	地区の5歳未満人口 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には統計GIS情報のレイヤを表示すること。			○	○		○				[地域防災Web].[アカウントの地域情報]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽出する。	
82				5歳未満の人口比			○	○						〃	〃	〃	〃	自治体の平均と比べて、相対表示した結果について、色づけを行う。
83				所属自治体平均			○	○						①[地域防災Web].[市区町村]	①ログインしているアカウントの住所をキーにして、取得する。	①[地域防災Web].[市区町村]	①選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、市区町村の該当データを取得する。	
84			65歳以上人口	地区の65歳以上人口 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には統計GIS情報のレイヤを表示すること。			○	○		○				[地域防災Web].[アカウントの地域情報]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽出する。	
85				65歳以上の人口比			○	○						〃	〃	〃	〃	自治体の平均と比べて、相対表示した結果について、色づけを行う。
86				所属自治体平均			○	○						①[地域防災Web].[市区町村]	①ログインしているアカウントの住所をキーにして、取得する。		取得不可（範囲で取得できる活動範囲なし）	
91		社会特性	市街地		○	○	○	○	○					[地域防災Web].[アカウントの地域情報]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽	
92			住宅地		○	○	○	○	○					〃	〃	〃	〃	
93			工業地域		○	○	○	○	○					〃	〃	〃	〃	
94			農村地域		○	○	○	○	○					〃	〃	〃	〃	
95			漁村地域		○	○	○	○	○					〃	〃	〃	〃	
			社会特性参考値	事業所数	○	○									RESAS APIから取得		RESAS APIから取得	
				企業数(製造業)	○	○									〃		〃	
				経営耕地面積	○	○									〃		〃	
				海面漁獲物等販売金額	○	○									〃		〃	
104		自然特性	多雪地域		○	○	○	○	○		○			[地域防災Web].[アカウントの地域情報]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	【自治体の場合】 [地域防災Web].[市区町村] 【地域の防災リーダーの場合】 外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	【自治体の場合】 選択した市区町村、範囲の場合はWPSから返却される市区町村をキーにして、基点となる市区町村の情報を取得する。 【地域の防災リーダーの場合】 選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽	
105			埋め立て・干拓地		○	○	○	○	○		○			〃	〃	〃	〃	
106			沿岸地域		○	○	○	○	○		○			〃	〃	〃	〃	
107			山地		○	○	○	○	○		○			〃	〃	〃	〃	
108			丘陵地・台地		○	○	○	○	○		○			〃	〃	〃	〃	
109			平野部		○	○	○	○	○		○			〃	〃	〃	〃	
110			火山地域		○	○	○	○	○		○			〃	〃	〃	〃	
111			河川・湖沼・ため池		○	○	○	○	○		○			〃	〃	〃	〃	
112			海域		○	○	○	○	○		○			〃	〃	〃	〃	
113		災害の危険性	地震	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	地震をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	地震をキーにして、該当データを取得する。	
114				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
115				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
116			液状化	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	液状化をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	液状化をキーにして、該当データを取得する。	
117				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
118				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
119			津波	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	津波をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	津波をキーにして、該当データを取得する。	
120				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
121				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
122			火山	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	火山をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	火山をキーにして、該当データを取得する。	
123				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
124				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
125			洪水	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	洪水をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	洪水をキーにして、該当データを取得する。	
126				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
127				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース 「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	

#	大分類(タブ)	中分類	小分類	細分類	画面表示				データ更新		説明		コンテンツを探す	取得方法概要				備考
					自治体		地域							活動地域		他地域		
					活動地域	他地域	活動地域	他地域	自治体	地域	自治体	地域		テーブル概要	取得ロジック	テーブル概要	取得ロジック	
128	災害の危険性	災害の危険性	内水	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	内水をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	内水をキーにして、該当データを取得する。	
129				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
130				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
131			高潮	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	高潮をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	高潮をキーにして、該当データを取得する。	
132				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
133				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
134			土砂	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	土砂をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	土砂をキーにして、該当データを取得する。	
135				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
136				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
137			豪雪	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	豪雪をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	豪雪をキーにして、該当データを取得する。	
138				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
139				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
140			その他	データ 【クリックによる動作】 大分類「災害に関する地図」を表示する 地図には、当該データのレイヤを表示すること	○		○				○	○		[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	その他をキーにして、該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	その他をキーにして、該当データを取得する。	
141				指標	○		○							〃	〃	〃	〃	
142				結果	○		○							[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	①外部データソース「地域データ整備」シートを参照のこと。	①災害の危険性マスタの該当するWPS取得先から、選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、該当データを取得する。	
143	災害に関する地図	地図	範囲		○		○							[地域防災Web].[アカウントの活動範囲]	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	–	選択した市区町村および地図上の範囲	
			災害の危険性		○		○							外部データソースから取得「地域データ整備」シートを参照のこと。	活動範囲をキーにして、取得する。	外部データソースから取得「地域データ整備」シートを参照のこと。		
148			全国	レイヤ名	○		○							[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	災害の危険性マスタの情報をキーにして取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	災害の危険性マスタの情報をキーにして取得する。	
149				レイヤ	○		○							〃	〃	〃	〃	
				凡例										〃	〃	〃	〃	
150				データ	○		○				○	○		①[地域防災Web].[アカウントの災害の危険性] ②[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	①アカウントの災害の危険性に、災害の危険性マスタの該当データを表示する。	外部データソースから取得「地域データ整備」シートを参照のこと。	選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽	
151	災害の記録	災害の区分			○		○		○					[地域防災Web].[アカウントの災害の記録] 災害事例DB	ログインIDをキーとして、アカウントの該当データを取得する。	[地域防災Web].[災害の危険性マスタ]	選択した市区町村および地図上の範囲をキーにして、外部データソースからデータを抽	
152		日時 【クリックによる動作】 日時で並び替えを行う			○		○		○					〃	〃			
153		災害名称			○		○		○					〃	〃			
154		概要			○		○		○					〃	〃			
155		災害の区分毎の数			○		○							〃	〃			
156	周辺地域の実践事例	実践事例	タイトル				○							①[地域防災Web].[アカウントの活動範囲] ②[地域防災Web].[実践事例]	以下の値を0～1の値に正規化して、2次元のユークリッド距離で求めることとする。 ・ログインしているアカウントの活動範囲と、実践事例の実践地域の距離（各範囲の重心間の距離） ・地域特性の一致率 （数字が大きいほうが近いとするため、1 － 自然特性の一致率等の対応を行う。			
157			画像				○							〃				
158			要約				○							〃				
159			市区町村				○							〃				実践事例の実践地域を表示
160	類似の市区町村	市区町村毎のデータ	市区町村名		○									①[地域防災Web].[アカウントの地域特性] ②[地域防災Web].[市区町村]	「人口」、「高齢化率」、「財政力指数」の偏差値と、自然特性の一致率（一致数/類似元の自治体の自然特性数）、社会特性の一致率（一致数/類似元の自治体の社会特性数）、災害の危険性の一致率を求め、6次元の標準ユークリッド距離での近い/遠いでの類似を算出 上記に加えて、以下の条件も適用可能 ・実践事例がある ・地域防災Webにアカウントがある ・市区町村の区分が同じ ・沿岸地域を含む			
161			人口		○									〃				
162			高齢化率		○									〃				
163			自然特性		○									〃				
164			地域防災Webにアカウントがあるかどうか		○									①[地域防災Web].[アカウントの地域特性] ②[地域防災Web].[市区町村] ③[地域防災Web].[アカウント]	活動地域に登録されているかどうか 複数アカウントが登録されている場合は、アカウント登録日時が最も早いもの（DB 上 ID が若いもの）			
165			市区町村が紐づく実践事例		○									①[地域防災Web].[アカウントの地域特性] ②[地域防災Web].[市区町村] ③[地域防災Web].[実践事例]	実践事例の実践地域が該当の市区町村			

■地域データ整備

利用データ			データソース						地域防災Web（内部）				
			リクエスト					レスポンス	マスタデータ			アカウント	
			WPSサーバ		相互運用gサーバ		災害リスク情報クリアリングハウス					自治体	地域の防災リーダー
			Identifier等	範囲指定方法	地図	レイヤ	範囲指定方法		データを保持しているか？	コピー方法	更新可	データを保持しているか？	
自然特性	多雪地域	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	intersection_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:ksj_a22_1		Identifierの集計結果					
	埋立・干拓地	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	wcs_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:z_amp_2		Identifierの集計結果					
	沿岸地域	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	wcs_min	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:coast_dist_0		Identifierの集計結果					
	平野部・盆地	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	wcs_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:plains_and_basins_0		Identifierの集計結果					
	山地	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	wcs_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:z_amp_2		Identifierの集計結果					
	丘陵地・台地	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	wcs_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:z_amp_2		Identifierの集計結果					
	火山地域	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	wcs_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:z_amp_2		Identifierの集計結果 最も近い火山への距離					
	河川・湖沼・ため池	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	intersection_area wfs_count	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:ksj_w09_001_1 hazardmap:ksj_w05_001_1		Identifierの集計結果					
	海域	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	wfs_count	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:ksj_n03_002_1		Identifierの集計結果					
社会特性	人口	市区町村単位	（e-stat 住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数調査 2017年のデータを手動登録）						○（自治体単位）	手動import		○（初期値：地域防災Webのマスタ）	
		範囲指定	wfs_attr_total	WKT（マルチポリゴン）		（e-stat H27 国勢調査） hazardmap:estat_t000849_1_3 総数不詳含		Identifierの集計結果	–	–	–		○（初期値：WPSサーバ集計値）
	世帯数	市区町村単位	（e-stat 住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数調査 2017年のデータを手動登録）						○（自治体単位）	手動import		○（初期値：地域防災Webのマスタ）	
		範囲指定	wfs_attr_total	WKT（マルチポリゴン）		（e-stat H27 国勢調査） hazardmap:estat_t000850_1_1 一般世帯数		Identifierの集計結果	–	–	–		○（初期値：WPSサーバ集計値）
	5歳未満人口	市区町村単位	（e-stat 住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数調査 2017年のデータを手動登録）						○（自治体単位）	手動import			
		範囲指定	wfs_attr_total	WKT（マルチポリゴン）		（e-stat H27 国勢調査） hazardmap:estat_t000849_2_3 総数0_4		Identifierの集計結果	–	–	–		
	65歳以上人口	市区町村単位	（e-stat 住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数調査 2017年のデータを手動登録）						○（自治体単位）	手動import			
		範囲指定	wfs_attr_total	WKT（マルチポリゴン）		（e-stat H27 国勢調査） hazardmap:estat_t000849_19_3 総数65以上		Identifierの集計結果	–	–	–		
	高齢化率	市区町村単位	（e-stat 住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数調査 2017年のデータを手動登録）						○（自治体単位）	手動import			
		範囲指定	wfs_attr_total	WKT（マルチポリゴン）				Identifierの集計結果 （65歳以上人口÷人口）	–	–	–		
	財政力指数	市区町村単位	（総務省 地方公共団体の主要財政指数一覧 から手動登録）						○（自治体単位）	手動import			
	面積	日本領土	postgis_wkt	国名				WKT（マルチポリゴン）					
		都道府県界	postgis_wkt	都道府県名				WKT（マルチポリゴン）					
		市区町村界	postgis_wkt	行政コード				WKT（マルチポリゴン）					
		面積計算	area	WKT（マルチポリゴン）				Identifierの集計結果					
	市区町村の区分	地方公共団体の区分	（総務省 地方公共団体の区分を手動登録）										
	市街地	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	intersection_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:ksj_a09_001_1		Identifierの集計結果					
	住宅地	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	area	WKT（マルチポリゴン）		–		Identifierの集計結果					
	工業地域	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	intersection_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:ksj_105_001_1		Identifierの集計結果					
	農村地域	都道府県単位											
		市区町村単位											
		範囲指定	intersection_area	WKT（マルチポリゴン）		hazardmap:ksj_a12_002_1		Identifierの集計結果					
災害の危険性	地震	全国整備	wcs_average		j_shis2014_avr_12 確率論的地震動予測地図（2012年度版）	j_shis2014_avr 30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布		WPSで範囲集計 データはgサーバのWCS					
	液状化	全国整備	wcs_max		z_amp_001_0 全国液状化ハザードマップ	z_amp_001_0 液状化ハザードマップ		WPSで範囲集計 データはgサーバのWCS					
	津波	全国整備	wcs_area		z_amp_004	z_amp_004_0 微地形区分図		WPSで範囲集計 データはgサーバのWCS					
					fukkoushien_001_7	東日本大震災 津波浸水実績		WFS					
	火山	全国整備			japan_active_volcano_1	japan_active_volcano 火山の位置		WFS					
			wcs_area		z_amp_004	z_amp_004_0 微地形区分図		WPSで範囲集計 データはgサーバのWCS					
	洪水	全国整備	intersection_area_percent		ksj_a31_004_1 浸水想定区域図	ksj_a31_004 浸水が想定されているエリア		WPSで範囲集計 データはgサーバのWFS					
	内水	全国整備	wcs_max		z_amp_002_0 洪水による浸水のしやすさ	z_amp_002_0 洪水による浸水のしやすさ		WPSで範囲集計 データはgサーバのWCS					
	高潮	全国整備	wcs_area		z_amp_004	z_amp_004_0 微地形区分図		WPSで範囲集計 データはgサーバのWCS					
	土砂	全国整備	wfs_count		ksj_a26_2	ksj_a26 土砂災害危険個所		WPSで範囲集計 データはgサーバのWFS					
	豪雪	全国整備	wfs_attr_max		ksj_a22_1	ksj_a22 豪雪地帯の指定		WPSで範囲集計 データはgサーバのWFS					
	その他	全国整備											
		自治体整備											
災害の記録	地震	全国整備	（災害事例DB）										
	液状化	全国整備	（災害事例DB）										
	津波	全国整備	（災害事例DB）										
	火山	全国整備	（災害事例DB）										
	洪水	全国整備	（災害事例DB）										
	内水	全国整備	（災害事例DB）										
	高潮	全国整備	（災害事例DB）										
	土砂	全国整備	（災害事例DB）										
	豪雪	全国整備	（災害事例DB）										
	その他	全国整備	（災害事例DB）										

添付資料2-1 全コンテンツおよび項目一覧

	A. 課題	B. 調査	C. 手法（技術・システム）	D. 手法（防災活動）	E. 実践事例（技術・システム）	F. 実践事例（防災活動）	G. 募集	H. データベース	
1	ID	ID	ID	ID	ID	ID	ID	ID	概要
2	課題タイトル	調査タイトル	手法タイトル	手法タイトル	実践事例タイトル	実践事例タイトル	募集タイトル	データベースタイトル	
3	大項目	所属課題タイトル	所属課題タイトル	所属課題タイトル	所属課題タイトル	所属課題タイトル	所属課題タイトル	所属課題タイトル	
4	小項目						所属調査タイトル		
					所属手法タイトル	所属手法タイトル	所属手法タイトル	所属手法タイトル	
							所属実践事例タイトル		
							所属データベースタイトル		
		アピールポイント	アピールポイント	アピールポイント	アピールポイント	アピールポイント		アピールポイント	
		調査者	開発者（担当者）	開発者（担当者）	実践者（担当者）	実践者（担当者）	募集者	開発者	
5	要旨	要旨	要旨（何を開発したのか）	要旨（何を開発したのか）	要旨（何を行ったのか）	要旨（何を行ったのか）	要旨	要旨	
6	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	
			手法背景（なぜ開発したのか）	手法背景（なぜ開発したのか）	実践背景（なぜ行ったのか）	実践背景（なぜ行ったのか）			
			期待される効果	期待される効果	得られた効果	得られた効果			
					工夫した点	工夫した点			
					苦労した点	苦労した点			
		注意点	注意点	注意点	注意点	注意点	注意点	注意点	
7	課題内容	調査内容	手法内容	手法内容	実践内容	実践内容	募集内容	データベース内容	内容
		必須知識	必須知識	必須知識	必須知識	必須知識	必須知識	必須知識	準備
		有用知識	有用知識	有用知識	有用知識	有用知識	有用知識	有用知識	
		必須技術・ツール	必須技術・ツール	必須技術・ツール	必須技術・ツール	必須技術・ツール	必須技術・ツール	必須技術・ツール	
		有用技術・ツール	有用技術・ツール	有用技術・ツール	有用技術・ツール	有用技術・ツール	有用技術・ツール	有用技術・ツール	
		必須データ	必須データ	必須データ	必須データ	必須データ	必須データ	必須データ	
		有用データ	有用データ	有用データ	有用データ	有用データ	有用データ	有用データ	
		必須人材・人員	必須人材・人員	必須人材・人員	必須人材・人員	必須人材・人員	必須人材・人員	必須人材・人員	
		有用人材・人員	有用人材・人員	有用人材・人員	有用人材・人員	有用人材・人員	有用人材・人員	有用人材・人員	
			関連法案		関連法案				
			予算要求書の策定		予算要求書の策定				
		必要コスト	必要コスト	必要コスト	要求額	実践コスト	必要コスト	必要コスト	
		必要期間	必要期間	必要期間	実践期間	実践期間	必要期間		
			国や都道府県の方針	国や都道府県の方針	国や都道府県の方針	国や都道府県の方針			
					補助金情報				
			注意点		注意点				
			参考情報						
			仕様書の作成・調達手続き		仕様書の作成・調達手続き				
			調達内容		調達内容				
			注意点		注意点				
			導入確定及び導入準備		導入確定及び導入準備				
					契約額				
			導入のための標準的な手順と工程表		導入のための標準的な手順と工程表				
			注意点		注意点				
			導入及び定着		導入及び定着				
		参考情報	参考情報	参考情報	参考情報	参考情報	参考情報	参考情報	
			注意点		注意点				
							募集期限		
								利用方法	
								URL	
8	課題主体	調査主体	企画する主体	企画する主体	企画する主体	企画する主体	募集主体	活用主体	属性
							募集対象カテゴリ		
9	対象ハザード	対象ハザード	対象ハザード	対象ハザード	対象ハザード	対象ハザード	対象ハザード	対象ハザード	
10	リスク対象	リスク対象	リスク対象	リスク対象	リスク対象	リスク対象	リスク対象	リスク対象	
11	対象自然環境	対象自然環境	対象自然環境	対象自然環境	対象自然環境	対象自然環境	対象自然環境	対象自然環境	
12	対象社会環境	対象社会環境	対象社会環境	対象社会環境	対象社会環境	対象社会環境	対象社会環境	対象社会環境	
13	災害対応局面	災害対応局面	災害対応局面	災害対応局面	災害対応局面	災害対応局面	災害対応局面	災害対応局面	
		調査地域	開発地域	開発地域	開発地域	開発地域	対象地域	対象地域	
14	関連プロジェクト	関連プロジェクト	関連プロジェクト	関連プロジェクト	関連プロジェクト	関連プロジェクト	関連プロジェクト	関連プロジェクト	
15	関連文献	関連文献	関連文献	関連文献	関連文献	関連文献	関連文献	関連文献	
			関連手法ID	関連手法ID	関連実践事例ID	関連実践事例ID			
16	入力者	入力者	入力者	入力者	入力者	入力者	入力者	入力者	
17	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	メモ	

コンテンツ項目＜課題＞

	課題	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
概要									
1	ID（課題とわかるよう）	ＩＤ			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	課題タイトル	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	防災担当者が抱える問題（課題）を文章で短く表現
3	大項目	←			記述				課題が紐づく防災FAQの大項目
4	小項目	←			記述				課題が紐づく防災FAQの小項目
5	要旨	←	○	○2	記述	テキスト	複数行可	なし	課題タイトルの背景となる内容（課題内容）の要約
6	キーワード	←	○		記述	テキスト	単語３から５	なし	課題内容と関係するキーとなる語、検索や紐づけも意識する。
課題内容									
7	課題内容	←	○	○1	記述	テキスト	複数行可	なし	課題タイトルの背景となる内容
課題属性									
8	課題主体	←			選択	チェックボックス	□自治体 □地域住民	なし	課題を抱えている主体
9	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	□暴風　□竜巻　□豪雨 □豪雪　□洪水　□崖崩れ □土石流　□高潮　□地震 □津波　□噴火 □地すべり □その他異常な自然現象	なし	課題が対象とするハザード、ここでは災害につながる自然現象
10	リスク対象	←			選択	チェックボックス	□人間　□災害時要援護者 □資産・財産　□インフラ □公的構造物 □公共機関・施設 □福祉施設 □農業・漁業・畜産	なし	課題が対象とするハザードと関連するリスク
11	対象自然環境	←			選択	チェックボックス	□多雪地帯　□埋立て・干拓地 □沿岸地域　□山地 □丘陵地・台地　□平野部 □火山地域 □河川・湖沼・ため池 □海域	なし	防災担当者が抱える課題の背景となる自然環境
12	対象社会環境	←			選択	チェックボックス	□市街地　□住宅地 □工業地域　□農村地域 □漁村地域	なし	防災担当者が抱える課題の背景となる社会環境
13	災害対応局面	←			選択	チェックボックス	□事前　□応急　□復旧・復興	なし	課題内容の災害マネジメントサイクルでの局面
14	関連プロジェクト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	課題と関連したプロジェクト
15	関連文献	←			記述	テキスト	複数行可。J-GLOBALリンクもあり	なし	参考とした文献・資料など
16	入力者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	事務局が入力
17	メモ	←			記述	テキスト	複数行可	なし	課題において上記の項目にあてはまらないが記しておきたい事項をメモとする。

コンテンツ項目＜調査＞

	調査	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	記述か選択か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
概要									
1	ID（調査とわかるよう）	ＩＤ			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	調査タイトル	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	地域の課題を解決するための基礎情報となる調査報告など
3	所属課題タイトル	←			記述			なし	調査に紐づく課題
4	アピールポイント	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	調査として最も伝えたい点
5	調査者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	調査者
6	要旨	←	○	○2	記述	テキスト	複数行可	あり	調査タイトルの背景となる内容（調査内容）の要約
7	キーワード	←	○		記述	テキスト	単語３から５	なし	調査内容と関係するキーとなる語、検索や紐づけも意識する。
8	注意点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	この調査結果を活用する際に注意しておくべきこと
調査内容									
9	調査内容	←	○	○1	記述	テキスト	複数行可	あり	調査タイトルの背景となる内容
知識・技術・ツール・データ・人材									
10	必須知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須知識
11	有用知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい知識
12	必須技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するために必須技術・ツール
13	有用技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい技術・ツール
14	必須データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須データ
15	有用データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための有用データ
16	必須人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための必須の知識や技術を持つ人材及びその総数
17	有用人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための有用知識や技術を持つ人材及びその総数
調査導入・実践									
18	必要コスト	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	調査実施に必要なコスト
19	必要期間	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	調査に要する期間
20	参考情報	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	調査内容について参考になる情報
調査結果									
21	調査主体	←			選択	チェックボックス	□国　□県　□市区町村　□研究機関　□大学　□民間企業　□その他団体	なし	実際に調査を行った主体
22	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	□暴風　□竜巻　□豪雨 □豪雪　□洪水　□崖崩れ □土石流　□高潮　□地震 □津波　□噴火　□地すべり □その他異常な自然現象	なし	調査が対象とするハザード、ここでは災害につながる自然現象
23	リスク対象	←			選択	チェックボックス	A:人間群　■人間　■災害時要援護者 B:建造物・インフラ群　■資産・財産　■インフラ　■公的構造物　■公共機関・施設　■福祉施設　C:産業群 ■農業・漁業・畜産	なし	調査が対象とするハザードと関連するリスク
24	対象自然環境	←			選択	チェックボックス	□多雪地帯　□埋立て・干拓地 □沿岸地域　□山地 □丘陵地・台地　□平野部 □火山地域 □河川・湖沼・ため池 □海域	なし	解決すべき課題のための調査の背景となる自然環境
25	対象社会環境	←			選択	チェックボックス	□市街地　□住宅地 □工業地域　□農村地域 □漁村地域	なし	解決すべき課題のための調査の背景となる社会環境
26	災害対応局面	←			選択	チェックボックス	□事前　□応急　□復旧・復興	なし	調査内容の災害マネジメントサイクルでの局面
27	調査地域	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	調査対象地域
28	関連プロジェクト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	調査と関連のあるプロジェクト
29	関連文献	←			記述	テキスト	複数行可。J-GLOBALリンクもあり	なし	参考とした文献・資料など
30	入力者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	基本は研究者、もしくは事務局が入力
31	メモ	←			記述	テキスト	複数行可	なし	調査において上記の項目にあてはまらないが記しておきたい事項をメモとする。

コンテンツ項目<手法(技術・システム)>

	手法	Web上の表記	キーワード検索 絞り込み対象	検索結果 画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明	説明内容	Web用の記述
	概要										
	要約文	要約文			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし			
	手法に関する資料	手法に関する資料			ファイル選択 記述	選択 記述	選択 短文（一行目安）	なし			
	概要										
1	ID（手法とわかるよう）	ＩＤ			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	S-000×		
2	手法タイトル	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	地域の課題を解決するための手法・研究成果		
3	所属課題タイトル	←			記述			なし	手法に紐づく課題	課題は予め用意された課題を選択する。	課題は予め用意された課題を選択します。
4	アピールポイント　【記入例】	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法として最も伝えたい点	記入例で【これまでできなかったこと】、【この手法でできるようになったこと・防災上の新規性】を表示。	手法として最も伝えたい点を記入例をもとに記入してください。
5	開発者(担当者)	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法の開発者		
6	要旨(何を開発したのか)	←	○	○2	記述	テキスト	複数行可	あり	手法タイトルの背景となる内容（手法内容）の要約		
7	キーワード　【記入例】	←	○		記述	テキスト	単語３から５	なし	手法内容と関係するキーとなる語、検索や紐づけも意識する。	【キイワードについては例示して説明】	検索も意識してキイワードを記入します。
8	手法開発の背景(なぜ開発したのか)	←		○3	記述	テキスト	複数行可	あり	手法が開発された社会的背景		
9	期待される効果　【　記入例】	←		○4	記述	テキスト	複数行可	あり	手法導入により得られる具体的な直接的、間接的効果	手法導入で期待される効果を記入	
10	注意点　【　記入例】	←			記述	テキスト	複数行可	あり	手法導入において注意しなければいけない点	手法導入にあたっての注意点を記入	
	手法内容										
11	手法内容　【　記入例】	←	○	○1	記述	テキスト	複数行可	あり	手法タイトルの背景となる内容	実施するにあたって最低限必要なステップをフロー図とともに提示する。【例】ステップ1→ステップX　フロー図(スライド表示)、また必要に応じて、システム構成図を示すという構成にする。→今後、この部分はVersion Upしていく。そのことを見越した項目とする必要があるため、柔軟性をもたせる。	
	必須・有用な知識・技術者・法令										
12	必須知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須知識		
13	有用知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい知識	必須知識＝なくてはならない知識を記入	
14	必須技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するために必須技術・ツール	有用知識＝もっているとよい知識	
15	有用技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい技術・ツール		
16	必須データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須データ		
17	有用データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための有用データ		
18	必須人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための必須の知識や技術を持つ人材及びその総数	有用データ＝あるとよいデータ	
19	有用人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための有用知識や技術を持つ人材及びその総数	必須人材・人員＝いなくてはならない人材・人員	
20	関連法令　【　記入例】	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するために留意しておくべき関連法令	【遵守する法令】・【推進する法令】 記入例で示す【遵守する法令】たとえば、豪雨予測の場合、気象業務法？、【推進する法令】たとえば、地区防災計画の場合、災害対策基本法	
	手法導入手続き										
	ー①予算要求書の策定										
21	必要コスト　【　記入例】	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するために必要なコスト （導入段階でのコスト、運用におけるコスト）	【平成26年度現在】【初期コスト・継続コスト】など記入例で示す。	
22	必要期間　【　記入例】	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するために要する期間	【導入以外に何が必要なのか、導入にあたっての前提等を記載する項目が必要ではないか】を記入例で示す。	
23	国や都道府県の方針	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法導入に関係する国や県の方針	災害対策基本法(地区防災計画)の改定など方針に関わることについて記述する。	
24	注意点	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	手法を導入・実施するための注意点	予算要求書策定にあたっての注意点を記入	
25	参考情報	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	補助金等情報の他、予算要求書の策定に参考となる情報		
	ー②仕様書の作成・調達手続き									【システム構成図を表示→手法】	
26	調達内容	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	調達する事項	仕様書の作成・調達にあたっての注意点	
27	注意点　【　記入例】	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	調達において注意すべき事項		
	ー③導入確定及び導入準備										
28	導入確定から導入までの標準的な手順と工程表　【　記入例】	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	導入過程に関わる事項と手順	【記入例】システム導入に関する下記の標準的な工程に準じて関係者間の協議及び現地調査を複数回行う。【システムとシステムを作動させるデータの部分を分ける】→この部分については、First Model以外でも以下の時間がかかるのかを確認。 1．現地の気象状況の解析(過去データを利用)－3か月 2．吹雪予測シミュレーションモデル開発－10か月 3．表示ツール開発－6か月	
29	注意点　【　記入例】	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	導入準備段階で注意すべき点	導入確定から導入までの注意点	
	ー④導入及び定着										
30	参考情報	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	導入後ある程度地域に定着するまでの段階における関連資料	不要だが、項目は残す。(不表示)	
31	ステップ（工程表）　【　記入例】									導入及び定着に必要なステップ(工程表)	
32	今後の課題とその対応計画									手法について、今後の課題と対応計画を記述する。	
33	注意点　【　記入例】	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	導入して地域に定着するまでに注意しなければならない事項	導入及び定着にあたっての注意点	
	手法属性										
34	企画する主体	←			選択	チェックボックス	□自治体　□地域住民	なし	その手法を実施する主体		
35	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	□暴風　□竜巻　□豪雨 □豪雪　□洪水　□崖崩れ □土石流　□高潮　□地震 □津波　□噴火　□地すべり □その他異常な自然現象	なし	手法が対象とするハザード、ここでは災害につながる自然現象		
36	リスク対象	←			選択	チェックボックス	A:人間群 ■人間　■災害時要援護者 B:建造物・インフラ群　■資産・財産　■インフラ　■公的構造物　■公共機関・施設　■福祉施設　C:産業群 ■農業・漁業・畜産	なし	手法が対象とするハザードと関連するリスク		
37	対象自然環境	←			選択	チェックボックス	□多雪地帯　□埋立て・干拓地 □沿岸地域　□山地 □丘陵地・台地　□平野部 □火山地域 □河川・湖沼・ため池 □海域	なし	解決すべき課題のための手法の背景となる自然環境		
38	対象社会環境	←			選択	チェックボックス	□市街地　□住宅地 □工業地域　□農村地域 □漁村地域	なし	解決すべき課題のための手法の背景となる社会環境		
39	災害対応局面	←			選択	チェックボックス	□事前　□応急　□復旧・復興	なし	手法対象の災害マネジメントサイクルでの局面		
40	開発地域	←			記述	チェックボックス	短文（一行目安）	なし	手法を開発した地域	手法を開発した地域、あるいは開発中の地域を記入。	
41	関連プロジェクト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	調査と関連のあるプロジェクト		
42	関連文献	←			記述	テキスト	複数行可。J-GLOBALリンクもあり	なし	参考とした文献・資料など		
43	関連手法ID	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	自治体向けの手法と住民向けの手法を相互に関連付ける		
44	入力者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	基本は研究者、もしくは事務局が入力		
45	メモ	←			記述	テキスト	複数行可	なし	調査において上記の項目にあてはまらないが記しておきたい事項をメモとする。		

コンテンツ項目＜手法(防災活動)＞

	手法	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
概要									
	要約文	要約文			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
	手法に関する資料	手法に関する資料			ファイル選択 記述	選択 記述	選択 短文（一行目安）	なし	
概要									
1	ID（手法とわかるよう）	ＩＤ			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	手法タイトル	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	地域の課題を解決するための手法・研究成果
3	所属課題タイトル	←			記述			なし	手法に紐づく課題
4	アピールポイント	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法として最も伝えたい点
5	開発者(担当者)	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法の開発者
7	要旨(何を開発したのか)	←	○	○2	記述	テキスト	複数行可	あり	手法タイトルの背景となる内容（手法内容）の要約
8	キーワード	←	○		記述	テキスト	単語３から５	なし	手法内容と関係するキーとなる語、検索や紐づけも意識する。
9	手法背景(なぜ開発したのか)	←		○3	記述	テキスト	複数行可	あり	手法が開発された社会的背景
10	期待される効果	←		○4	記述	テキスト	複数行可	あり	手法導入により得られる具体的な直接的、間接的効果
11	注意点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	手法導入において注意しなければいけない点
手法内容									
12	手法内容	←	○	○1	記述	テキスト	複数行可	あり	手法タイトルの背景となる内容
知識・技術・ツール・データ・人材									
13	必須知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須知識
14	有用知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい知識
15	必須技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するために必須技術・ツール
16	有用技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい技術・ツール
17	必須データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須データ
18	有用データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための有用データ
19	必須人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための必須の知識や技術を持つ人材及びその総数
20	有用人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための有用知識や技術を持つ人材及びその総数
手法導入・実践									
21	必要コスト	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	コストが必要かどうか
22	必要期間	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するために要する期間
23	国や都道府県の方針	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法導入に関係する国や県の方針
24	参考情報	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	あり	手法導入及び実践において参考となる情報
手法属性									
25	企画する主体	←			選択	チェックボックス	□自治体　□地域住民	なし	その手法を実施する主体
26	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	□暴風　□竜巻　□豪雨 □豪雪　□洪水　□崖崩れ □土石流　□高潮　□地震 □津波　□噴火　□地すべり □その他異常な自然現象	なし	手法が対象とするハザード、ここでは災害につながる自然現象
27	リスク対象	←			選択	チェックボックス	A:人間群　■人間　■災害時要援護者 B:建造物・インフラ群　■資産・財産 ■インフラ　■公的構造物　■公共機関・施設　■福祉施設　C:産業群　■農業・漁業・畜産	なし	手法が対象とするハザードと関連するリスク
28	対象自然環境	←			選択	チェックボックス	□多雪地帯　□埋立て・干拓地 □沿岸地域　□山地 □丘陵地・台地　□平野部 □火山地域 □河川・湖沼・ため池 □海域	なし	解決すべき課題のための手法の背景となる自然環境
29	対象社会環境	←			選択	チェックボックス	□市街地　□住宅地 □工業地域　□農村地域 □漁村地域	なし	解決すべき課題のための手法の背景となる社会環境
30	災害対応局面	←			選択	チェックボックス	□事前　□応急　□復旧・復興		手法対象の災害マネジメントサイクルでの局面
31	開発地域	←			選択	チェックボックス	短文（一行目安）	なし	手法を開発した地域
32	関連プロジェクト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	調査と関連のあるプロジェクト
33	関連文献	←			記述	テキスト	複数行可。J-GLOBALリンクもあり	なし	参考とした文献・資料など
34	関連手法ID	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	自治体向けの手法と住民向けの手法を相互に関連付ける
35	入力者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	基本は研究者、もしくは事務局が入力
36	メモ	←			記述	テキスト	複数行可	なし	手法において上記の項目にあてはまらないが記しておきたい事項をメモとする。

コンテンツ項目<実践事例（技術・システム）>

	実践事例	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
概要									
1	ID（実践事例とわかるよう）	ＩＤ			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	実践事例タイトル	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	地域の課題を解決するため実践された防災活動事例
3	所属課題タイトル	←			記述				実践事例に紐づく課題
4	所属手法タイトル	←			記述				実践事例に紐づく手法
5	アピールポイント	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践事例として最も伝えたい点
6	実践者(担当者)	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践した主体（担当者）
7	要旨(何を行ったのか)	←	○	○2	記述	テキスト	複数行可	あり	実践タイトルの背景となる内容（実践内容）の要約
8	キーワード　記入例	←	○		記述	テキスト	単語３から５	なし	実践内容と関係するキーとなる語、検索や紐づけも意識する。
9	実践背景(なぜ行ったのか)	←		○3	記述	テキスト	複数行可	あり	実践した背景
10	得られた効果	←		○4	記述	テキスト	複数行可	あり	実践により得られる具体的な直接的、間接的効果
11	工夫した点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	実践において工夫した点
12	苦労した点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	実践において苦労した点
13	注意点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	実践において注意しなければいけない点
実践内容									
14	実践内容	←	○	○1	記述	テキスト	複数行可	あり	実践タイトルの背景となる内容
必須・有用な知識・技術者・法令									
15	必須知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須知識
16	有用知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい知識
17	必須技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するために必須技術・ツール
18	有用技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい技術・ツール
19	必須データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須データ
20	有用データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための有用データ
21	必須人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための必須の知識や技術を持つ人材及びその総数
22	有用人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための有用知識や技術を持つ人材及びその総数
23	関連法令	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するために留意しておくべき関連法令
手法導入手続き									
ー①予算要求書の策定									
24	要求額	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための要求額（導入段階、運用段階）
25	実践期間	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践活動を行った期間
26	国や都道府県の方針	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	導入の際の国や県の方針との関係
27	補助金情報	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	あり	活用した国・県の補助金等
28	注意点	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	あり	予算要求段階で注意した点
ー②仕様書の作成・調達手続き									
29	調達内容	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	調達した事項
30	注意点	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	調達において注意した事項
ー③導入確定及び導入準備									
31	契約額	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	導入決定における契約額
32	導入のための標準的な手順と工程	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	導入のための事項と手順
33	注意点	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	導入準備段階で注意した点
ー④導入及び定着									
34	参考情報	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	導入後ある程度地域に定着するまでの段階での関連情報
35	もっとよくするには								
36	注意点	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	導入して地域に定着するまでに注意した事項
実践事例属性									
37	企画する主体	←			選択	チェックボックス	□自治体　□地域住民	なし	課題を解決するための（手法を用いた）防災活動を実践した主体
38	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	□暴風　□竜巻　□豪雨 □豪雪　□洪水　□崖崩れ □土石流　□高潮　□地震 □津波　□噴火　□地すべり □その他異常な自然現象	なし	実践活動が対象とするハザード、ここでは災害につながる自然現象
39	リスク対象	←			選択	チェックボックス	A:人間群　■人間　■災害時要援護者　B:建造物・インフラ群　■資産・財産　■インフラ ■公的構造物　■公共機関・施設 ■福祉施設　C:産業群　■農業・漁業・畜産	なし	実践活動が対象とするハザードと関連するリスク
40	対象自然環境	←			選択	チェックボックス	□多雪地帯　□埋立て・干拓地 □沿岸地域　□山地 □丘陵地・台地　□平野部 □火山地域 □河川・湖沼・ため池 □海域	なし	実践活動が行われた地域の自然環境
41	対象社会環境	←			選択	チェックボックス	□市街地　□住宅地 □工業地域　□農村地域 □漁村地域	なし	実践活動が行われた地域の社会環境
42	災害対応局面	←			選択	チェックボックス	□事前　□応急　□復旧・復興	なし	実践事例内容の災害マネジメントサイクルでの局面
43	開発地域	←			記述	チェックボックス	短文（一行目安）	なし	実践活動が行われた地域
44	関連プロジェクト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践事例と関連のあるプロジェクト
45	関連文献	←			記述	テキスト	複数行可。J-GLOBALリンクもあり	なし	参考とした文献・資料など
46	関連実践事例ID	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	自治体向けの手法と住民向けの実践事例を相互に関連付ける
47	入力者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	基本は実践技術者、もしくは自治体担当者が入力
48	メモ	←			記述	テキスト	複数行可	なし	実践事例において上記の項目にあてはまらないが記しておきたい事項をメモとする。

コンテンツ項目<実践事例(防災活動)>

	実践事例	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索 絞り込み対象	検索結果 画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
概要									
1	ID（実践事例とわかるよう）	ＩＤ			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	実践事例タイトル	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	地域の課題を解決するため実践された防災活動事例
3	所属課題タイトル	←			記述				実践事例に紐づく課題
4	所属手法タイトル	←			記述				実践事例に紐づく手法
5	アピールポイント	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践事例として最も伝えたい点
6	実践者(担当者)	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践した主体（担当者）
7	要旨(何を行ったのか)	←	○	○2	記述	テキスト	複数行可	あり	実践タイトルの背景となる内容（実践内容）の要約
8	キーワード	←	○		記述	テキスト	単語３から５	なし	実践内容と関係するキーとなる語、検索や紐づけも意識する。
9	実践背景(なぜ行ったのか)	←		○3	記述	テキスト	複数行可	あり	実践した背景
10	得られた効果	←		○4	記述	テキスト	複数行可	あり	実践により得られる具体的な直接的、間接的効果
11	工夫した点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	実践において工夫した点
12	苦労した点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	実践において苦労した点
13	注意点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	実践において注意しなければいけない点
実践内容									
14	実践内容	←	○	○1	記述	テキスト	複数行可	あり	実践タイトルの背景となる内容
知識・技術・ツール・データ・人材									
15	必須知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須知識
16	有用知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい知識
17	必須技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するために必須技術・ツール
18	有用技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための望ましい技術・ツール
19	必須データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための必須データ
20	有用データ	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	手法を導入・実施するための有用データ
21	必須人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための必須の知識や技術を持つ人材及びその総数
22	有用人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施するための有用知識や技術を持つ人材及びその総数
手法導入・実践									
23	実践コスト	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法を導入・実施した際要したコスト（導入段階、運用段階）
24	実践期間	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践活動を行った期間
25	国や都道府県の方針	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	手法導入の際の国や県の方針との関係
26	参考情報	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	手法導入及び実践において参考となる情報
実践事例属性									
27	企画する主体	←			選択	チェックボックス	□自治体　□地域住民	なし	課題を解決するための（手法を用いた）防災活動を実践した主体
28	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	□暴風　□竜巻　□豪雨 □豪雪　□洪水　□崖崩れ □土石流　□高潮　□地震 □津波　□噴火　□地すべり □その他異常な自然現象	なし	実践活動が対象とするハザード、ここでは災害につながる自然現象
29	リスク対象	←			選択	チェックボックス	A:人間群　■人間　■災害時要援護者 B:建造物・インフラ群　■資産・財産 ■インフラ　■公的構造物　■公共機関・施設　■福祉施設　C:産業群　■農業・漁業・畜産	なし	実践活動が対象とするハザードと関連するリスク
30	対象自然環境	←			選択	チェックボックス	□多雪地帯　□埋立て・干拓地 □沿岸地域　□山地 □丘陵地・台地　□平野部 □火山地域 □河川・湖沼・ため池 □海域	なし	実践活動が行われた地域の自然環境
31	対象社会環境	←			選択	チェックボックス	□市街地　□住宅地 □工業地域　□農村地域 □漁村地域	なし	実践活動が行われた地域の社会環境
32	災害対応局面	←			選択	チェックボックス	□事前　□応急　□復旧・復興	なし	実践事例内容の災害マネジメントサイクルでの局面
33	開発地域	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践活動が行われた地域
34	関連プロジェクト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	実践事例と関連のあるプロジェクト
35	関連文献	←			記述	テキスト	複数行可。J-GLOBALリンクもあり	なし	参考とした文献・資料など
36	関連実践事例ID	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	自治体向けの手法と住民向けの実践事例を相互に関連付ける
37	入力者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	基本は実践技術者、もしくは自治体担当者が入力
38	メモ	←			記述	テキスト	複数行可	なし	実践事例において上記の項目にあてはまらないが記しておきたい事項をメモとする。

コンテンツ項目<募集>

	募集	Ｗｅｂ上の表記	H27年度検討 キーワード検索 絞り込み対象	検索結果 画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
概要									
1	ID（募集とわかるよう）	ＩＤ			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	募集タイトル	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	地域の課題を解決するため本サービスで提供されていない事項の募集
3	所属課題タイトル	←			記述				募集に紐づく課題
4	所属調査タイトル	←			記述				募集に紐づく調査
5	所属手法タイトル	←			記述				募集に紐づく手法
6	所属実践事例タイトル	←			記述				募集に紐づく実践事例
7	所属データベースタイトル	←			記述				募集に紐づくデータベース
8	募集者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	募集する主体
9	要旨	←			記述	テキスト	複数行可	あり	募集の背景となる内容の要約
10	キーワード	←			記述	テキスト	単語３から５	なし	募集と関係するキーとなる語、検索や紐づけも意識する。
11	注意点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	応募の際に注意しておくべおきこと
募集内容									
12	募集内容	←			記述	テキスト	複数行可	あり	募集の背景などの内容
知識・技術・ツール・データ・人材									
13	必須知識	←			記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	
14	有用知識	←			記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	
15	必須技術・ツール	←			記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	
16	有用技術・ツール	←			記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	
17	必須データ	←			記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	
18	有用データ	←			記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	
19	必須人材・人員	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
20	有用人材・人員	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
募集手続き									
21	必要コスト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	応募に必要なコスト
22	必要期間	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	募集が要求する期間
23	参考情報	←			記述	テキスト	複数行可	あり	募集内容に参考となる情報
24	募集期限	←			記述	テキスト	複数行可	あり	募集を締め切る時期
募集属性									
25	募集主体	←			選択	チェックボックス	□自治体　□研究者　□実践技術者　□住民	なし	募集する主体
26	募集対象カテゴリ	←			選択	チェックボックス	□人材□研究□実証実験地域	なし	募集内容
27	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	□暴風　□竜巻　□豪雨 □豪雪　□洪水　□崖崩れ □土石流　□高潮　□地震 □津波　□噴火　□地すべり □その他異常な自然現象	なし	募集が対象とするハザード、ここでは災害につながる自然現象
28	リスク対象	←			選択	チェックボックス	A:人間群 ■人間　■災害時要援護者　B:建造物・インフラ群　■資産・財産　■インフラ ■公的構造物　■公共機関・施設 ■福祉施設　C:産業群　■農業・漁業・畜産	なし	募集が対象とするハザードと関連するリスク
29	対象自然環境	←			選択	チェックボックス	□多雪地帯　□埋立て・干拓地 □沿岸地域　□山地 □丘陵地・台地　□平野部 □火山地域 □河川・湖沼・ため池 □海域	なし	募集の背景となる自然環境
30	対象社会環境	←			選択	チェックボックス	□市街地　□住宅地 □工業地域　□農村地域 □漁村地域	なし	募集の背景となる社会環境
31	災害対応局面	←			選択	チェックボックス	□事前　□応急　□復旧・復興	なし	募集事項の災害マネジメントサイクルでの局面
32	対象地域	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	募集対象の地域
33	関連プロジェクト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	募集と関連のあるプロジェクト
34	関連文献	←			記述	テキスト	複数行可。J-GLOBALリンクもあり	なし	参考とした文献・資料など
35	入力者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	募集者が入力
36	メモ				記述	テキスト	複数行可	なし	募集において上記の項目にあてはまらないが記しておきたい事項をメモとする。

コンテンツ項目<データベース>

	データベース	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
管理									
1	ID（データベースとわかるよう）	ＩＤ			記述				
2	データベースタイトル	←	○		記述				地域の課題を解決するための基礎情報となるデータベース
3	所属課題タイトル	←			記述				データベースに紐づく課題
4	所属手法タイトル	←			記述				データベースに紐づく手法
5	アピールポイント	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	データベースとして最も伝えたい点
6	開発者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	データベースを開発した主体
7	要旨	←	○	○2	記述	テキスト	複数行可	あり	データベースタイトルの背景となる内容（手法内容）の要約
8	キーワード	←	○		記述	テキスト	単語３から５	なし	データベースと関係するキーとなる語、検索や紐づけも意識する。
9	注意点	←			記述	テキスト	複数行可	あり	このデータベースを活用する際に注意しておくべおきこと
データベース内容									
10	データベース内容	←	○	○1	記述	テキスト	複数行可	あり	データベースタイトルの背景となる内容
知識・技術・ツール・データ・人材									
11	必須知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	データベースを活用するための必須知識
12	有用知識	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	データベースを活用するための望ましい知識
13	必須技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	データベースを活用するために必須技術・ツール
14	有用技術・ツール	←	○		記述	テキスト	複数行可(表示縦幅圧縮)	あり	データベースを活用するための望ましい技術・ツール
15	必須人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	データベースを活用するための必須の知識や技術を持つ人材及びその総数
16	有用人材・人員	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	データベースを活用するための有用知識や技術を持つ人材及びその総数
データベース活用									
17	必要コスト	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	データベース利用にあたり必要なコスト
18	参考情報	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	データベースの内容について参考となる情報
19	利用方法	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	データベースの利用方法
20	URL	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	データベースのURL
募集属性									
21	活用主体	←			選択	チェックボックス	□自治体　□地域住民 □研究者	なし	データベースを活用する主体
22	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	□暴風　□竜巻　□豪雨 □豪雪　□洪水　□崖崩れ □土石流　□高潮　□地震 □津波　□噴火　□地すべり □その他異常な自然現象	なし	データベースが対象とするハザード、ここでは災害につながる自然現象
23	リスク対象	←			選択	チェックボックス	A:人間群 ■人間　■災害時要援護者　　B:建造物・インフラ群　■資産・財産　■インフラ　■公的構造物　■公共機関・施設　■福祉施設　C:産業群　■農業・漁業・畜産	なし	データベースが対象とするハザードと関連するリスク
24	対象自然環境	←			選択	チェックボックス	□多雪地帯　□埋立て・干拓地 □沿岸地域　□山地 □丘陵地・台地　□平野部 □火山地域 □河川・湖沼・ため池 □海域	なし	解決すべき課題のためのデータベースの背景となる自然環境
25	対象社会環境	←			選択	チェックボックス	□市街地　□住宅地 □工業地域　□農村地域 □漁村地域	なし	解決すべき課題のためのデータベースの背景となる社会環境
26	災害対応局面	←			選択	チェックボックス	□事前　□応急　□復旧・復興	なし	データベース内容の災害マネジメントサイクルでの局面
27	対象地域	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	データベースがカバーする地域
28	関連プロジェクト	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	データベースと関連のあるプロジェクト
29	関連文献	←			記述	テキスト	複数行可。J-GLOBALリンクもあり	なし	参考とした文献・資料など
30	入力者	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	基本は研究者、もしくは事務局が入力
31	メモ	←			記述	テキスト	複数行可	なし	手法・データベースにおいて上記の項目にあてはまらないが記しておきたい事項をメモとする。

自治体の防災担当者　項目

	項目名	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
1	自治体名・組織名	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	ログインID	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
3	パスワード	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
4	所属者（複数）	←			記述	テキスト	複数入力	なし	
5	引き継ぎ時期	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
6	代表者住所	←			選択＋記述	選択＋テキスト	都道府県市区町村を選択 番地等はテキスト入力	なし	
7	活動範囲	←			選択	地図	住所から自動設定	なし	
8	地域情報（人口、面積等）	←			記述	テキスト	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
9	自然特性	←			選択	選択	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
10	社会特性	←			選択	選択	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
11	プロフィール画像	←		○	選択	ファイル	ファイル選択	あり	
12	実施した課題	←			選択	チェックボックス	防災対策チェックリストでチェック	なし	
13	実施すべき課題	←			選択	チェックボックス	防災対策チェックリストでチェック	なし	

地域の防災リーダー　項目

	項目名	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
1	自治体名・組織名	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	ログインID	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
3	パスワード	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
4	所属者（複数）	←			記述	テキスト	複数入力	なし	
5	引き継ぎ時期	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
6	代表者住所	←			選択＋記述	選択＋テキスト	都道府県市区町村を選択 番地等はテキスト入力	なし	
7	活動範囲	←			選択	地図	地図上で選択	なし	
8	地域情報（人口、面積等）	←			記述	テキスト	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
9	自然特性	←			選択	選択	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
10	社会特性	←			選択	選択	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
11	プロフィール画像	←		○	選択	ファイル	ファイル選択	あり	
12	実施した課題	←			選択	チェックボックス	防災対策チェックリストでチェック	なし	
13	実施すべき課題	←			選択	チェックボックス	防災対策チェックリストでチェック	なし	

研究者　項目

	項目名	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
1	アカウント名	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	ログインID	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
3	パスワード	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
4	所属	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
5	メールアドレス	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
6	役職	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
7	代表者住所	←			選択＋記述	選択＋テキスト	都道府県市区町村を選択 番地等はテキスト入力	なし	
8	活動範囲	←			選択	地図	地図上で選択	なし	
9	地域情報（人口、面積等）	←			記述	テキスト	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
10	自然特性	←			選択	選択	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
11	社会特性	←			選択	選択	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
12	プロフィール画像	←		○	選択	ファイル	ファイル選択	あり	
13	アドバイザ	←			選択	チェックボックス	チェックボックス	なし	
14	専門分野	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
15	対象ハザード	←			選択	チェックボックス	チェックボックス	なし	

実践技術者　項目

	項目名	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
1	アカウント名	←	○		記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
2	ログインID	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
3	パスワード	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
4	所属者（複数）	←			記述	テキスト	複数入力	なし	
5	引き継ぎ時期	←			記述	テキスト	短文（一行目安）	なし	
6	代表者住所	←			選択＋記述	選択＋テキスト	都道府県市区町村を選択 番地等はテキスト入力	なし	
7	活動範囲	←			選択	地図	地図上で選択	なし	
8	地域情報（人口、面積等）	←			記述	テキスト	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
9	自然特性	←			選択	選択	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
10	社会特性	←			選択	選択	登録時に活動範囲から初期設定	なし	
11	プロフィール画像	←		○	選択	ファイル	ファイル選択	あり	

コンテンツ項目＜知恵袋＞

	項目名	Ｗｅｂ上の表記	キーワード検索　絞り込み対象	検索結果　画像表示対象	選択か記述か	入力形式	入力形式内容	画像・文書添付設定	説明
1	質問本文	←	○		記述	テキスト	複数行可	あり	
2	質問追記	←			記述	テキスト	複数行可	あり	
3	質問のカテゴリ（小項目）	←			選択	テキスト	選択	なし	
4	対象地域（自治体名）				記述	テキスト	短文（一行目安） 地図選択時に自動設定（上書き）	なし	
5	対象地域（範囲）	←			選択	地図	地図上で選択	なし	
6	回答	←			記述	テキスト	複数入力	なし	

■コンテンツ状態遷移表

課題

状態＼トリガ	下書き保存	登録	編集	削除
下書き	下書き	公開	–	削除
公開	(公開)＋下書き	–	公開	削除
削除	–	–	–	–

青：申請者＋運営事務局

手法・調査・データベース（事務局の承認フローあり）

状態＼トリガ	下書き保存	登録（申請）	受理	差し戻し	編集	削除
下書き	下書き	申請中	–	–	–	削除
申請中	–	–	公開	差し戻し	–	–
公開	(公開)＋下書き	–	–	–	(公開)＋申請中	(公開)＋申請中
差し戻し	下書き	申請中	–	–	–	削除
削除	–	–	–	–	–	–

※申請中は運営事務局のみ操作可能。申請を取り消す場合は、運営事務局にメッセージ等で連絡する。

募集（事務局の承認フローあり）

状態＼トリガ	下書き保存	登録（申請）	受理	差し戻し	編集	終了	取り消す
下書き	下書き	申請中	–	–	–	–	削除
申請中	–	–	公開	差し戻し	–	–	–
公開	(公開)＋下書き	–	–	–	(公開)＋申請中	終了	削除
差し戻し	下書き	申請中	–	–	–	–	削除
終了	–	–	–	–	–	–	–
削除	–	–	–	–	–	–	–

※申請中は運営事務局のみ操作可能。申請を取り消す場合は、運営事務局にメッセージ等で連絡する。
※運営事務局のチェックは募集内容となるため、終了／取り消しは、チェックなく可能とする。

実践事例

状態＼トリガ	下書き保存	登録	公開	非公開	編集	削除
下書き	下書き	公開	–	–	–	削除
公開	(公開)＋下書き	–	–	非公開	公開	削除
非公開	(非公開)＋下書き	–	公開	–	非公開	削除
削除	–	–	–	–	–	–

資料 6　Web データベースシステム
リストア手順書

地域防災対策支援研究プロジェクト
課題①「統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築」

Web データベースシステム
リストア手順書

平成 30 年 3 月

国立研究開発法人　防災科学技術研究所

1. 概要

本書は、統合化地域防災実践支援 Web サービス（以降、「本システム」とする）のリストア手順を記すものです。

2. 動作環境

本システムの動作には以下のソフトウェア環境とそれが動作する十分なハードウェアスペックが必要になります。

項目	詳細
OS	CentOS 6.7 以降
Web サーバー	Apache 2.2 以降
データベース	MySQL 5.6 以降
PHP	PHP 5.3 以降
メール送信サーバー	Postfix が利用可能なこと
その他	ImageMagick が利用可能なこと

また、本システムの動作には以下と同等の設定が必要となります。

項目	対象ファイル	設定値
PHP	/ect/php.ini	date.timezone = Asia/Tokyo
		short_open_tag = On
		memory_limit = 2048M
MySQL	/etc/my.cnf	default_character_set=utf8
		character-set-server=utf8
		innodb_file_format = Barracuda
		group_concat_max_len = 10485760
		max_allowed_packet = 32M

3. システム再構築手順

3.1. データベースのリストア

・ユーザーの作成

```
> CREATE USER allbosaiweb@localhost IDENTIFIED BY 'allbosaiweb';
```

・DB スキーマの作成

```
> CREATE DATABASE allbosaiweb;
```

・アクセス権限の設定

```
> GRANT ALL PRIVILEGES ON allbosaiweb.* TO allbosaiweb@localhost;
```

・データリストア

```
$ mysql –u allbosaiweb –p allbosaiweb < allbosaiweb_db.dump;
```

3.2. ソースコード配置

ソースコードファイル（source.zip）を展開し「html」ディレクトリを Apache が参照可能なディレクトリに配置してください。

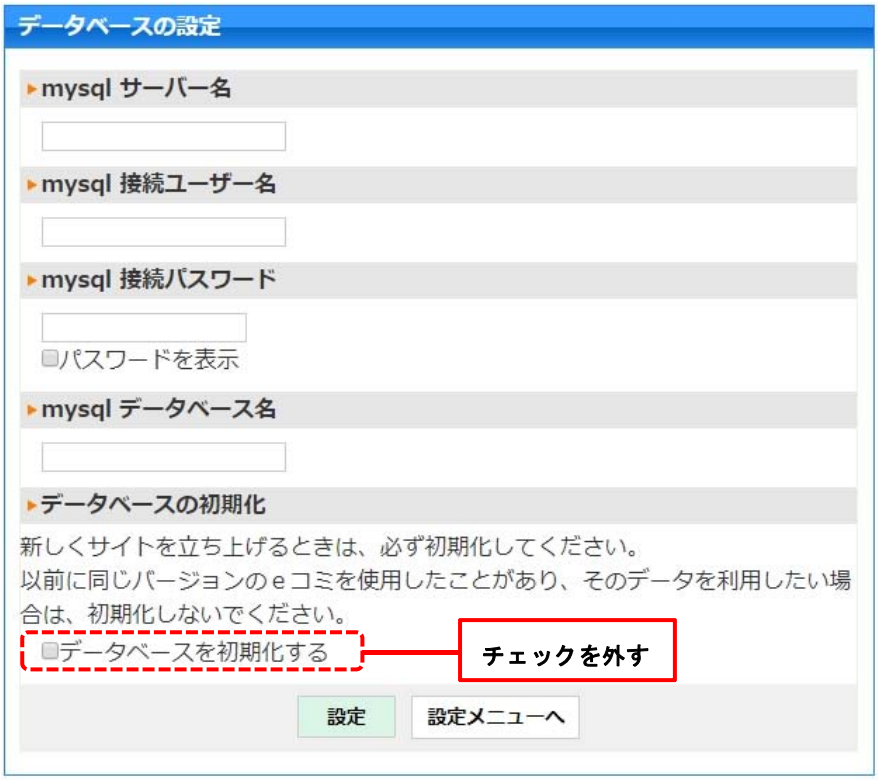
3.3. 初期設定

ソースコード配置後、以下の URL にアクセスすることで初期設定画面が表示されます。

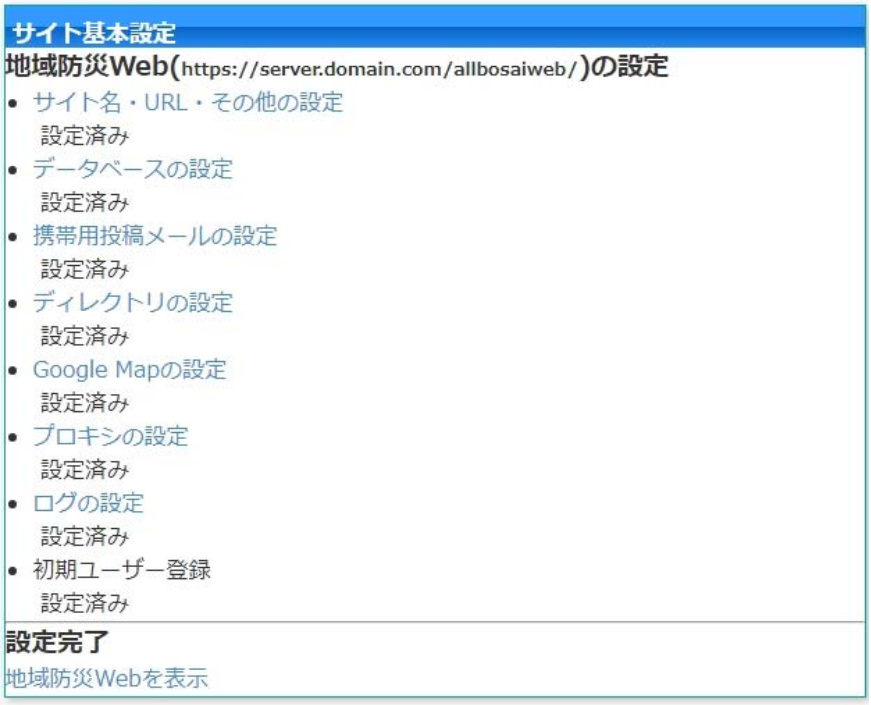
```
http://server.domain.com/allbosaiweb/
```

※上記「server.domain.com」の部分は環境に合わせて置き換えてください。

初期設定画面では画面に従い設定値を入力してください。ただし、データベース設定では「3.1 データベース」で作成したデータベースを設定してください。また、コンテンツ等の格納データをリストアしたため初期化を行わないよう注意してください。



全ての設定完了後「地域防災 Web を表示」をクリックすることでトップページが表示されます。



3.4. コンフィグファイル設定

地域防災 Web のトップページが表示されることを確認後、「html/config/********.ini.php」（********は環境により異なります）に Google Maps API と RESAS API の API キー設定を追記します。

```
[conf_api]
google_maps_api_key=”YOUR_GOOGLE_MAPS_API_KEY”
get_resas_api_key=”YOUR_RESAS_API_KEY”
```

※設定値は取得した API キーに置き換えてください。

3.5. ファイル倉庫のリストア

コンテンツに貼り付けられた画像、実践事例の簡易投稿に添付されたファイル等はファイル倉庫に格納されます。「3.1 データベースのリストア」でリストアしたデータに紐づくファイルを復元するには、以下のディレクトリにファイル倉庫のデータ（filebox.zip を回答したもの）を配置します。

```
html/databox/filebox
```

以上

資料７　運営管理者マニュアル

地域防災対策支援研究プロジェクト
課題①「統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築」

地域防災 Web
運営管理者マニュアル

初版　　平成 30 年 3 月

国立研究開発法人　防災科学技術研究所

目次

1. ログイン・ログアウト 1

1.1. ログイン 1

1.2. ログアウト 1

2. アカウント管理 2

2.1. アカウント登録設定の変更 2

2.2. アカウント申請の審査 3

2.3. アカウントの制御 5

3. コンテンツ管理 6

3.1. 大小項目管理 6

3.2. コンテンツ管理 11

3.3. コンテンツ申請の審査 13

3.4. 実践事例簡易投稿の管理 15

3.4.1. 投稿フォームを設定する 15

3.4.2. 投稿された実践事例一覧を確認する 17

4. マスタデータ管理 18

4.1. 災害の危険性マスタ管理 18

4.1.1. 自治体の防災担当者向け 18

4.1.2. 地域の防災リーダー向け 20

4.2. 自治体の自然特性マスタ管理 22

5. 履歴管理 24

5.1. 履歴の確認 24

6. その他設定 25

6.1. 位置情報取得処理の設定 25

1. ログイン・ログアウト

1.1. ログイン

上部バナー右下にある「ログイン」より、ログインします。

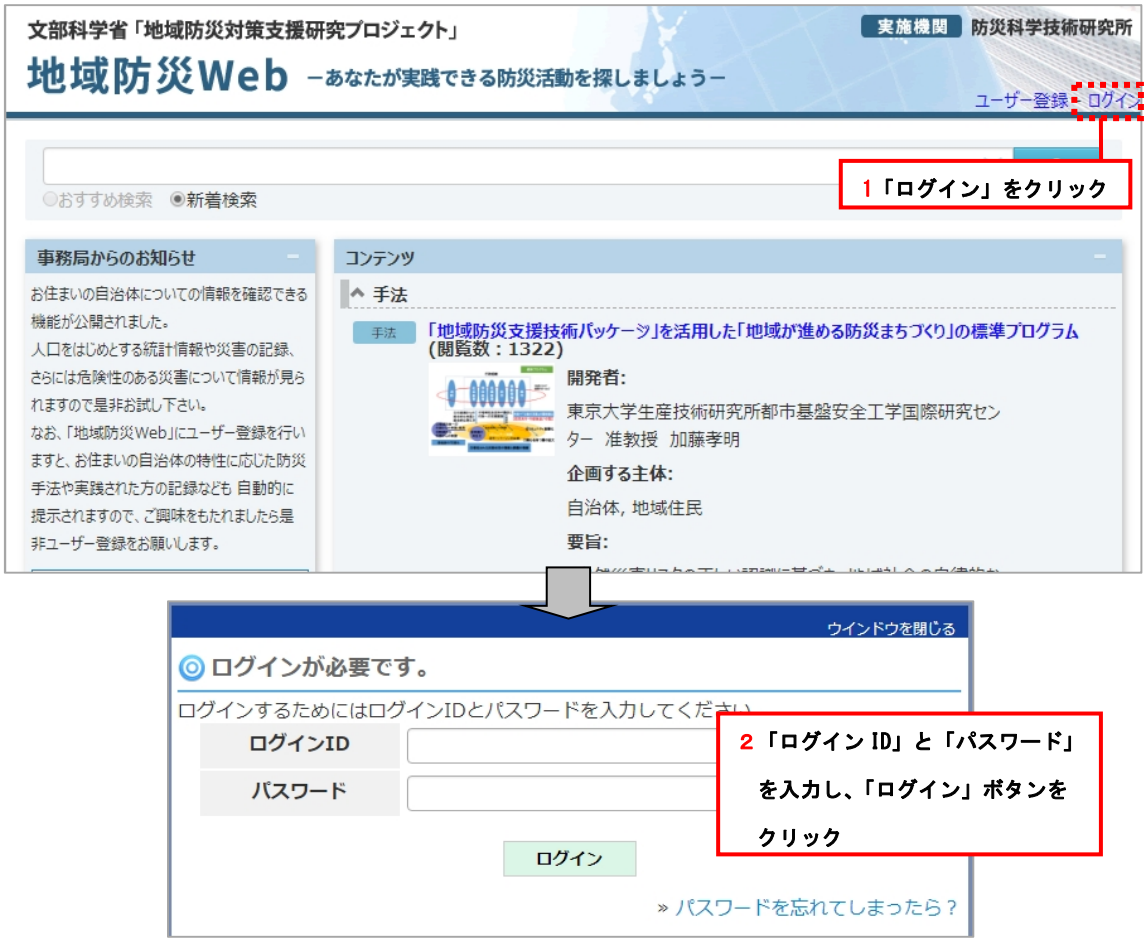


図 1　ログイン

1.2. ログアウト

ログアウトするときは、バナー右下にある「ログアウト」をクリックします。

図 2　ログアウト

2. アカウント管理

2.1. アカウント登録設定の変更

アカウント登録の設定を変更するにはバナー右下の「システム管理設定」をクリックしシステム管理設定画面から行います。

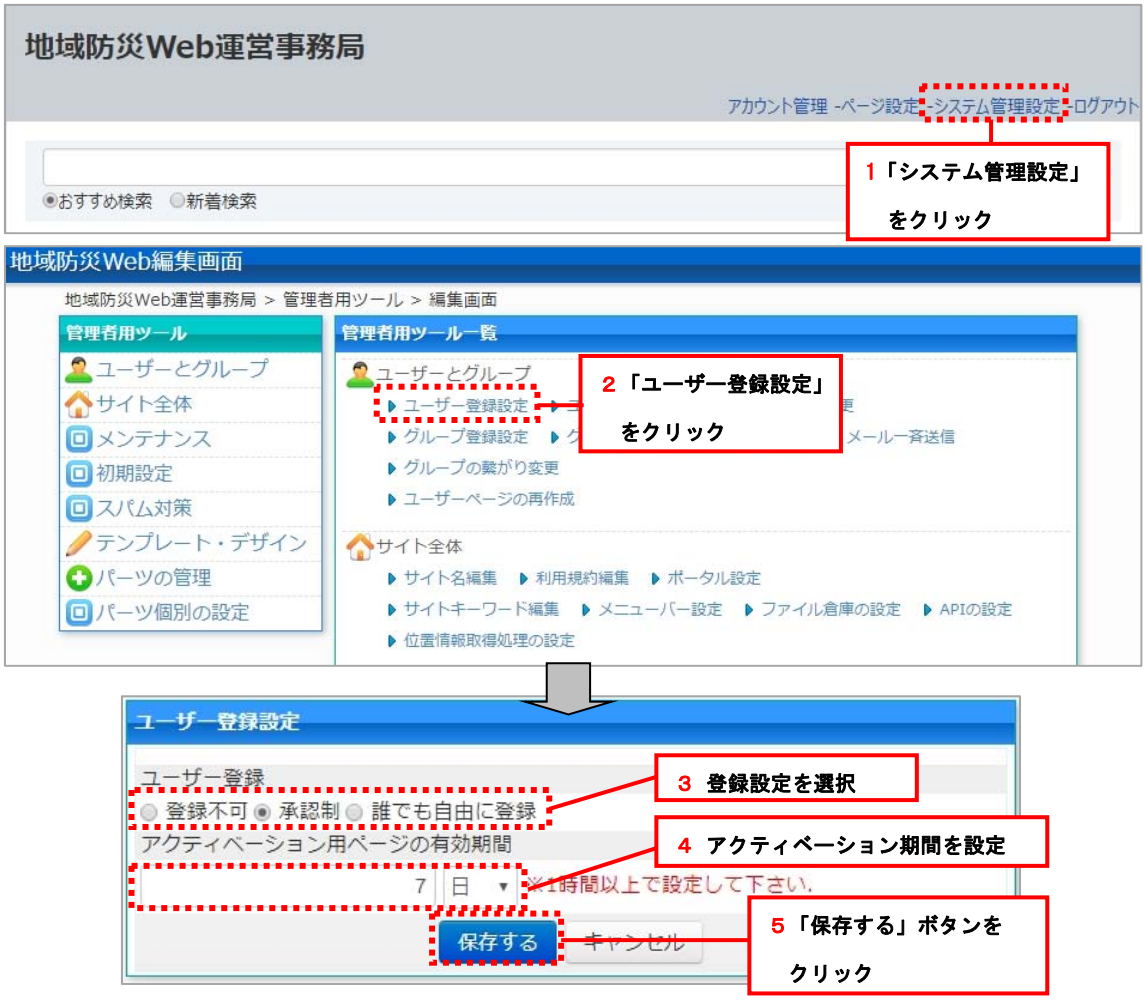


図 3　アカウント登録設定

2.2. アカウント申請の審査

アカウント登録設定が承認制に設定されている状態でユーザーから登録申請があると登録申請通知のメッセージが届きますので、メールに記載されているリンクにアクセスし審査を行ってください。

図 4　アカウント申請の審査

申請内容を確認し、承認するか拒否するかを選択してください。

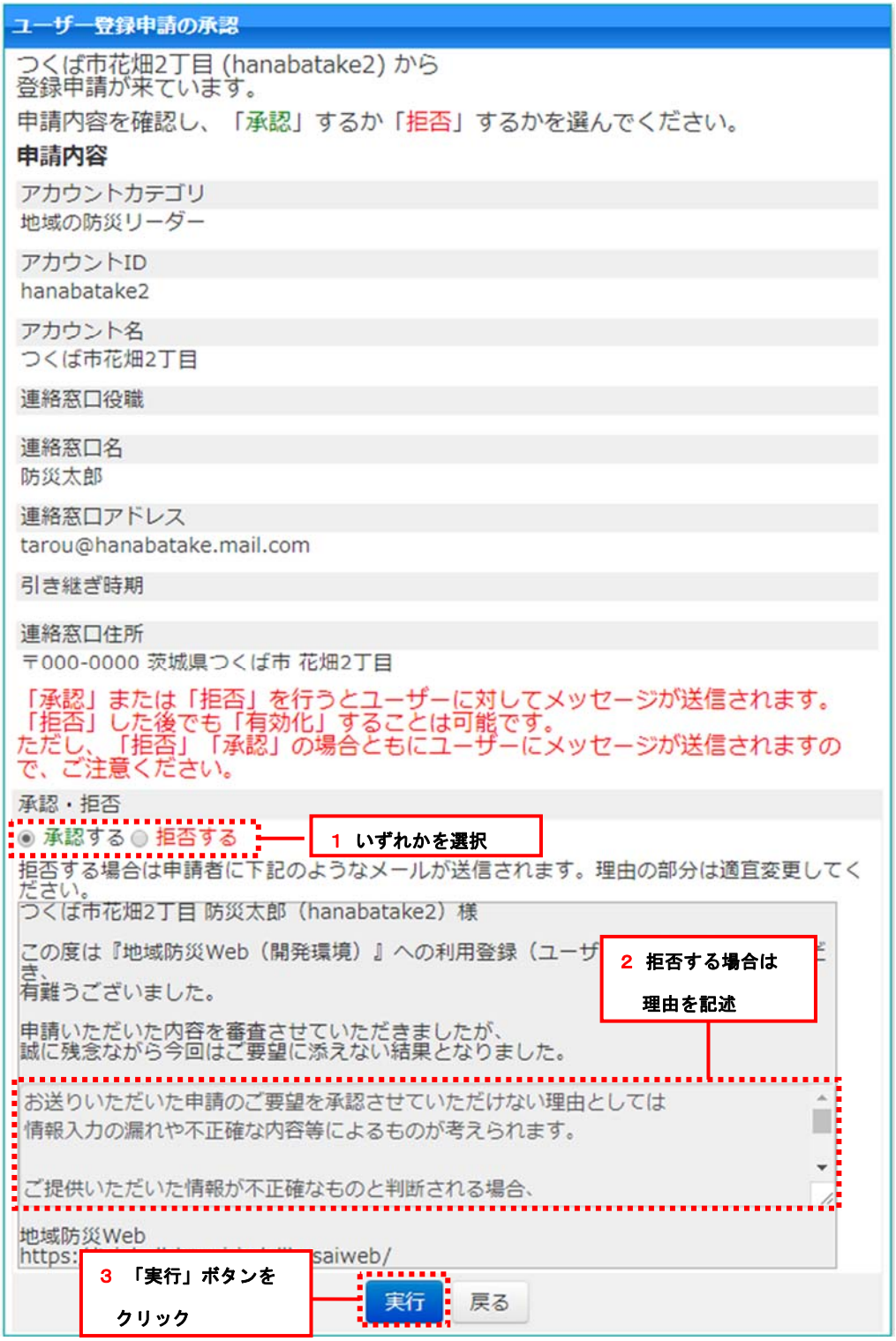


図 5　アカウント登録申請内容の確認

2.3. アカウントの制御

アカウント管理画面からはアカウントの一時停止/解除、アカウントの削除が行えます。

・一時停止

図 6　アカウントの一時停止

・再開

図 7　アカウントの再開

・削除

図 8　アカウントの削除

3. コンテンツ管理

3.1. 大小項目管理

大小項目管理画面へは課題の管理画面から移動します。

図 9　大小項目の管理

大小項目管理画面では大小項目の追加、編集、削除が可能です。

・追加

大小項目を追加したい位置の「追加」ボタンをクリックします。

図 10　大小項目の追加

・編集

編集したい大小項目の「編集」ボタンをクリックします。

図 11　大小項目の編集

・削除

削除したい大小項目の「削除」ボタンをクリックします。

図 12　大小項目の削除

大小項目の編集完了後、「確認する」「編集する」とボタンを押し変更を保存します。

図 13　大小項目の保存

3.2. コンテンツ管理

運営事務局はユーザーから投稿された全てのコンテンツの確認、編集、削除が可能です。

図 14　コンテンツ管理

個別コンテンツ画面でコンテンツの内容を確認し、編集・削除が必要であれば画面上部の「編集」「削除」から作業を行います。

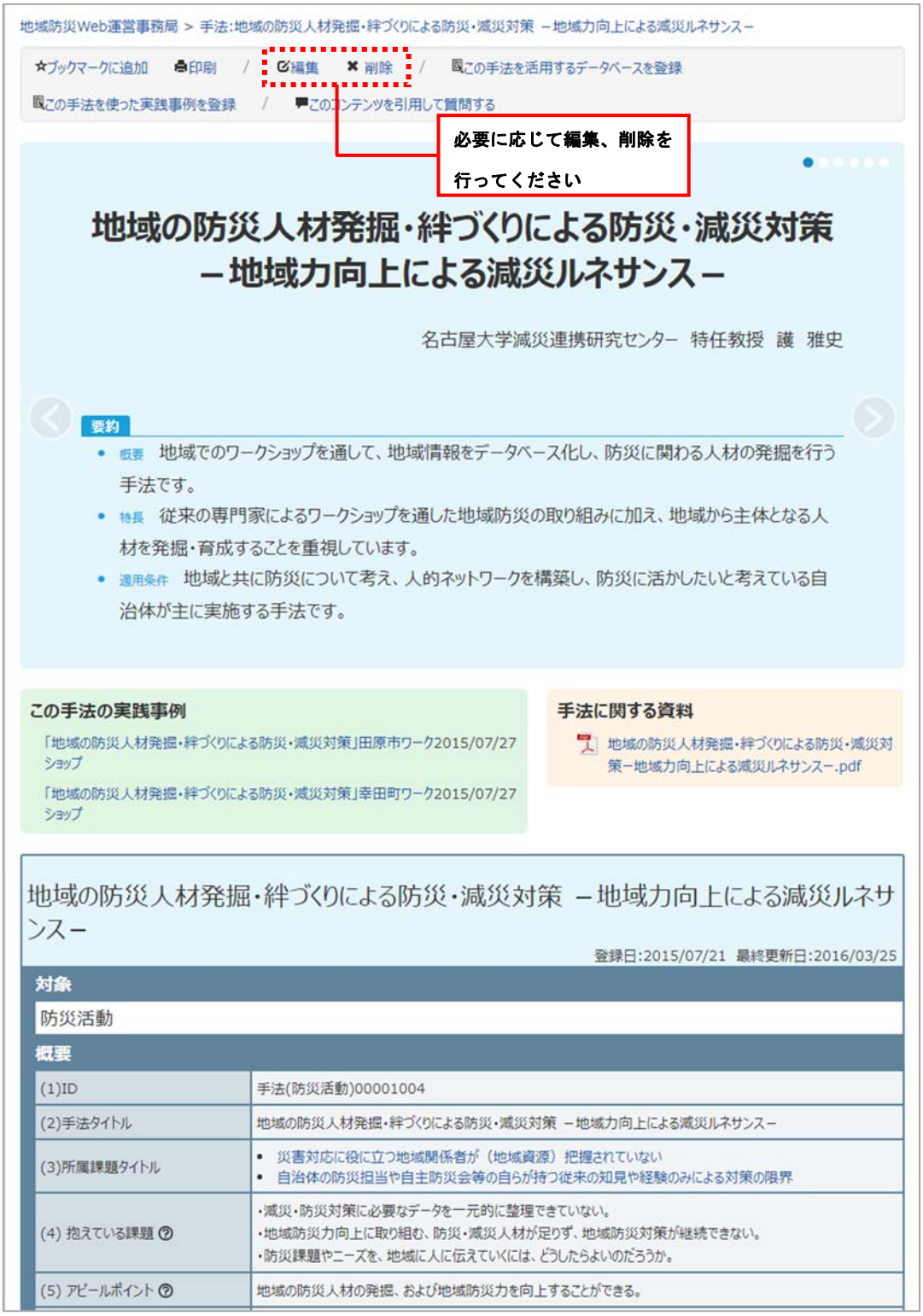


図 15　コンテンツの編集・削除

3.3. コンテンツ申請の審査

ユーザーからコンテンツ登録が申請されるとメッセージが届くので、本文内のリンクにアクセスして審査を行います。運営事務局による承認が行われないと一般ユーザーが閲覧できないので忘れずに行ってください。

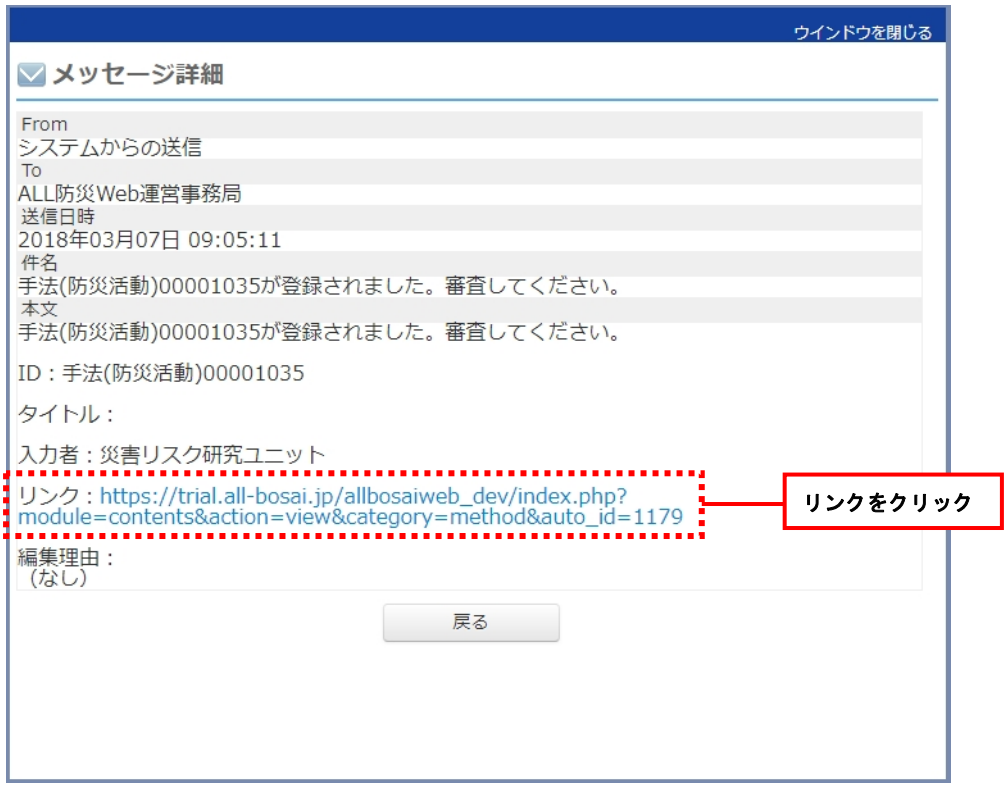


図 16　コンテンツ審査依頼メッセージ

申請されたコンテンツ内容を確認し、問題なければ承認してください。

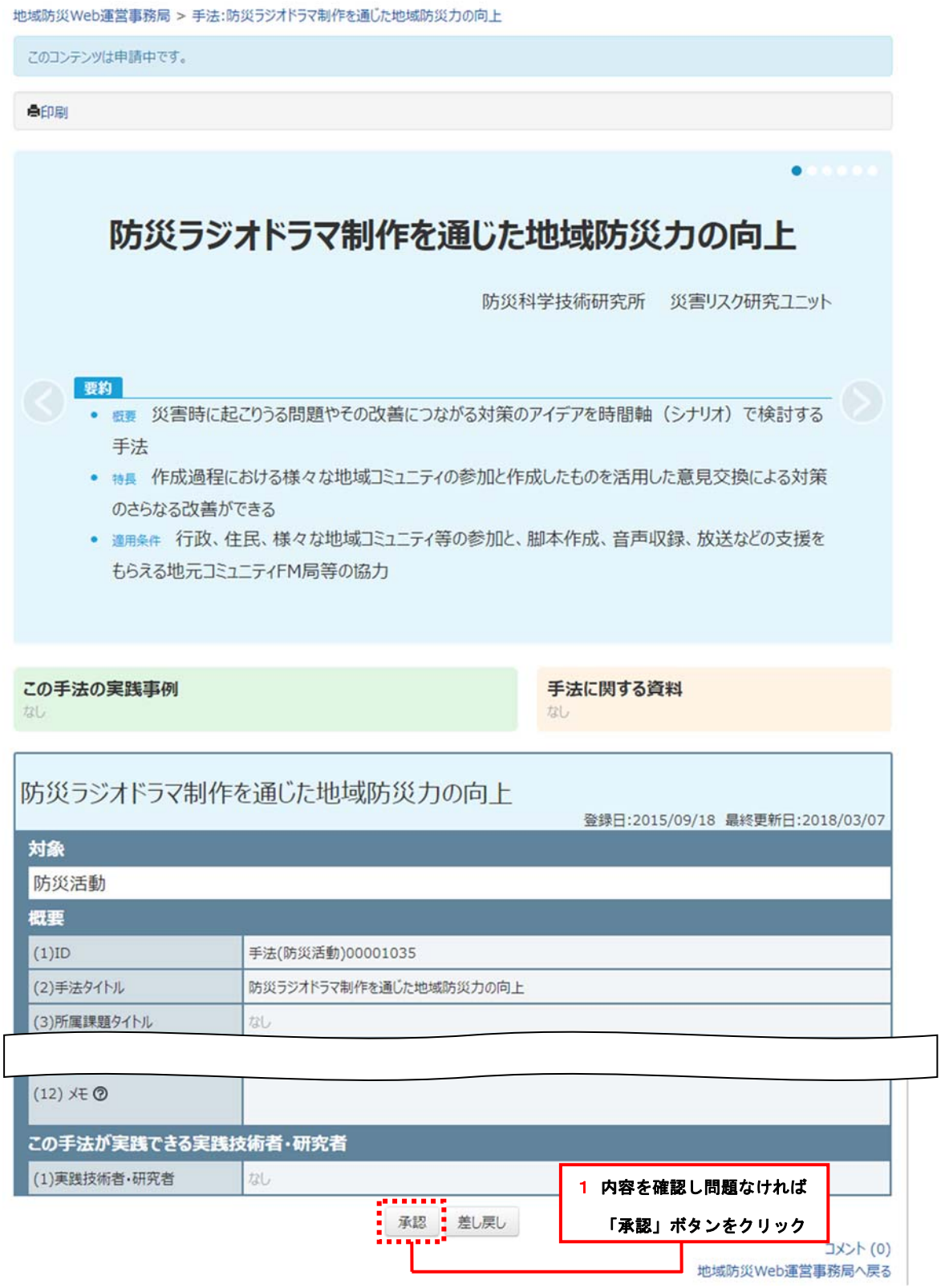


図 17　コンテンツの承認

3.4. 実践事例簡易投稿の管理

利用者に実践事例を簡易登録してもらう機能です。簡易投稿はアカウント登録をしていない利用者からも投稿を受け付けるため、より広く実践事例を収集することが可能です。投稿された内容は通常のコンテンツとは異なり、検索等に表示されません。投稿された内容を基に投稿者にヒアリングを行い、通常の実践事例コンテンツとして登録してください。

3.4.1. 投稿フォームを設定する

始めに、簡易投稿してもらうための投稿フォームを設定します。

図 18　実践事例の簡易投稿設定リンク

図 19　実践事例の簡易投稿設定

3.4.2. 投稿された実践事例一覧を確認する

投稿された実践事例一覧を確認し必要に応じて投稿者へのヒアリングを行います。投稿が埋もれてしまわないよう、一覧は定期的に CSV で出力しクリアしてください。

図 20　実践事例の簡易投稿一覧

4. マスタデータ管理

4.1. 災害の危険性マスタ管理

運営事務局アカウントでは災害の危険性のマスタデータ管理を変更することが可能です。危険性マスタは自治体の防災担当者向けと地域の防災リーダー向けの 2 種類のデータがあります。

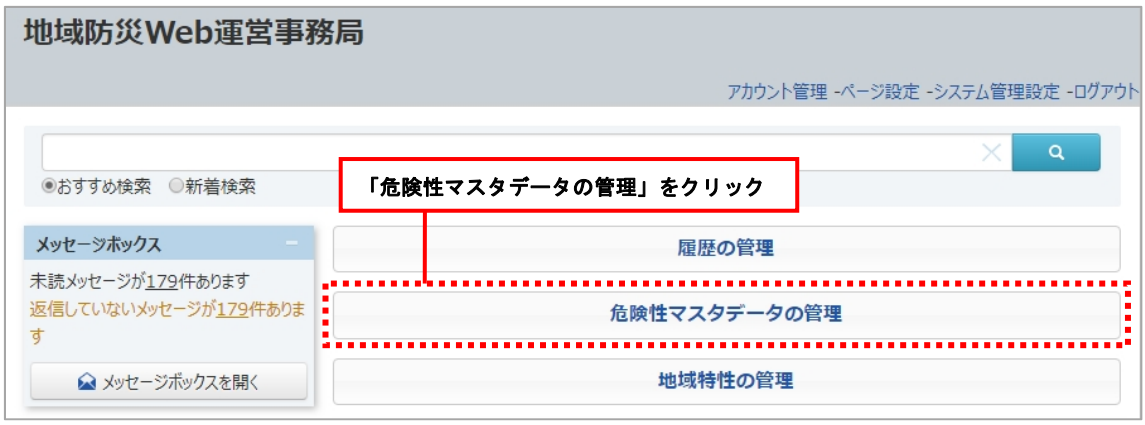


図 21　危険性マスタデータの管理リンク

4.1.1. 自治体の防災担当者向け

自治体向けの危険性マスタを変更すると各自治体を活動範囲とする防災担当者アカウントの危険性が変化します。自治体の防災担当者向けの危険性マスタを変更するには画面上部の「自治体の防災担当者」を選択します。

図 22　災害の危険性マスタ管理（自治体の防災担当者向け）

図 23　災害の危険性マスタ編集（自治体の防災担当者向け）

4.1.2. 地域の防災リーダー向け

防災リーダー向けの危険性マスタを変更すると防災リーダー向けの災害の危険性ヒストグラムの形状が変化します。地域の防災リーダーは外部サービスから危険性を取得しているため、マスタデータを変更しても各アカウントの危険性値が変化することはありません。

地域の防災リーダー向けの危険性マスタを変更するには画面上部の「地域の防災リーダー」を選択します。

災害	ランク1	ランク2	ランク3	ランク4	ランク5
地震	315728	2984760	607195	1202014	878826
液状化	5305734	192176	663904	62770	
津波	96	4			
火山	89	11			
洪水	357998	19972			
内水氾濫	4441743	858372	387862	300545	
高潮	96	4			
土砂	323006				
豪雪	1301	317	284		

図 24　災害の危険性マスタの管理（地域の防災リーダー向け）

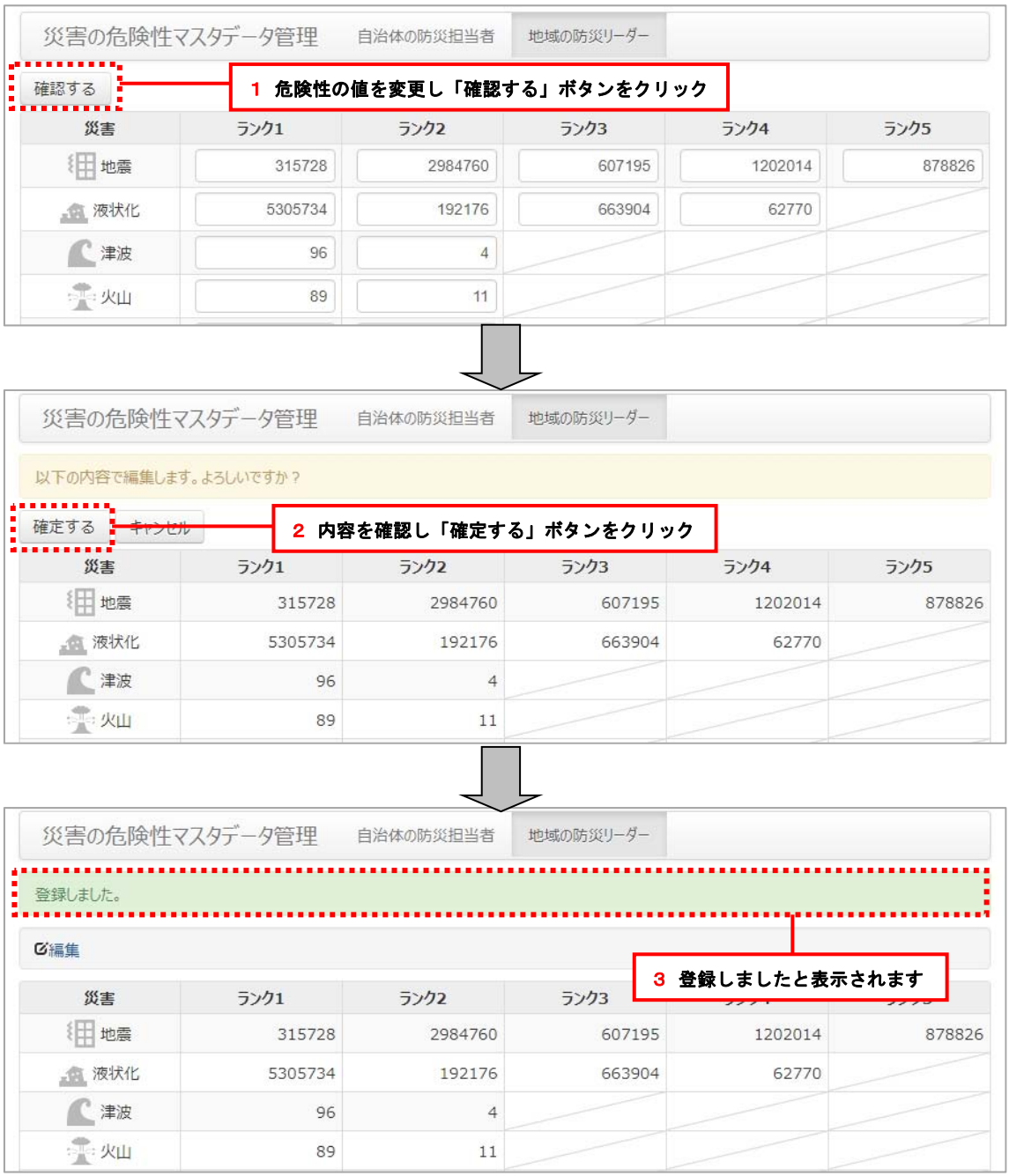


図 25　災害の危険性マスタ編集（地域の防災リーダー）

4.2. 自治体の自然特性マスタ管理

運営事務局アカウントでは自治体の自然特性マスタデータを変更することが可能です。このマスタデータは、自治体の防災担当者アカウントを作成した際のデフォルトの自然特性として利用されます。

図 26　自然特性の管理

「変更」ボタンをクリックするとダイアログが表示されるので自然特性にチェックを付け「変更する」ボタンをクリックします。

図 27　自然特性変更ダイアログ

※マスタデータの変更によって登録済みアカウントの自然特性が自動的に変更されることはありません。最新のマスタデータを適用するには、アカウント毎に自然特性の変更から「自動取得データにリセットする」をクリックする必要があります。

5. 履歴管理

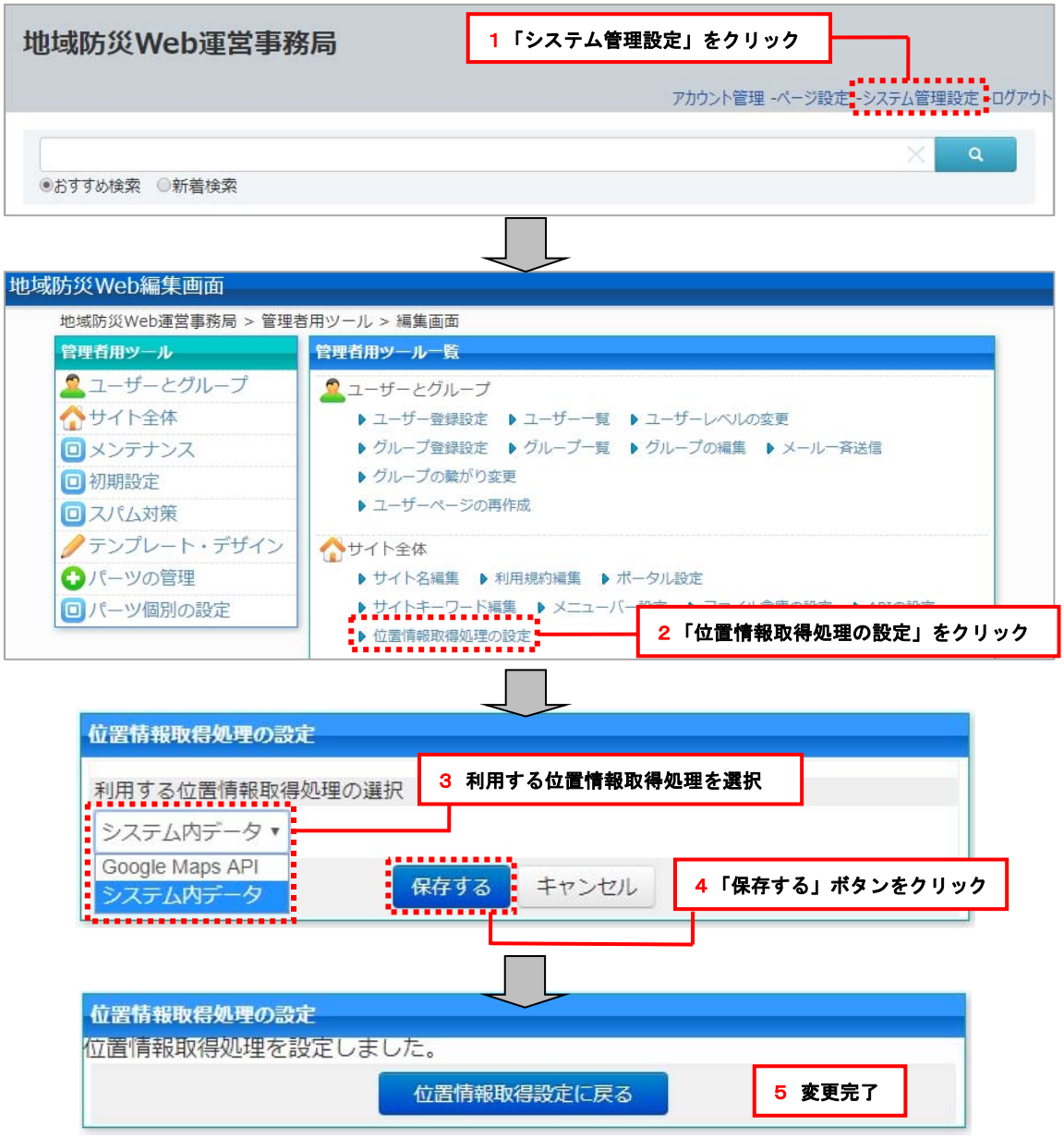
5.1. 履歴の確認

運営事務局アカウントではログインやコンテンツの登録等、全ユーザーの活動履歴を閲覧することができます。

6. その他設定

6.1. 位置情報取得処理の設定

地域防災 Web では地図表示や、住所と緯度経度の変換処理に用いる方法を変更することができます。



以上

資料８　ユースケース記述書

地域防災対策支援研究プロジェクト
課題①「統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築」

ユースケース記述書

平成 30 年 3 月

国立研究開発法人　防災科学技術研究所

本文中の記号について

No.	記号	内容
1	UC 数字	ユースケース ID
2	BR 数字	ビジネスルール ID（ビジネスルール.xlsx.を参照ください）
3	R 数字	履歴収集の対象 ID（ビジネスルール.xlsx.を参照ください【BR17】）
4	T 数字	通知内容 ID（ビジネスルール.xlsx.を参照ください【BR20】）

システム全体として、【BR86 削除の内容】に従う。

タイトル	アカウントを登録する
ID	UC1
事前条件	
事後条件	登録したアカウントのユーザページへ遷移している

ユーザアクション	システム応答
アカウントを登録したいことを伝える。	アカウント情報の入力を促す。
必要情報を入力する。	
希望する研究者は、【UC90 ALL 防災 Web のアカウントと researchmap のアカウントを紐づける】、【UC262 ALL 防災 Web のアカウントと J-GLOBAL のアカウントを紐づける】へ移行できる。	
利用規約に同意し、入力を確定する。	【BR1 アカウント登録情報】を基に入力を確認する。満たされない場合は再入力を促す。 防災担当者・実践技術者は防災 FAQ のチェックを行う。【UC75】 入力されたアカウント情報を登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R72)】 登録したアカウントのユーザページを表示する。

タイトル	ログインする
ID	UC2
事前条件	
事後条件	自分のアカウントのユーザページへ遷移している

ユーザアクション	システム応答
ログインしたいことを伝える。	ログイン情報の入力を促す。
必要情報を入力する。	
入力を確定する。	「BR2 ログイン必須情報」を基に入力を確認する。満たされない場合は再入力を促す。 入力されたアカウントのユーザページを表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R2)】

タイトル	**ログアウトする**
ID	UC3
事前条件	
事後条件	未ログインのページへ遷移している

ユーザアクション	システム応答
ログアウトしたいことを伝える。	未ログイン時のページを表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R3)】

タイトル	**質問をする**
ID	UC4
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
質問作成画面の URL を指定する。	質問の入力フォームを初期化し、質問作成画面を表示する。
質問を入力する。	
入力を確定する。	「BR3 質問情報」に従い、入力を確認する。 入力内容確認画面を、入力内容を反映して表示する。 [満たされない場合] 満たされていない旨を、質問作成画面に表示する。
内容を確認する。	公開状態で登録された質問を表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R18)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T116, 127, 140)】

タイトル	**回答をする**
ID	UC5
事前条件	対象の質問を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
質問閲覧画面の「回答する」を選択する。	ユーザが既に回答しているかどうかを、質問に登録された回答から確認する。 回答入力フォームを初期化し、回答作成画面を表示する。 [回答していた] もう回答できない旨を質問閲覧画面に表示する。
回答を入力、確定する。	入力されているか、文字数が多くないかをチェックする。 入力内容を反映した回答内容確認画面を表示する。 [チェックを通らなかった] 入力内容が正しくなかった場合には、その旨を回答作成画面に表示する。
回答を確認する。	回答を質問に登録する。今後、そのユーザはその質問に回答できなくなる。 【UC24 履歴情報を記録する（R19)】 登録が完了した旨を、質問閲覧画面に表示する。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T2, 111, 117, 128, 141, 209）】

タイトル	**質問を閲覧する**
ID	UC6
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
質問閲覧画面の URL を選択する。	対象の質問内容、回答内容を取得してそれらを質問閲覧画面に表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R94)】

タイトル	**回答にコメントをつける**
ID	UC7
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
回答にコメントしたいことを伝える。	コメント入力フォームを表示する。
コメントを入力する。	
入力を確定する。	コメントを回答に付与する。 【UC24 履歴情報を記録する（R20)】 【BR4 コメントの入力、表示】に従い、その回答に対するコメントを表示する。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T41, 118, 129, 142）】

タイトル	**回答をベストアンサーにする**
ID	UC8
事前条件	他にベストアンサーがない
事後条件	他の回答をベストアンサーに選べなくなる

ユーザアクション	システム応答
質問閲覧画面からベストアンサーにしたい回答を選択する。	ベストアンサーにして良いか確認する。 指定された回答をベストアンサーとする。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T27, 114, 206, 212）】 「BR8 ベストアンサーの扱い」に従い、この質問を解決済みとする。 「BR5 ベストアンサーは 1 質問に 1 回答のみ」に従い、その質問に対するベストアンサーは登録不可とする。

タイトル	**質問を編集する**
ID	UC9
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
質問を編集したいことを伝える。	質問の編集フォームを表示する。
質問を編集する。 事務局による編集の場合には、理由を記述する。	
質問を確定する。	「BR3 質問情報」に従い、入力を確認する。満たされない場合は再入力を促す。 【UC24 履歴情報を記録する（R21)】 事務局による編集の場合には、理由も示す。 【UC26 通知を発行する（T42, 110, 202, 208）】 編集された質問を表示する。

タイトル	**質問を引用して質問する**
ID	UC11
事前条件	引用したい質問が表示されている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
質問を引用したいことを伝える。	【BR6 質問の引用は、リンクを質問に追加する】に従い、引用情報の入っている質問作成フォームを表示する。
以下は【UC4 質問をする】と同様。	
	【UC24 履歴情報を記録する（R23)】

タイトル	**質問を削除する**
ID	UC14
事前条件	【BR10 質問の削除権限】に従い、削除可能な質問が表示されている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
削除したいことを伝える。	削除してもよいか確認する。
削除しても良いことを確認する。 事務局による削除の場合には、理由を記述する。	質問を削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R24)】 事務局による削除の場合には、理由も示す。 【UC26 通知を発行する（T38)】

タイトル	**質問の期間をチェックする**
ID	UC15
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
回答受付中の質問の情報を求める。	該当の情報を出す。
【BR11 質問の有効期限】に従い、登録日時から所定の期間が経過している質問を選択する。	選択のあった質問を回答受付終了かつ未解決とする。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T3, 113, 205, 211）】

タイトル	**ブックマークを登録する**
ID	UC18
事前条件	【BR15 ブックマーク可能コンテンツ】を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
見ているコンテンツをブックマークに登録したいことを伝える。	ブックマークとして登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R1)】 登録したことを知らせる。 ブックマークされたコンテンツは、【BR72 ブックマークされたコンテンツの取り扱い】に従う。

タイトル	**ブックマークを削除する**
ID	UC19
事前条件	ブックマークの一覧が表示されている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
不要なブックマークを選び、削除したいことを伝える。	ブックマークを削除する。 削除したことを知らせる。 【UC24 履歴情報を記録する（R79)】

タイトル	**履歴情報を記録する**
ID	UC24
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
【BR17 履歴収集の対象】となる行動を起こす。	【BR17 履歴収集の対象】に定義されている情報を記録する。 【BR18 閲覧数を記録するコンテンツ】に合致するものが閲覧された場合には、対応するコンテンツの閲覧数を増やす。

タイトル	**履歴を閲覧する**
ID	UC25
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
履歴画面へ移動する。	履歴画面を表示する。 記録されている履歴情報を、【BR17 履歴収集の対象】に従い表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R128)】

タイトル	**通知を発行する**
ID	UC26
事前条件	【BR20 通知内容】に記述されている対応 UC が発生した
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
【BR20 通知内容】より、対応する通知内容を指定する。	対応するユーザに通知を発行する。

タイトル	**ユーザページを開く**
ID	UC27
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
ユーザページの URL を指定する。	ユーザに紐づいたユーザページを表示する。 各種情報を表示する為、【UC28 パーツに情報を表示する】に遷移する。 【UC24 履歴情報を記録する（R105)】

タイトル	**パーツに情報を表示する**
ID	UC28
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
【BR21 パーツの基本情報とロジック】に従い、アカウント種別を判断してパーツを表示し、情報を求める。	【BR21 パーツの基本情報とロジック】に従い、求められた情報を返答する。
得た情報をユーザページに表示する。	

タイトル	**課題を登録する**
ID	UC31
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
課題を登録したいことを伝える。	【BR22 課題の入力項目】に従う内容の入力を促す。
必要情報を入力する。 【UC103 課題を下書き保存する】に、任意で移ることができる。	
入力を確定する。	【BR22 課題の入力項目】に従い、必須情報が満たされているか確認する。満たされていない場合には再入力を促す。 公開状態で課題を登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R36)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T151）】

タイトル	**手法を登録する**
ID	UC32
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
手法の登録ボタンを押す。	登録先の課題の選択を促す。
登録先の課題を選択する。	【BR 23 手法の入力項目】に従う内容の入力を促す。
【BR25 手法の条件】を満たす情報を基に、入力する。 【UC107 手法を下書き保存する】に、任意で移ることができる。	
入力を確定する（公開申請をする)。	【BR23 手法の入力項目】に従い、必須情報が満たされているか確認する。満たされていない場合には再入力を促す。 非公開状態で手法を登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R4)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T9, 83, 154, 162）】 チェックの結果待ちであることを知らせる。

タイトル	**実践事例を登録する**
ID	UC33
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
実践事例を登録したいことを伝える。	登録先の課題または手法の選択を促す。
登録先の手法を選択する。対応する手法がない場合には「手法なし」を選択する。	【BR24 実践事例の入力項目】に従う内容の入力を促す。
必要情報を入力する。 【UC115 実践事例を下書き保存する】に、任意で移ることができる。	
入力を確定する。	【BR24 実践事例の入力項目】に従い、必要情報が満たされているか確認する。満たされていない場合には再入力を促す。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T6, 7, 32, 86, 119, 143, 165）】 公開状態で実践事例を登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R10)】

タイトル	**課題を編集する**
ID	UC34
事前条件	編集対象の課題を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
課題の閲覧画面で、「編集する」を選択する。	【BR26 課題の編集項目】に従い、指定された課題の内容を取得する。 課題編集画面に表示する。
編集内容を入力する	
「確定」を選択する。	【BR22 課題の入力項目】の必須情報を満たしているか（課題の登録時と同じ条件を満たしているか）確認する。 満たしていなければ再入力を促す。 課題確認画面を表示する。 変更を反映する。 課題編集完了画面を表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R37)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T81, 160)】

タイトル	**手法を編集する**
ID	UC35
事前条件	編集対象の手法を見ている　【BR31 手法の操作権限】に従う　想定：軽微な修正
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「編集」を選択する。	【BR27 手法の編集項目】に従い、手法内容を取得する。 取得した内容を手法編集画面に表示する。
編集する。 どこを変更したのかを記述した自由文（編集したところ、その理由）も入力する。 課題差し替えレベルの編集もあり（事務局の管理にゆだねる） 【UC107 手法を下書き保存する】へ移行できる。	
確定する。 「確認」を選択する。	【BR23 手法の入力項目】の必須情報を満たしているか確認する。満たしていなければその旨を手法編集画面に表示する。 手法確認画面を表示する。 A)運営事務局による変更の場合 登録者に手法の編集が行われたことを通知する。 どこが何故編集されたのか、修正内容コメント（フリーフォーム）も出す。 【UC26 通知を発行する（T17)】 編集内容を保存し反映する。 B)登録者による変更の場合 運営事務局に手法の編集が行われたことを通知し、チェックを促す。 【UC26 通知を発行する（T9)】 【UC24 履歴情報を記録する（R5)】 チェックの結果待ちであることを知らせる。 編集内容を保存する。反映はしない。

タイトル	**実践事例を編集する**
ID	UC36
事前条件	編集対象の実践事例を見ている　【BR32 実践事例の操作権限】に従う
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「編集」を選択する。	【BR28 実践事例の編集項目】に従い、実践事例内容を取得する。 取得した内容を実践事例編集画面に表示する。
編集する。 運営事務局が他のユーザの実践事例を編集する場合は、自由文で編集理由も記述する。 【UC115 実践事例を下書き保存する】へ移行できる。	
確定する。 「確認」を選択する	【BR24 実践事例の入力項目】の必要情報を満たしているか確認する。満たしていなければその旨を実践事例編集画面に表示し、再入力を促す。 [運営事務局が他のユーザの実践事例を編集した場合] --編集理由が記述されているかを確認する。記述されていなければその旨を実践事例編集画面に表示し、再入力を促す。-- 保存してよいか,確認画面を表示して確認する 編集内容を保存し反映する。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T18, 94, 198）】 [登録者による編集の場合] --【UC24 履歴情報を記録する（R11)】--

タイトル	**課題を削除する**
ID	UC37
事前条件	削除対象の課題を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
課題の閲覧画面で、「削除する」を選択する。	【 BR29 課題削除に伴う情報の削除】に従い、削除出来るか確認する。 [OK]本当に良いか確認する [NG]削除できない旨を表示する
「OK」を選択する。	【 UC24 履歴情報を記録する（ R40)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【 UC26 通知を発行する（ T82, 153, 161)】 削除済み画面を表示する

タイトル	**手法を削除する**
ID	UC38
事前条件	削除対象の手法を見ている　【BR31 手法の操作権限】に従う
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「削除」を選択する。 運営事務局は自由文で理由を記述。 確定する。	運営事務局の場合は、その理由を記述するフォームを表示する。 指定の手法を削除してよいか確認する
「OK」を選択する。	指定の手法を削除する。 【BR30 手法削除に伴う情報も削除】に従い、該当する情報も削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R8)】 事務局による削除の場合には登録者に削除したことを通知する。理由も。 【UC26 通知を発行する（T22、差し戻しの場合はT224)】 手法削除完了画面を表示する。

タイトル	**実践事例を削除する**
ID	UC39
事前条件	削除対象の実践事例を見ている　【BR32 実践事例の操作権限】に従う
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「削除」を選択する。 運営事務局は自由文で理由を記述。 確定する。	運営事務局の場合は、その理由を記述するフォームを表示する。 指定の手法を削除してよいか確認する。
「OK」を選択する。	指定の実践事例を削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R12)】 事務局による削除の場合には登録者に削除したことを通知する。理由も。 【UC26 通知を発行する（T23)】 実践事例削除完了画面を表示する。

タイトル	**実践事例を公開する**
ID	UC44
事前条件	【BR32 実践事例の操作権限】に従う　実践事例が非公開になっている　対象の実践事例を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「公開」を選択する。 運営事務局は自由文で理由を記述。 確定する。	運営事務局の場合は、その理由を記述するフォームを表示する。 公開してしまってよいか確認する。
「OK」を選択する。	実践事例を公開する。 【UC24 履歴情報を記録する（R13)】 事務局による操作の場合には通知をする。 理由も。 【UC26 通知を発行する（T21)】

タイトル	**実践事例を非公開にする**
ID	UC45
事前条件	【BR32 実践事例の操作権限】に従う　実践事例が公開されている　対象の実践事例を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「非公開」を選択する。 運営事務局は自由文で理由を記述。 確定する。	運営事務局の場合は、その理由を記述するフォームを表示する。 非公開にしてしまってよいか確認する。
「OK」を選択する。	実践事例を非公開にする。非公開時の取り扱いについては、【BR33 非公開コンテンツの閲覧】に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R14)】 事務局による操作の場合には通知をする。 理由も。 【UC26 通知を発行する（T21)】

タイトル	**新規登録された手法をチェックする**
ID	UC46
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
新規登録された手法を開く。	手法を表示する。
内容の妥当性を確認する。(ガイドラインなど　何かしらの基準)	
妥当であれば「受理」を選択する。 妥当でなければ理由を入力し、「差し戻す」を選択する。 （将来的に→複数人によるチェック）	A)受理であれば手法を公開して良いか確認する。 「OK」であれば公開する。 B) 拒否であれば手法を差しもどす。 理由が入力されているか確認する。 入力されていなければその旨を手法閲覧画面に表示する。 入力されていれば手法を差しもどして良いか確認する。 「OK」であれば手法を「差し戻し」状態にする 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T83, 154, 162, 90, 130, 169, 174, 10）】 【UC24 履歴情報を記録する（R109)】

タイトル	**手法の登録を依頼する**
ID	UC47
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
手法の基となる情報を人に渡す。(アカウントの譲渡は現実で　ID,PASS 渡して)	
代わりに登録してくれるよう頼む。	

タイトル	**編集された手法をチェックする**
ID	UC48
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
編集後の手法チェックの URL を選択する。	編集後の手法を取得し、編集された手法のチェック画面に表示する。編集前の手法（現在公開されている手法）も編集された手法のチェック画面に表示する。
編集前の手法と見比べて、妥当性を確認する。（ガイドラインなどを使用）	
妥当であれば「受理」を選択する。 妥当でなければ理由を入力し、「差し戻す」を選択する。	A)受理であれば手法を公開して良いか確認する。 「OK」であれば公開する。 B) 拒否であれば手法を差しもどす。 理由が入力されているか確認する。 入力されていなければその旨を手法閲覧画面に表示する。 入力されていれば手法を差しもどして良いか確認する。 「OK」であれば手法を「差し戻し」状態にする 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T10, 89, 168, 173）】 【UC24 履歴情報を記録する（R110)】

タイトル	**キーワードで検索をする**
ID	UC49
事前条件	検索するところにいる
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
キーワードを入力する。	
検索実行したいことを伝える。	【BR34 検索対象】に対してキーワード検索を行い、結果を取得する。 【UC24 履歴情報を記録する（R16)】 結果を表示する。ログインユーザの場合には、【BR35 検索結果をユーザに適した順で並べ替える方法】に従い、ユーザに適した結果順で表示する。そうでなければ、【BR36 検索結果を新着順で表示する方法】に従い、新着順で表示する。なお、キーワードがない場合には全件検索となる。並べ替えは上記に従う。 表示する項目は、【BR37 検索結果に一覧表示する内容】に従う。 【BR38 検索対象毎の絞り込み情報】に従い、検索対象毎に、共通する絞り込み情報を表示する。

タイトル	**検索結果を並び替える**
ID	UC51
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
検索結果の表示を、「ユーザに適した順」か「新着順」、「古い順」、「件数の多い順（手法 1 件など)」で選択する。未ログインユーザは、「ユーザに適した順」以外が選べる。	指定の順番で結果を表示する。【BR35 検索結果をユーザに適した順で並び替える方法】【BR36 検索結果を新着順で表示する方法】に従う。 表示件数は、ユーザの任意で変更できる 5,10,25,50,100（他の検索システムを参考に）

タイトル	**検索結果を絞り込む**
ID	UC52
事前条件	検索した後　絞り込み情報が表示されている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
絞り込み情報を選択する。	現在の検索結果から、指定の情報を持つものを絞り込んで表示する。 表示方法は【UC49 キーワードで検索をする】と同じ。 何を絞り込みで出すのか？ カテゴリ化できそうなもので絞っていく

タイトル	**課題を閲覧する**
ID	UC53
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
課題の表示を要請する。	要請された課題を表示する。表示内容は【BR40 課題の表示内容】に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R31)】

タイトル	**手法を閲覧する**
ID	UC54
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
手法の表示を要請する。	要請された手法を表示する。表示内容は【BR41 手法の表示内容】【BR60 「この手法に精通した実践技術者」】に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R32)】

タイトル	**実践事例を閲覧する**
ID	UC55
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
実践事例の表示を要請する。	要請された実践事例を表示する。表示内容は【BR42 実践事例の表示内容】に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R33)】

タイトル	**手法にコメントする**
ID	UC56
事前条件	コメントしたい手法を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
コメントの入力欄にコメントを入力する。	
「投稿」を選択する。	入力内容を登録し、手法に反映する。コメントとして表示される要素は、【BR43 コメントの要素】に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R24, 91, 120, 133, 144, 175)】 コメントが付いたことを手法の登録者に通知する。 【UC26 通知を発行する（T24)】

タイトル	**実践事例にコメントする**
ID	UC57
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
コメントの入力欄にコメントを入力する。	
「投稿」を選択する。	入力内容を登録し、実践事例に反映する。コメントとして表示される要素は、【BR43 コメントの要素】に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R15)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T25, 95, 123, 136, 147, 199）】

タイトル	**メッセージを新規作成する**
ID	UC58
事前条件	送信したいユーザの公開ページを表示している
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「メッセージ作成」を選択する。	【BR44 メッセージを入力する】に従い、新規作成フォームを表示する。

タイトル	**メッセージに返信する**
ID	UC59
事前条件	受信メッセージ画面を表示している
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「返信」を選択する	メッセージの新規作成フォームをだす。 予め、【BR45 返信メッセージの初期記述】に従う内容を自動入力しておく。

タイトル	**メッセージを送信する**
ID	UC60
事前条件	メッセージの新規作成フォームがある
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「送信」を選択する。	フォームを閉じる。 メッセージを対象ユーザへ紐付け、登録する。振り分け条件に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R17)】 送信が完了したことを知らせる。 【UC62 メッセージを受信する】に遷移する。

タイトル	**メッセージを保存する**
ID	UC61
事前条件	メッセージの新規作成フォームがある
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「保存」を選択する	フォームを閉じる。 メッセージを「未送信メッセージ」として保存する。 保存が完了したことを現在の画面に表示する。

タイトル	メッセージを受信する
ID	UC62
事前条件	誰かによってメッセージが送信された
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
	リマインド機能を使用し、ユーザへ受信通知を発行する。【UC26 通知を発行する（T12)】 転送が設定されていたら、転送する。

タイトル	受信メッセージの一覧を表示する
ID	UC63
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
受信メッセージ一覧画面の URL を指定する	受信メッセージの一覧を取得する。 日付の新しい順で、受信メッセージ一覧画面に表示する。

タイトル	送信メッセージの一覧を表示する
ID	UC64
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
送信メッセージ一覧画面の URL を指定する。	送信メッセージの一覧を取得する。 日付の新しい順で、送信メッセージ一覧画面に表示する。

タイトル	未送信メッセージの一覧を表示する
ID	UC65
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
未送信メッセージ一覧画面の URL を指定する。	未送信メッセージの一覧を取得する。 新しい順で、未送信メッセージ一覧画面に表示する。 メッセージの再作成、削除が可能。

タイトル	**メッセージを削除する**
ID	UC66
事前条件	メッセージの一覧が表示されている。または、メッセージを閲覧している。
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
削除するメッセージを選択する。	削除してよいか確認する。
「OK」を選択する。	選択のメッセージを削除する。 削除したことを、一覧画面に表示する。

タイトル	**メッセージの返信忘れを通知する**
ID	UC67
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
【BR46 メッセージの返信忘れの判定】を満たすメッセージがあるかどうかチェックする。	
存在した場合には、返信忘れのメッセージがあることを表示する。	

タイトル	**募集をする**
ID	UC68
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
募集内容入力画面の URL を指定する。	募集内容入力画面を表示する。入力可能な内容は【BR47 募集の入力内容】に従う。
募集内容を入力する。	
募集内容を確定する。	【BR47 募集の入力内容】のうち、必須項目が満たされていなければ再入力を促す。 募集内容確認画面を表示する。
「OK」を選択する。	非公開で募集を保存する。非公開の募集は、登録したユーザと運営事務局のみが閲覧できる。 運営事務局に募集の確認を依頼する。 【UC26 通知を発行する（T49)】 【UC24 履歴情報を記録する（R25)】 募集閲覧画面を表示し、確認待ちであることを知らせる。

タイトル	**募集を取り消す**
ID	UC69
事前条件	自分の募集を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「募集を取り消す」を選択する。	取り消してよいか確認する。 事務局による削除の場合には、理由を記述させる。空白不可。
「OK」を選択する。	募集を削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R26)】 事務局による削除の場合には、理由を含めて通知する。【UC26 通知を発行する（T39、差し戻しの場合は T227)】 募集削除完了画面を表示する。

タイトル	**応募に対してコメントする**
ID	UC70
事前条件	自分の募集を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
応募の、「コメントする」を選択する。	コメントを入力させる。空白不可。
入力を確定する。	コメント内容を反映してよいか確認する。
「OK」を選択する。	コメントを登録し、募集閲覧画面に反映する。 【UC24 履歴情報を記録する（R27)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T126, 150）】

タイトル	**募集を終了する**
ID	UC71
事前条件	自分の募集を見ている 未終了の募集のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「終了する」を選択する。	終了する理由を記述させる。空白不可。
終了理由を記述し、確定する。	終了で本当に良いか確認する。
「OK」を選択する。	募集を終了状態にする。 終了状態となった募集閲覧画面を表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R28)】 募集者による終了の場合は、応募者に理由を含めて通知する。【UC26 通知を発行する（T47)】 事務局による終了の場合には、募集者に理由を含めて通知する。【UC26 通知を発行する（T40)】 その他下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T107）】

タイトル	**募集内容を編集する**
ID	UC72
事前条件	自分の募集を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「編集」を選択する。	対象の内容を取得し、募集内容編集画面へ表示する。 編集可能とする項目は、【BR49 募集の編集内容】に従う。
編集する。	
確定する。	必須条件を満たすか、入力を確認する。満たされない場合はその旨を募集内容編集画面へ表示し、再入力を促す。 A)ログイン一般ユーザの場合 非公開で保存する。 運営事務局に募集の確認を依頼する。 【UC26 通知を発行する（T49)】 B)運営事務局の場合 公開で保存する。 【UC24 履歴情報を記録する（R29)】 保存された募集の閲覧画面を表示する。

タイトル	**応募する**
ID	UC73
事前条件	他人の募集を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「応募」を選択する。	応募内容入力画面を表示する。
記述する。	
確定する。	空欄であれば入力するよう応募内容入力画面に表示する。 応募内容確認画面を表示する。
「確認」を選択する。	応募を登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R30)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26通知を発行する(T50, 108, 125, 139, 149, 221)】 募集閲覧画面を表示する。

タイトル	**防災対策チェックリストを閲覧する**
ID	UC74
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災対策チェックリストを要求する。	【BR50 防災対策チェックリストの表示形式】に基づき、防災対策チェックリストを表示する。

タイトル	**防災対策チェックリストの項目をチェックする**
ID	UC75
事前条件	防災対策チェックリストを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
項目を選び、チェックする。	【BR51 チェックを入れる際のルール】に従い、チェックを入れる。
チェックを確定する。	【BR52 チェック状況を保存する際のルール】に従い、チェック状態を保存する。 【UC24 履歴情報を記録する（R48)】

タイトル	**防災対策チェックリストを作成する**
ID	UC76
事前条件	課題を登録しようとしている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
課題を登録する。	登録先の項目は指定されているので、自動的に防災対策チェックリストの構造も出来上がる。

タイトル	**アカウントの設定を変更する**
ID	UC79
事前条件	運営事務局以外は自アカウントしかできない
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウントの設定を変更したいことを伝える。	変更したい設定を聞く。【BR55 変更できるアカウント情報】に従う。
変更したい設定とその内容を伝える。	変更を保存する。 変更を反映する。

タイトル	**退会する**
ID	UC80
事前条件	自アカウント
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
システムから退会したいことを伝える。	ID に対するパスワードを聞く。
ID に対するパスワードを伝える。	本人であることを確認する。 本当に退会しても良いか聞く。
退会しても良いことを伝える。	退会を受け付けアカウントの退会フラグを設定する。 【UC24 履歴情報を記録する（R83)】 【UC26 通知を発行する（T80)】

タイトル	**アカウントを制御する**
ID	UC84
事前条件	一覧を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウントの制御を申請する。	制御する。制御されたアカウントは【BR63 制御されたアカウントの制限】による制限を受ける。 制御したことを伝える。 【UC24 履歴情報を記録する（R120)】 【UC26 通知を発行する（T79)】

タイトル	**アカウントの制御を解除する**
ID	UC85
事前条件	一覧を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
制御の解除を申請する。	指定されたアカウントの制御を解除する。 制御が解除されたことを伝える。 【UC24 履歴情報を記録する（R121)】 【UC26 通知を発行する（T30)】

タイトル	**アカウントの一覧を表示する**
ID	UC86
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウントの一覧が見たいことを伝える。	アカウントの一覧、アカウントの登録情報を表示する。 【BR1 アカウント登録情報】 また公開ページ、ユーザページへのリンクを表示する。

タイトル	**手法に紐づかない実践事例を解決する**
ID	UC87
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
対象の実践事例を編集したいことを伝える。	実践事例の内容を取得し、実践事例編集画面に表示する。
【BR59 手法に紐づかない実践事例の対処】に従い、実践事例を編集する。	【UC36 実践事例を編集する】に従う。 （【UC26 通知を発行する（T8)】）

タイトル	**活動地域を設定する**
ID	UC89
事前条件	自治体の防災担当者に関しては、自分の自治体全体が表示されれば良いので、わざわざ地図で選択する必要もない（名前で指定）
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
活動地域を設定したいことを伝える。	設定を促す。
自分の活動地域を地図から選ぶ。	
決定する。	活動地域として登録する。 登録者が地域の防災リーダーである場合には、登録地域から自然特性・社会特性の候補を出し、そこから選ばせる。選ばれたものをアカウント情報として登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R106)】

タイトル	**ALL 防災 Web のアカウントと researchmap のアカウントを紐づける**
ID	UC90
事前条件	アカウント登録時（研究者）
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「researchmap に紐づける」を選択する。	researchmap の WebAPI を利用し、ユーザの情報を検索させる。
名前などで検索する。 該当するアカウントを選択する。	researchmap からそのアカウントの情報を取得する。【BR64 researchmap のアカウント情報の取得】に従う。【BR66 researchmap と紐づいたアカウントの取り扱い】にも従う。 取得した情報を自動入力する。 【UC1 アカウントを登録する】へ戻る。

タイトル	**ALL 防災 WEB の手法・調査・データベースに J-GLOBAL 上の研究者を紐づける**
ID	UC91
事前条件	共著者（開発者）を手法・調査・データベースに入れるとき
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
手法・調査・データベースの登録画面で、「J-GLOBAL と紐づける」を選択する。	J-GLOBAL の研究者を検索させる。（J-GLOBAL WebAPI の検索を利用）
名前などで検索する。 該当する情報を選択する。	ID のみ取得し、紐づける。 （名前と一緒に URL がつく） *researchmap から J-GLOBAL への情報引き渡しはバッチ処理によって行われている。が、最大 2,3 日ほどの遅れが生じる場合がある。

タイトル	**手法・調査・データベースを researchmap の MISC(その他)として登録する**
ID	UC92
事前条件	研究者がアカウント連携をしている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
researchmap 上で登録する。	

タイトル	**researchmap に登録してある論文をこちらのアカウントに紐づける**
ID	UC93
事前条件	アカウントの編集時
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
researchmap の論文を、ALL 防災 Web のアカウントに紐づけたいことを示す。	researchmap のアカウントを教えてもらう。
教える。	アカウントに紐づいた論文をもらう。
アカウントの情報を決定する。	紐づける。

タイトル	**ALL 防災 Web の手法・調査・データベースに、J-GLOBAL に登録してある論文を紐づける**
ID	UC94
事前条件	手法・調査・データベースの登録、編集時
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
論文を紐づけたいと示す。	どの論文がいいのか聞く。
論文を指定する。	その論文の情報を持ってきて紐づける。

タイトル	**アカウントを削除する**
ID	UC96
事前条件	一覧を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウントを削除したいことを伝える。	アカウントを削除する。アカウントに紐づいたデータの取り扱いは、退会と同一で、【BR56 アカウント削除に伴う削除】に従う。

タイトル	**課題を下書き保存する**
ID	UC103
事前条件	課題を新規登録中、編集中
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「下書き保存」を選択する	下書きとして、非公開で保存する。 下書き保存された課題を閲覧画面に表示する 【 UC24 履歴情報を記録する（ R41)】

タイトル	**下書き保存している課題の一覧を表示する**
ID	UC104
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
一覧の表示の URL を指定する。	課題を取得する。 全てを、課題一覧画面に表示する。

タイトル	**下書き保存している課題を再編集する**
ID	UC105
事前条件	下書きの一覧を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「編集」を選択する。	課題の内容を取得する。 課題編集画面に表示する。 【 UC34 課題を編集する】へ移行する。

タイトル	**下書き保存している課題を削除する**
ID	UC106
事前条件	下書きの一覧を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「削除」を選択する。	削除してよいか確認する。
「OK」を選択する	下書きを削除する。
	課題削除完了画面を表示する。【 UC24 履歴情報を記録する（ R107)】

タイトル	**手法を下書き保存する**
ID	UC107
事前条件	チェックしてもらいたくない場面
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「下書き保存」を選択する	下書きとして、非公開で保存する。 閲覧画面に表示する 【UC24 履歴情報を記録する（R41)】

タイトル	下書き保存している手法の一覧を表示する
ID	UC108
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
一覧の表示の URL を指定する。	ユーザの手法（運営事務局の場合は、全ユーザ）を取得する。 全てを、手法一覧画面に表示する。

タイトル	下書き保存している手法を再編集する
ID	UC109
事前条件	下書き一覧、または下書きを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「編集」を選択する。	内容を取得する。 手法が新規登録されるものであれば、 手法登録画面に取得内容を表示し、【UC32 手法を登録する】へ移行する。 既に公開されたものを編集しているものであれば、 手法編集画面に取得内容を表示し、【UC35 手法を編集する】へ移行する。

タイトル	下書き保存している手法を削除する
ID	UC110
事前条件	下書き一覧, 又は下書きを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「削除」を選択する。	削除してよいか確認する。
「OK」を選択する。	下書きを削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R108)】 手法削除完了画面を表示する。

タイトル	**手法のコメントを変更する**
ID	UC111
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
変更したいコメントの、「編集」を選択する。	コメント内容を入力させる。
入力し、「確定」を選択する。 運営事務局による他ユーザのコメントの変更の場合は、その理由も記述する。	変更を反映する。コメント内容のみが変更される。 運営事務局による他ユーザのコメントの変更の場合は、コメント主に理由を含めて通知する。理由が記述されていなければ、その旨を手法閲覧画面に表示する。 【UC26 通知を発行する（T34)】 【UC24 履歴情報を記録する（R41)】

タイトル	**手法のコメントを削除する**
ID	UC112
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
コメントの「削除」を選択する。	運営事務局による他ユーザのコメント削除の場合には、削除理由を入力させる。
（運営事務局　削除理由を記入、確定）	削除してよいか確認する。 対象のコメントを削除する。 運営事務局による他ユーザのコメント削除の場合には、コメント主に理由を含めて通知する。理由が記述されていなければ、その旨を手法閲覧画面に表示する。 【UC26 通知を発行する（T35)】 【UC24 履歴情報を記録する（R41)】

タイトル	**チェック待ち一覧を表示する**
ID	UC113
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
一覧の表示の URL を指定する。 研究者：自分のもの 運営事務局：すべて	ユーザの手法を取得する。 全てを、手法一覧画面に表示する。

タイトル	**差し戻された手法を再編集する**
ID	UC114
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
手法一覧画面か、差し戻された手法の閲覧画面から、「編集」を選択する。	対象が新規か編集かをチェックする。 新規の場合は、差し戻された手法を登録画面に表示する。 編集の場合は、編集画面に表示する。 差し戻された理由も、手法と一緒に表示する。
【UC35 手法を編集する】【UC32 手法を登録する】へ移行する。	

タイトル	**実践事例を下書き保存する**
ID	UC115
事前条件	実践事例を新規登録中、編集中
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「下書き保存」を選択する	下書きとして、非公開で保存する。 実践事例閲覧画面を表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R43】

タイトル	**下書き保存している実践事例の一覧を表示する**
ID	UC116
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
一覧の URL を指定する。	ユーザの実践事例（運営事務局の場合は、全ユーザ）を取得する。 全てを、実践事例一覧画面に表示する。

タイトル	**下書き保存している実践事例を再編集する**
ID	UC117
事前条件	下書きの一覧、または下書きを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「編集」を選択する。	内容を取得する。 実践事例が新規登録されるものであれば、実践事例登録画面に取得内容を表示し、【UC33 実践事例を登録する】へ移行する。 既に公開されたものを編集しているものであれば、実践事例編集画面に取得内容を表示し、【UC36 実践事例を編集する】へ移行する。

タイトル	**下書き保存している実践事例を削除する**
ID	UC118
事前条件	下書きの一覧を見ている,または下書きを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「削除」を選択する。	削除してよいか確認する。
「OK」を選択する。	下書きを削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R73)】 実践事例削除完了画面を表示する。

タイトル	**実践事例のコメントを変更する**
ID	UC119
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
変更したいコメントの、「編集」を選択する。	コメント内容を入力させる。
入力し、「確定」を選択する。 運営事務局による他ユーザのコメントの変更の場合は、その理由も記述する。	変更を反映する。コメント内容のみが変更される。 運営事務局による変更の場合は、コメント主に理由を含めて通知する。理由が記述されていなければ、その旨を実践事例閲覧画面に表示する。 【UC26 通知を発行する（T36)】 【UC24 履歴情報を記録する（R46)】

タイトル	**実践事例のコメントを削除する**
ID	UC120
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
コメントの「削除」を選択する。	運営事務局による他ユーザのコメント削除の場合には、削除理由を入力させる。
（運営事務局　削除理由を記入、確定）	削除してよいか確認する。 対象のコメントを削除する。 運営事務局による削除の場合には、コメント主に理由を含めて通知する。理由が記述されていなければ、その旨を実践事例閲覧画面に表示する。 【UC26 通知を発行する（T37)】 【UC24 履歴情報を記録する（R47)】

タイトル	**質問一覧を表示する**
ID	UC122
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
質問一覧画面の URL を選択する。	一覧を表示する。 [ユーザが運営事務局] 全ての質問を取得し、質問一覧画面に一覧表示する。 [ユーザが運営事務局ではないログインユーザ] そのユーザの投稿のみを取得し、質問一覧画面に表示する。

タイトル	**募集一覧を表示する**
ID	UC123
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
募集一覧画面の URL を指定する。	ログイン一般ユーザの場合は、自分の募集を取得する。 運営事務局の場合は、すべての募集を取得する。 一覧を表示する。 公開中、公開不可（＋理由）等の情報が見られる。

タイトル	**募集の期間をチェックする**
ID	UC131
事前条件	毎日
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
応募受付中の募集の情報を求める。	該当の情報を出す。
設定された募集の期日に従い、登録日時から所定の期間が経過している質問を選択する。	募集主に、期日が過ぎたこと,1 週間延長がなければ募集を終了することを通知する。既に通知済みのものには通知はしない。【UC26 通知を発行する（T51)】 1 週間延長のないもの（期限切れ且つ締切から 1 週間経過している）は終了する。通知する。【UC26 通知を発行する（T58)】 その他下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T107, 216, 220）】

タイトル	**受信メッセージを表示する**
ID	UC133
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
受信メッセージの URL を指定する。	指定のメッセージを取得する。 受信メッセージ画面に表示する。 表示したことを記録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R49)】 未読メッセージの場合は既読とする。 【BR73 未読メッセージを表示した場合の処理】に従う。

タイトル	**送信メッセージを表示する**
ID	UC134
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
送信メッセージの URL を指定する。	指定のメッセージを取得する。 送信メッセージ画面に表示する。未読か既読かも確認できる。 表示したことを記録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R50)】

タイトル	**未送信メッセージを表示する**
ID	UC135
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
受信メッセージの URL を指定する。	指定のメッセージを取得する。 未送信メッセージ画面に表示する。 表示したことを記録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R51)】

タイトル	**メッセージを検索する**
ID	UC136
事前条件	いずれかの一覧を見ている。
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
検索したい語句を入力する。 確定する。	対象のメッセージを検索する。受信一覧表示なら受信メッセージから。 検索の範囲は【BR74 メッセージの検索範囲】に従う。 一致するメッセージを一覧表示する。

タイトル	**メッセージをフォルダに分ける**
ID	UC137
事前条件	いずれかの一覧表示中
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
移動させたいメッセージを選択する。 「メッセージの移動」を選択する。	移動先を選択させる。
移動先を選択する。	対象に移動する 送信→受信，未送信 受信→送信，未送信 の移動と、未送信 の他フォルダへの移動は不可

タイトル	**メッセージの受信を拒否する**
ID	UC138
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
メッセージ設定画面の URL を指定する。	メッセージ設定画面を開く。
以下の内いずれかを選択し、確定する。 A)すべてのメッセージを拒否する B)システムからのメッセージのみを拒否し、他ユーザからのメッセージは受け取る C)システムからのメッセージのみを許可し、他ユーザからのメッセージを拒否する。 D)すべてのメッセージを受け取る（拒否しない） 【BR76 メッセージ拒否の制限】に従う。	設定を保存する。 （ A)C)の場合は、他ユーザがその人にメッセージを送信する手段を絶つ。） 【UC24 履歴情報を記録する（R52)】

タイトル	**メッセージの自動振り分けを設定する**
ID	UC139
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
メッセージ設定画面の URL を指定する。	メッセージ設定画面を開く。
【BR77 振り分け設定内容】に従う振り分け条件を入力する。 確定する。	設定を保存する。

タイトル	**メッセージにフラグを立てる**
ID	UC140
事前条件	いずれかの一覧
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
フラグを立てたいメッセージを選択する。 「フラグを立てる」を選択する。	対象メッセージにフラグを立てる。

タイトル	**メッセージをソートする**
ID	UC141
事前条件	いずれかの一覧
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
【BR78 ソート条件】より、ソート条件を指定する。	フォルダ内の全て（受信メッセージ一覧ならそのフォルダ内すべての受信メッセージ）をソートする。

タイトル	**フォルダを作る**
ID	UC142
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
いずれかの一覧画面上で、「フォルダ作成」を選択する。	フォルダ作成先と、フォルダ名を入力させる。
入力を確定する。	フォルダを作成する。

タイトル	**コンテンツを引用して質問**
ID	UC143
事前条件	**ユーザ以外のコンテンツ**を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
見ているコンテンツを引用して質問したい旨を伝える。	対象コンテンツに関わる情報を予め入力し、フォームを表示する
以降は【UC4 質問する】に従う 【UC24 履歴情報を記録する（R93)】	下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T88, 93, 97, 101, 105, 159, 167, 172, 177, 181, 185, 189, 193, 197, 201）】

タイトル	**募集を閲覧する**
ID	UC144
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
見たい募集の URL を指定する	対象の募集の内容を取得し、表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R97)】

タイトル	**募集のチェックをする**
ID	UC145
事前条件	募集は、非公開で登録されている
事後条件	募集は、不許可になるか公開される

ユーザアクション	システム応答
募集チェック画面の URL を開く。	募集チェック画面を表示する。
募集の妥当性を判断する。	妥当であれば、許可する。 募集を公開状態にする。 そうでなければ、不許可にする。 理由を記述させる。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T87, 92, 96, 100, 104, 158, 166, 171, 176, 180, 184, 188, 192, 196, 200, 52, 53, 106, 124, 137, 138, 148, 215, 219）】 【UC24 履歴情報を記録する（R98)】 募集閲覧画面を表示する。

タイトル	**追記をチェックする**
ID	UC146
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
募集チェック画面の URL を開く。	募集チェック画面を表示する。
追記の妥当性を判断する。	妥当であれば、許可する。 追記を公開状態にする。 そうでなければ、不許可にする。 理由を記述させる。 判定結果を通知する。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T54, 55, 109, 222）】 【UC24 履歴情報を記録する（R99)】 募集閲覧画面を表示する。

タイトル	**誰にお願いするかを選んで募集を終了する**
ID	UC147
事前条件	自分の募集を開いている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
誰にお願いすることになったか、閲覧画面上で応募を選ぶ。(複数可) 「依頼する」を選択する。	選択したもので良いか確認する。
「OK」を選択する。	誰にお願いするのかを登録する。 募集を終了する。 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T56, 57, 107, 216, 220）】 【UC24 履歴情報を記録する（R100)】 募集閲覧画面を表示する。

タイトル	**募集に追記する**
ID	UC149
事前条件	自分の募集
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
募集閲覧画面で、「編集」を選択する。	募集編集画面を表示する。
募集に追記し、確定する。	空欄である場合は入力が必要である旨を募集編集画面に表示する。 募集編集画面を表示する。
追記を確定する。	追記を非公開で保存する。 事務局に確認を促す。 【UC26 通知を発行する（T59)】 【UC24 履歴情報を記録する（R53)】 募集閲覧画面を表示し、チェック待ちであることを知らせる。

タイトル	**質問を引用して募集する**
ID	UC150
事前条件	引用できる質問は、終了したもののみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
募集内容入力画面で、引用したい質問を指定する。	入力画面に反映する。 以降は【UC68 募集をする】に遷移する。 【UC24 履歴情報を記録する（R102)】

タイトル	**調査を登録する**
ID	UC151
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
調査の登録ボタンを押す。	登録先の課題の選択を促す。
登録先の課題を選択する。	【BR 79 調査の入力項目】に従う内容の入力を促す。
【BR80 調査の条件】を満たす情報を基に、入力する。 【UC155 調査を下書き保存する】に、任意で移ることができる。	
入力を確定する（公開申請をする)。	【BR79 調査の入力項目】に従い、必須情報が満たされているか確認する。満たされていない場合には再入力を促す。 非公開状態で調査を登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R54)】 運営事務局に調査が登録されたことを通知し、チェックを促す。【UC26 通知を発行する（T60)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T84, 155, 163）】 チェックの結果待ちであることを知らせる。

タイトル	**調査を編集する**
ID	UC152
事前条件	編集対象の調査を見ている　【BR81 調査の操作権限】に従う　想定：軽微な修正
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「編集」を選択する。	【BR82 調査の編集項目】に従い、調査編集画面を表示する。
編集する。 どこを変更したのかを記述した自由文（編集したところ、その理由）も入力する。 課題差し替えレベルの編集もあり（事務局の管理にゆだねる） 【UC155 調査を下書き保存する】へ移行できる。	
確定する。	【BR79 調査の入力項目】の必須情報を満たしているか確認する。満たしていなければ、その旨を調査編集画面に表示する。 A)運営事務局による変更の場合 編集理由が記述されているかを確認する。記述されていなければその旨を調査編集画面に表示し、再入力を促す。 調査確認画面を表示する。
「確認」を選択する。	A)登録者に調査の編集が行われたことを通知する。 　どこが何故編集されたのか、修正内容コメント（フリーフォーム）も出す。 　【UC26 通知を発行する（T61)】 　編集内容を保存し反映する。 B)登録者による変更の場合 　運営事務局に調査の編集が行われたことを通知し、チェックを促す。 　【UC26 通知を発行する（T62)】 【UC24 履歴情報を記録する（R55)】 チェックの結果待ちであることを知らせる。 編集内容を保存する。反映はしない。

タイトル	**調査を削除する**
ID	UC153
事前条件	削除対象の調査を見ている　【BR81 調査の操作権限】に従う
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「削除」を選択する。 運営事務局は自由文で理由を記述し、確定する。	運営事務局の場合は、その理由を記述するフォームを表示する。 指定の調査を削除してよいか確認する。
「OK」を選択する。	指定の調査を削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R56)】 事務局による削除の場合には登録者に削除したことを通知する。理由も。 【UC26 通知を発行する（T63、差し戻しの場合はT225)】 調査削除完了画面を表示する。

タイトル	**調査の登録を依頼する**
ID	UC154
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
調査の基となる情報を人に渡す。（アカウントの譲渡は現実で　ID,PASS 渡して）	
代わりに登録してくれるよう頼む。	

タイトル	**調査を下書き保存する**
ID	UC155
事前条件	チェックしてもらいたくない場面
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「下書き保存」を選択する。	下書きとして、非公開で保存する。 閲覧画面を表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R57)】

タイトル	下書き保存している調査の一覧を表示する
ID	UC156
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
一覧表示の URL を指定する。	ユーザの調査（運営事務局の場合は、全ユーザ）を取得する。 全てを、調査一覧画面に表示する。

タイトル	下書き保存している調査を再編集する
ID	UC157
事前条件	下書きの一覧、または下書きを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「編集」を選択する。	内容を取得する。 調査が新規登録されるものであれば、調査登録画面に取得内容を表示し、【UC151 調査を登録する】へ移行する。 既に公開されたものを編集しているものであれば、調査編集画面に取得内容を表示し、【UC152 調査を編集する】へ移行する。

タイトル	下書き保存している調査を削除する
ID	UC158
事前条件	下書きの一覧,または下書きを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「削除」を選択する。	削除してよいか確認する。
「OK」を選択する。	下書きを削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R111)】 下書き削除完了画面を表示する。

タイトル	**チェック待ち一覧を表示する**
ID	UC159
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
一覧表示の URL を指定する。 研究者：自分のもの 運営事務局：すべて	調査を取得する。 全てを、調査一覧画面に表示する。 ステータスとして、「OK（公開中)」「やり取り中（差し戻しとか)」「チェック待ち」がある。

タイトル	**差し戻された調査を再編集する**
ID	UC160
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
調査一覧画面か、差し戻された調査の閲覧画面から、「編集」を選択する。	対象が新規か編集かをチェックする。 新規の場合は、差し戻された調査を登録画面に表示する。 編集の場合は、編集画面に表示する。 差し戻された理由も、調査と一緒に表示する。
【UC151 調査を登録する】【UC152 調査を編集する】へ移行する。	

タイトル	**調査にコメントする**
ID	UC161
事前条件	コメントしたい調査を見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
コメントの入力欄にコメントを入力する。	
「投稿」を選択する。	入力内容を登録し、調査に反映する。コメントとして表示される要素は、【BR43 コメントの要素】に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R58)】 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T64, 99, 121, 134, 145, 183）】

タイトル	**調査のコメントを変更する**
ID	UC162
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
変更したいコメントの、「編集」を選択する。	コメント内容を入力させる。
入力し、「確定」を選択する。 運営事務局による他ユーザのコメントの変更の場合は、その理由も記述する。	変更を反映する。コメント内容のみが変更される。 運営事務局による変更の場合は、コメント主に理由を含めて通知する。理由が記述されていなければ、その旨を手法閲覧画面に表示する。 【UC26 通知を発行する（T65)】 【UC24 履歴情報を記録する（R59)】

タイトル	**調査のコメントを削除する**
ID	UC163
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
コメントの「削除」を選択する。	運営事務局による他ユーザのコメント削除の場合には、削除理由を入力させる。
（運営事務局　削除理由を記入、確定）	削除してよいか確認する。 対象のコメントを削除する。 運営事務局による他ユーザのコメント削除の場合には、コメント主に理由を含めて通知する。理由が記述されていなければ、その旨を調査閲覧画面に表示する。 【UC26 通知を発行する（T66)】 【UC24 履歴情報を記録する（R60)】

タイトル	**編集された調査をチェックする**
ID	UC164
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
編集後の調査チェックの URL を選択する。	編集後の調査を取得し、編集された調査のチェック画面に表示する。編集前の調査（現在公開されている調査）も編集された調査のチェック画面に表示する。
編集前の調査と見比べて、妥当性を確認する。（ガイドラインなどを使用）	
妥当であれば「受理」を選択する。 妥当でなければ理由を入力し、「差し戻す」を選択する。	A) 受理であれば調査を公開して良いか確認する。 「 OK 」であれば公開する。 B) 拒否であれば調査を差しもどす。 理由が入力されているか確認する。 入力されていなければその旨を調査閲覧画面に表示する。 入力されていれば調査を差しもどして良いか確認する。 「 OK 」であれば調査を「差し戻し」状態にする 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T67, 98, 178, 182）】 【UC24 履歴情報を記録する（R113)】

タイトル	**新規登録された調査をチェックする**
ID	UC165
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
新規登録された調査を開く。	表示する。
内容の妥当性を確認する。(ガイドラインなど　何かしらの基準)	
妥当であれば受理を確定する。 妥当でなければ理由を入力し、「差し戻す」を選択する。 （将来的に→複数人によるチェック）	A) 受理であれば調査を公開して良いか確認する。 「 OK 」であれば公開する。 B) 拒否であれば調査を差しもどす。 理由が入力されているか確認する。 入力されていなければその旨を調査閲覧画面に表示する。 入力されていれば調査を差しもどして良いか確認する。 「 OK 」であれば調査を「差し戻し」状態にする 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T131, 68,67）】 【UC24 履歴情報を記録する（R112)】

タイトル	**調査を閲覧する**
ID	UC166
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
調査の表示を要請する。	要請された調査を表示する。 紐づくコメントも表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R61)】

タイトル	**データベースを閲覧する**
ID	UC167
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
データベースの表示を要請する。	要請されたデータベースを表示する。 紐づくコメントも表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R62)】

タイトル	**データベースを登録する**
ID	UC168
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
データベースの登録ボタンを押す。	登録先の課題または手法の選択を促す。
登録先の課題または手法を選択する。	【BR83 データベースの入力項目】に従う内容の入力を促す。
入力する。 【UC155 データベースを下書き保存する】に、任意で移ることができる。	
入力を確定する（公開申請をする)。	【BR83 データベースの入力項目】に従い、必須情報が満たされているか確認する。満たされていない場合には再入力を促す。 非公開状態でデータベースを登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R63)】 運営事務局にデータベースが登録されたことを通知し、チェックを促す。【UC26 通知を発行する（T69)】 チェックの結果待ちであることを知らせる。

タイトル	**データベースを編集する**
ID	UC169
事前条件	編集対象のデータベースを見ている　【BR84 データベースの操作権限】に従う　想定：軽微な修正
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「編集」を選択する	【BR85 データベースの編集項目】に従い、データベースの内容を取得する。 取得した内容をデータベース編集画面に表示する。
編集する。 どこを変更したのかを記述した自由文（編集したところ、その理由）も入力する。 課題差し替えレベルの編集もあり（事務局の管理にゆだねる） 【UC172 データベースを下書き保存する】へ移行できる。	
確定する。 「確認」を選択する。	【BR83 データベースの入力項目】の必須情報を満たしているか確認する。満たしていなければその旨をデータベース編集画面に表示し、再入力を促す。 A)運営事務局による変更の場合 編集理由が記述されているかを確認する。記述されていなければその旨をデータベース編集画面に表示し、再入力を促す。 データベース確認画面を表示する。 A)運営事務局による変更の場合 　登録者にデータベースの編集が行われたことを通知する。 　どこが何故編集されたのか、修正内容コメント（フリーフォーム）も出す。 　【UC26 通知を発行する（T70)】 　編集内容を保存し反映する。 B)登録者による変更の場合 　運営事務局にデータベースの編集が行われたことを通知し、チェックを促す。 　【UC26 通知を発行する（T71)】

	【UC24 履歴情報を記録する（R64)】 チェックの結果待ちであることを知らせる。 編集内容を保存する。反映はしない。

タイトル	**データベースを削除する**
ID	UC170
事前条件	削除対象のデータベースを見ている　【BR84 データベースの操作権限】に従う
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「削除」を選択する。 運営事務局は自由文で理由を記述し、確定する。	運営事務局の場合は、その理由を記述するフォームを表示する。 指定のデータベースを削除してよいか確認する。
「OK」を選択する。	指定のデータベースを削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R65)】 事務局による削除の場合には登録者に削除したこと及び削除理由を通知する。 【UC26 通知を発行する（T72、差し戻しの場合はT226)】 データベース削除完了画面を表示する。

タイトル	**データベースの登録を依頼する**
ID	UC171
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
データベースの基となる情報を人に渡す。（アカウントの譲渡は現実で　ID,PASS 渡して）	
代わりに登録してくれるよう頼む。	

タイトル	**データベースを下書き保存する**
ID	UC172
事前条件	チェックしてもらいたくない場面
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「下書き保存」を選択する。	下書きとして、非公開で保存する。 閲覧画面を表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R66)】

タイトル	**下書き保存しているデータベースの一覧を表示する**
ID	UC173
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
一覧表示の URL を指定する。	ユーザのデータベース（運営事務局の場合は、全ユーザ）を取得する。 全てを、データベース一覧画面に表示する。

タイトル	**下書き保存しているデータベースを再編集する**
ID	UC174
事前条件	下書きの一覧、または下書きを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「編集」を選択する。	内容を取得する。 データベースが新規登録されるものであれば、データベース登録画面に取得内容を表示し、【UC168 データベースを登録する】へ移行する。 既に公開されたものを編集しているものであれば、データベース編集画面に取得内容を表示し、【UC169 データベースを編集する】へ移行する。

タイトル	下書き保存しているデータベースを削除する
ID	UC175
事前条件	下書きの一覧、または下書きを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
下書きを指定し、「削除」を選択する。	削除してよいか確認する。
「OK」を選択する。	下書きを削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R74)】 下書き削除完了画面を表示する。

タイトル	チェック待ち一覧を表示する
ID	UC176
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
一覧表示の URL を指定する。研究者：自分のもの 運営事務局：すべて	データベースを取得する。 全てを、データベース一覧画面に表示する。 ステータスとして、「 OK （公開中)」「やり取り中 (差し戻しとか)」「チェック待ち」がある。

タイトル	差し戻されたデータベースを再編集する
ID	UC177
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
データベース一覧画面か、差し戻されたデータベースの閲覧画面から、「編集」を選択する。	対象が新規か編集かをチェックする。 新規の場合は、差し戻されたデータベースを登録画面に表示する。 編集の場合は、編集画面に表示する。 差し戻された理由も、データベースと一緒に表示する。
【UC168 データベースを登録する】【UC169 データベースを編集する】へ移行する。	

タイトル	**データベースにコメントする**
ID	UC178
事前条件	コメントしたいデータベースを見ている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
コメントの入力欄にコメントを入力する。	
入力を確定する。	入力内容を登録し、データベースに反映する。コメントとして表示される要素は、【BR43 コメントの要素】に従う。 【UC24 履歴情報を記録する（R67)】 コメントが付いたことをデータベースの登録者に通知する。 【UC26 通知を発行する（T73)】 その他下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T103, 122, 135, 146, 191）】

タイトル	**データベースのコメントを変更する**
ID	UC179
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
変更したいコメントの、「編集」を選択する。	コメント内容を入力させる。
入力し、「確定」を選択する。 運営事務局による他ユーザのコメントの変更の場合は、その理由も記述する。	変更を反映する。コメント内容のみが変更される。 運営事務局による変更の場合は、コメント主に理由を含めて通知する。理由が記述されていなければ、その旨を手法閲覧画面に表示する。 【UC26 通知を発行する（T74)】 【UC24 履歴情報を記録する（R68)】

タイトル	**データベースのコメントを削除する**
ID	UC180
事前条件	運営事務局：すべて可能　一般ユーザ：自分の投稿のみ
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
コメントの「削除」を選択する。	運営事務局による他ユーザのコメント削除の場合には、削除理由を入力させる。
（運営事務局　削除理由を記入、確定）	削除してよいか確認する。 対象のコメントを削除する。 運営事務局による削除の場合には、コメント主に理由を含めて通知する。理由が記述されていなければ、その旨をデータベース閲覧画面に表示する。 【UC26 通知を発行する（T75)】 【UC24 履歴情報を記録する（R69)】

タイトル	**編集されたデータベースをチェックする**
ID	UC181
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
編集後のデータベースチェックの URL を選択する。	編集後のデータベースを取得し、編集されたデータベースのチェック画面に表示する。編集前のデータベース（現在公開されているデータベース）も編集されたデータベースのチェック画面に表示する。
編集前のデータベースと見比べて、妥当性を確認する。（ガイドラインなどを使用）	
妥当であれば「受理」を選択する。 妥当でなければ理由を入力し、「差し戻す」を選択する。	A) 受理であればデータベースを公開して良いか確認する。「 OK 」であれば公開する。 B) 拒否であればデータベースを差しもどす。 理由が入力されているか確認する。 入力されていなければその旨をデータベース閲覧画面に表示する。 入力されていればデータベースを差しもどして良いか確認する。 「 OK 」であればデータベースを「差し戻し」状態にする 【UC24 履歴情報を記録する（R76)】 【UC26 通知を発行する（T76, 102, 190)】

タイトル	新規登録されたデータベースをチェックする
ID	UC182
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
新規登録されたデータベースを開く。	登録されたデータベース情報を取得し表示する。
内容の妥当性を確認する。(ガイドラインなど　何かしらの基準)	
妥当であれば受理を確定する。 妥当でなければ理由を入力し、「差し戻す」を選択する。 （将来的に→複数人によるチェック）	A) 受理であればデータベースを公開して良いか確認する。「 OK 」であれば公開する。 B) 拒否であればデータベースを差しもどす。 理由が入力されているか確認する。 入力されていなければその旨をデータベース閲覧画面に表示する。 入力されていればデータベースを差しもどして良いか確認する。 「 OK 」であればデータベースを「差し戻し」状態にする 下記中の通知理由に該当するものを通知する。 【UC26 通知を発行する（T76, 85, 156, 164, 132）】 【UC24 履歴情報を記録する（R75)】

タイトル	メッセージの転送を設定する
ID	UC184
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
メッセージの転送を設定したいことを示す。	設定内容を聞く。
【BR88 メッセージ転送の設定内容】に従う設定内容を伝える。	指定の設定内容を反映する。 【UC24 履歴情報を記録する（R118)】

タイトル	**防災対策チェックリストを閲覧する**
ID	UC186
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災対策チェックリスト閲覧画面の URL を選択する	大項目・小項目とそれに紐づく課題を全て取得する。 それぞれに対するチェック状態を取得する。 メモも取得する。 取得したデータを防災対策チェックリスト閲覧画面に表示する。チェック不可状態でチェックボックスを表示する。

タイトル	**防災対策チェックリストの項目をチェックする**
ID	UC187
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災対策チェックリスト編集画面で課題を選択し、【BR90 防災対策チェックリストのチェック分類】に定義されたチェックを行う。	チェック状態を防災対策チェックリスト編集画面に反映する。 チェックされた課題の欄に「メモの入力フォームの追加」を追加する。

タイトル	**チェックした項目に対して、メモを追加する**
ID	UC188
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災対策チェックリスト編集画面に表示されている、「メモの入力フォームの追加」を選択する。	【BR91 チェック分類毎のメモの入力フォーム】に従い、入力フォームを追加する。 また、「実践事例の登録」も追加する。
メモを入力し、確定する。	【BR92 メモの入力内容条件】に従い妥当性をチェックする。 [条件を満たしていない] 条件を満たしていない旨を防災対策チェックリスト編集画面に表示する。 [満たしている] 確定された内容を表示する。

タイトル	**メモを編集する**
ID	UC189
事前条件	対象のメモが確定されている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
対象の編集を要請する	対象の内容を反映した入力フォームを表示する。
【UC188】と同一となる。	

タイトル	**印刷用ページを出力する**
ID	UC190
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災対策チェックリスト閲覧画面で、「印刷用ページの出力」を選択する。	不要である項目をページから排した印刷用ページを出力する。

タイトル	**防災対策チェックリストの編集を確定する**
ID	UC191
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災対策チェックリスト編集画面で、防災対策チェックリストへの変更を確定する。	変更時のチェック、確定したメモの状態を反映した防災対策チェックリスト確認画面を表示する。 [確定されていないメモがある場合] その入力内容を反映する。
確認する。	変更時のチェック、確定したメモの状態を保存する。保存した旨とともに防災対策チェックリスト閲覧画面を表示する。

タイトル	**メモを削除する**
ID	UC192
事前条件	対象のメモが確定されている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災対策チェックリスト編集画面にて、削除するメモを指定する	本当に削除しても良いか確認する。
a.良い	対象を削除する。
b.良くない	何もしない。

タイトル	**防災対策チェックリストの編集を開始する**
ID	UC193
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災対策チェックリストの編集開始 URL を選択する	大項目・小項目とそれに紐づく課題を全て取得する。それぞれに対するチェック状態を取得する。 取得したデータを防災対策チェックリスト編集画面に表示する。チェック可能状態でチェックボックスを表示する。

タイトル	**防災知恵袋のトップ画面を表示する**
ID	UC195
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災知恵袋のトップページを表示したい旨を伝える	【BR94 防災知恵袋トップ画面の内容】に従い、防災知恵袋のトップページを表示する。 【UC24 履歴情報を記録する（R130)】

タイトル	**防災知恵袋の新着情報を得る**
ID	UC196
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
ユーザページを開く	【BR95 防災知恵袋の新着情報】に従い、防災知恵袋の新着情報を伝える。

タイトル	**募集のトップ画面を表示する**
ID	UC197
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
募集のトップページを表示したい旨を伝える	【BR96 募集トップ画面の内容】に従い、防災知恵袋のトップページを表示する。

タイトル	**募集の新着情報を得る**
ID	UC198
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
ユーザページを開く	【BR97 募集の新着情報】に従い、募集の新着情報を伝える。

タイトル	**課題のカテゴリとなる大・小項目を追加する**
ID	UC199
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
課題のカテゴリとなる大・小項目を追加したいことを伝える。	大・小項目情報を体系表示し、参考情報として大・小項目に紐づく関連情報を表示する。 表示する関連情報は【BR67 大・小項目に紐づく関連情報】を参照のこと。
大・小項目を体系図内で追加したい位置を伝える。	大・小項目情報の入力画面を表示する。
必要情報を入力する。	
入力を確定する。	【BR68 大・小項目の入力項目】の必須情報を満たしているか確認する。 満たしていなければその旨を大・小項目入力画面に表示し、再入力を促す。 満たしていれば課題のカテゴリとなる大・小項目を登録する。 【UC24 履歴情報を記録する（R84、R87)】

タイトル	**課題のカテゴリとなる大・小項目を編集する**
ID	UC200
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
課題のカテゴリとなる大・小項目を編集したいことを伝える。	大・小項目情報を体系表示し、参考情報として大・小項目に紐づく関連情報を表示する。 表示する関連情報は【BR67 大・小項目に紐づく関連情報】を参照のこと。
編集したい大・小項目を伝える。	名称を変更したい場合は、大・小項目情報の編集画面を表示する。 体系上の配置位置を変更したい場合は、現在の配置位置を移動可能とする。
情報を編集する。	
編集を確定する。	【BR68 大・小項目の入力項目】の必須情報を満たしているか確認する。 満たしていなければその旨を大・小項目入力画面に表示し、再入力を促す。 満たしていれば課題のカテゴリとなる大・小項目を編集する。 【UC24 履歴情報を記録する（R85、88)】

タイトル	**課題のカテゴリとなる大・小項目を削除する**
ID	UC201
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
課題のカテゴリとなる大・小項目を編集したいことを伝える。	大・小項目情報を体系表示し、参考情報として大・小項目に紐づく関連情報を表示する。 表示する関連情報は【BR67 大・小項目に紐づく関連情報】を参照のこと。
削除する大・小項目を選択する。	大･小項目それぞれ【BR69 大項目の削除条件】【BR70 小項目の削除条件】にあたる場合は、削除不可のメッセージを通知する。 それ以外は、削除してよいかどうかの確認メッセージを表示する。
削除を確定する。	選択した大・小項目を削除する。 【UC24 履歴情報を記録する（R86、89)】

タイトル	**履歴を CSV 出力する**
ID	UC202
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
任意および全ての履歴を CSV 出力したいことを伝える	【BR17 履歴収集の対象】で記録されている履歴情報を、CSV 形式でダウンロードする。 【UC24 履歴情報を記録する（R129)】

タイトル	**アドバイザを設定する**
ID	UC203
事前条件	UC86「アカウントの一覧を表示する」でアドバイザ設定するアカウントを表示している
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
任意のアカウントに対してアドバイザの設定（設定/解除）をしたいことを伝える。	アドバイザの設定を促す。
アドバイザを設定する。	
アドバイザの設定を確定する。	アドバイザを設定する。 【UC24 履歴情報を記録する（R127)】 【UC26 通知を発行する（T231)】

タイトル	**チェックした項目に対して、手法を登録する**
ID	UC227
事前条件	防災対策チェックリストの課題にチェックを入れている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
チェックをした課題に対する手法の登録を依頼する	アカウントが researcmap と連携している場合は、入力補助として reseachmap に登録されている論文を選択する。 手法登録画面を表示する。
【UC32 手法を登録する】に従い手法を登録する	

タイトル	**チェックした項目に対して、実践事例を登録する**
ID	UC228
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
チェックした課題に対する実践事例の登録を依頼する	実践事例登録画面を表示する
【UC33 実践事例を登録する】に従い実践事例を登録する。	

タイトル	**チェックした項目に対して、調査を登録する**
ID	UC229
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
チェックした課題に対する調査の登録を依頼する	アカウントが researcmap と連携している場合は、入力補助として reseachmap に登録されている論文を選択する。 調査登録画面を表示する。
【UC151 調査を登録する】に従い調査を登録する	

タイトル	**チェックした項目に対して、データベースを登録する**
ID	UC230
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
チェックした課題に対するデータベースの登録を依頼する	アカウントが researcmap と連携している場合は、入力補助として reseachmap に登録されている論文を選択する。 調査登録画面を表示する。
【UC168 データベースを登録する】に従いデータベースを登録する	

タイトル	**防災を担当する自治体の情報を得る**
ID	UC231
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災を担当する地域の自治体の情報の表示を依頼する。	【BR108 地域の情報表示】に従い、自治体の情報を表示する。

タイトル	**防災を担当する自治体の情報を変更する**
ID	UC232
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災を担当する地域の自治体の情報の変更を依頼する。 ※変更可能項目は【BR108 地域の情報表示】のデータ更新を参照のこと。	変更画面を表示する。
変更内容を入力する。	
入力を確定する。	入力された地域の自治体の情報を保存する

タイトル	**活動地域の情報を得る**
ID	UC233
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災活動を行う地域の情報の表示を依頼する。	【BR108 地域の情報表示】に従い、活動地域の情報を表示する。

タイトル	**活動地域の情報を変更する**
ID	UC234
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
防災活動を行う地域の情報の変更を依頼する。 ※変更可能項目は【BR99 地域の情報表示】のデータ更新を参照のこと。	変更画面を表示する。
変更内容を入力する。	
入力を確定する。	入力された地域情報を保存する。

タイトル	**他の地域の情報を得る**
ID	UC235
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
他の地域の情報を閲覧したいことを伝える	表示対象となる自治体を選択させる
表示対象となる自治体を選択する	選択された自治体の地域情報を取得し表示する

タイトル	**地域情報パーツの表示を拡張/縮小する**
ID	UC236
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
地域情報パーツの表示を拡張/縮小したいことを伝える。	地域情報パーツの表示を拡張/縮小する。 地域情報パーツの拡張/縮小表示にあわせて、他のパーツも拡張/縮小する。(地域情報パーツの位置は、ユーザページの右側の広い領域を想定)

タイトル	**詳細・関連情報を表示する**
ID	UC241
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
画面をクリックする	【BR108 地域の情報表示】に従い、クリックすることで、詳細・関連情報を表示する。

タイトル	**コンテンツを探す**
ID	UC242
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
虫眼鏡アイコンをクリックする	該当する絞り込み条件を設定した状態で検索画面を開き、検索結果を表示する。

タイトル	**自治体の自然特性を変更する**
ID	UC243
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
自治体の自然特性を変更したいことを伝える	自治体の自然特性編集画面を開く。
自然特性を変更したい自治体を選択する	選択された自治体の自然特性を表示する。
自然特性を設定する	
確定する	自然特性を保存する

タイトル	**自治体の災害の危険性マスタを変更する**
ID	UC245
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
危険性マスタを変更したいことを伝える	危険性マスタ管理画面を開く
対象が自治体であることを伝える	自治体の危険性マスタ管理に画面表示を切り替える
マスタデータを変更したい自治体を伝える	選択された自治体の危険性マスタを表示する
危険性マスタを変更する	
確定する	選択された自治体の危険性マスタを保存する

タイトル	**地域の災害の危険性マスタを変更する**
ID	UC246
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
危険性マスタを変更したいことを伝える	危険性マスタ管理画面を開く
対象が地域であることを伝える	地域の危険性マスタ管理画面に画面表示を切り替える
マスタデータを変更する	
確定する	地域の危険性マスタを保存する

タイトル	**アカウントを申請する**
ID	UC247
事前条件	アカウント登録設定が承認制に設定されている
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウントを申請したいことを伝える	アカウント情報入力画面を開く
アカウント情報を入力する	
確定する	アカウント申請を受け付けた旨を通知する

タイトル	**アカウント申請を拒否する**
ID	UC248
事前条件	アカウント一覧を表示している
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウント審査を行いたいことを伝える	アカウント審査画面を開く
アカウントを拒否したいことを伝える	アカウント審査画面を拒否に切り替える
アカウント申請の拒否理由を記述する	
確定する	アカウント申請が拒否された旨を通知する

タイトル	**アカウント申請を承認する**
ID	UC249
事前条件	アカウント一覧を表示している
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウント審査を行いたいことを伝える	アカウント審査画面を開く
アカウントを承認したいことを伝える	アカウント審査画面を承認に切り替える
確定する	アカウント申請が承認された旨を通知する

タイトル	**アカウントのアクティベーションを行う**
ID	UC250
事前条件	アカウント申請が承認された
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウント承認通知メールに記載されている URL にアクセスする	アカウントのアクティベーションを行い、アカウントの状態を有効に切り替える

タイトル	**アカウントを有効化する**
ID	UC251
事前条件	アカウント一覧を表示している。アカウント申請が承認されている。
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウントを有効化したいことを伝える	アカウントの状態を有効に切り替える

タイトル	**アカウント登録を自由登録にする**
ID	UC252
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウント登録の設定を行いたいことを伝える	アカウント登録設定画面を開く
自由登録を選択する	
確定する	アカウント登録設定を保存する

タイトル	**アカウント登録を承認制にする**
ID	UC253
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウント登録の設定を行いたいことを伝える	アカウント登録画面を開く
承認制を選択する	
アクティベーションキーの有効期間を設定する	
確定する	アカウント登録設定を保存する

タイトル	**アカウント登録を不可にする**
ID	UC254
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
アカウント登録の設定を行いたいことを伝える	アカウント登録画面を開く
登録不可を選択する	
確定する	アカウント登録設定を保存する

タイトル	**地域の災害事例を得る**
ID	UC255
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
地域の災害事例を見たいことを伝える	災害事例 DB から地域の災害事例を取得する
	災害事例を表示する
災害事例の詳細リンクを開く	災害事例詳細を表示する。

タイトル	**実践事例簡易登録フォームを設定する**
ID	UC256
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
実践事例簡易登録フォームを設定したいことを伝える	実践事例簡易登録フォームの設定画面を開く
登録フォームを入力する	
確定する	実践事例簡易登録フォームを保存する

タイトル	**実践事例を簡易登録する**
ID	UC257
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
実践事例を簡易登録したいことを伝える	実践事例簡易登録画面を開く
実践事例の内容を入力する	
確定する	簡易登録実践事例を保存する 添付ファイルが存在する場合は ZIP 形式で圧縮し、ファイル倉庫に登録する

タイトル	**簡易登録された実践事例一覧を表示する**
ID	UC258
事前条件	
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
簡易実践事例一覧を表示したいことを伝える	簡易実践事例一覧画面を開く

タイトル	**簡易登録された実践事例の詳細を表示する**
ID	UC259
事前条件	簡易実践事例一覧を表示している
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
簡易実践事例の詳細を表示したいことを伝える	簡易実践事例の詳細を開く

タイトル	**簡易登録された実践事例を CSV 出力する**
ID	UC260
事前条件	簡易実践事例一覧を表示している
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
簡易実践事例一覧を CSV 出力したいことを伝える	簡易実践事例一覧を出力する

タイトル	**簡易登録された実践事例を削除する**
ID	UC261
事前条件	簡易実践事例一覧を表示している
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
簡易実践事例を削除したいことを伝える	簡易実践事例を一括削除する

タイトル	**ALL 防災 Web のアカウントと J-GLOBAL のアカウントを紐づける**
ID	UC262
事前条件	アカウント登録時（研究者）
事後条件	

ユーザアクション	システム応答
「J-GLOBAL の同期」を選択する。	J-GLOBAL の WebAPI を利用し、ユーザの情報を検索させる。
名前などで検索する。 該当するアカウントを選択する。	J-GLOBAL からそのアカウントの情報を取得する。 取得した J-GLOBAL ID をアカウントに紐づける。 【UC1 アカウントを登録する】へ戻る。

資料９　ユースケース図一覧

地域防災対策支援研究プロジェクト
課題①「統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築」

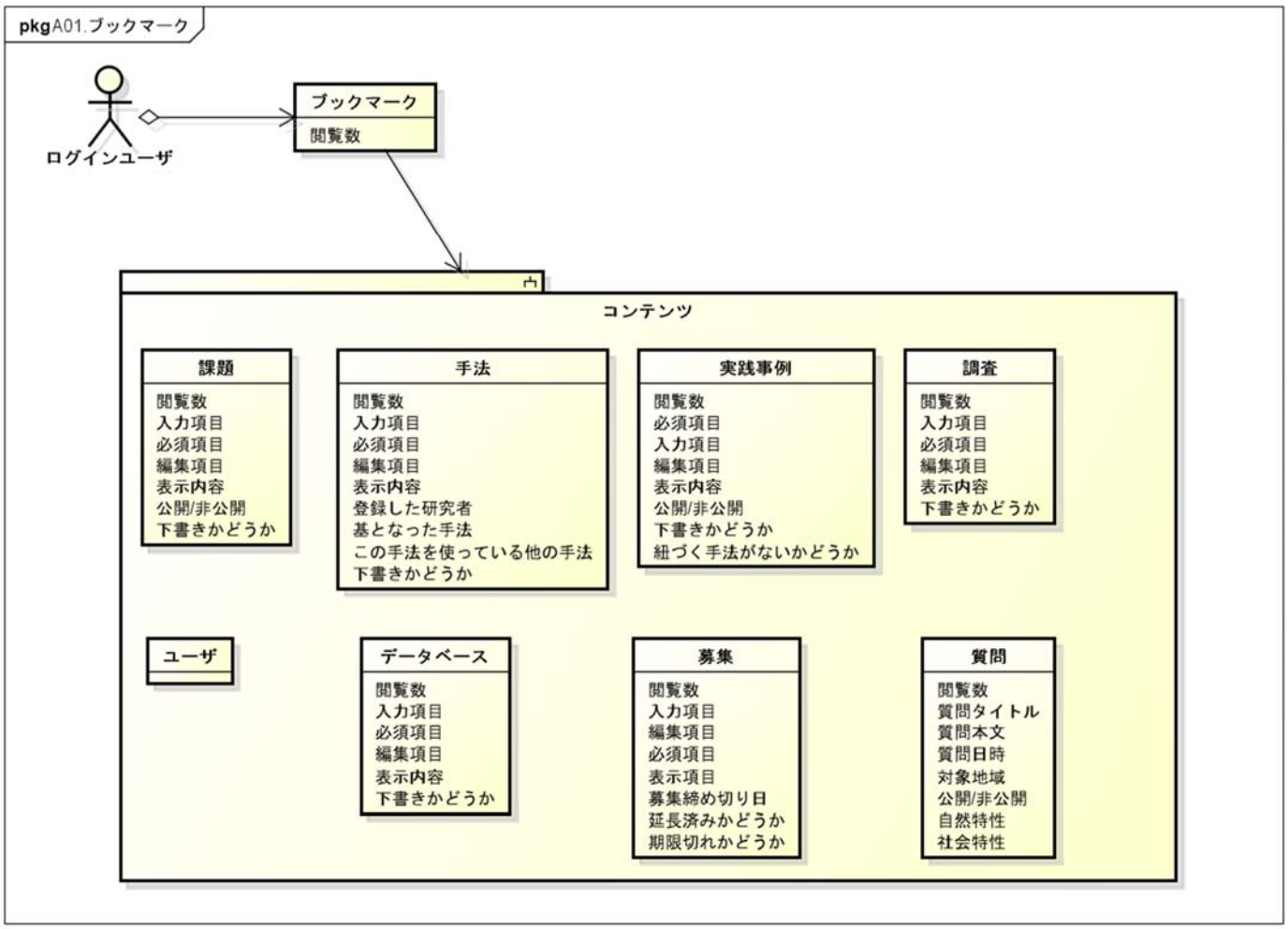
ユースケース図一覧

平成 30 年 3 月

国立研究開発法人　防災科学技術研究所

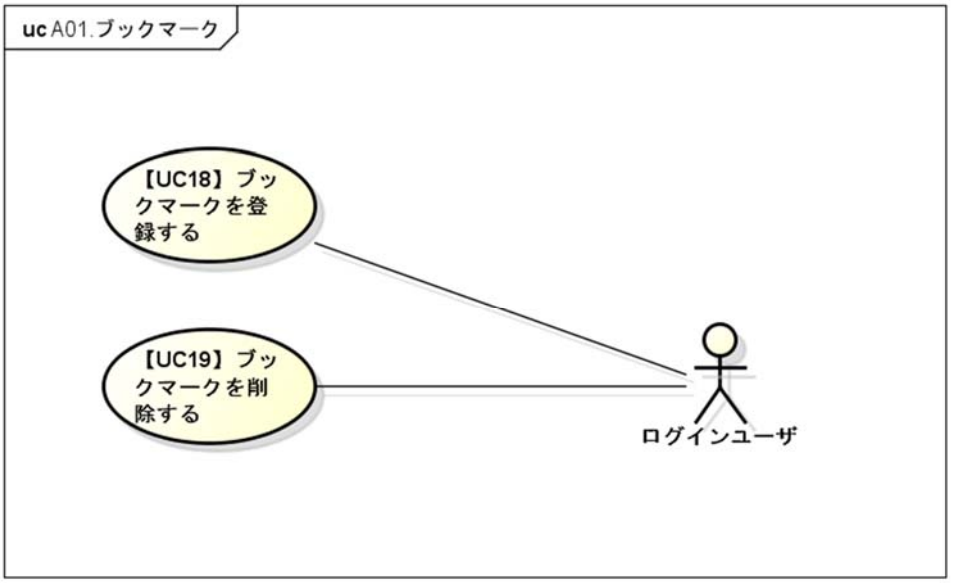
1　ブックマーク

1.1　概念モデル



powered by Astah

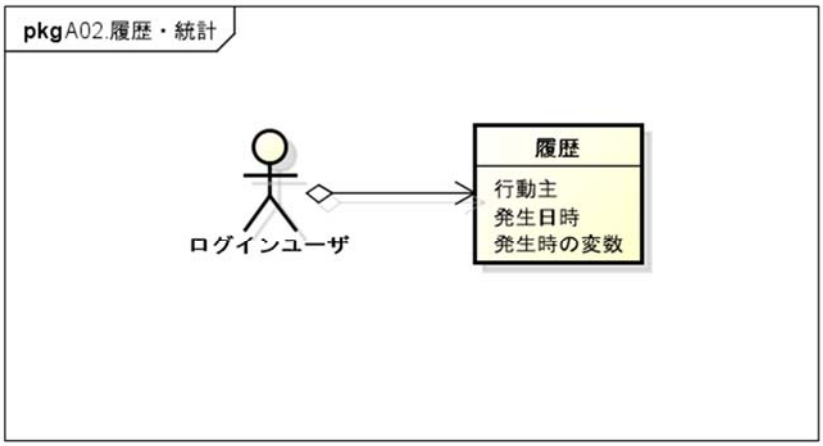
1.2　ユースケース図



powered by Astah

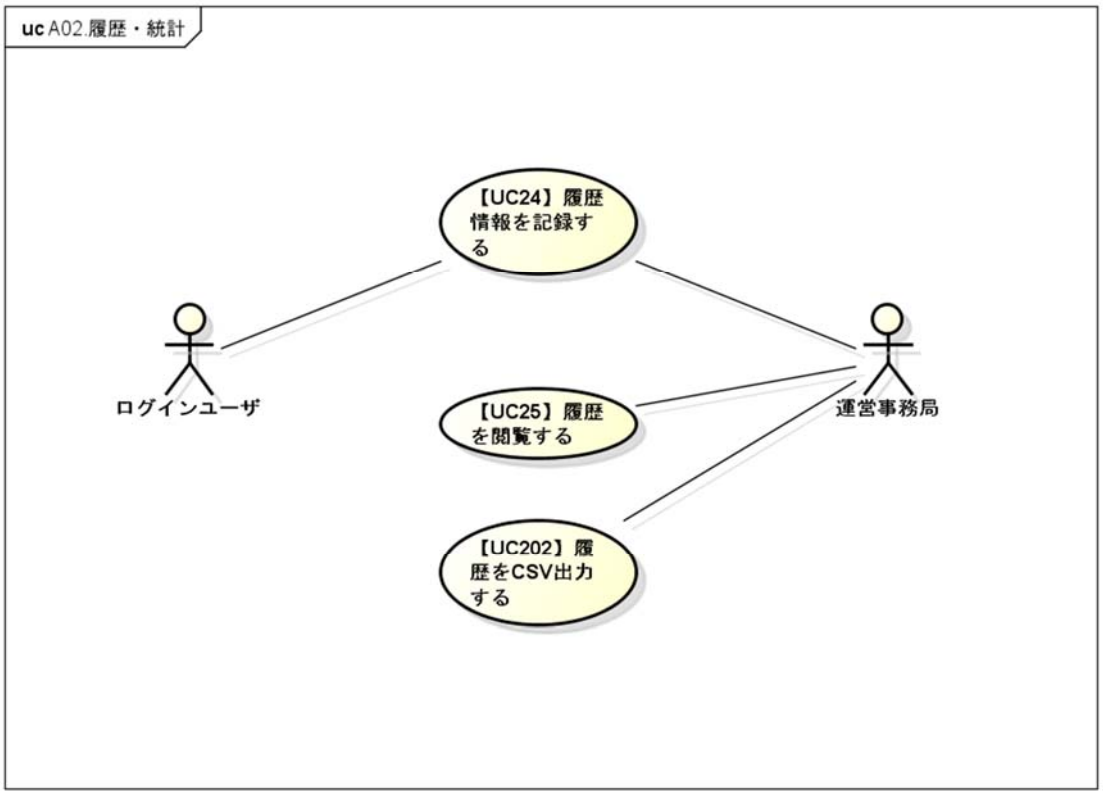
2　履歴・統計

2.1　概念モデル



powered by Astah

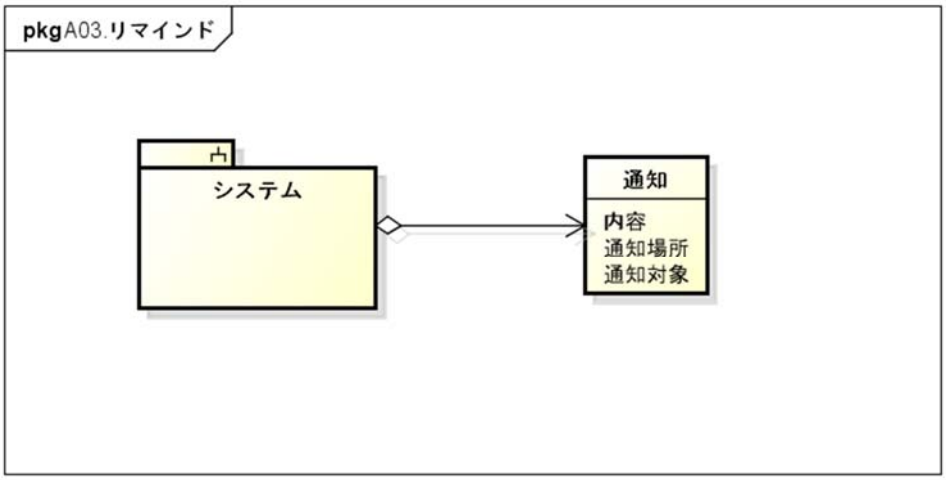
2.2　ユースケース図



powered by Astah

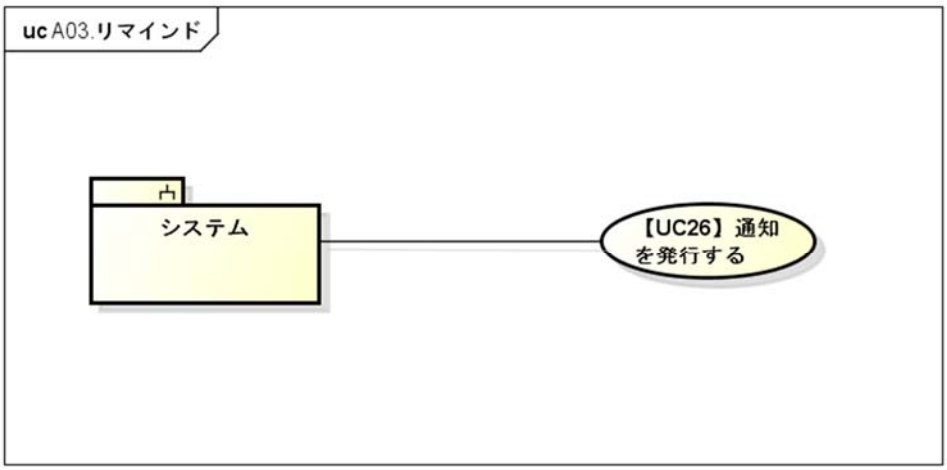
3　リマインド

3.1　概念モデル



powered by Astah

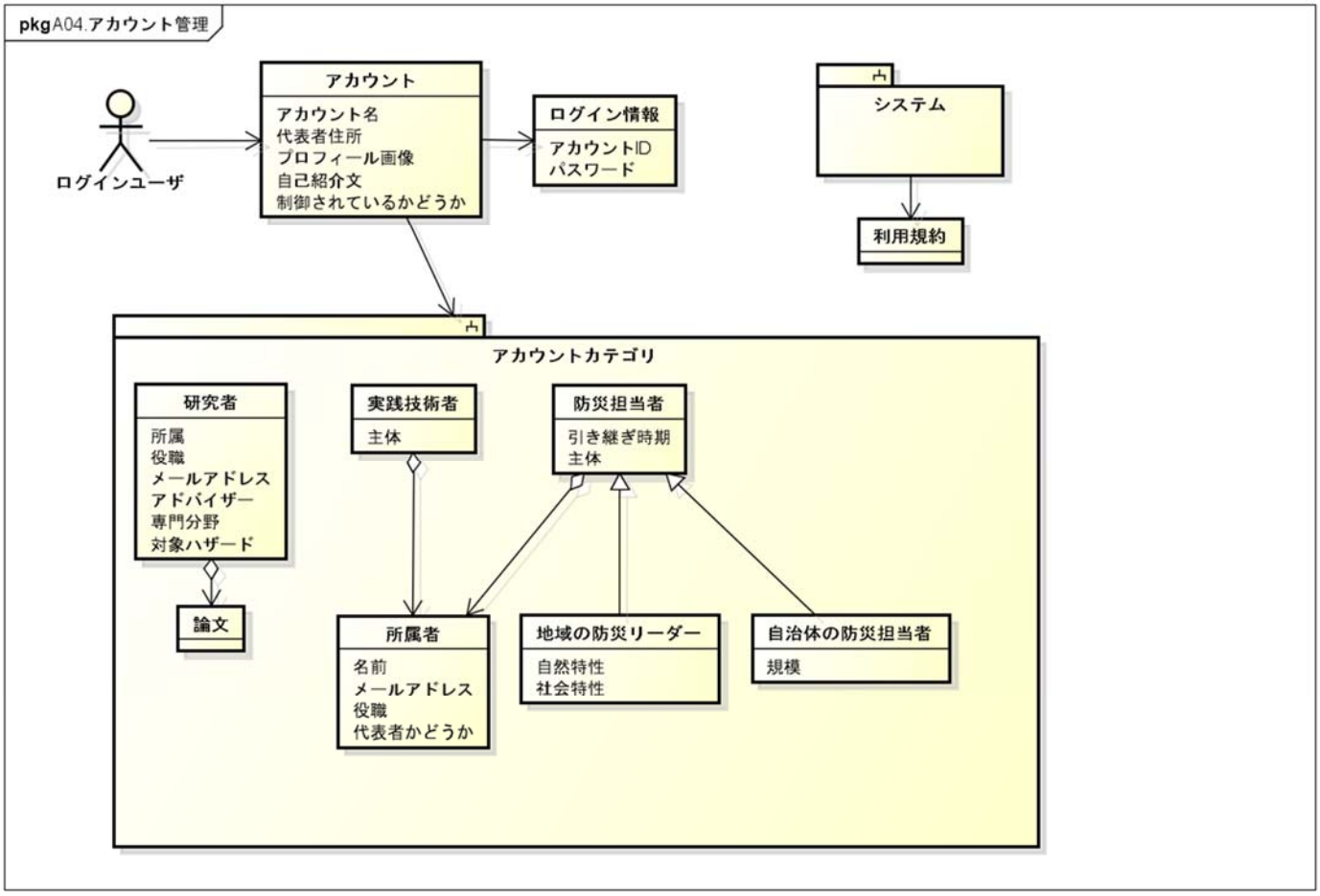
3.2　ユースケース図



powered by Astah

4　アカウント管理

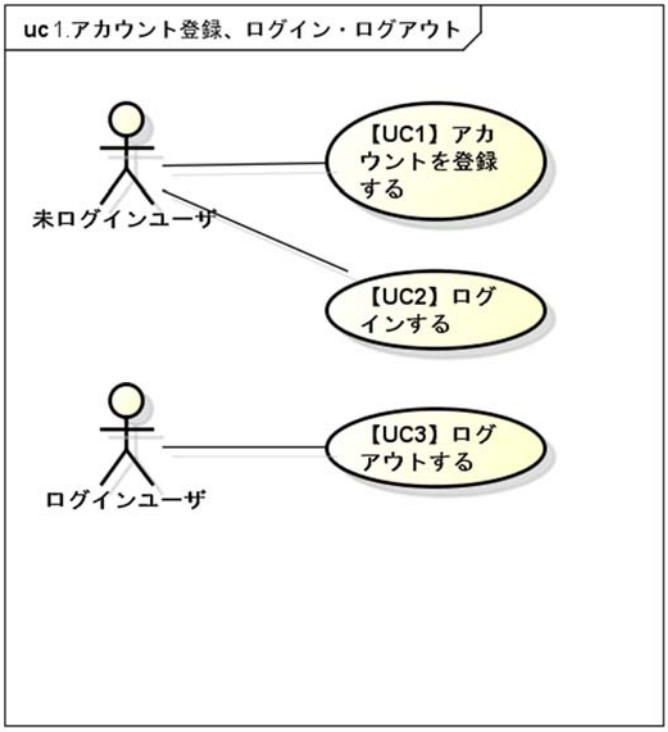
4.1　概念モデル



powered by Astah

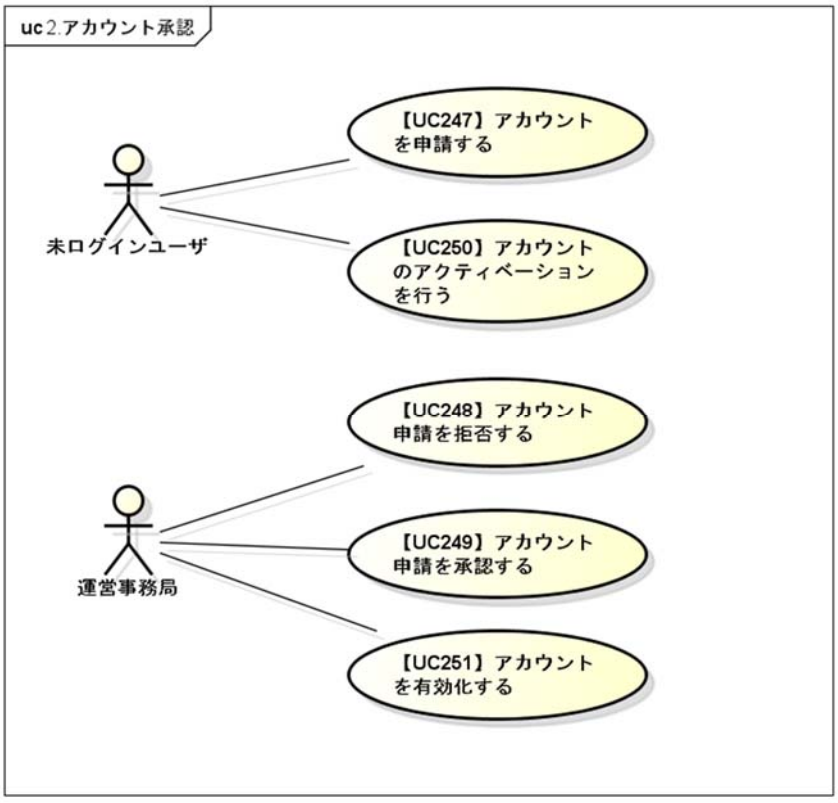
4.2　ユースケース図

4.2.1 ログイン・ログアウト



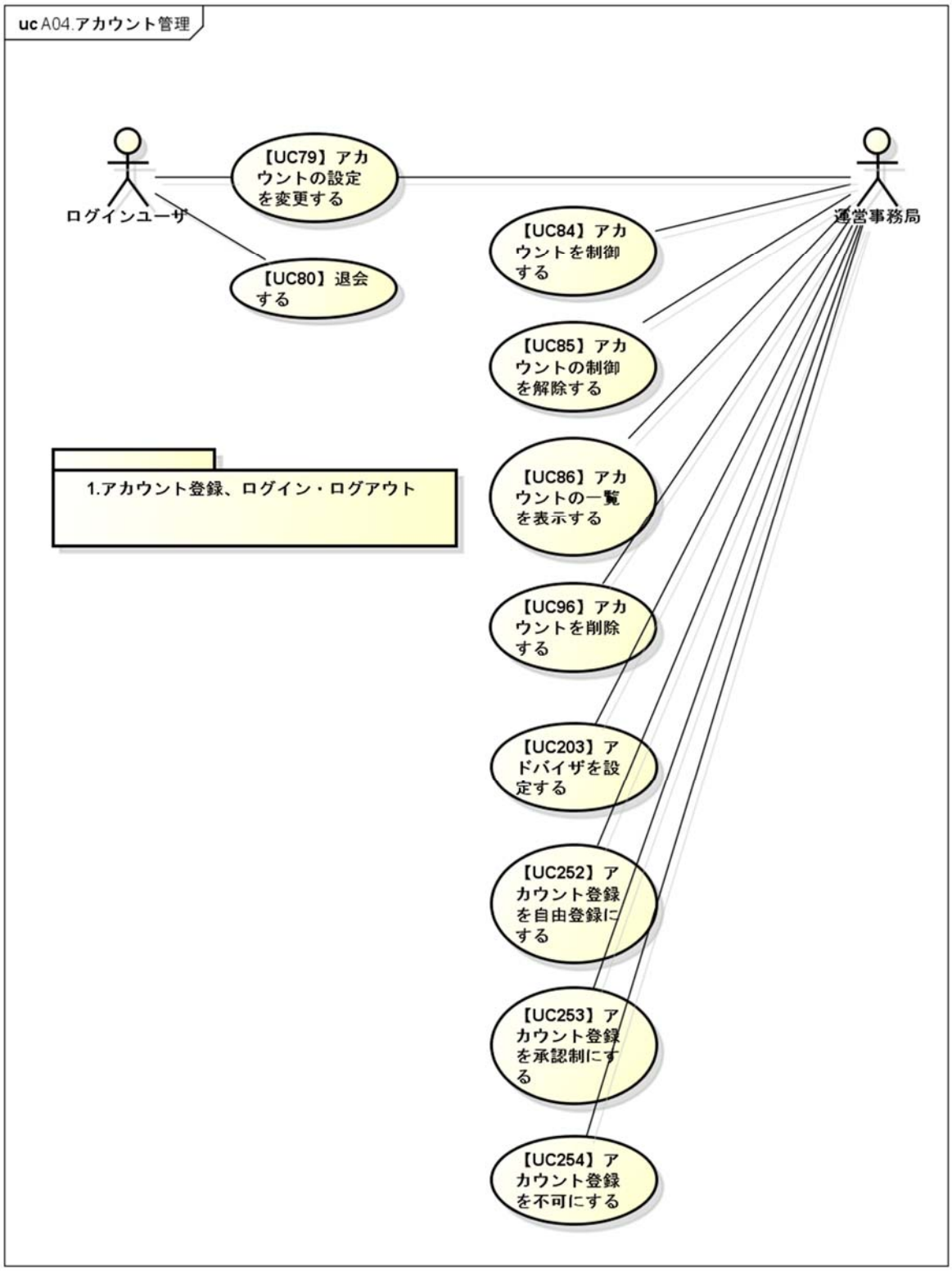
powered by Astah

4.2.2 アカウント承認



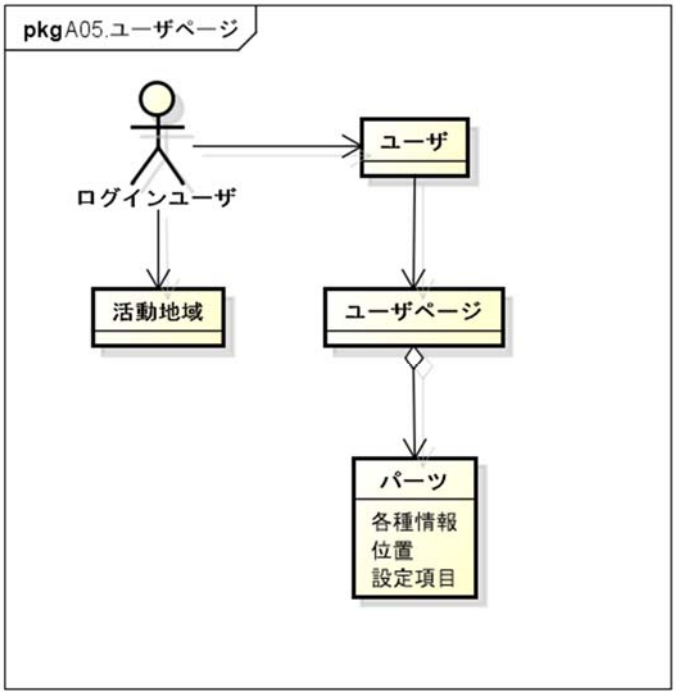
powered by Astah

4.2.3 アカウント管理


uc A04.アカウント管理
ログインユーザ
【UC79】アカウントの設定を変更する
【UC80】退会する
運営事務局
【UC84】アカウントを制御する
【UC85】アカウントの制御を解除する
【UC86】アカウントの一覧を表示する
【UC96】アカウントを削除する
【UC203】アドバイザを設定する
【UC252】アカウント登録を自由登録にする
【UC253】アカウント登録を承認制にする
【UC254】アカウント登録を不可にする
1.アカウント登録、ログイン・ログアウト
powered by Astah

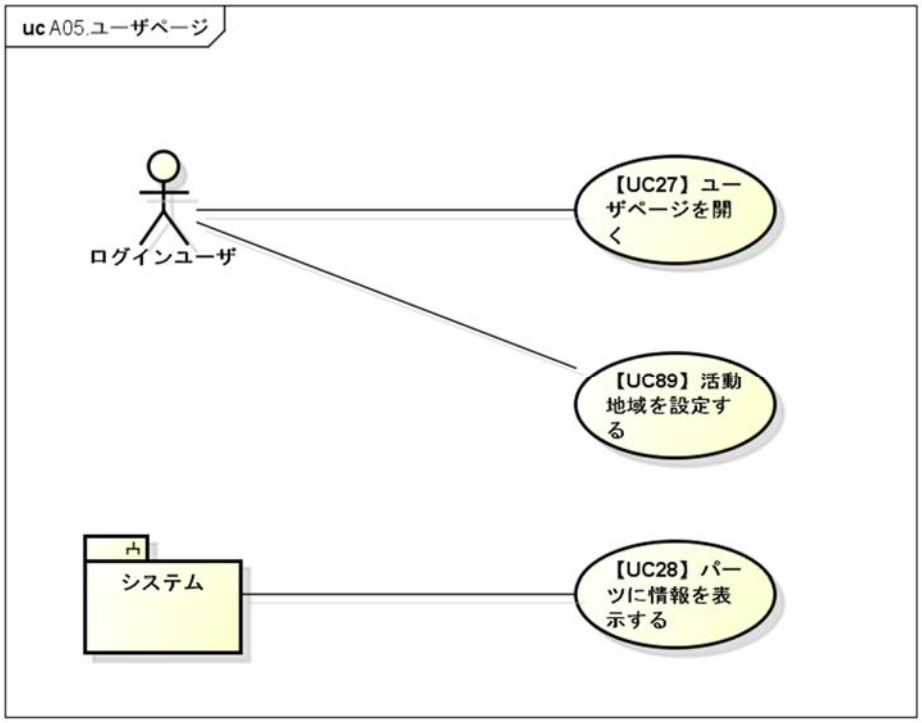
5　ユーザーページ

5.1　概念モデル



powered by Astah

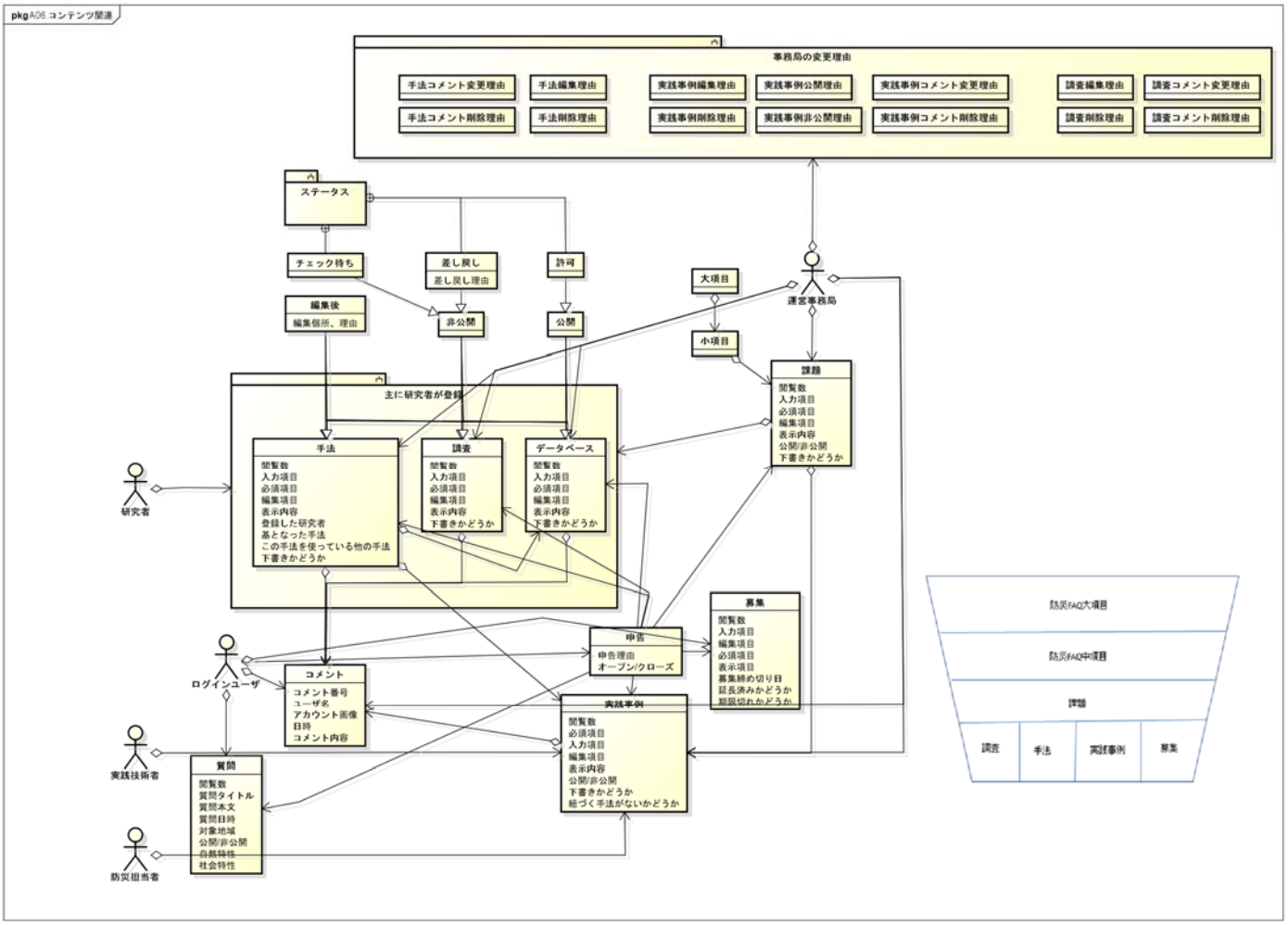
5.2　ユースケース図



powered by Astah

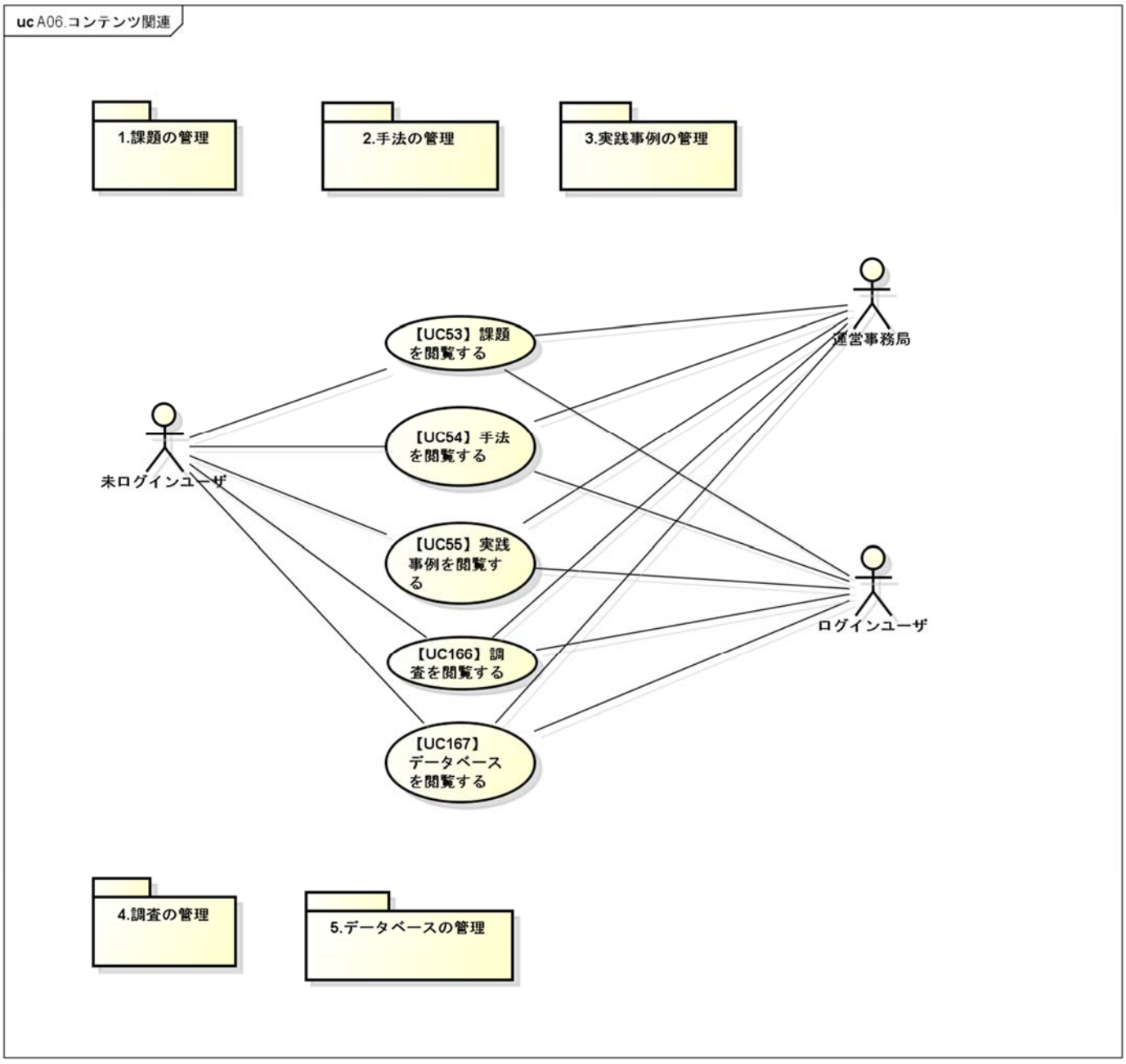
6　コンテンツ関連

6.1　概念モデル



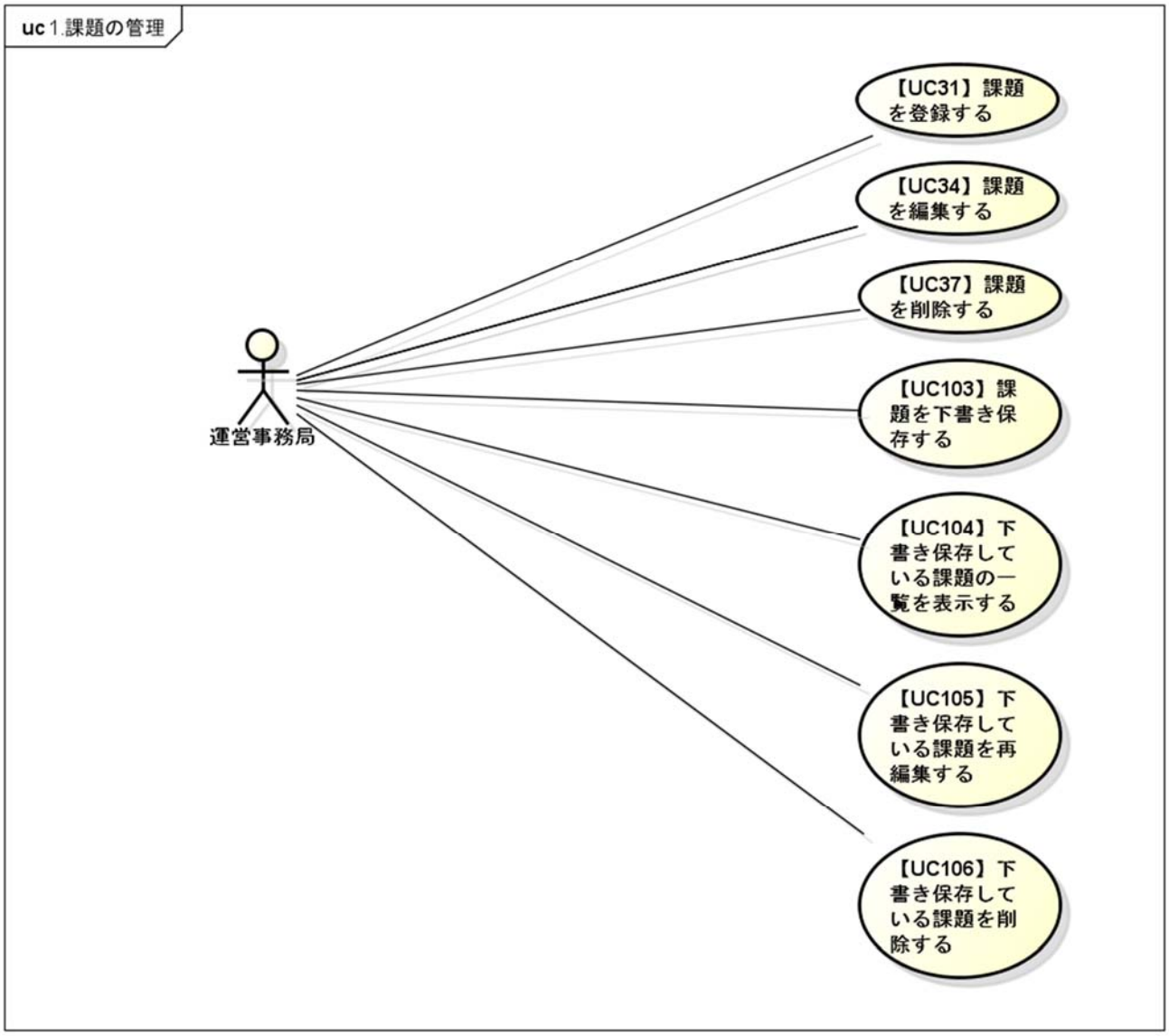
6.2　ユースケース記述

6.2.1 コンテンツ全般

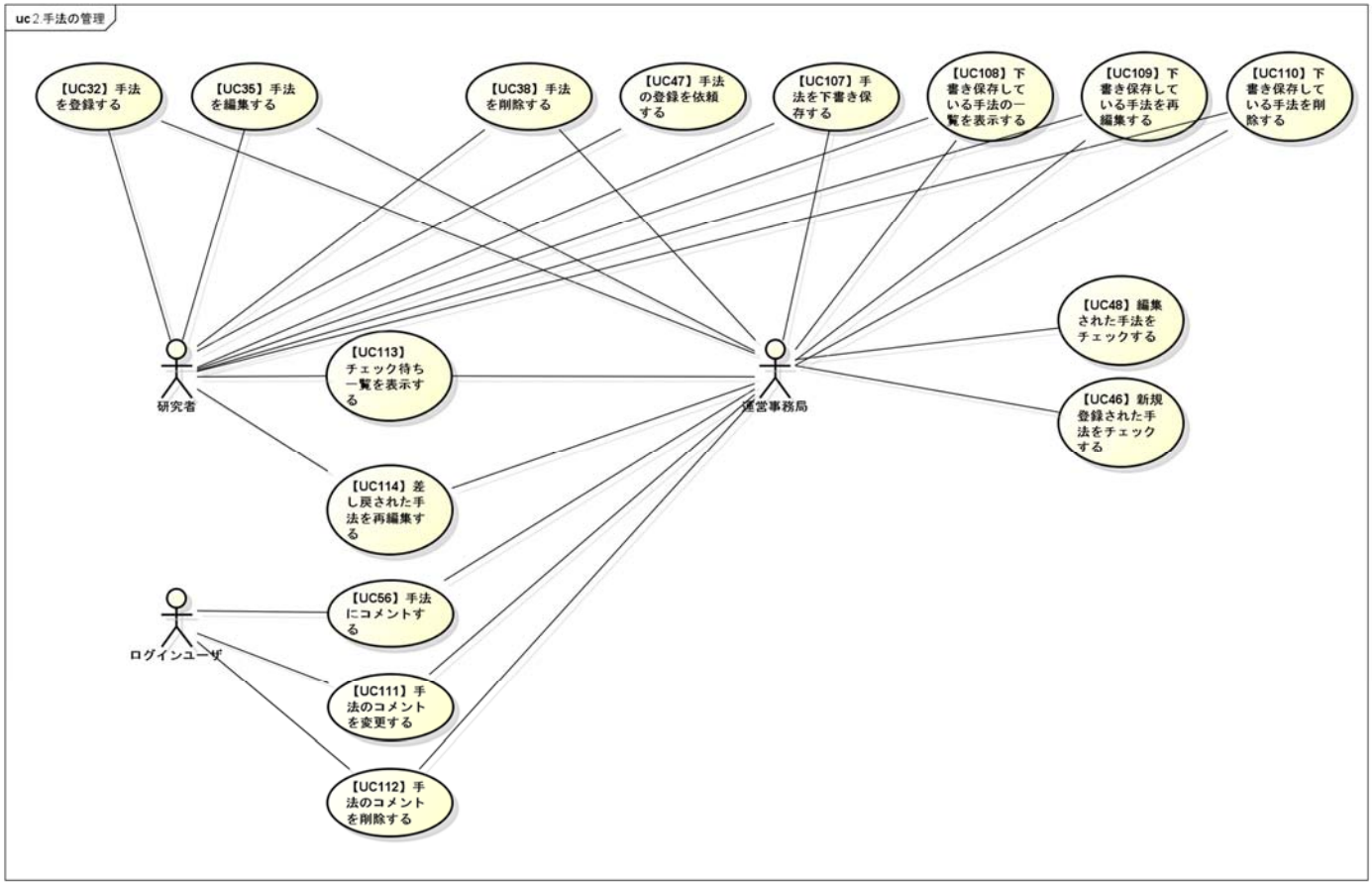


powered by Astah

6.2.2 課題の管理

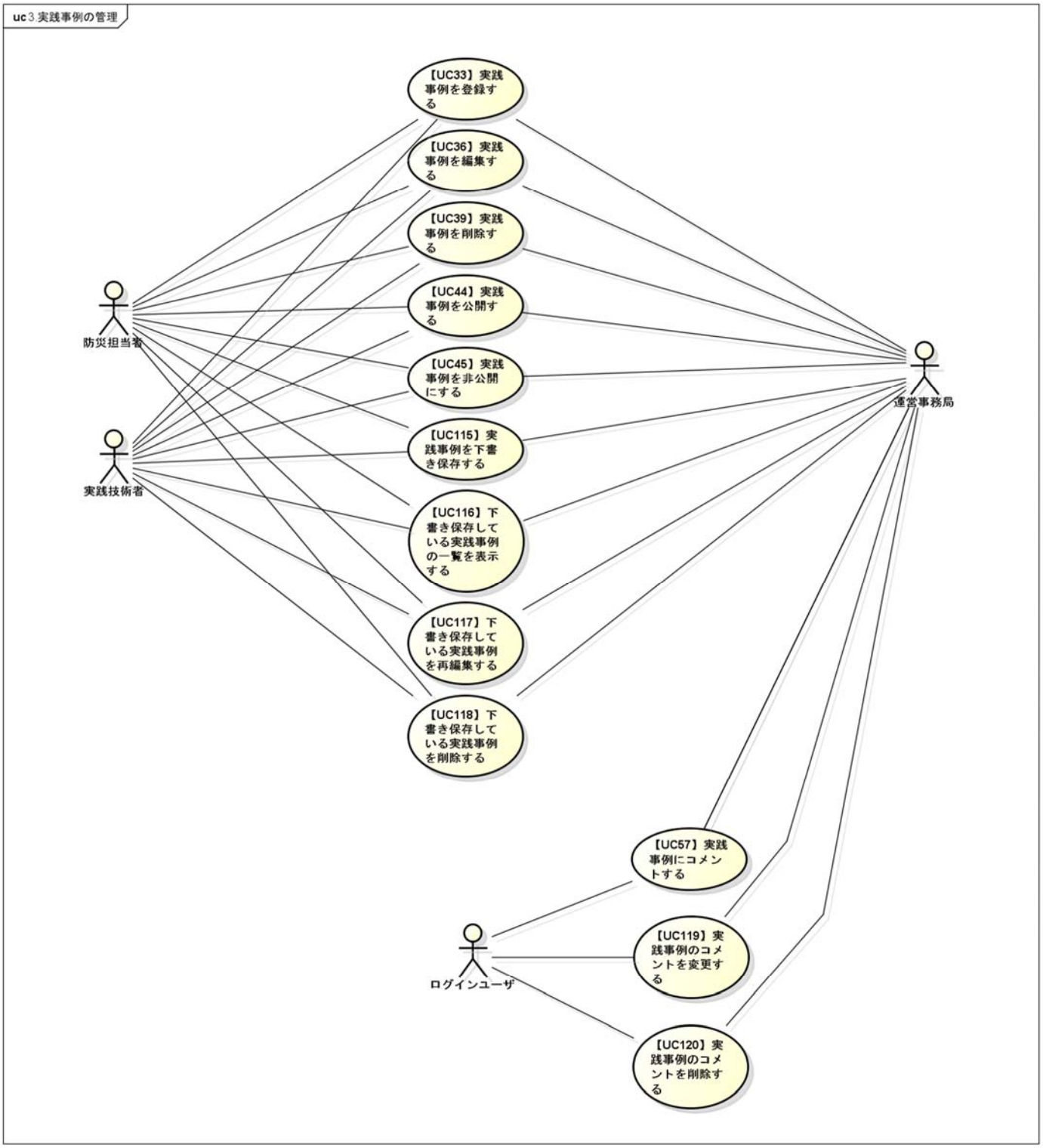

uc 1.課題の管理
【UC31】課題を登録する
【UC34】課題を編集する
【UC37】課題を削除する
【UC103】課題を下書き保存する
【UC104】下書き保存している課題の一覧を表示する
【UC105】下書き保存している課題を再編集する
【UC106】下書き保存している課題を削除する
運営事務局
powered by Astah

6.2.3 手法の管理

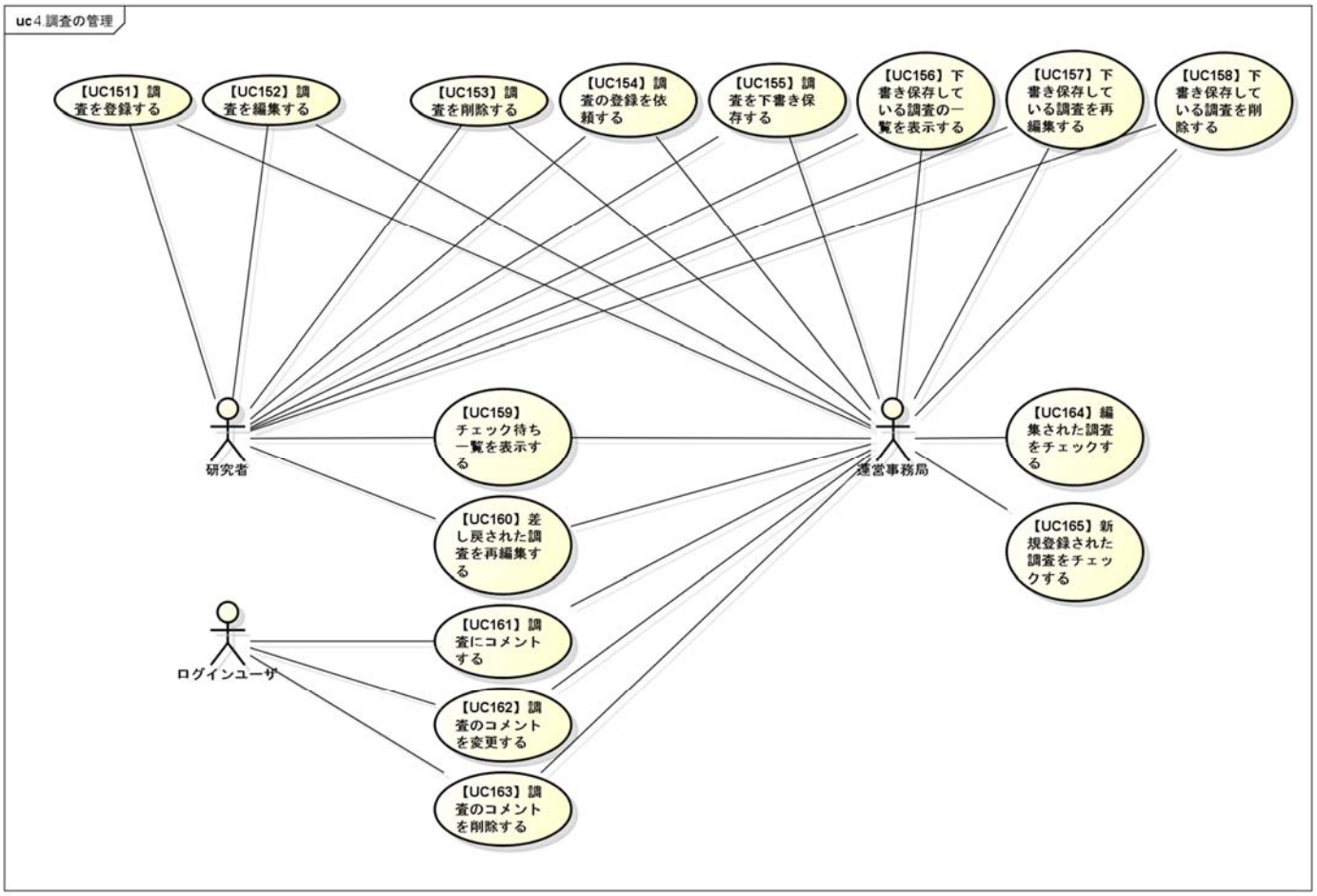


powered by Astah

6.2.4 実践事例の管理

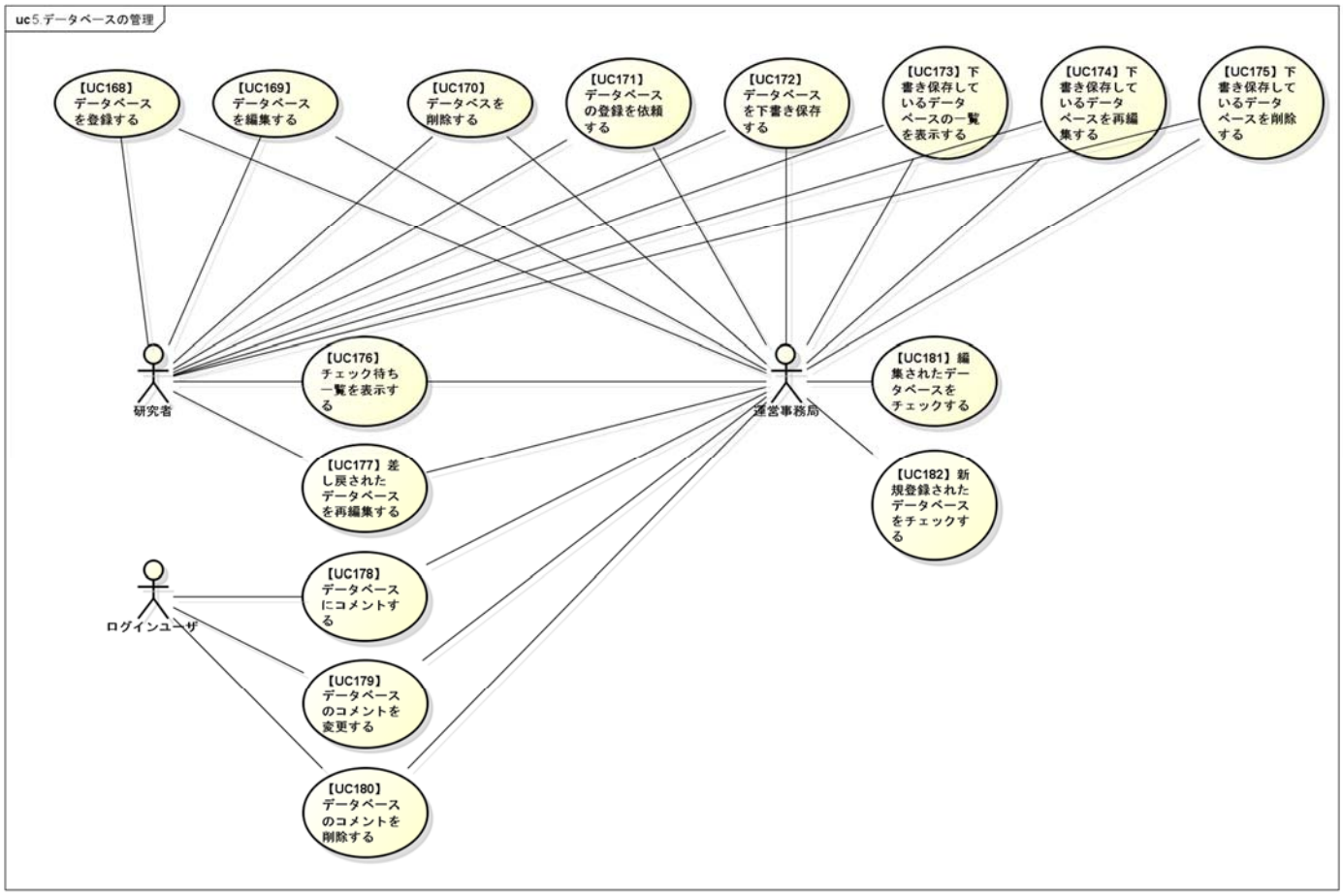

uc 3.実践事例の管理
【UC33】実践事例を登録する
【UC36】実践事例を編集する
【UC39】実践事例を削除する
【UC44】実践事例を公開する
【UC45】実践事例を非公開にする
【UC115】実践事例を下書き保存する
【UC116】下書き保存している実践事例の一覧を表示する
【UC117】下書き保存している実践事例を再編集する
【UC118】下書き保存している実践事例を削除する
【UC57】実践事例にコメントする
【UC119】実践事例のコメントを変更する
【UC120】実践事例のコメントを削除する
防災担当者
実践技術者
運営事務局
ログインユーザ
powered by Astah

6.2.5 調査の管理



powered by Astah

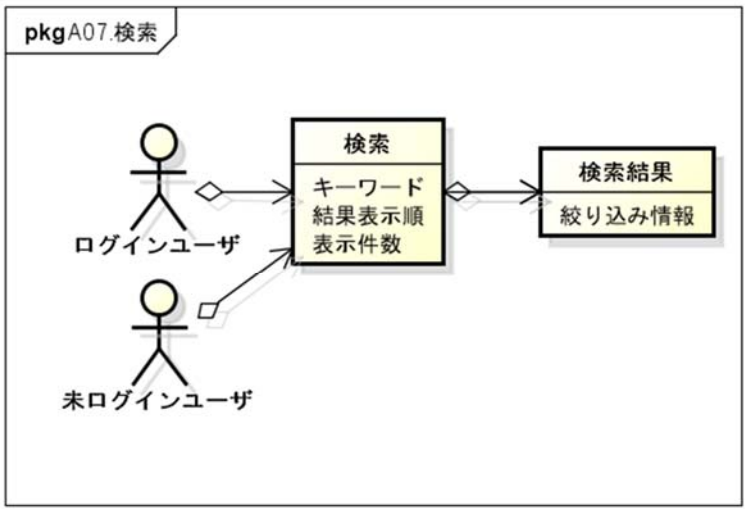
6.2.6 データベースの管理



powered by Astah

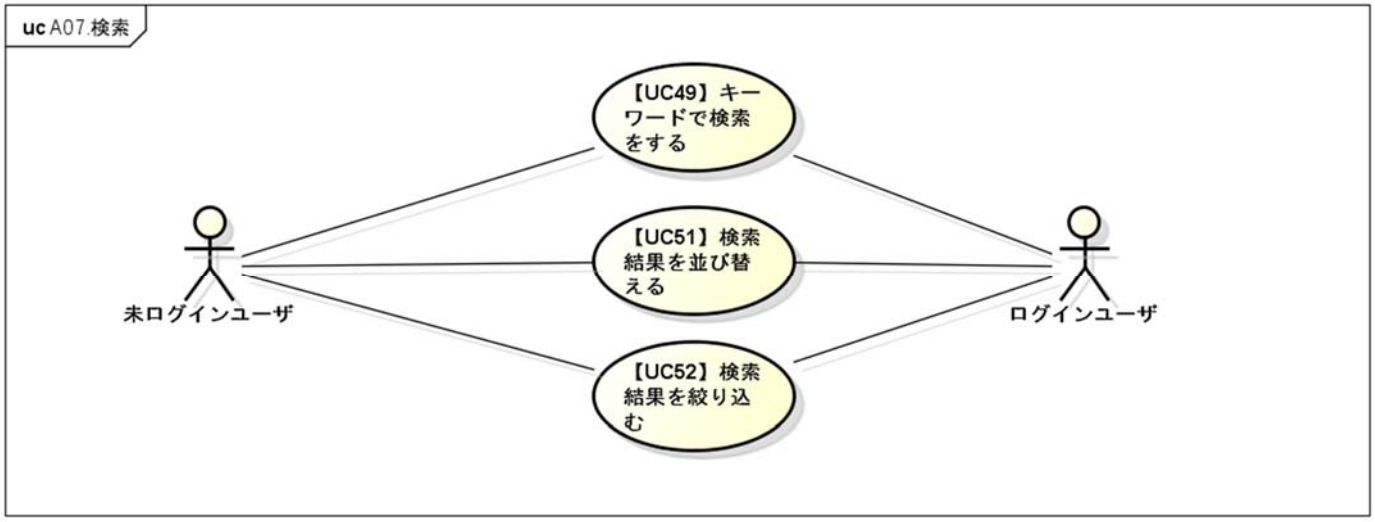
7　検索

7.1　概念モデル



powered by Astah

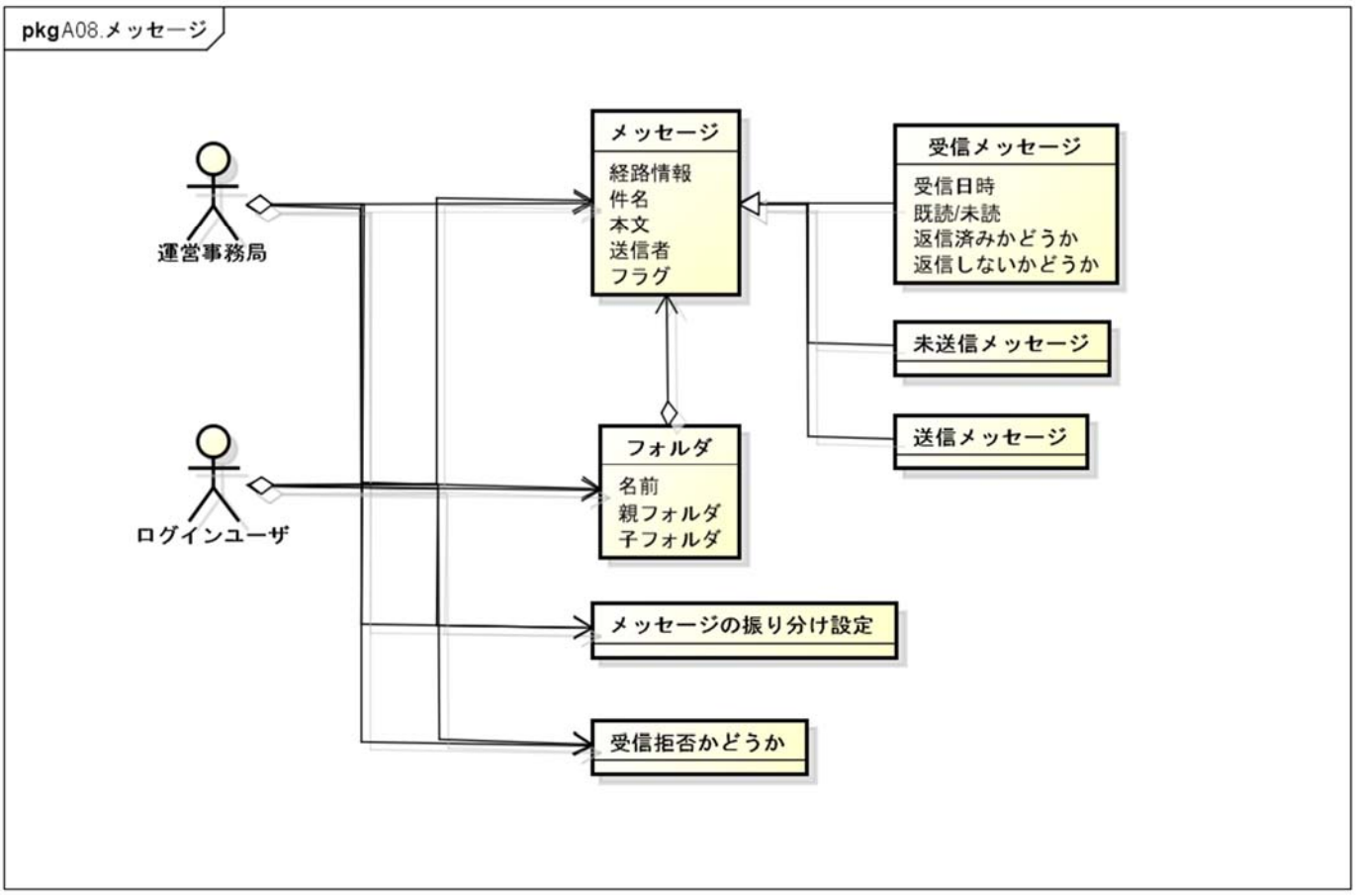
7.2　ユースケース図



powered by Astah

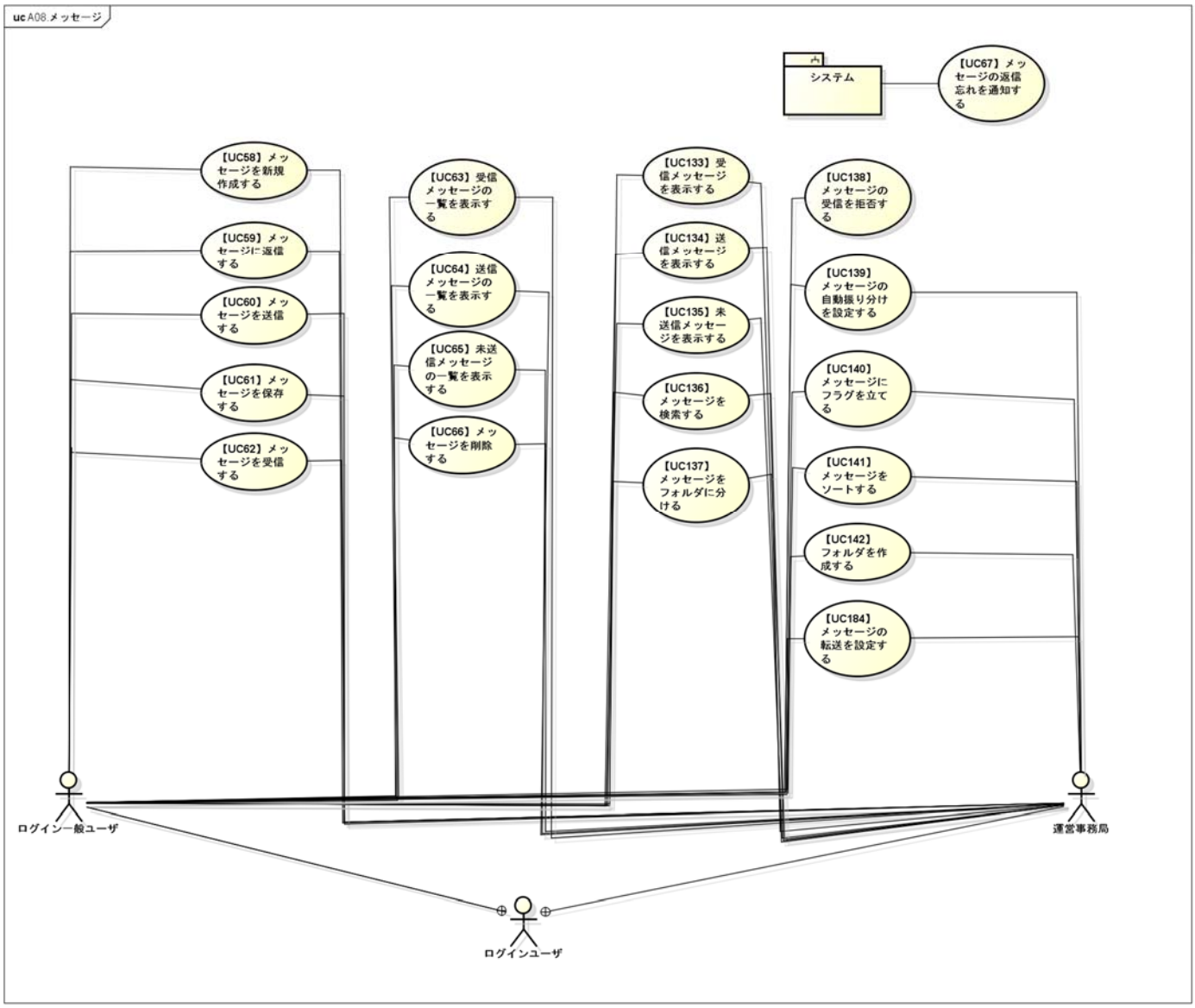
8　メッセージ

8.1　概念モデル



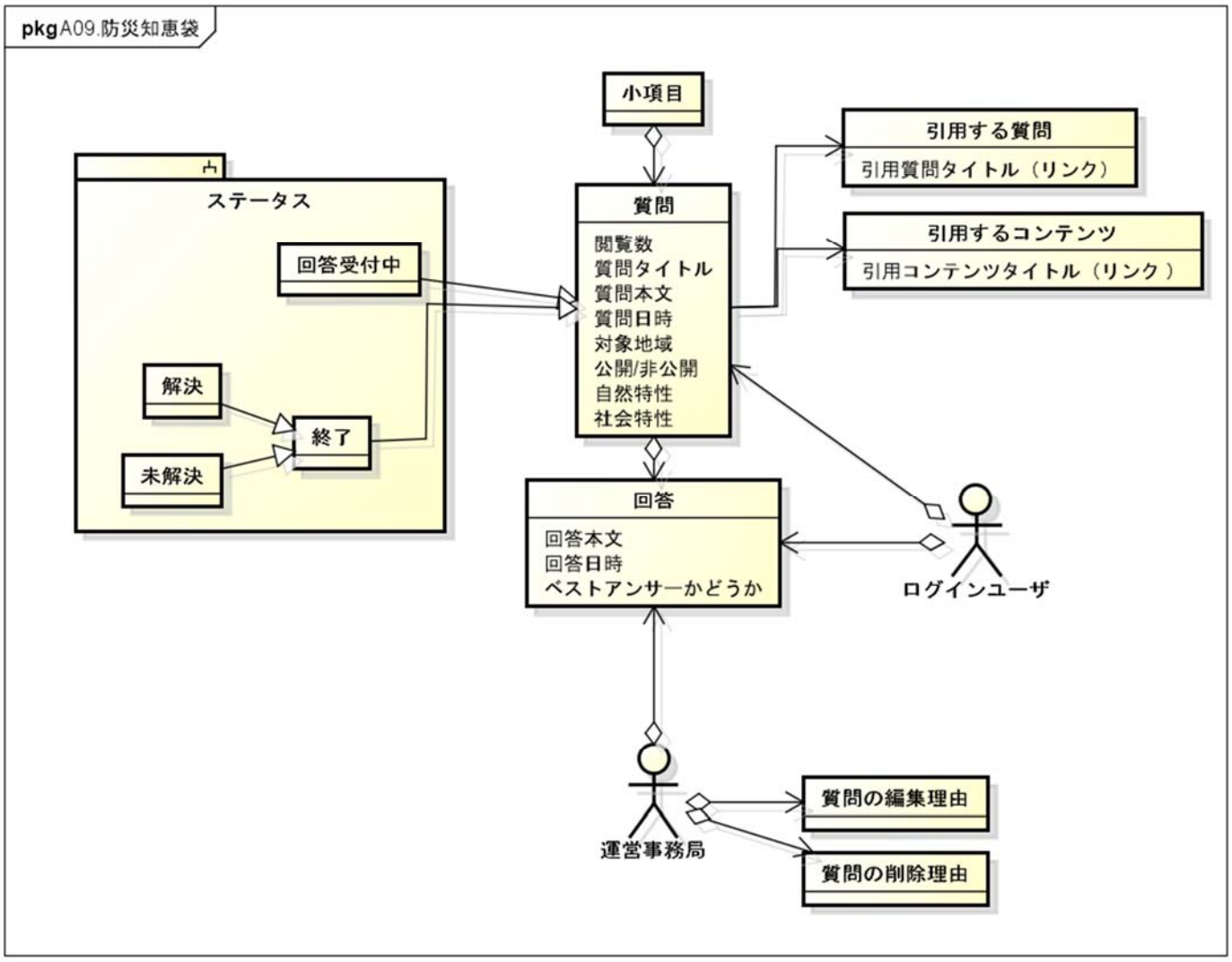
powered by Astah

8.2　ユースケース図

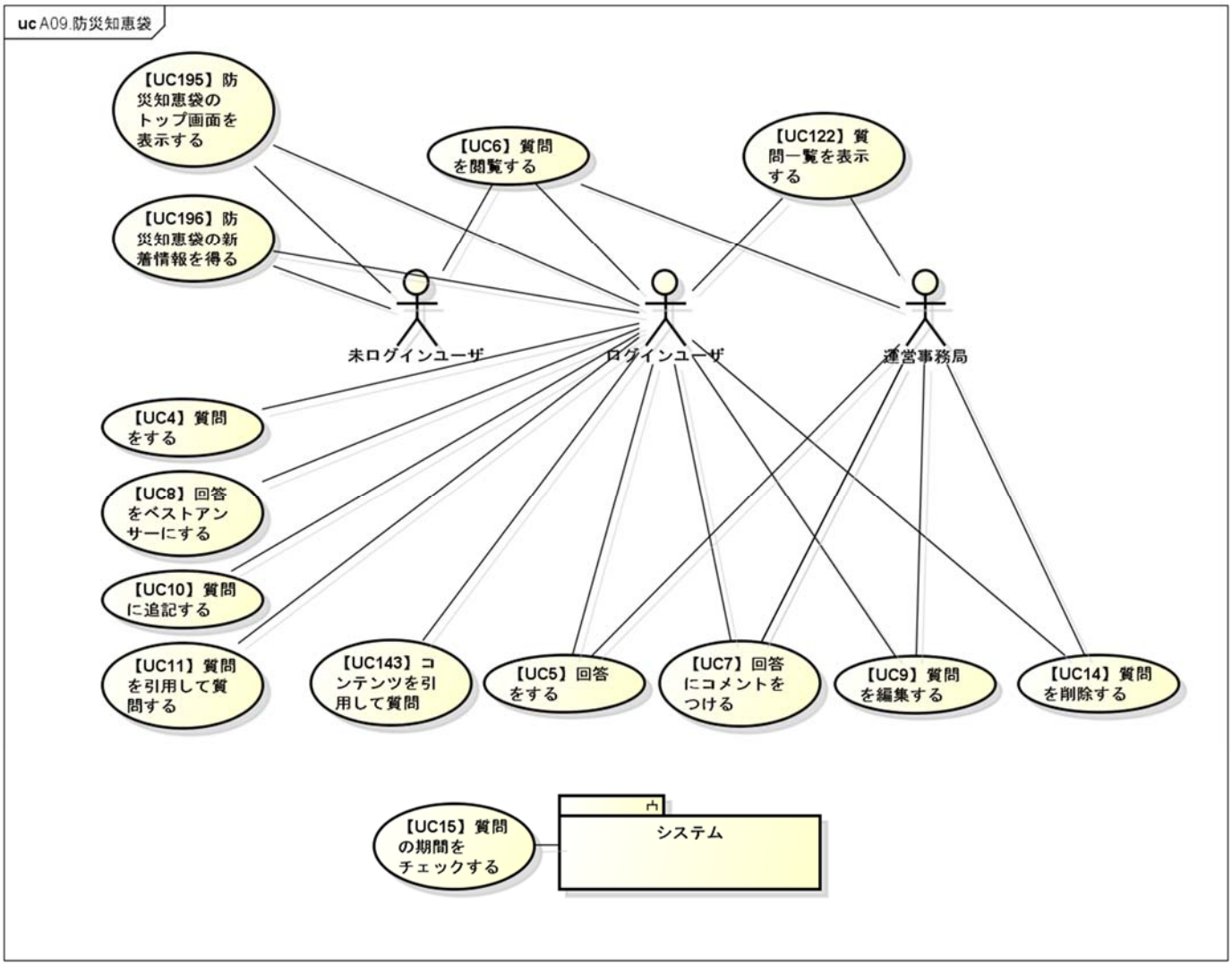

uc A08_メッセージ
システム
【UC67】メッセージの返信忘れを通知する
【UC58】メッセージを新規作成する
【UC59】メッセージに返信する
【UC60】メッセージを送信する
【UC61】メッセージを保存する
【UC62】メッセージを受信する
【UC63】受信メッセージの一覧を表示する
【UC64】送信メッセージの一覧を表示する
【UC65】未送信メッセージの一覧を表示する
【UC66】メッセージを削除する
【UC133】受信メッセージを表示する
【UC134】送信メッセージを表示する
【UC135】未送信メッセージを表示する
【UC136】メッセージを検索する
【UC137】メッセージをフォルダに分ける
【UC138】メッセージの受信を拒否する
【UC139】メッセージの自動振り分けを設定する
【UC140】メッセージにフラグを立てる
【UC141】メッセージをソートする
【UC142】フォルダを作成する
【UC184】メッセージの転送を設定する
ログイン一般ユーザ
運営事務局
ログインユーザ
powered by Astah

9　防災知恵袋

9.1　概念モデル



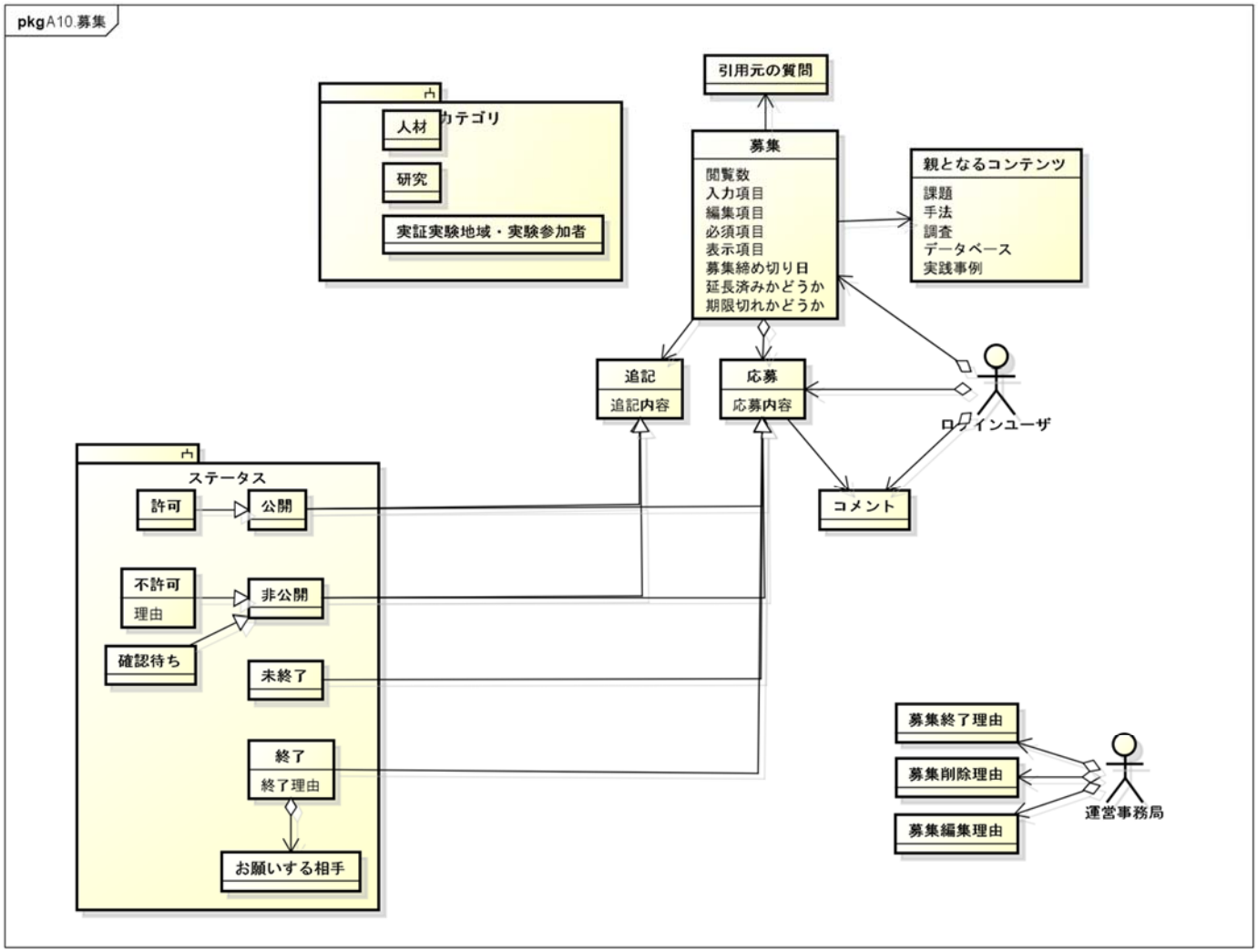
9.2　ユースケース図



powered by Astah

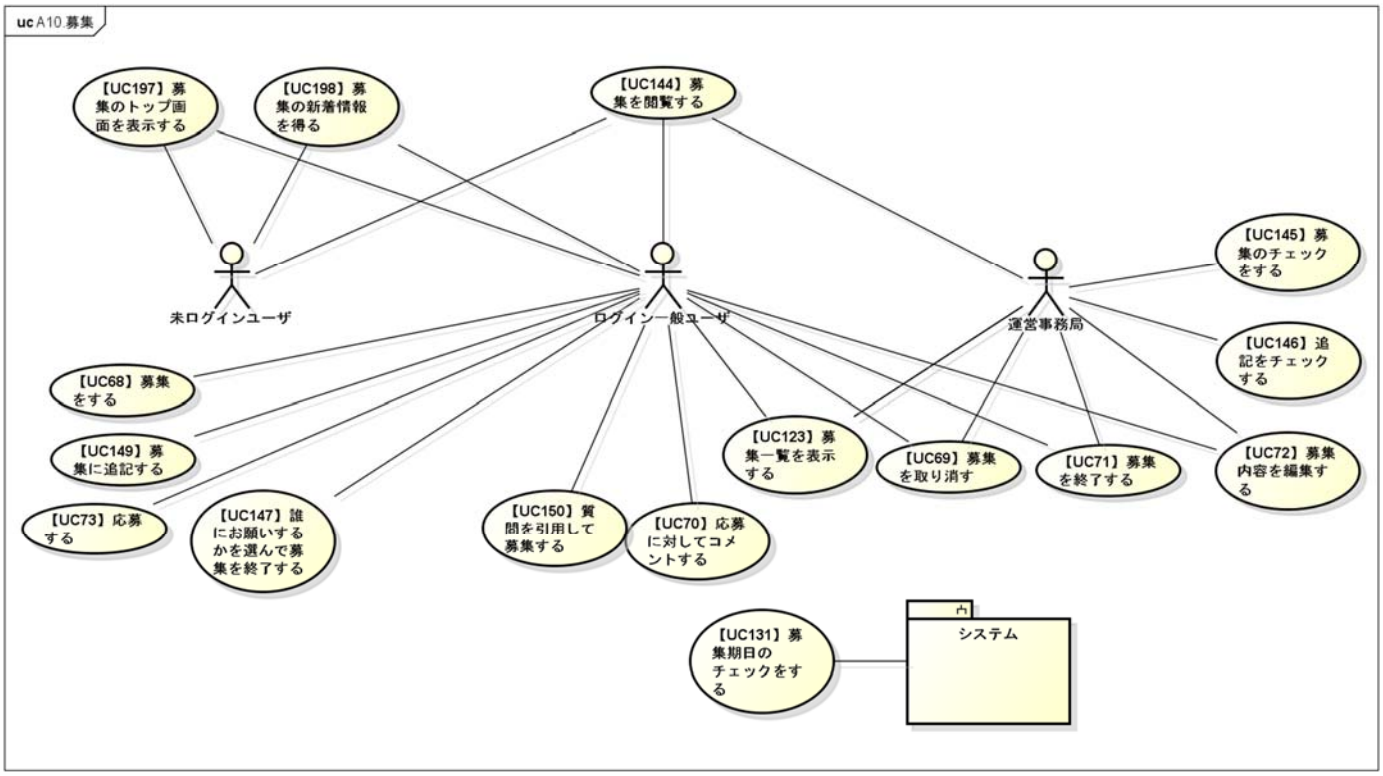
10 募集

10.1 概念モデル



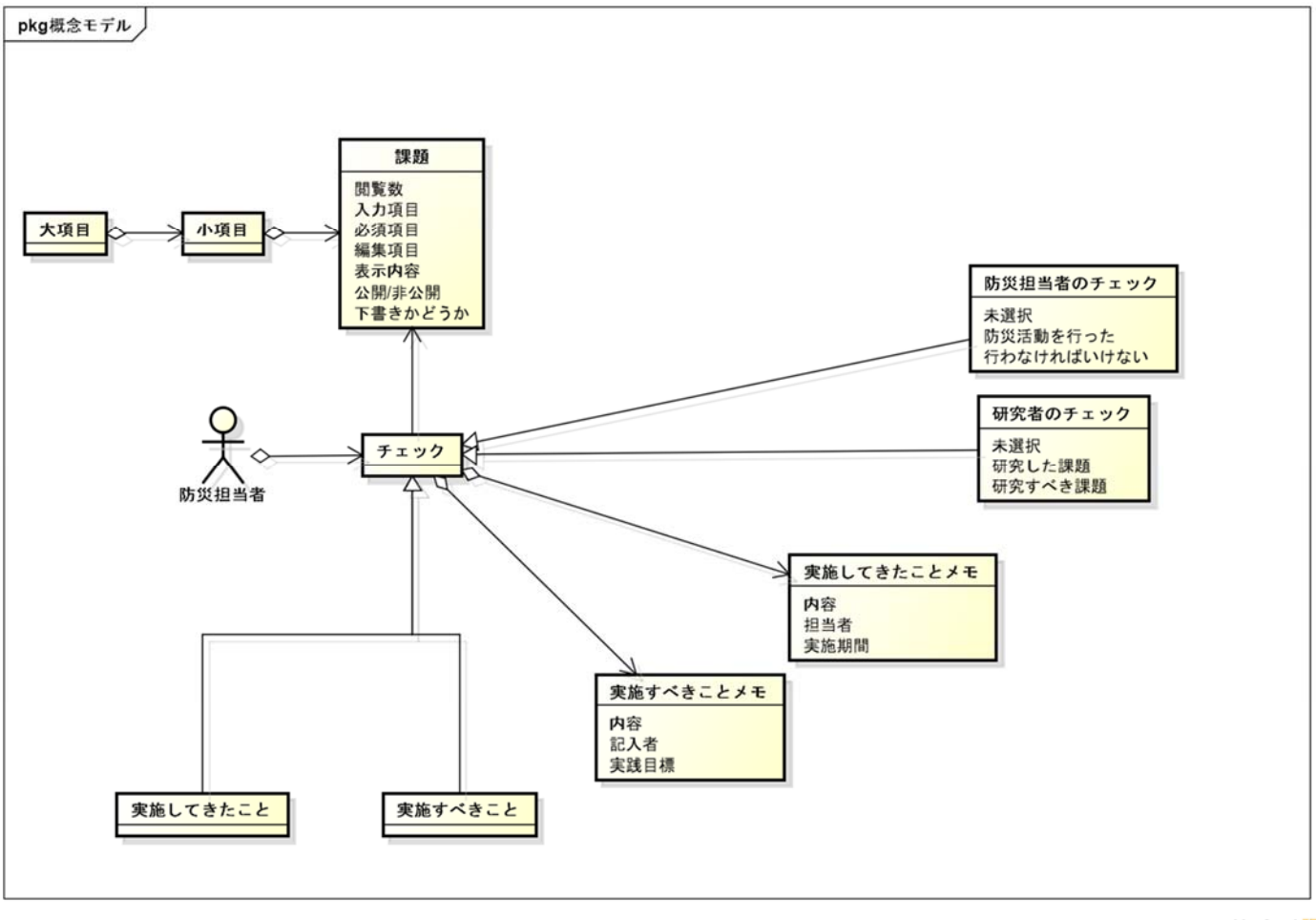
powered by Astah

10.2 ユースケース図

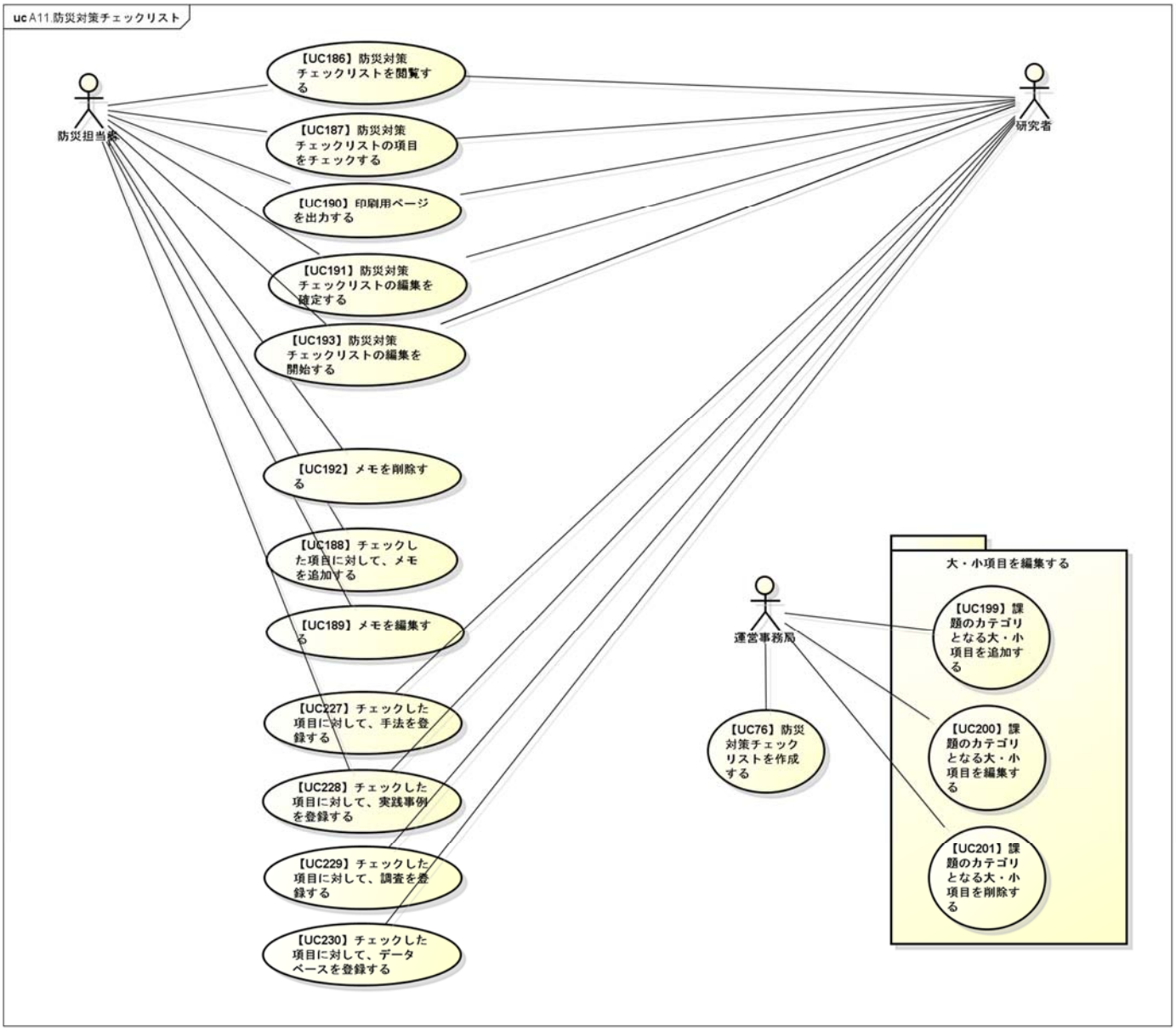


11 防災対策チェックリスト

11.1 概念モデル



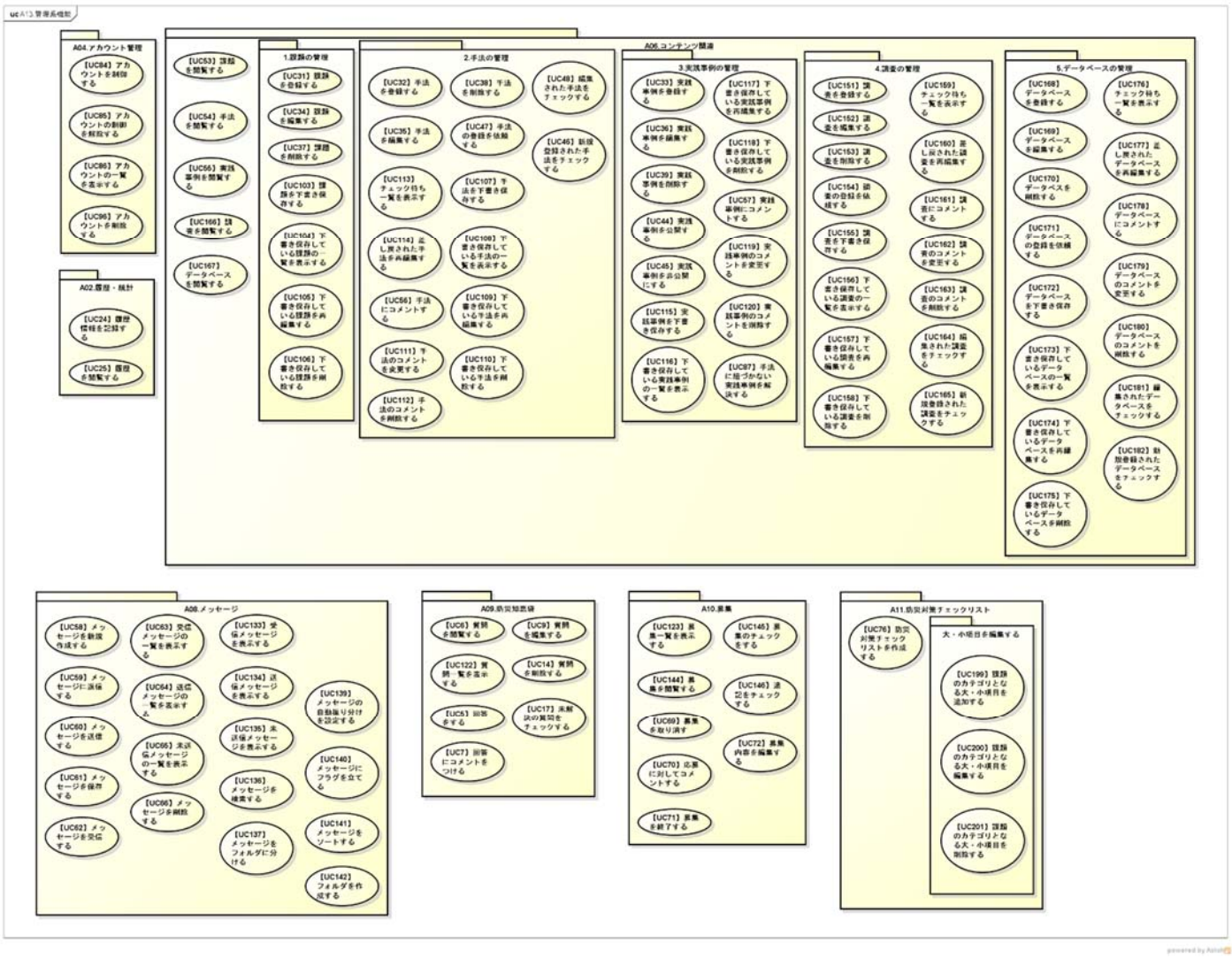
11.2 ユースケース図



powered by Astah

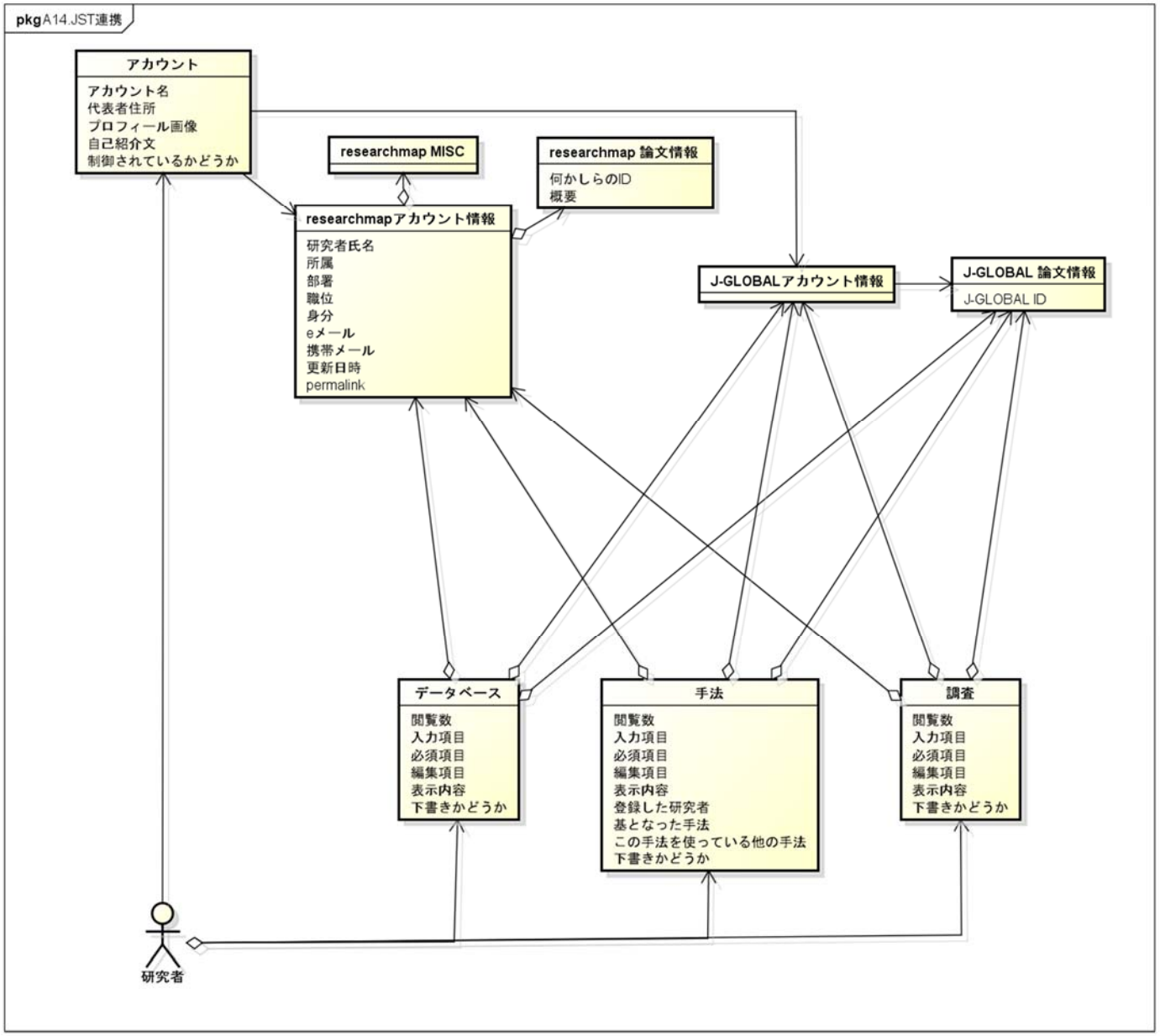
12 管理系機能

12.1 ユースケース図



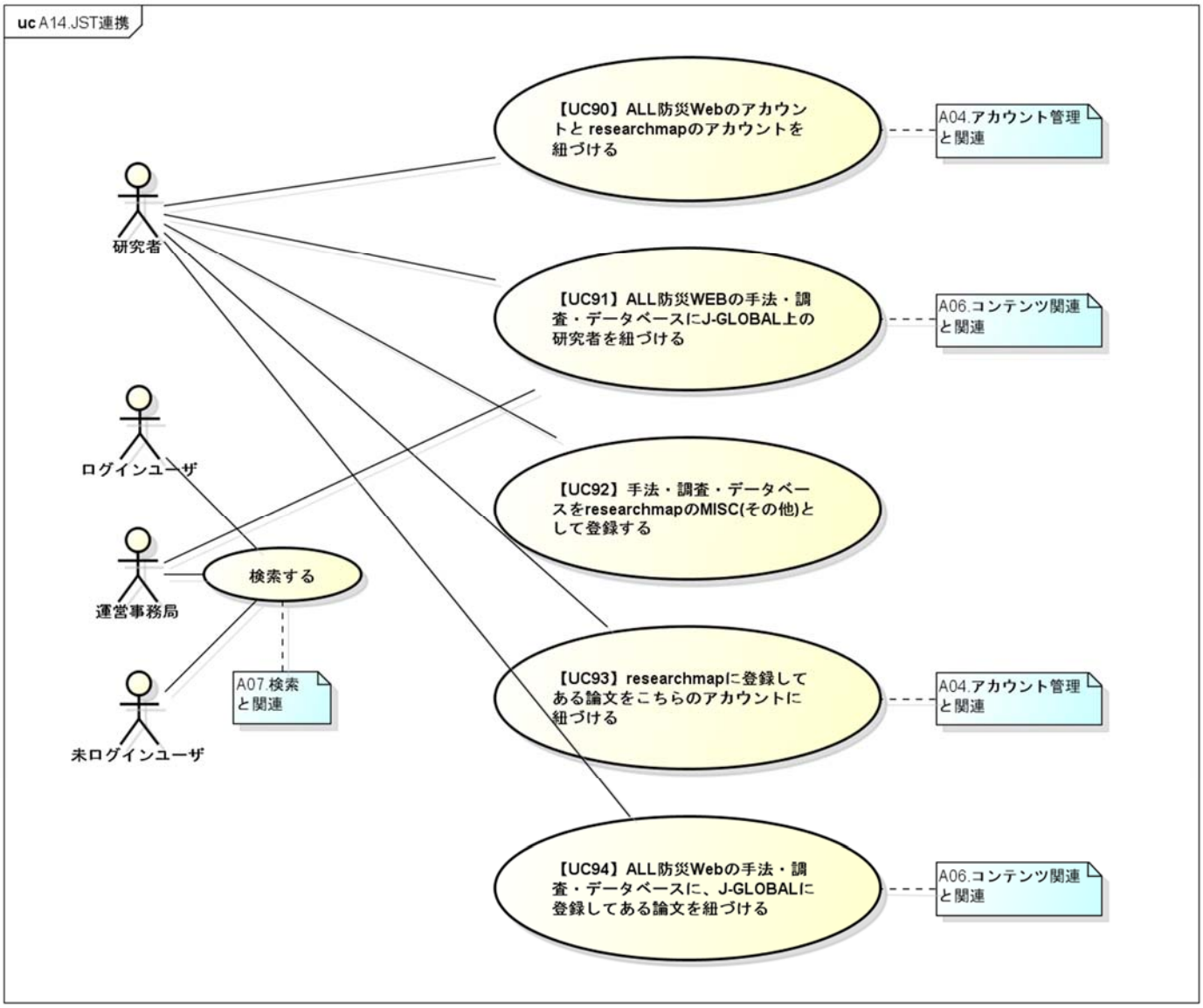
13 JST 連携

13.1 概念モデル



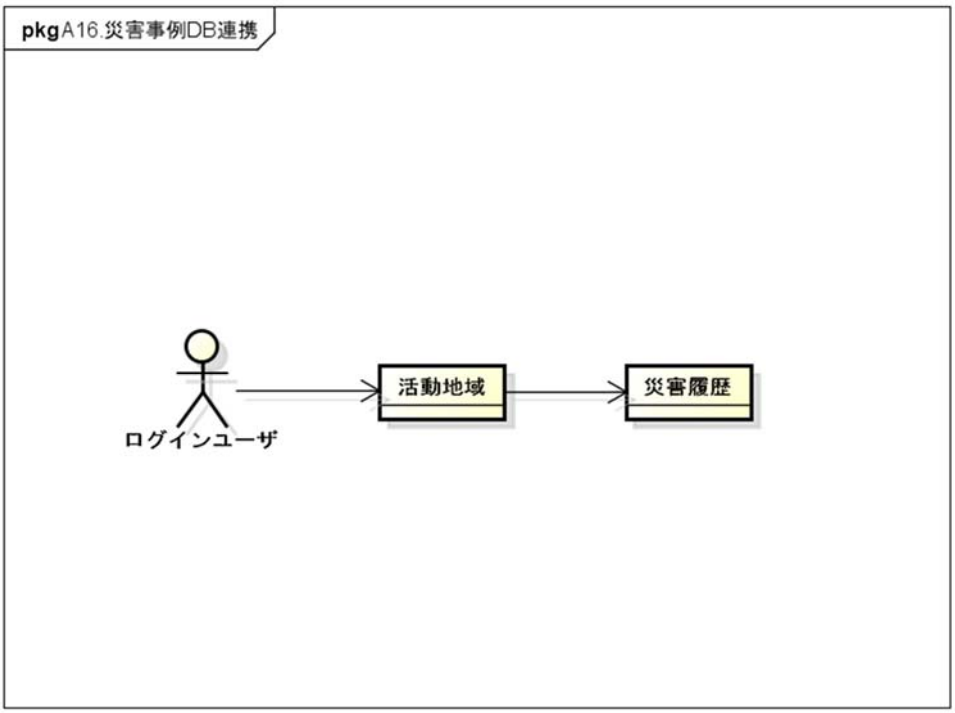
powered by Astah

13.2 ユースケース図


uc A14.JST連携
【UC90】ALL防災Webのアカウントと researchmapのアカウントを紐づける
A04.アカウント管理と関連
【UC91】ALL防災WEBの手法・調査・データベースにJ-GLOBAL上の研究者を紐づける
A06.コンテンツ関連と関連
【UC92】手法・調査・データベースをresearchmapのMISC(その他)として登録する
【UC93】researchmapに登録してある論文をこちらのアカウントに紐づける
A04.アカウント管理と関連
【UC94】ALL防災Webの手法・調査・データベースに、J-GLOBALに登録してある論文を紐づける
A06.コンテンツ関連と関連
研究者
ログインユーザ
運営事務局
未ログインユーザ
検索する
A07 検索と関連
powered by Astah

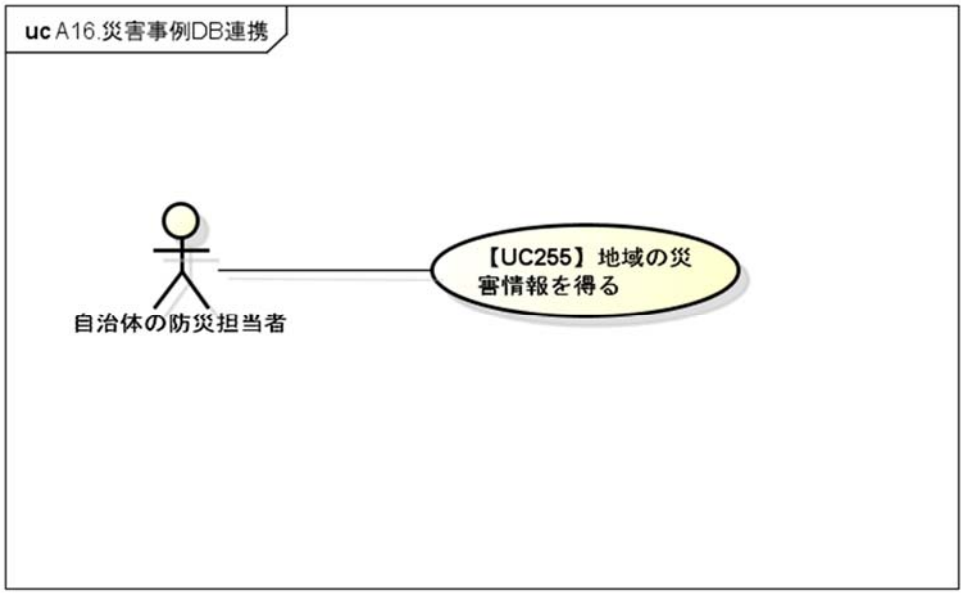
14 災害事例 DB 連携

14.1 概念モデル



powered by Astah

14.2 ユースケース図

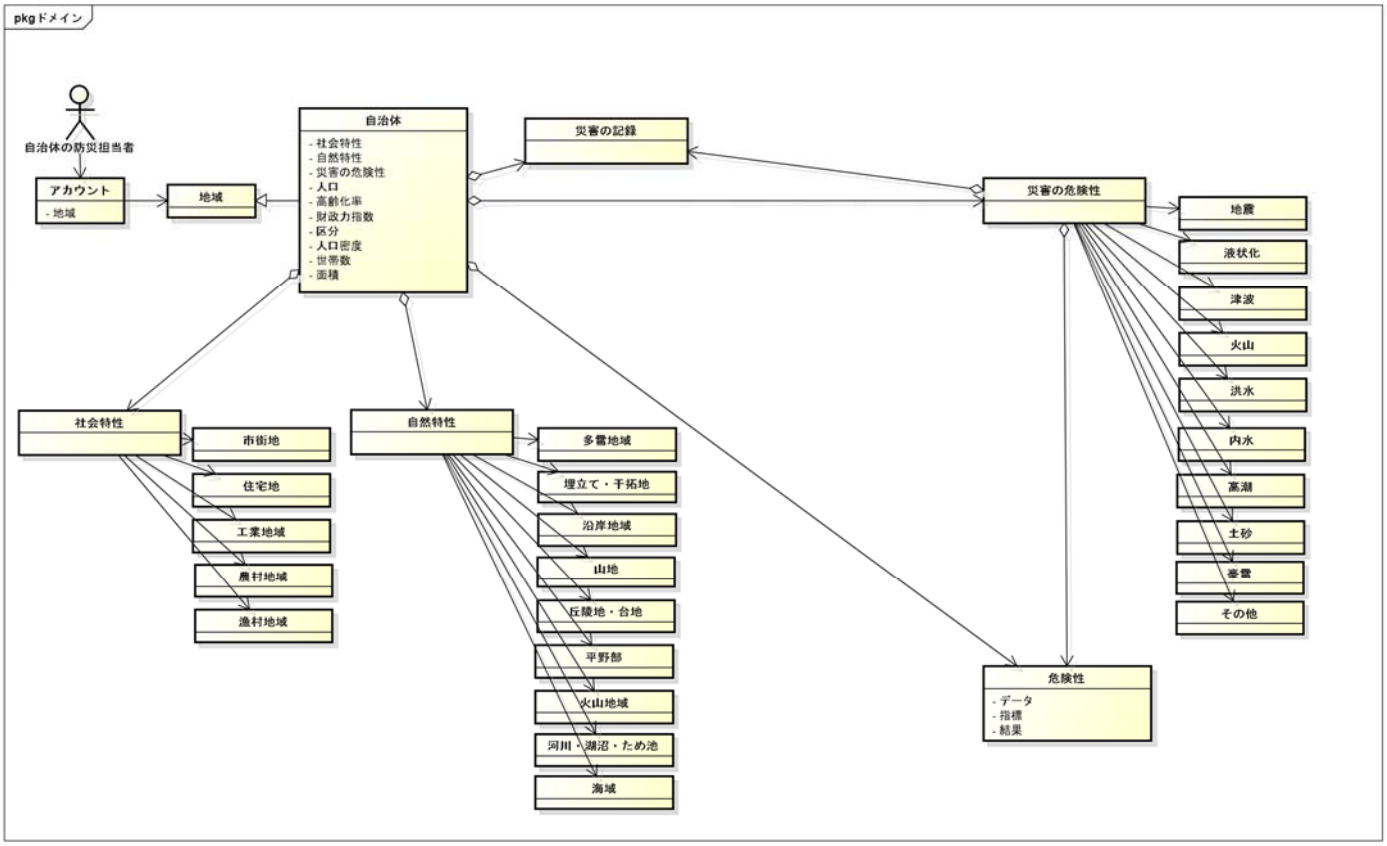


powered by Astah

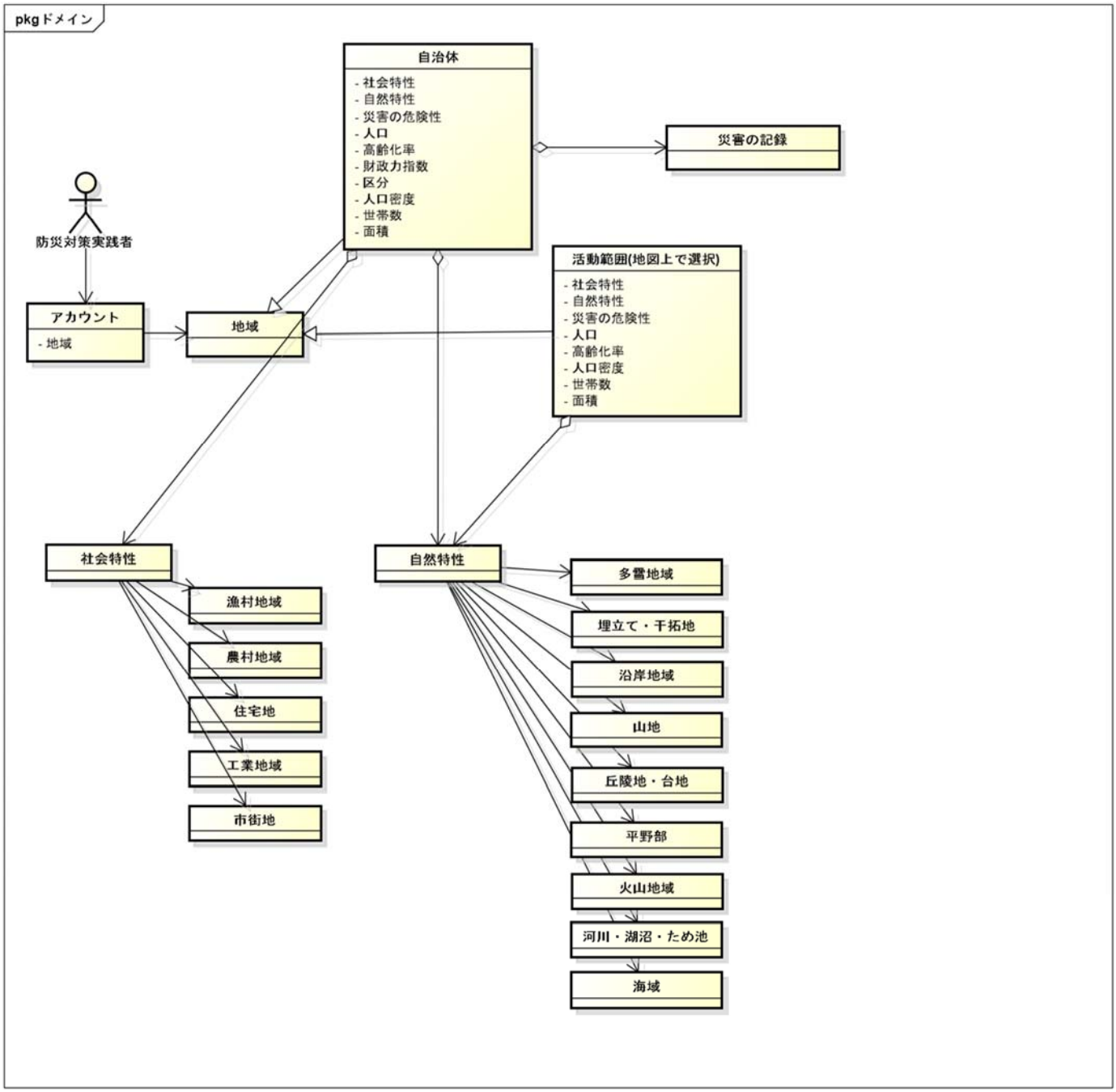
15 地域の情報

15.1 概念モデル

15.1.1 自治体の防災担当者

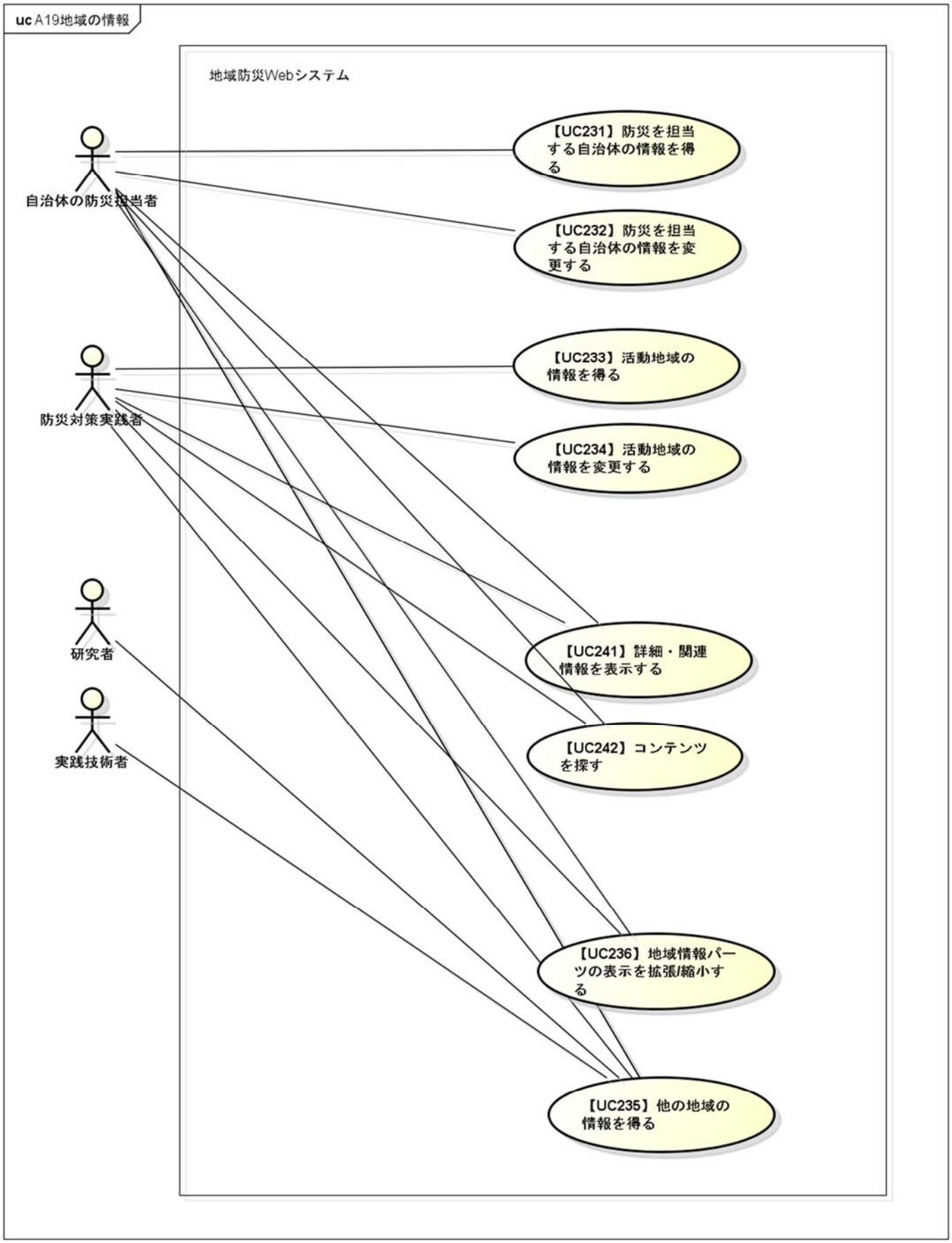


15.1.2　地域の防災リーダー



powered by Astah

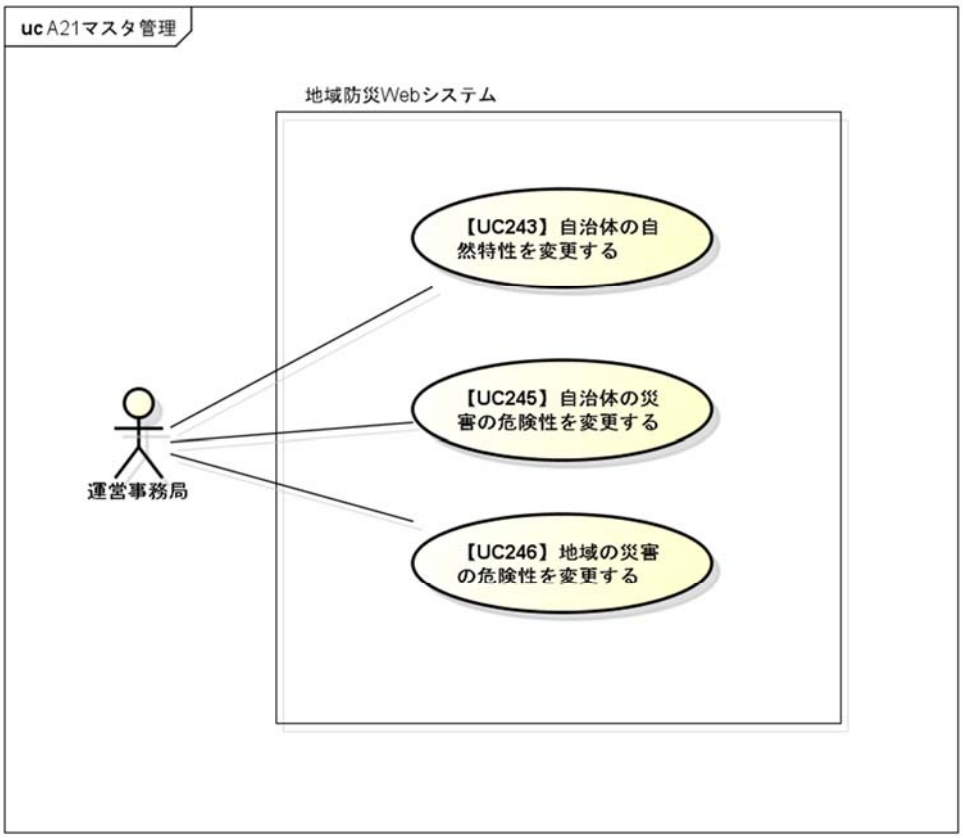
15.2 ユースケース図



powered by Astah

16 マスタ管理

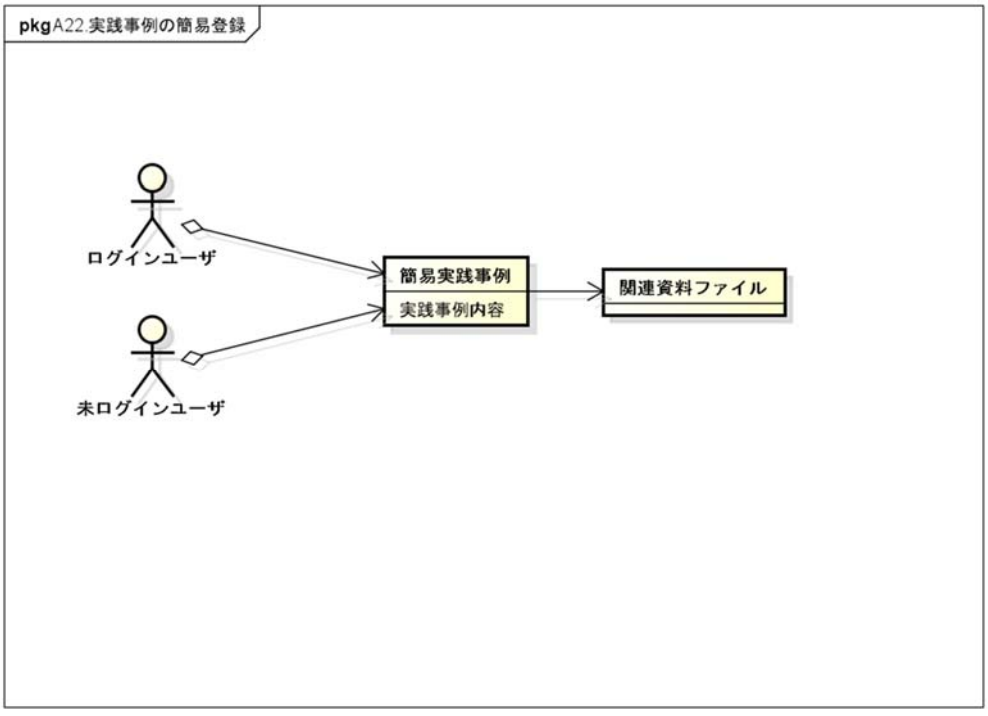
16.1 ユースケース図



powered by Astah

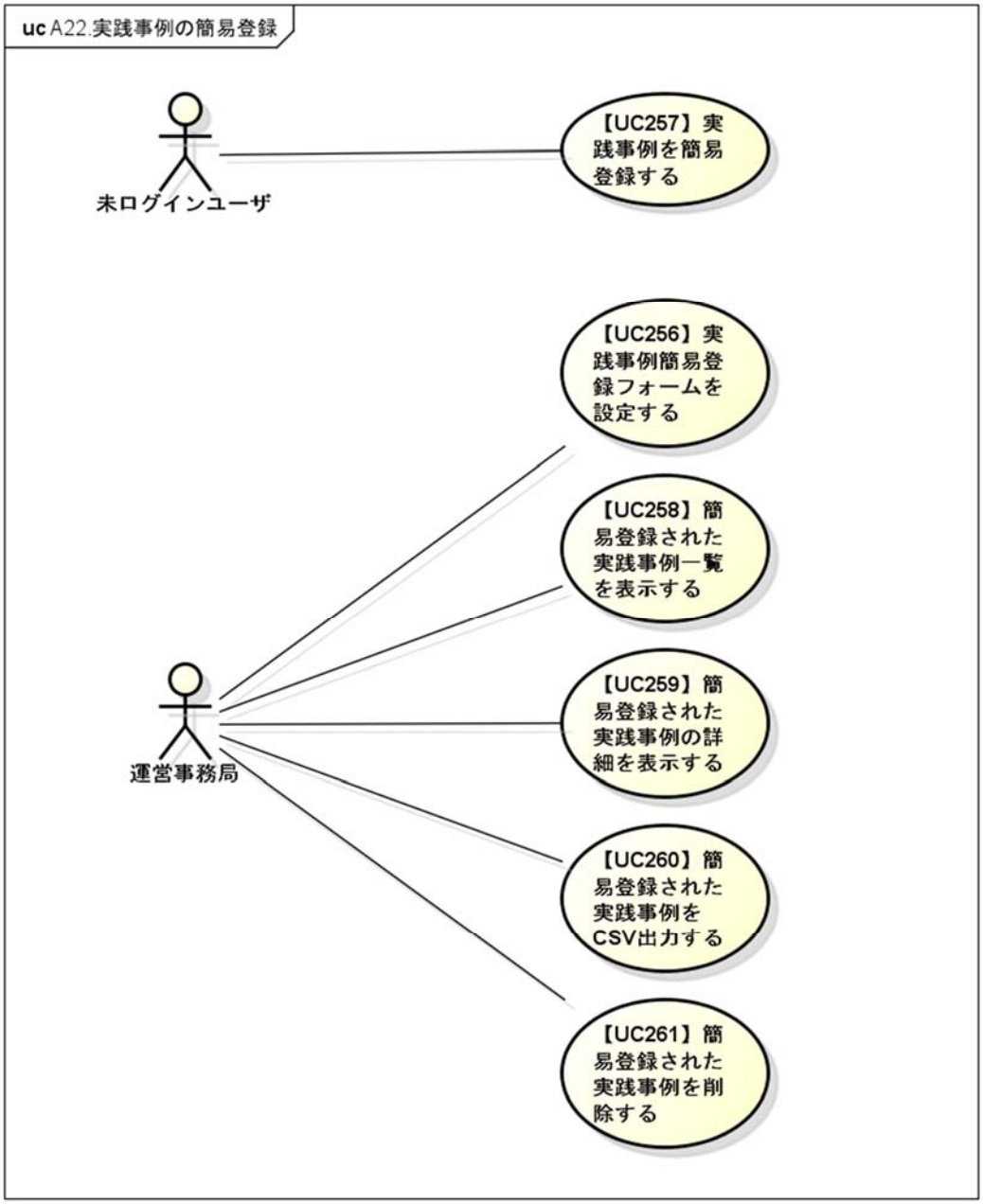
17 実践事例の簡易投稿

17.1 概念モデル



powered by Astah

17.2 ユースケース図



powered by Astah